SONY

DSC-1024G

SONY

3-810-657-**21** (3)

Digital Scan Converter/デジタルスキャンコンバーター

DSC-1024G

日本語

English

Deutsch

Français

Español

Italiano

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Operating Instructions

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

Bedienungsanleitung

Lesen Sie diese Anleitung vor Inbetriebnahme des Geräts bitte genau durch, und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen sorgfältig auf.

Mode d’emploi

Avant la mise en service de cet appareil, prière de lire attentivement ce mode d’emploi et de le conserver pour tout référence ultérieure.

Manual de instrucciones

Antes de utilizar la unidad, lea este manual detenidamente y consérvelo para futuras referencias.

Istruzioni per l'uso

Prima di utilizzare l’apparecchio, leggere attentamente questo manuale e conservarlo per un riferimento futuro.

Owner’s Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

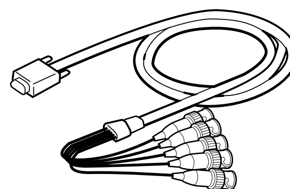
Model No. DSC-1024G Serial No. ____________

目次

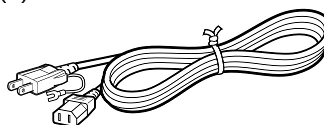
付属品について

本機には、次の付属品が一緒に梱包されています。ご確認ください。

信号ケーブル (Dサブ15ピン↔BNC×5)



電源コード (1)



取扱説明書 (1)
安全のために (1)
保証書 (1)

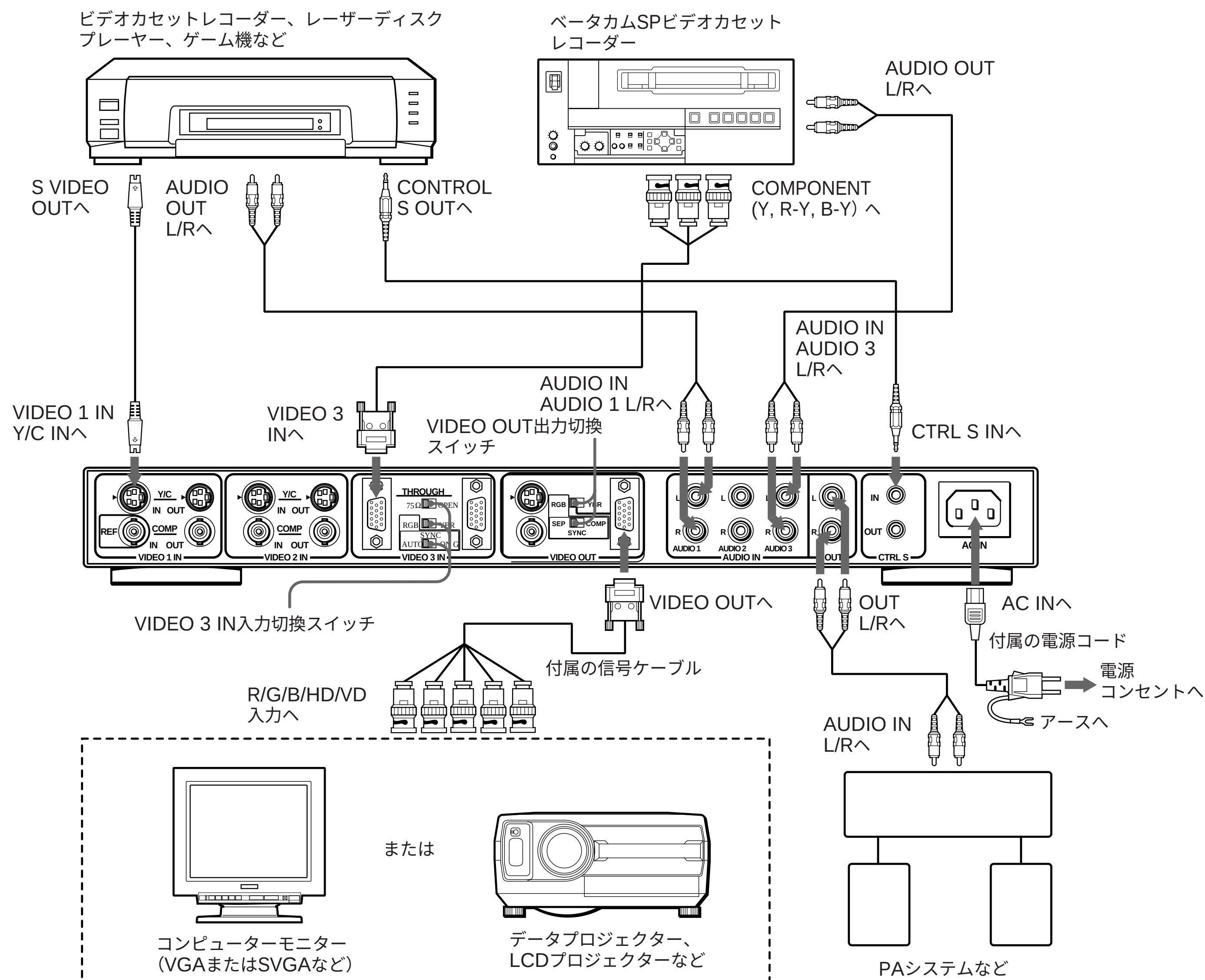
接続のしかた

接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグのアース線は、必ずアースに接続してお使いください。
- 接続の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

アップコンバートの接続例

走査線数の少ない映像信号を、高い走査線数に変換して出力する場合の接続例です。



VIDEO OUT出力切換スイッチの設定

- コンピューターモニター、データプロジェクター、LCDプロジェクターを接続したときは、RGB/YBR出力切換スイッチをRGBに設定してください。
- SYNC切換スイッチは、接続する機器に合わせて、SEP（HD、VD同期）またはCOMP（コンポジット同期）に設定してください。

ベータカムSPビデオカセットレコーダーをVIDEO 3 IN入力へ接続するときは

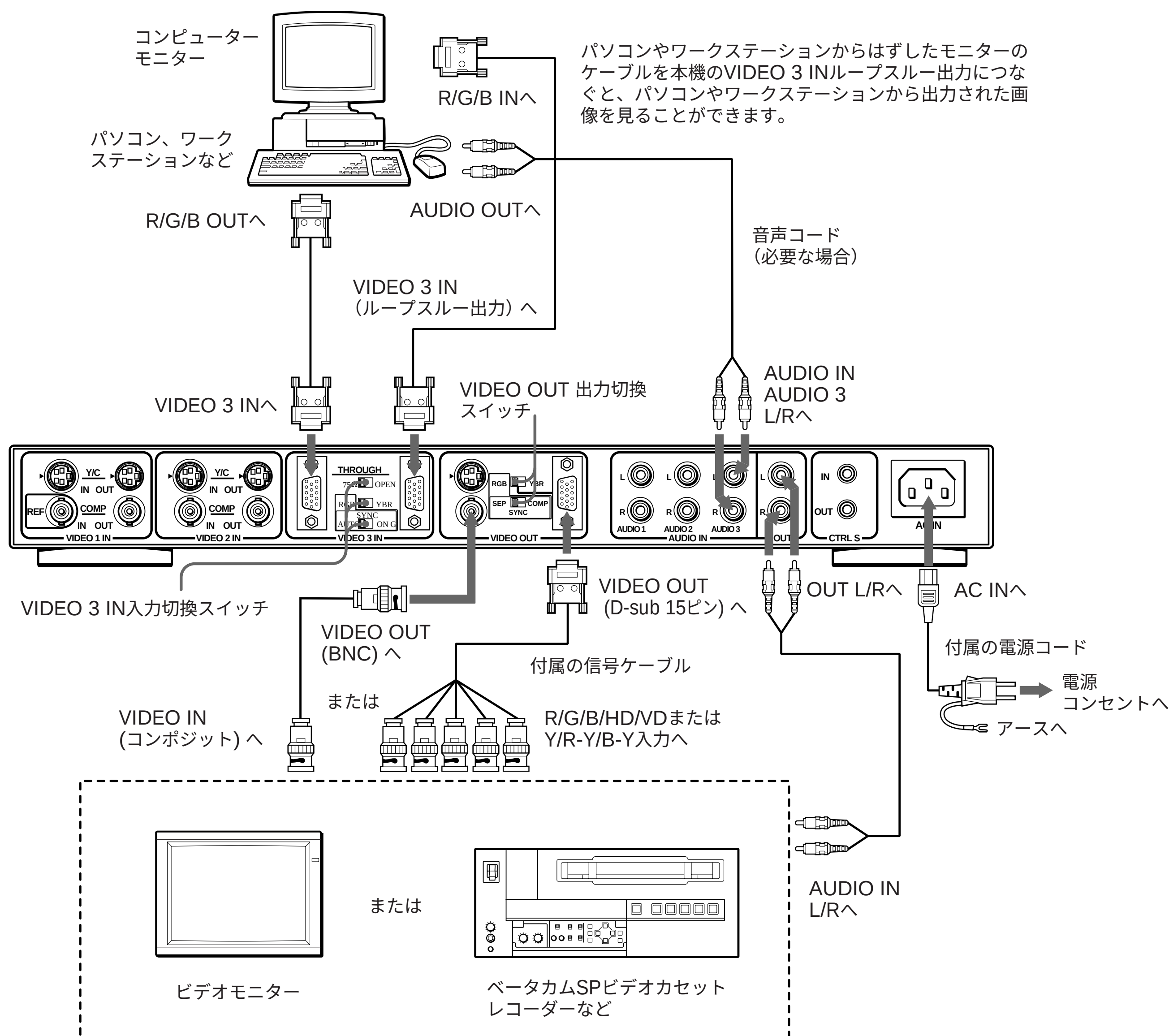
VIDEO 3 IN入力切換スイッチを次のように設定してください。

- 終端 (75Ω/OPEN) スイッチ → 75Ω
- RGB/YBR入力切換スイッチ →YBR
- SYNC切換スイッチ → AUTO

また、信号ケーブルは、赤のプラグをベータカムのR-Y端子へ、緑のプラグをY端子へ、青のプラグをB-Y端子へ接続してください。残りのプラグがある場合は、接続しないでください。

ダウンコンバートの接続例

走査線数の多い映像信号を、少ない走査線数に変換して出力する場合の接続例です。



VIDEO OUT出力切換スイッチの設定

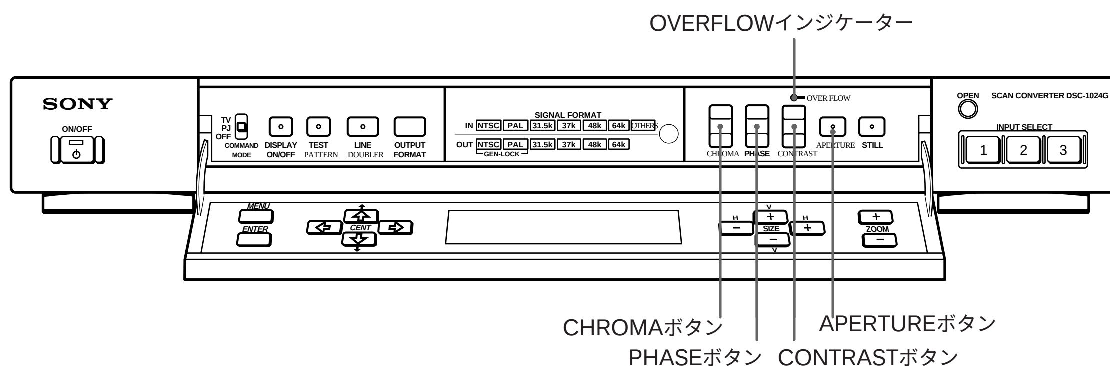
- ビデオモニターやビデオプロジェクターを接続したときは、RGB/YBR出力切換スイッチをRGBに設定してください。ベータカムSPビデオカセットレコーダーを接続したときは、YBRに設定してください。
- SYNC切換スイッチは、接続する機器に合わせて、SEP（HD、VD同期）またはCOMP（コンポジット同期）に設定してください。

コンピューターモニターをVIDEO 3 INループスルー出力へ接続するときは

VIDEO 3 IN入力切換スイッチを次のように設定してください。

- 終端 (75Ω/OPEN) スイッチ → OPEN
- RGB/YBR入力切換スイッチ → RGB
- SYNC切換スイッチ → 接続する機器に合わせてAUTOまたはON Gに設定してください。
  MacintoshやSilicon Graphics Inc.のコンピューターの場合はON Gにします。

画像を調整する



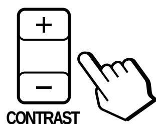
画像を見ながら、コントラスト、色相（フェーズ）、色の濃さ（クロマ）、鮮明度（アパーチャー）を調整することができます。入力1、2、3の各入力ごとに調整を行って、調整値をメモリーすることができます。

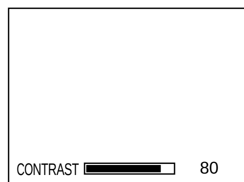
コントラスト、色相、色の濃さの調整

調整したい項目に応じて、CONTRAST、PHASE、CHROMA**ボタンの＋または－側を押す。**

画面に調整レベルが表示されます。

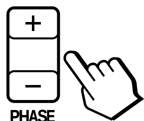
コントラスト





＋：　コントラストが強くなる
－：　コントラストが弱くなる

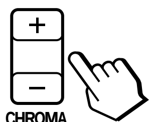
色相（フェーズ）





＋：　全体が緑がかる
－：　全体が紫がかる

色の濃さ（クロマ）





＋：　色が濃くなる
－：　色が薄くなる

ご注意

- 入力がRGB信号の場合、色相と色の濃さは調整できません。
- 入力がコンポーネント（Y/B-Y/R-Y）信号の場合、色相は調整できません。
- PAL方式の入力信号の場合、色相は調整できません。

上記の調整ボタンを押すと、画面に「NOT APPLICABLE」と表示されます。

鮮明度（アパーチャー）の調整

くっきりした画像にするには、APERTUREボタンを押して画面のAPERTUREを「ON」にします。APERTUREボタンのインジケーターも点灯します。柔らかな画像にするには、もう1回APERTUREボタンを押してAPERTUREを「OFF」にします。

出荷時は、NTSCまたはPAL入力はAPERTURE「OFF」に、それ以外の入力はAPERTURE「ON」に設定されています。



APERTURE ▶ON OFF

ご注意

出力信号のフォーマットがNTSCやPALなどインターレース方式の場合、APERTUREを「OFF」にすると、画像の輪郭は多少ぼやけますがちらつき（フリッカー）が減少します。

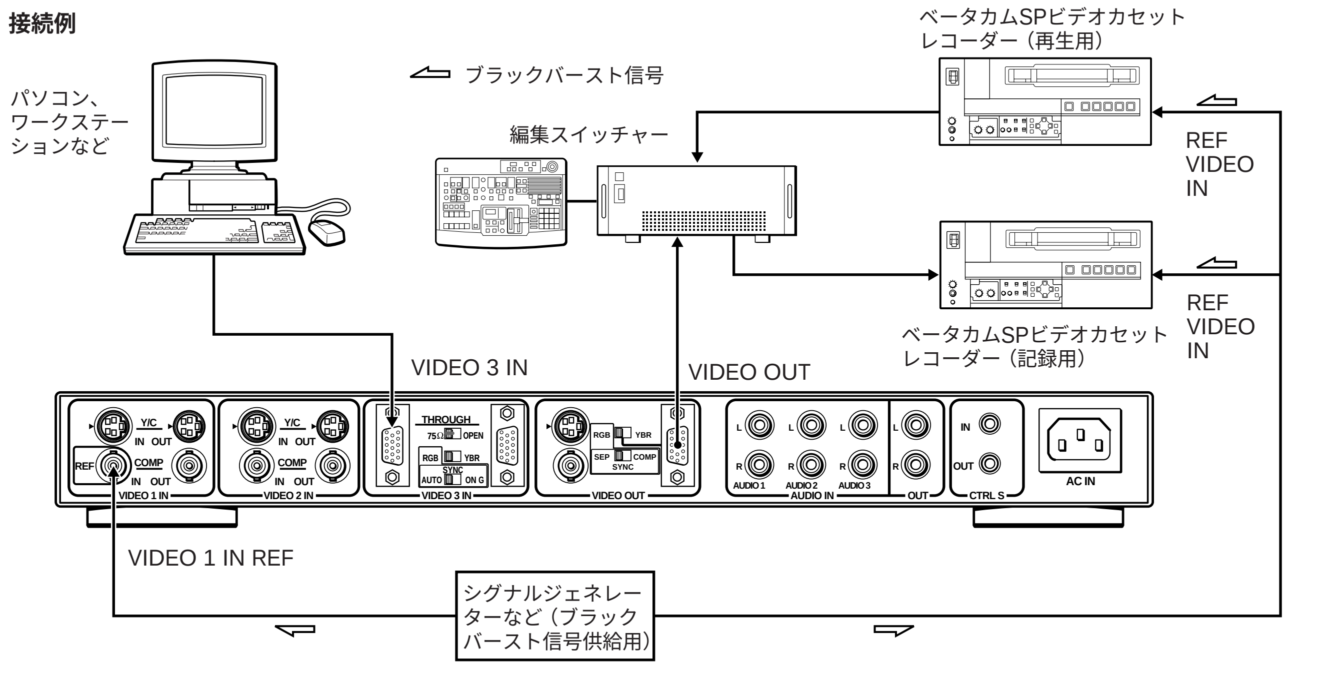
入力信号レベルが過大の場合

OVERFLOWインジケーターが点灯します。この場合、まず裏面のVIDEO 3端子部の75Ω/OPEN切換スイッチとRGB/YBR入力切換スイッチの設定を確認してください。スイッチ設定が合っていてもOVERFLOWインジケーターが点灯する場合は、CONTRAST–ボタンを押して調整してください。

工場出荷時のコントラスト、色相、色の濃さに戻すには

MENU 1画面のCOLOR RESETを使います。15ページの「工場出荷時の設定値に戻すには」をご覧ください。

ゲンロック機能を使う



本機から出力する信号がNTSCまたはPAL信号のとき、シグナルジェネレーターなどから入力したブラックバースト信号を基準信号として、出力信号の同期をとることができます。これをゲンロック機能といいます。

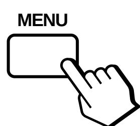
ゲンロック機能を使うと、複数のソースから編集を行うときなど、信号のずれのないスムーズな編集ができます。

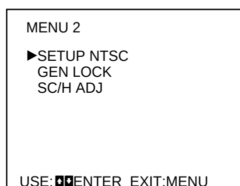
ゲンロック機能を使うには

1 **編集機またはシグナルジェネレーターから、出力信号のフォーマット（NTSCまたはPAL）に合った基準信号をVIDEO 1 IN REF端子に入力する。**

2 **MENUボタンを2回押す。**

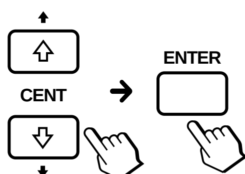
MENU2画面（メインメニューの2ページ目）が表示されます。

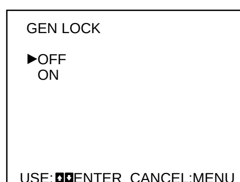




3 **CENT⇧/⇩ボタンを押して▶をGENLOCKに合わせ、ENTERボタンを押す。**

GENLOCK画面が表示されます。





4 **CENT⇧/⇩ボタンを押して、▶をONに合わせ、ENTERボタンを押す。**

本機の出力信号にゲンロックがかかります。本機前面のGEN-LOCKインジケーターが点灯します。

本機の電源を入れたとき、または入力を切り換えたとき、画面に「GENLOCK MODE」と表示されます。

VIDEO2
GEN LOCK MODE

31.5k ▶ NTSC

ゲンロック機能を解除するには

上記の手順を繰り返し、手順4でGENLOCKをOFFにします。本機前面のGEN-LOCKインジケーターが消えます。

ご注意

- 基準信号が入力されていないときにGENLOCK画面を選ぶと、画面に「NO REFERENCE」と表示されます。
- 基準信号のフォーマットが出力フォーマットと合っていないと、画面に「WRONG REFERENCE」と表示されます。
- 編集の用途で使う場合は、RGB/コンポーネント出力をおすすめします。コンポジット出力を利用する場合は、リファレンス信号に対する位相調整のため、フレームシンクロナイザーが別途必要になることがあります。
出力信号のSC/H（Subcarrier to Horizontal）調整については、20ページをご覧ください。

主な仕様

入力信号

VIDEO 1 IN　コンポジットビデオ/リファレンス入力
BNC型×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
ブラックバースト信号*（ゲンロック機能を働かせるとき）
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
Y: 1 Vp-p、同期負
C: 0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）

VIDEO 2 IN　コンポジットビデオ
BNC型×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
Y: 1 Vp-p、同期負
C: 0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）

VIDEO 3 IN　RGB/コンポーネント
3列Dサブ15ピン×2（ループスルー）、75Ω/ハイインピーダンス
R/G/B: 0.714 Vp-p（Sync on G可）
H/Vまたはコンポジット同期1〜5 Vp-p
Y/R-Y/B-Y: 0.7 Vp-p（NTSC/PAL、Sync on Y）

AUDIO IN 1, 2, 3 (L/R)
ピンジャック、10 kΩ以上、最大0 dBs (1 Vrms)

出力信号

VIDEO OUT　コンポジットビデオ
BNC型、75Ω
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN、75Ω
Y: 1 Vp-p、同期負
C: 0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）
RGB/コンポーネント
3列 Dサブ15ピン、75Ω
R/G/B: 0.714 Vp-p 、外部同期付き
H/Vまたはコンポジット同期、TTL負極性
Y/R-Y/B-Y: 0.7 Vp-p、Sync on Y付き

AUDIO OUT (L/R)
ピンジャック
音声利得：±1.0 dB
総合ひずみ率：1 %以下、1 Vrms

解像度変換

入力信号範囲　水平周波数：15.6 〜70 kHz
垂直周波数： 50 〜 120 Hz
プリセット信号　入力：10フォーマット
出力：6フォーマット
ゲンロック出力：NTSC/PAL
（詳細は23ページ参照）
映像メモリー　1152×1152×24 ビット（RGB全体）
サンプリング周波数
14.3 〜 40 MHz（位相オフセット時80 MHz相当）
出力ピクセルクロック
14.3 〜 50 MHz

一般

電源　AC 100 〜 120 V、50/60 Hz、0.4 A
AC 200 〜 240 V、50 〜 60 Hz、0.25 A
消費電力　30 W 最大（動作時）
3 W（電源切）
動作温度　0 〜 35℃
最大外形寸法　424×44×354 mm（幅/高さ/奥行き）
ハンドルブラケットと足を除く
質量　約4.1 kg
付属品　電源コード (1)
信号ケーブル (1)
取扱説明書 (1)
安全のために (1)

別売りアクセサリー

マウンティングブラケットキット MB-510
接続ケーブルSMF-400：Dサブ15ピン (オス）←→ BNC
接続ケーブル SMF-401：Dサブ15ピン (オス）←→サブ15ピン (オス）
リモコン RM-854、RM-1271、RM-PJ1292、RM-PJ350

＊ゲンロックについて
基準となるリファレンス信号は、SMPTE170M（NTSC）またはITU-R624（PAL）に適合したものを入力してください。

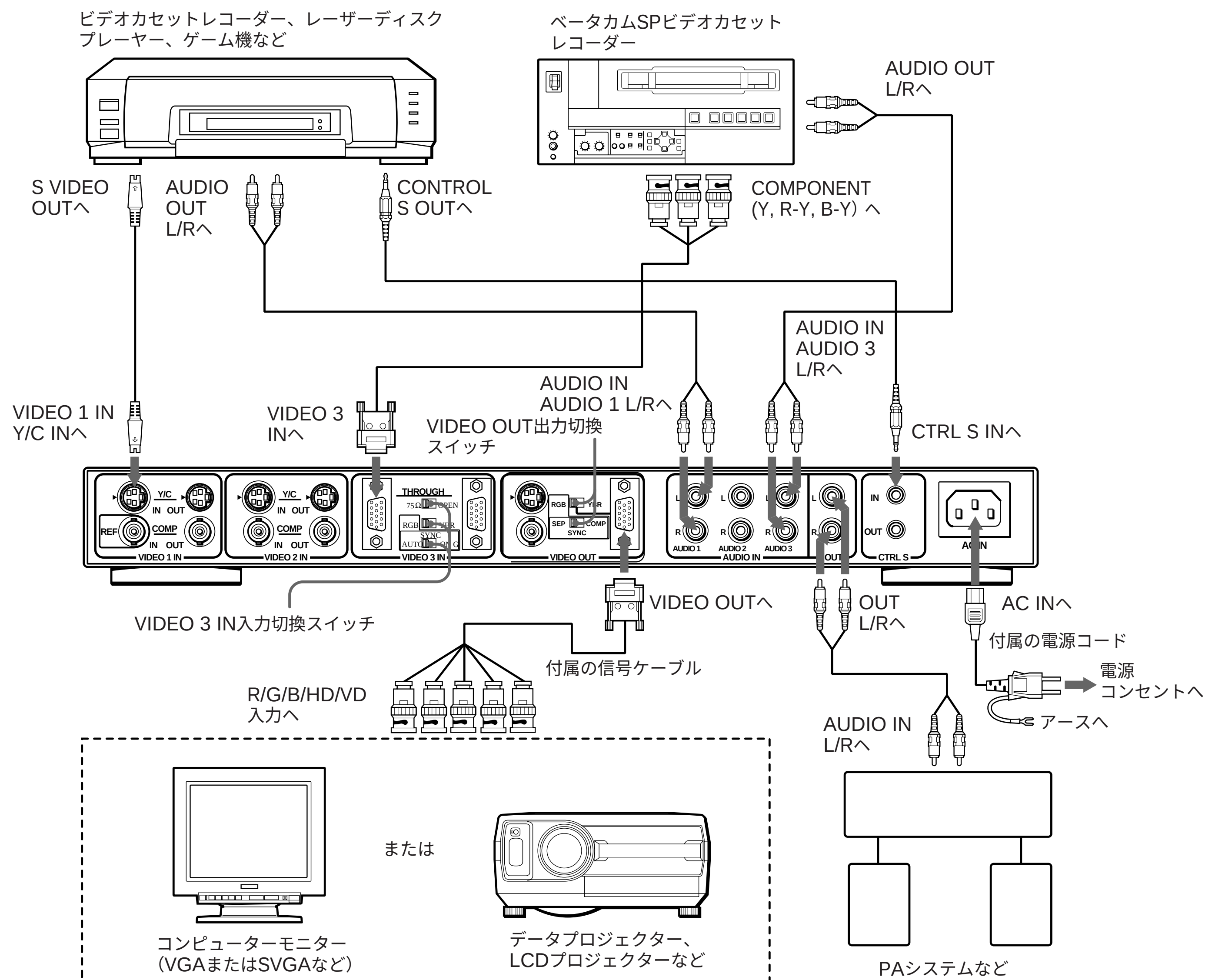
接続のしかた

接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグのアース線は、必ずアースに接続してお使いください。
- 接続の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

アップコンバートの接続例

走査線数の少ない映像信号を、高い走査線数に変換して出力する場合の接続例です。



VIDEO OUT出力切換スイッチの設定

- コンピューターモニター、データプロジェクター、LCDプロジェクターを接続したときは、RGB/YBR出力切換スイッチをRGBに設定してください。
- SYNC切換スイッチは、接続する機器に合わせて、SEP（HD、VD同期）またはCOMP（コンポジット同期）に設定してください。

ベータカムSPビデオカセットレコーダーをVIDEO 3 IN入力へ接続するときは

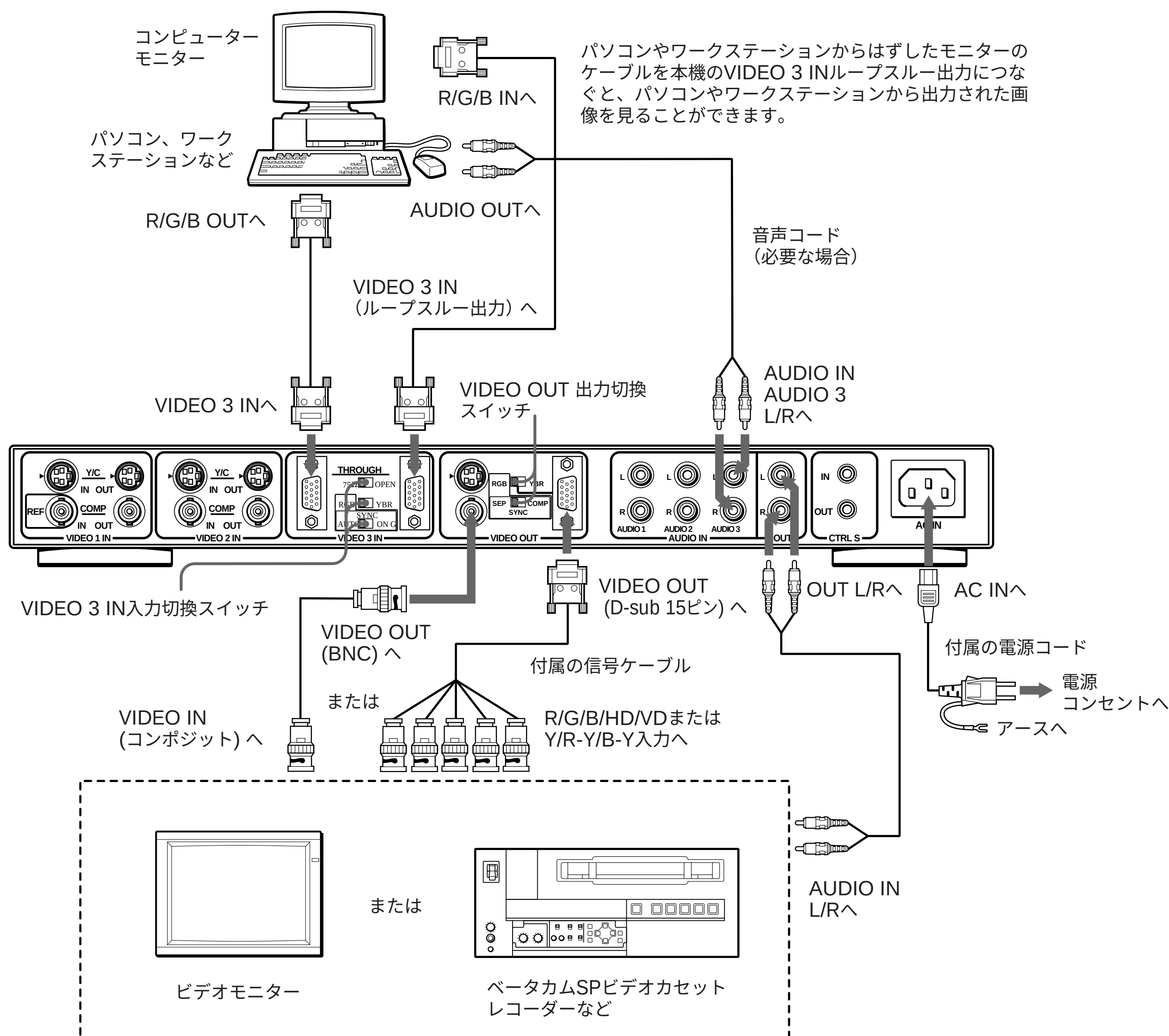
VIDEO 3 IN入力切換スイッチを次のように設定してください。

- 終端 (75Ω/OPEN) スイッチ → 75Ω
- RGB/YBR入力切換スイッチ →YBR
- SYNC切換スイッチ → AUTO

また、信号ケーブルは、赤のプラグをベータカムのR-Y端子へ、緑のプラグをY端子へ、青のプラグをB-Y端子へ接続してください。残りのプラグがある場合は、接続しないでください。

ダウンコンバートの接続例

走査線数の多い映像信号を、少ない走査線数に変換して出力する場合の接続例です。



VIDEO OUT出力切換スイッチの設定

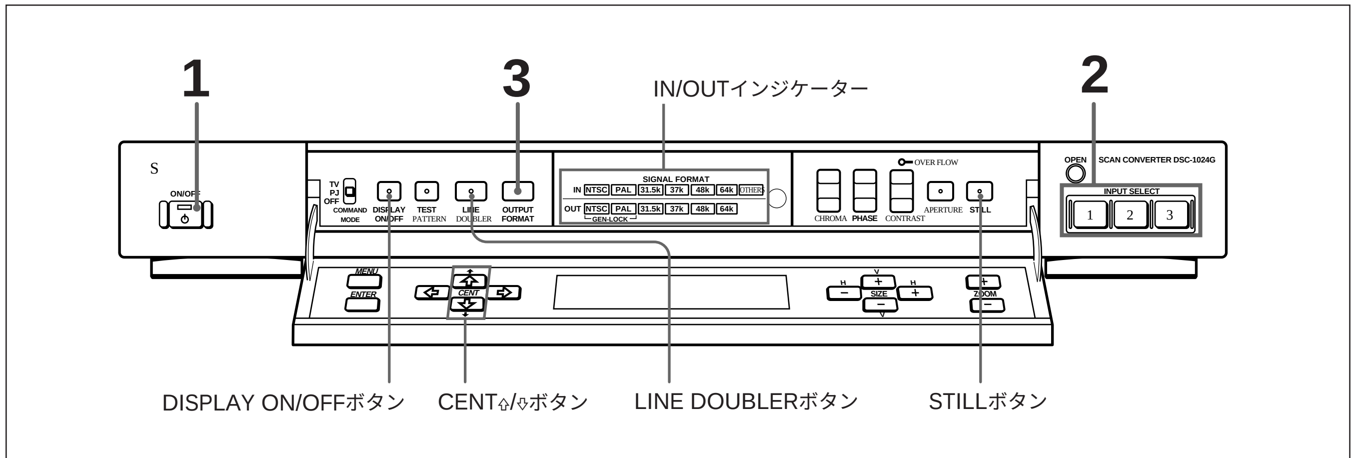
- ビデオモニターやビデオプロジェクターを接続したときは、RGB/YBR出力切換スイッチをRGBに設定してください。ベータカムSPビデオカセットレコーダーを接続したときは、YBRに設定してください。
- SYNC切換スイッチは、接続する機器に合わせて、SEP（HD、VD同期）またはCOMP（コンポジット同期）に設定してください。

コンピューターモニターをVIDEO 3 INループスルー出力へ接続するときは

VIDEO 3 IN入力切換スイッチを次のように設定してください。

- 終端 (75Ω/OPEN) スイッチ → OPEN
- RGB/YBR入力切換スイッチ → RGB
- SYNC切換スイッチ → 接続する機器に合わせてAUTOまたはON Gに設定してください。
  MacintoshやSilicon Graphics Inc.のコンピューターの場合はON Gにします。

変換した画像を見る

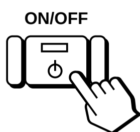


準備

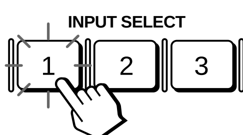
- 接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- 操作の状態を画面に表示させたいときは、DISPLAY ON/OFFボタンのインジケーターが点灯していることを確認します。もし点灯していないときは、DISPLAY ON/OFFボタンを押します。
- 画面表示を英語以外の言語にしたいときは、20ページをご覧ください。

画像を変換する

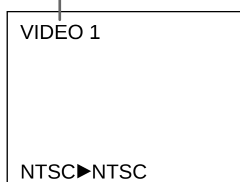
1 ON/OFF**スイッチを押す。**
ON/OFFスイッチのインジケーターとINPUT SELECTボタンが3つとも点灯します。



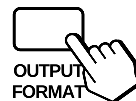
2 **変換したい信号が接続されている入力端子を**INPUT SELECT**ボタンで選ぶ。**
押したボタンが他のボタンより明るく点灯します。また、選んだ入力信号のフォーマットを示すINインジケーターが点灯します（23ページ参照）。

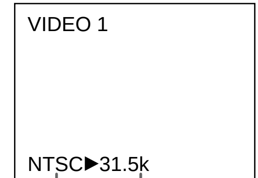


選んだ入力



3 OUTPUT FORMAT**ボタンを繰り返し押して、変換して出力したい信号のフォーマットを選ぶ。**
選んだ信号フォーマットを示すOUTインジケーターが点灯します。ボタンから手を離すと2、3秒後に信号が切り換わります。
各出力信号のフォーマットについては、23ページをご覧ください。





入力信号のフォーマット　出力信号のフォーマット

ラインダブラーで見る

本機のラインダブラー機能を使うと、NTSCまたはPAL方式の信号をデジタル補間して、高密度の走査線を持つ信号として出力することができます。出力信号は、ノンインターレース方式で水平走査周波数が31.5 kHz、垂直走査周波数は入力信号に同期します。
この機能では、フィールドごとに垂直方向に情報を補間しながら走査線数を2倍に変換するため、動きの早い映像も自然な高精細映像として再現することができます。

- ラインダブラーで変換した信号は、RGB/コンポーネント出力端子からRGB形式で出力されます。
- ラインダブラー機能は、入力1、2、3の各入力のそれぞれに使用することができます。

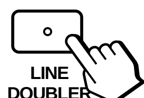
ラインダブラーを使うには

1 OUTPUT FORMAT**ボタンを押して出力フォーマットを**31.5k**にする。**

2 NTSC**または**PAL**方式の入力ソースを再生し、**INPUT SELECT**ボタンを押して入力を選ぶ。**

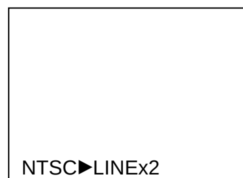
3 LINE DOUBLER**ボタンを押す。**

LINE DOUBLERボタンのインジケーターが点灯します。
OUTインジケーターは、入力信号に応じて、NTSCと31.5k またはPALと31.5kが点灯します。



入力ソースがNTSCのとき

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

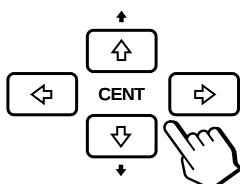


入力ソースがPALのとき

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK



4 CENT⇧/⇩/⇦/⇨**ボタンを押して、画像の位置を調整する。**





ラインダブラーを解除するには

もう1回LINE DOUBLERボタンを押してボタンのインジケーターを消します。出力フォーマットが31.5kに戻ります。

ご注意

- 入力信号のフォーマットがNTSCまたはPAL以外のとき、または出力フォーマットが31.5k以外のときにLINE DOUBLERボタンを押すと、画面に「NOT APPLICABLE」と表示され、LINE DOUBLERボタンは働きません。
- ラインダブラーが働いているときは、ZOOM、SIZE、APERTURE、TEST PATTERNボタンは働きません。
- ラインダブラーが働いているときは、画像サイズは入力映像と同サイズに固定されます。
- ラインダブラー機能を使用するときは、TBC（タイムベースコレクター）付きの入力ソース機器をおすすめします。TBCのかかっていない信号をラインダブラーで変換してマルチスキャンモニターに映すと、同期の乱れにより映像が消えることがあります。

静止画像を見る

動画を見ているとき画像を静止させるには、STILLボタンを押してモニター画面のSTILLを「ON」にします。STILLボタンのインジケーターも点灯します。



STILL ▶ON OFF

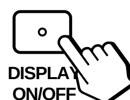
動画に戻すには、もう1回STILLボタンを押して、STILLを「OFF」にします。

ご注意

静止画モードのときは、ON/OFFスイッチ、 INPUT SELECTボタン、OUTPUT FORMATボタン、LINE DOUBLERボタン、TEST PATTERNボタン、MENUボタン、ENTERボタン、CENT⇧/⇩ボタンのみ働きます。これ以外のボタンを押すと、画面に「NOT APPLICABLE」と表示されます。

画面の機能表示を消す

DISPLAY ON/OFFボタンのインジケーターが点灯しているときは、本機の操作をするたびにモニター画面に2、3秒間、機能表示が出ます。（出荷時はこの設定です。）
画面に表示を出したくない場合は、DISPLAY ON/OFFボタンを押して、DISPLAYを「OFF」に設定します。

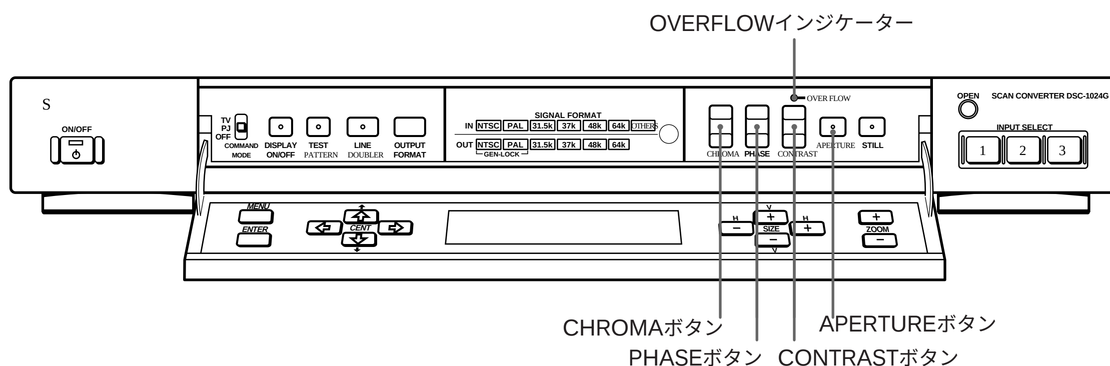


DISPLAY ON ▶OFF

ご注意

DISPLAYを「OFF」に設定しても、MENUボタンを押すとメインメニューが表示されます。

画像を調整する



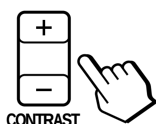
画像を見ながら、コントラスト、色相（フェーズ）、色の濃さ（クロマ）、鮮明度（アパーチャー）を調整することができます。入力1、2、3の各入力ごとに調整を行って、調整値をメモリーすることができます。

コントラスト、色相、色の濃さの調整

調整したい項目に応じて、CONTRAST、PHASE、CHROMA**ボタンの＋または－側を押す。**

画面に調整レベルが表示されます。

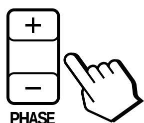
コントラスト





＋：　コントラストが強くなる
－：　コントラストが弱くなる

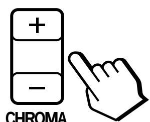
色相（フェーズ）





＋：　全体が緑がかる
－：　全体が紫がかる

色の濃さ（クロマ）





＋：　色が濃くなる
－：　色が薄くなる

ご注意

- 入力がRGB信号の場合、色相と色の濃さは調整できません。
- 入力がコンポーネント（Y/B-Y/R-Y）信号の場合、色相は調整できません。
- PAL方式の入力信号の場合、色相は調整できません。

上記の調整ボタンを押すと、画面に「NOT APPLICABLE」と表示されます。

鮮明度（アパーチャー）の調整

くっきりした画像にするには、APERTUREボタンを押して画面のAPERTUREを「ON」にします。APERTUREボタンのインジケーターも点灯します。柔らかな画像にするには、もう1回APERTUREボタンを押してAPERTUREを「OFF」にします。

出荷時は、NTSCまたはPAL入力はAPERTURE「OFF」に、それ以外の入力はAPERTURE「ON」に設定されています。



APERTURE ▶ON OFF

ご注意

出力信号のフォーマットがNTSCやPALなどインターレース方式の場合、APERTUREを「OFF」にすると、画像の輪郭は多少ぼやけますがちらつき（フリッカー）が減少します。

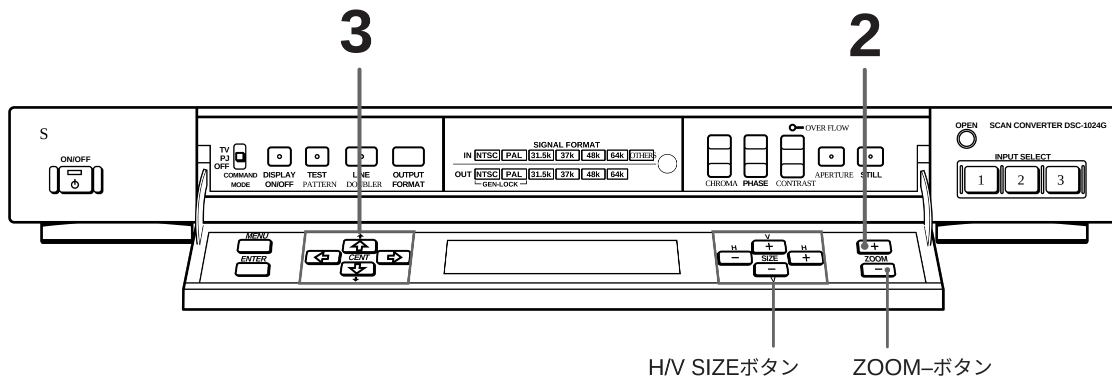
入力信号レベルが過大の場合

OVERFLOWインジケーターが点灯します。この場合、まず裏面のVIDEO 3端子部の75Ω/OPEN切換スイッチとRGB/YBR入力切換スイッチの設定を確認してください。スイッチ設定が合っていてもOVERFLOWインジケーターが点灯する場合は、CONTRAST–ボタンを押して調整してください。

工場出荷時のコントラスト、色相、色の濃さに戻すには

MENU 1画面のCOLOR RESETを使います。15ページの「工場出荷時の設定値に戻すには」をご覧ください。

画像を拡大したり、サイズを調整する

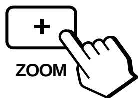


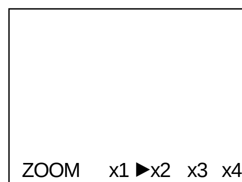
画像の大きさを2倍、3倍、4倍に拡大して表示することができます。
また、画像の大きさや位置がモニター画面やスクリーンに合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えることができます。
入力1、2、3の各入力ごとに調整を行うことができます。

画像を拡大する（ズーム機能）

1 画像を画面に出す。

2 ZOOM＋ボタンを押す。

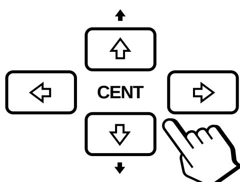


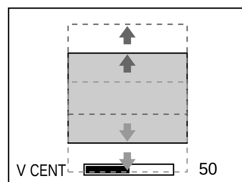


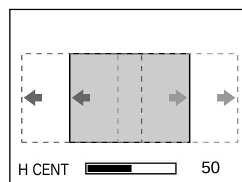
ZOOM＋ボタンを押すたびに、画像が2倍、3倍、4倍と拡大され、▶が設定された拡大率を示します。
拡大した画像を縮小するにはZOOM－ボタンを押します。

3 CENT⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを使って、拡大した画像の位置を調整する。

⇧/⇩：画像を上下に動かす（V CENT）
⇦/⇨：画像を左右に動かす（H CENT）





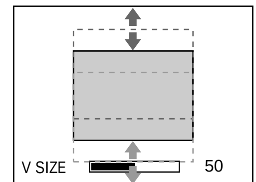


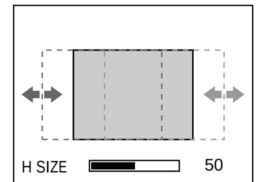
画像の位置は、画面上にバー表示と0〜100の調整値で示されます。 工場出荷時は50（標準位置）に設定されています。

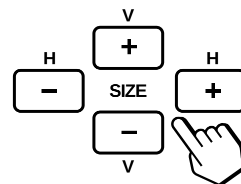
画像のサイズを変える

H/V SIZE +/− ボタンを押す。

V SIZE＋：垂直方向のサイズを大きくする
V SIZE－：垂直方向のサイズを小さくする
H SIZE＋：水平方向のサイズを大きくする
H SIZE－：水平方向のサイズを小さくする

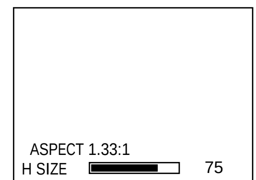






画像のサイズは、画面上にバー表示と0〜100の調整値で示されます。工場出荷時は50（標準位置）に設定されています（HDTV、64k入力を除く）。

アスペクト比の表示について
H/V SIZEボタンを使って画像のサイズを変更すると、変換後の映像部分のアスペクト比（十進法）が自動的に計算され、バー表示や調整値とともに画面上に表示されます。
例： 4 : 3は1.33 : 1と表示
16 : 9は1.78 : 1と表示

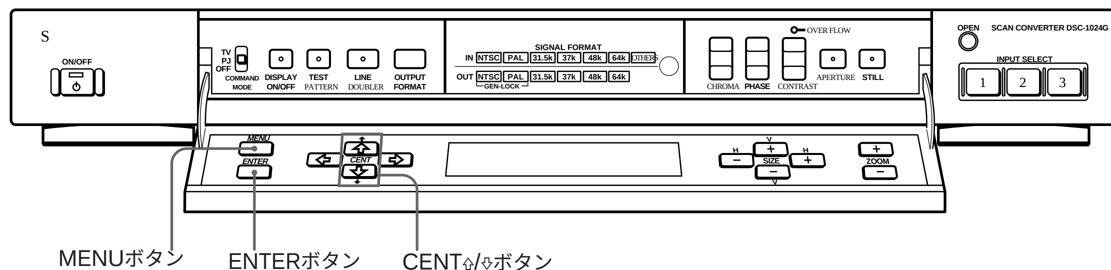


ご注意
アスペクト比が表示されるのは、プリセットされている信号が入力された場合だけです。プリセット信号については、23ページをご覧ください。

元の画像サイズと位置に戻すには

MENU 1画面のGEOM RESETを使います。15 ページの「工場出荷時の設定に戻すには」をご覧ください。

メモリーを使う

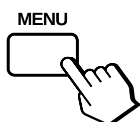


ある入力ソースからの映像がうまく表示されるように本機を調整したら、その調整値をメモリーに保存しておくことができます。入出力設定、ズーム設定、画像サイズと位置の調整値を5組、1〜5のメモリーに保存できます。
複数の調整状態をすばやく切り換えられるので便利です。

現在の調整状態をメモリーするには

1 必要に応じて画像を調整する。

2 MENUボタンを押す。
MENU1画面 (メインメニューの1ページ目) が表示されます。

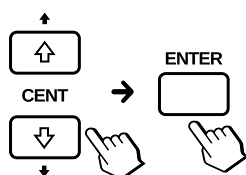



```
MENU 1

▶MEM LOAD
 MEM SAVE
 GEOM RESET
 COLOR RESET
 ALL RESET
 INDEX NO.
 LANGUAGE

USE:⇧⇩ENTER  NEXT:MENU
```

3 CENT⇧/⇩ボタンを押して▶をMEM SAVEに合わせ、ENTERボタンを押す。
MEM SAVE画面が表示されます。
現在の調整値が「CURRENT」の列（左列）に、メモリーに保存されているデータが右列に表示されます。
もしメモリーにデータが何も保存されていなければ「–」が表示されます。

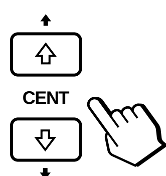


MEM SAVE	CURRENT	▶MEMORY1
INPUT	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
HSIZE	50	–
HCENT	50	–
VSIZE	50	–
VCENT	50	–
USE:⇧⇩ENTER	CANCEL:MENU	

現在の調整値

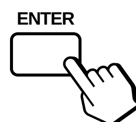
4 CENT⇧/⇩ボタンを繰り返し押して、希望のメモリー番号（1〜5）を画面に表示する。

メモリー番号



MEM SAVE	CURRENT	▶MEMORY3
INPUT	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
HSIZE	50	–
HCENT	50	–
VSIZE	50	–
VCENT	50	–
USE:⇧⇩ENTER	CANCEL:MENU	

5 ENTERボタンを押す。
現在の調整値が選んだメモリー番号に保存されます。
保存された調整値はメモリー番号の列（右列）に表示され、「CURRENT」の列には今までメモリーに入っていた調整値が表示されます。



MEM SAVE	CURRENT	▶MEMORY3
INPUT	VIDEO1	VIDEO1
SIGNAL	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
HSIZE	50	50
HCENT	50	50
VSIZE	50	50
VCENT	50	50
USE:⇧⇩ENTER	CANCEL:MENU	

メモリーされた現在の調整値

6 画面表示を消すには、MENUボタンを3回押す。

メモリーした調整値を呼び出すには

1 MENUボタンを押す。
MENU 1画面が表示されます。

2 CENT⇧/⇩ボタンを押して▶をMEM LOADに合わせ、ENTERボタンを押す。
MEM LOAD画面が表示されます。

MEM LOAD	MEMORY1	▶CURRENT
INPUT	VIDEO1	VIDEO2
SIGNAL	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
HSIZE	50	50
HCENT	50	80
VSIZE	50	60
VCENT	50	80
USE:⇧⇩ENTER	CANCEL:MENU	

3 CENT⇧/⇩ボタンを繰り返し押して、希望のメモリー番号（1〜5）を選び、ENTERボタンを押す。
保存されていた調整値が呼び出され、本機はこの調整値に設定されます。

4 操作を取り消すには、MENUボタンを2回押す。

メモリーした調整値をすばやく呼び出すには

リモコンを使います。16ページの「メモリーした調整値を呼び出すには」をご覧ください。

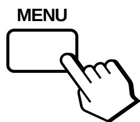
テスト信号を使う

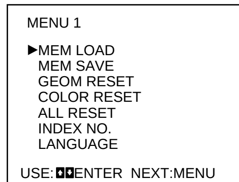
工場出荷時の設定値に戻すには

工場出荷時の設定に戻す方法には次の3種類があります。
操作のしかたは3種類とも同じです。

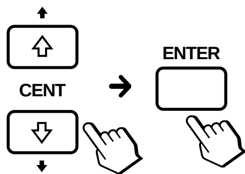
GEOM RESET： 表示されている信号のズーム設定、サイズ調整、位置調整値を工場出荷時に戻す
COLOR RESET：表示されている信号のコントラスト、色相、色の濃さを工場出荷時に戻す
ALL RESET： すべてのユーザー調整項目を工場出荷状態に戻すとともに、メモリーした内容を消去する

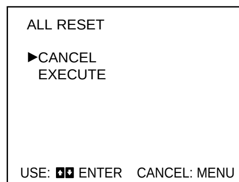
1 MENU**ボタンを押す。**
MENU1画面が表示されます。





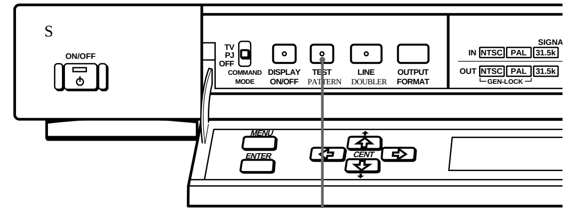
2 CENT⇧/⇩**ボタンを押して▶を**GEOM RESET**または** COLOR RESET、ALL RESET**に合わせ、**ENTER**ボタンを押す。**





3 CENT⇧/⇩**ボタンを押して▶を**EXECUTE**に合わせ、** ENTER**ボタンを押す。**
これで、工場出荷時の設定値に戻ります。

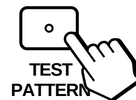
途中で操作を中止するには
上記の手順3でMENUボタンを押すか、または「CANCEL」を選んでENTERボタンを押します。



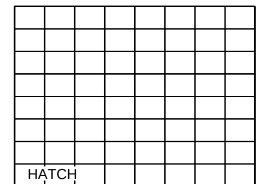
TEST PATTERNボタン

内蔵のテスト信号を表示して、モニターやプロジェクターの画面を調整することができます。

TEST PATTERN**ボタンを押す。**
TEST PATTERNボタンを押すたびに、テスト信号が次の順に画面に表示されます。
HATCH（ハッチ）➔ BOX (ボックス）➔ COLOR BAR (カラーバー）➔ GRAY SCALE（グレースケール）➔ OFF (入力信号を表示) ➔ HATCH ➔ ...



例：ハッチ信号

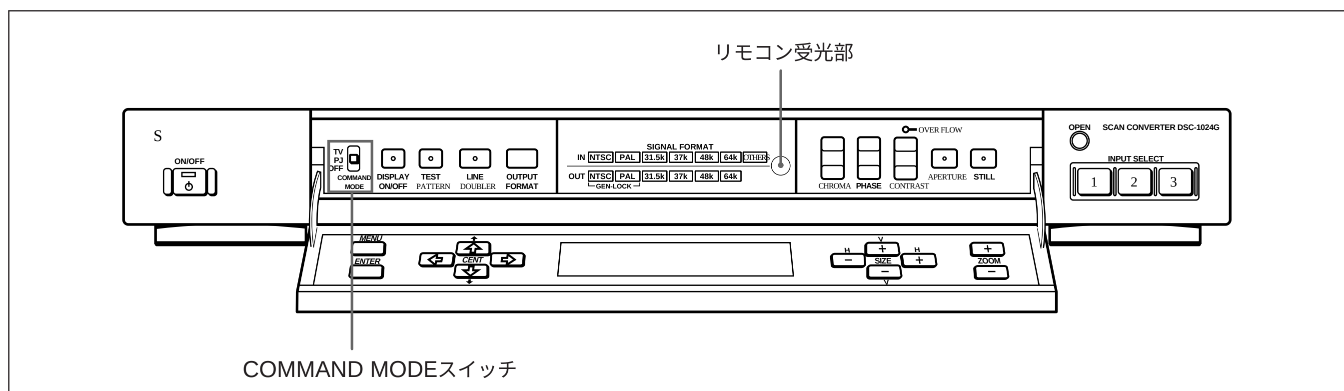


選んだテスト信号の名前が約3秒間画面に表示されます。

通常の画像に戻すには
TEST PATTERNボタンを繰り返し押して、テスト信号の表示が消えるところを選びます。
ON/OFFスイッチやINPUT SELECTボタン、OUTPUT FORMATボタンを押しても、テスト信号が消えて通常の画像に戻ります。

ご注意
テスト信号が表示されているときは、ON/OFFスイッチやINPUT SELECT、OUTPUT FORMAT、MENU、CENT ⇧/⇩ボタン以外のボタン類は働きません。

リモコンを使う



本機は、ソニーのビデオモニターやテレビ、プロジェクター用のリモコン（ワイヤードまたはワイヤレス）の信号を受けることができます。

リモコンの種類を設定するには

COMMAND MODEスイッチをリモコンの種類に合わせて切り換える。



TV：ソニーのビデオモニターやテレビ用のリモコンを使うとき
PJ：ソニーのプロジェクター用のリモコンを使うとき
OFF：リモコンを使わないとき（誤動作を防ぎます）

操作できるリモコンの機能

リモコンを使って次の操作ができます。

- 電源の入/切
- 入力切換
- 画像調整（コントラスト、色相、色の濃さ）
- 画面表示の入/切（ビデオモニターとテレビのリモコンのみ）
- メニュー操作（右欄参照）
- メモリー呼び出し（右欄参照）

操作できる機能とそれぞれの操作に使うボタンはリモコンによって異なります。下記の表でご確認ください。

メモリーした調整値を呼び出すには

1 リモコンのボタンを7、7、7、ENTERの順に1秒くらいの間隔で続けて押す。
画面に「MEMORY LOAD READY」と表示されます。

2 呼び出したいメモリー番号（1〜5）の数字ボタンを押す。
本機は、選んだメモリー番号に保存されていた調整値に設定されます。

操作を解除するには

リモコンのボタンを0、0、0、ENTERの順に1秒くらいの間隔で続けて押します。画面に「MEMORY LOAD EXIT」と表示され、メモリー呼び出しが解除されます。
メモリー呼び出しは電源を切っても解除されます。

ご注意

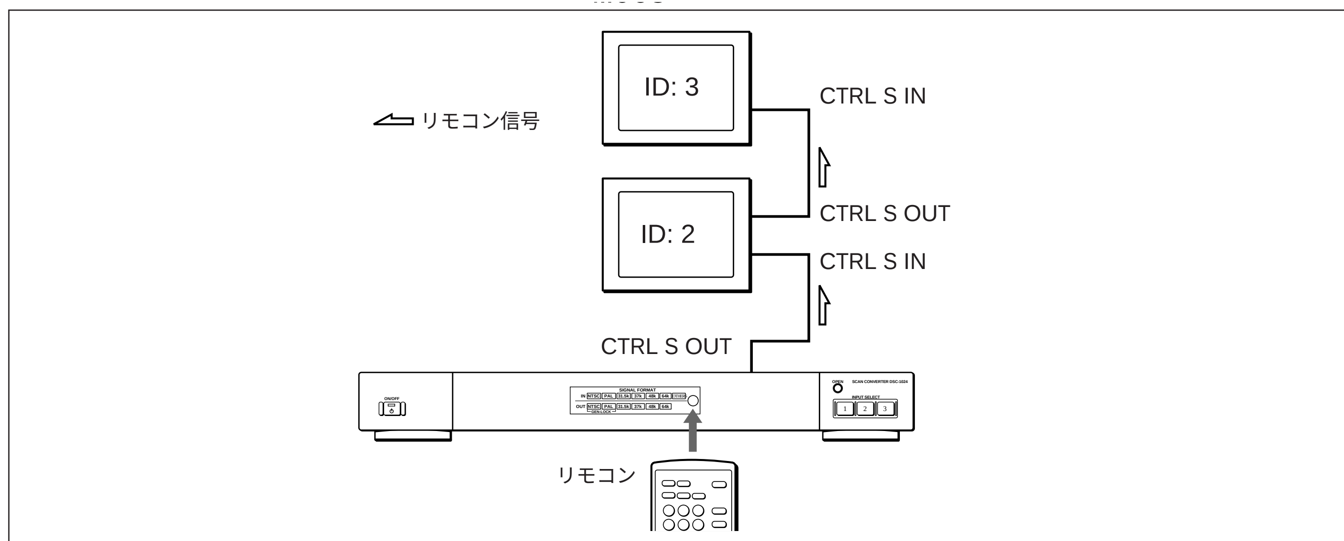
リモコンのボタンを7、7、7、ENTERまたは0、0、0、ENTERと押すときは、必ず1秒くらいの間隔で押してください。3秒以上間隔があくとキャンセルされます。この場合はもう一度初めから押し直してください。

リモコンを使ったメニュー操作

リモコンのボタンを使うと、本体とは異なるメニュー画面で操作できます。リモコンのメニューボタン（MENU、PAGE、⬅）を1回押すとGEOM MENUが、2回押すとCOLOR MENUが現われます。調整したい項目を⬆または⬇ボタンで選び、リモコンのエンターボタン（ENTER、➡、M SEL）を押します。選んだ調整画面に入りますので、⬆/⬇ボタンを押して調整を行います。

リモコンの型名		RM-854	RM-1271	RM-PJ1292	RM-PJ350	RM-PJC520
COMMAND MODE**スイッチの位置**		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
入力切換	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
メニュー操作	MENU	MENU	PAGE または ⬅	PAGE または ⬅	PAGE または ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
画像の調整	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

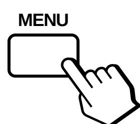
特定の機器だけをリモコンで操作する

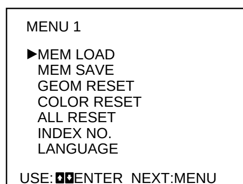


複数のソニー機器をCTRL S端子を通して接続し、1台のリモコンでコントロールするとき、本機およびリモコンでインデックスナンバーを指定すると、特定の機器だけをリモコンで操作することができます。
各機器にインデックスナンバーを設定しておくことが必要です。設定のしかたは各機器の説明書をご覧ください。
ここでは、リモコンRM-854の場合を例として説明します。

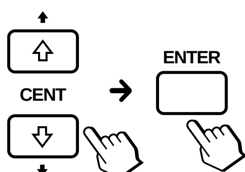
本機でインデックスナンバーを指定するには

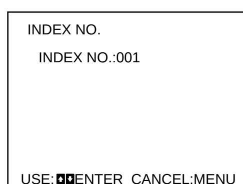
1 本機のMENUボタンを1回押す。
MENU1画面が表示されます。





2 本機のCENT⇧/⇩ボタンを押して▶をINDEX NO.に合わせ、ENTERボタンを押す。
INDEX NO.が画面に表示されます。



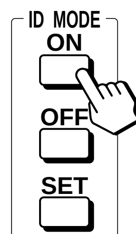


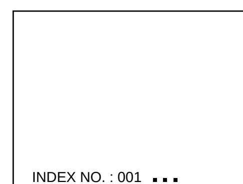
3 本機のCENT⇧/⇩ボタンを繰り返し押して、コントロールしたい機器のインデックスナンバーを画面に表示し、ENTERボタンを押す。

4 画面表示を消すには、本機のMENUボタンを3回押す。

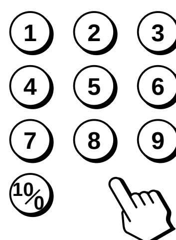
選んだ機器をリモコンで操作するには

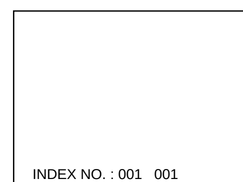
1 リモコンのID MODE ONボタンを押す。
各機器のインデックスナンバーが画面に表示されます。



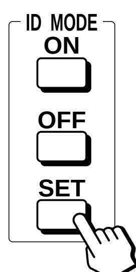


2 リモコンの数字ボタンで、操作したい機器のインデックスナンバーを入力する。
各機器のインデックスナンバーの右に、入力した数字が表示されます。



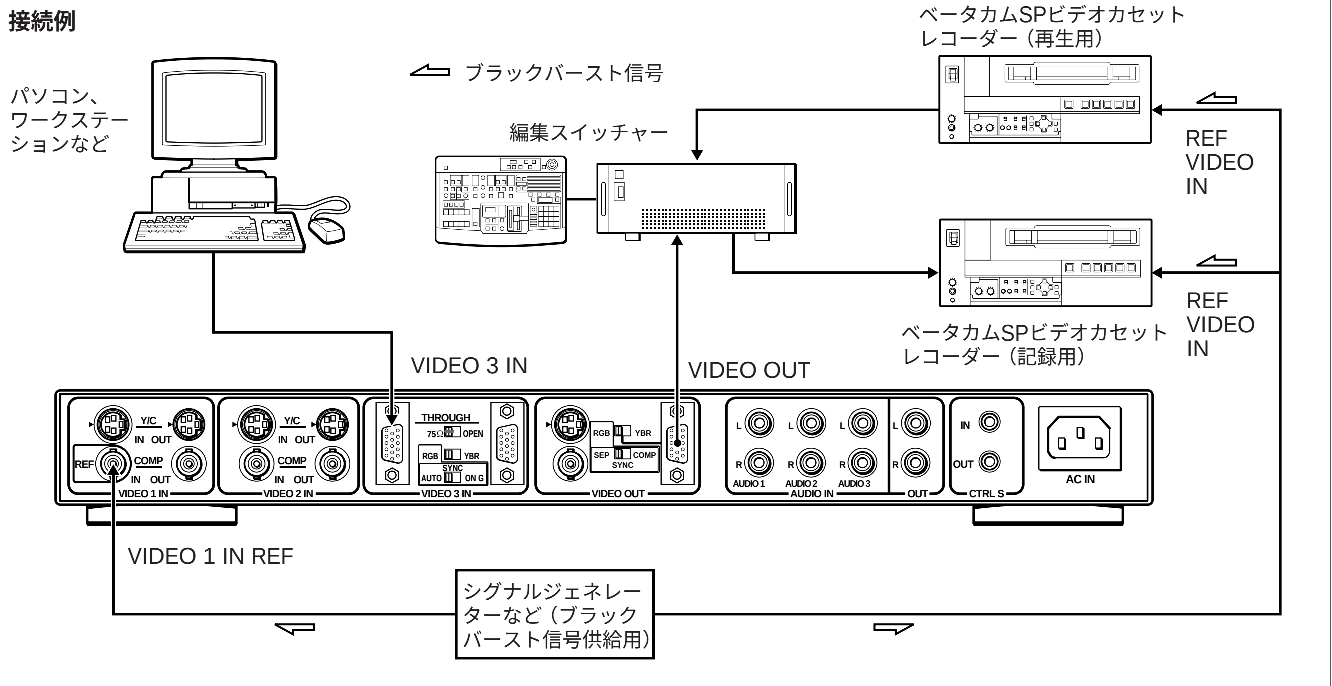


3 ID MODE SETボタンを押す。
選んだ機器の画面の文字が青色に変わり、その他の機器は赤色に変わります。



これで特定の機器のみをリモコンで操作できます。（電源の入/切を除くすべての操作が可能です。）

ゲンロック機能を使う

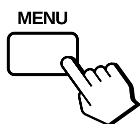


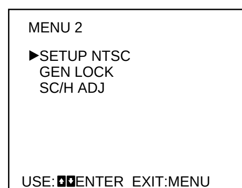
本機から出力する信号がNTSCまたはPAL信号のとき、シグナルジェネレーターなどから入力したブラックバースト信号を基準信号として、出力信号の同期をとることができます。これをゲンロック機能といいます。
ゲンロック機能を使うと、複数のソースから編集を行うときなど、信号のずれのないスムーズな編集ができます。

ゲンロック機能を使うには

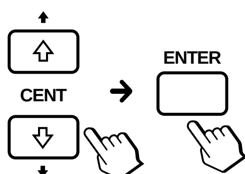
1 **編集機またはシグナルジェネレーターから、出力信号のフォーマット（NTSCまたはPAL）に合った基準信号をVIDEO 1 IN REF端子に入力する。**

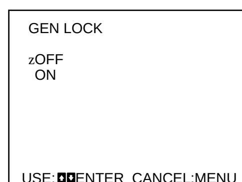
2 **MENUボタンを2回押す。**
MENU2画面（メインメニューの2ページ目）が表示されます。





3 **CENT⇧/⇩ボタンを押して▶をGENLOCKに合わせ、ENTERボタンを押す。**
GENLOCK画面が表示されます。





4 **CENT⇧/⇩ボタンを押して、▶をONに合わせ、ENTERボタンを押す。**
本機の出力信号にゲンロックがかかります。本機前面のGEN-LOCKインジケーターが点灯します。

本機の電源を入れたとき、または入力を切り換えたとき、画面に「GENLOCK MODE」と表示されます。

VIDEO2 GEN LOCK MODE 31.5k z NTSC

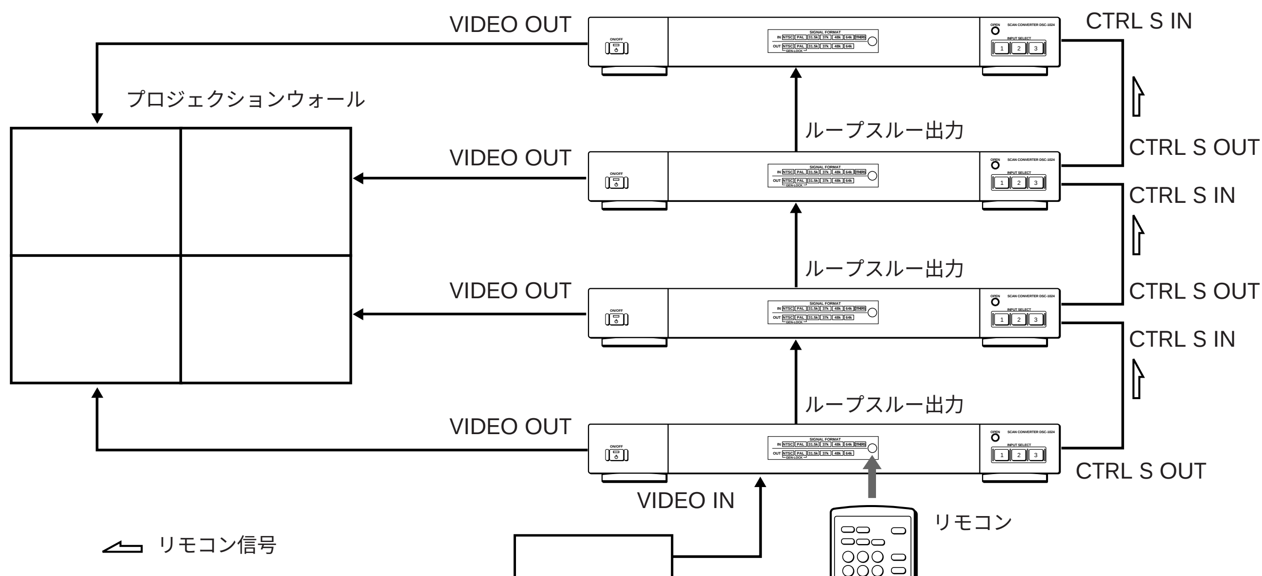
ゲンロック機能を解除するには

上記の手順を繰り返し、手順4でGENLOCKをOFFにします。本機前面のGEN-LOCKインジケーターが消えます。

ご注意

- 基準信号が入力されていないときにGENLOCK画面を選ぶと、画面に「NO REFERENCE」と表示されます。
- 基準信号のフォーマットが出力フォーマットと合っていないと、画面に「WRONG REFERENCE」と表示されます。
- 編集の用途で使う場合は、RGB/コンポーネント出力をおすすめします。コンポジット出力を利用する場合は、リファレンス信号に対する位相調整のため、フレームシンクロナイザーが別途必要になることがあります。
出力信号のSC/H（Subcarrier to Horizontal）調整については、20ページをご覧ください。

プロジェクションウォールを構成する



複数のプロジェクターを使ってプロジェクションウォールを構成する場合、上記の接続例のように本機を接続します。プロジェクター1台ごとに本機を1台用意します。
1枚の画像としてきちんとつながるように各プロジェクターの画像を調整し、本機各ユニットの同じメモリー番号に調整状態を保存しておくことにより、5種類の画像パターンを簡単に切り換えることができます。

画像の調整状態をメモリーするには

1 プロジェクターを調整する。
本機のテスト信号HATCH、COLOR BAR、GRAY SCALEを使って調整します。
テスト信号については15ページをご覧ください。

2 本機で各画像を調整する。
プロジェクターの画面数に応じて、ズーム倍率を下記のように設定します。その後、H/V SIZEボタンとCENTボタンを使って1枚の画像になるように各画像を調整します。

画面数	ズーム倍率
4 面	×2
9 面	×3
16 面	×4

ズームとサイズの調整のしかたは13ページをご覧ください。

3 本機のメモリーに調整状態を保存する。
各ユニットとも同じメモリー番号に保存します。
保存のしかたは、14ページの「現在の調整状態をメモリーするには」をご覧ください。

4 別のパターンの画像についても、1〜3の手順で調整状態を保存する。
メモリー番号1〜5に最大5種類のパターンの調整状態が保存できます。

画像を表示するには

操作に使うリモコンのボタンはリモコンによって異なります。詳しくは、16ページの表をご覧ください。

1 リモコンのボタンを7、7、7、ENTERの順に1秒位の間隔で続けて押す。
各プロジェクターの画面に「MEMORY LOAD READY」と表示されます。

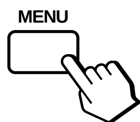
2 表示する画像パターンの調整状態を保存したメモリー番号の数字ボタンを押す。
各プロジェクターの画像がメモリーに入っていた調整値に設定され、1枚の画像としてきちんとつながります。

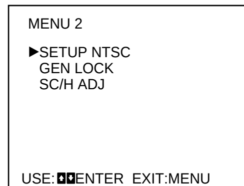
3 別のパターンの画像に切り換えるときは、そのメモリー番号を押す。

セットアップレベルを選ぶ

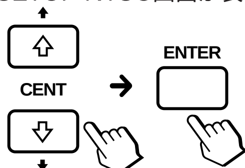
NTSC信号を出力するとき、出力信号の黒レベル (セットアップレベル) を変えることができます。
工場出荷時は0 (IRE) に設定されています。出力画像が暗いときは7.5 (IRE) にします。

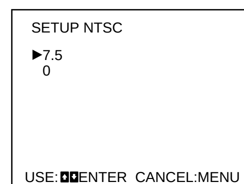
1 MENU**ボタンを**2**回押す。**
MENU2画面が表示されます。





2 CENT⇧/⇩**ボタンを押して▶を**SETUP NTSC**に合わせ、**ENTER**ボタンを押す。**
SETUP NTSC画面が表示されます。





3 CENT⇧/⇩**ボタンを押して、「**7.5**」または「**0**」を選び、**ENTER**ボタンを押す。**

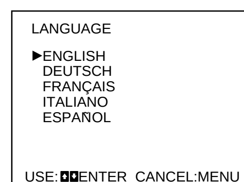
4 **画面表示を消すには、**MENU**ボタンを**2**回押す。**

画面表示の言語を選ぶ

画面表示に使う言語を、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語の5つの言語の中から選ぶことができます。

1 MENU**ボタンを**1**回押す。**
MENU1画面が表示されます。

2 CENT⇧/⇩**ボタンを押して▶を**LANGUAGE**に合わせ、**ENTER**ボタンを押す。**
LANGUAGEメニューが画面に表示されます。



3 CENT⇧/⇩**ボタンを繰り返し押して、希望の言語を選び、**ENTER**ボタンを押す。**

4 **画面表示を消すには、**MENU**ボタンを**3**回押す。**

サブキャリア位相 (SC/H) を調整する

コンポジットビデオ出力信号をビデオ編集したりVTRへ記録したりする場合、サブキャリア位相 (SC/H) を調整する必要があります。
この調整を行うときは、専用の測定器をご用意ください。

1 MENU**ボタンを**2**回押す。**
MENU2画面が表示されます。

2 CENT⇧/⇩**ボタンを押して▶を**SC/H ADJ**に合わせ、**ENTER**ボタンを押す。**
画面に調整値が表示されます。



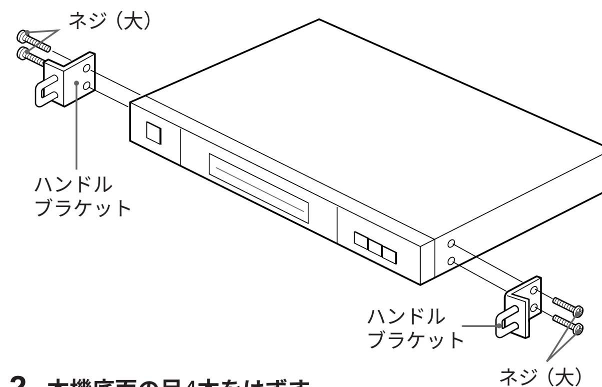
3 CENT⇧/⇩**ボタンを押して**SC/H**値を調整する。**

4 **画面表示を消すには、**MENU**ボタンを**2**回押す。**

ラックに設置する

別売りのマウンティングブラケットキットMB-510を使うと、本機をEIA規格の19インチラックに設置することができます。

1 **キットに付属の4本のネジ (大) を使ってハンドルブラケットを取り付ける。**



2 **本機底面の足4本をはずす。**

3 **本機を19インチラックに取り付ける。**

ご注意
持ち運ぶときはハンドルブラケットを持たずに本機を持ってください。ハンドルブラケットを持つとはずれることがあります。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度次の点検を行ってください。
次の処置をしても直らない場合は、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

症状	チェックポイントと対策
画像が全く出ない	• ON/OFFスイッチのインジケーターが点灯していますか？ 消灯している場合は、電源コードの接続を確かめてからON/OFF スイッチを押します。 • モニターやプロジェクターの電源は入っていますか？ • モニターやプロジェクターなど出力装置に合ったOUTインジケーターが点灯していますか？(23ページ参照) • モニターやプロジェクターの接続は正しいですか？テスト信号を使って確かめてください。 • INPUT SELECTボタンの選択は正しいですか？ • 入力ソースの電源が入っていますか？再生は始まっていますか？ • INインジケーターのどれかが点灯していますか？ 点灯していない場合は、入力ソースの接続ケーブルを確認してください。 VIDEO 3 IN入力端子を使用している場合は、SYNC AUTO/ON G切換スイッチをAUTOにしてください。
同期映像が乱れる （同期が止まらない）	• VIDEO OUT端子部のD-sub 15ピン端子を使用している場合は、VIDEO OUT端子部のRGB/YBR切換スイッチとSYNC SEP/COMP切換スイッチの位置が正しいか確認してください。
色が緑がかっている	• VIDEO 3 IN入力端子にコンピューターを接続している場合は、SYNC AUTO/ON G切換スイッチをON Gにしてください。
色が紫がかっている	• VIDEO 3 IN入力端子にコンピューターを接続している場合は、RGB/YBR入力切換スイッチをRGBにしてください。
画像が大きすぎる	• SIZEボタンで画像サイズを調整してください。 • ZOOM –ボタンを押してズームサイズを x1にしてください。
リモコンが働かない	• COMMAND MODE切換スイッチの位置が、使用するリモコンの種類に合っているか確認してください。（16ページ参照） • 本機で使えるのは、ソニーのテレビまたはプロジェクター用のリモコンだけです。 • CTRL S IN端子にプラグが差し込まれているときは抜いてください。
リモコンが誤動作する	• COMMAND MODE切換スイッチをOFFにしてください。
POWERインジケーターが 点滅する	• 周囲の温度が高すぎませんか？内蔵の温度保護機能が働いたとき、POWERインジケーターが点滅します。 • 一度電源を切/入してみてください。それでもまだインジケーターが点滅しているときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 • 一度電源を切/入してからファンをチェックしてください。ファンが動かないときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
画面に「NOT APPLICABLE」 の表示が出る	• 現在の状態では使用できないボタンを押した場合にこの表示が出ます。
画面に「NO REFERENCE」 が表示され、前面のGEN-LOCK インジケーターが点滅する	• MENU2画面のGENLOCKがONのとき、VIDEO 1 IN端子にブラックバースト信号が入力されていないとこの表示が出ます。
画面に「WRONG REFERENCE」 が表示され、前面のGEN-LOCK インジケーターが点滅する	• MENU2画面のGENLOCKがONのとき、本機からの出力信号のフォーマット (NTSCかPAL）と入力されているブラックバースト信号のフォーマットが合っていないとこの表示が出ます。

主な仕様

入力信号

VIDEO 1 IN　コンポジットビデオ/リファレンス入力
BNC型×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
ブラックバースト信号*（ゲンロック機能を働かせるとき）
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
Y:　1 Vp-p、同期負
C:　0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）

VIDEO 2 IN　コンポジットビデオ
BNC型×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN×2（ループスルー）、75Ω（自動終端）
Y:　1 Vp-p、同期負
C:　0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）

VIDEO 3 IN　RGB/コンポーネント
3列Dサブ15ピン×2（ループスルー）、75Ω/ハイインピーダンス
R/G/B:　0.714 Vp-p（Sync on G可）
H/Vまたはコンポジット同期1〜5 Vp-p
Y/R-Y/B-Y:　0.7 Vp-p（NTSC/PAL、Sync on Y）

AUDIO IN 1, 2, 3 (L/R)
ピンジャック、10 kΩ以上、最大0 dBs (1 Vrms)

出力信号

VIDEO OUT　コンポジットビデオ
BNC型、75Ω
$NTSC_{3.58}$/$PAL_{4.43}$、1 Vp-p
Sビデオ（Y/C）
4ピンミニDIN、75Ω
Y:　1 Vp-p、同期負
C:　0.286 Vp-p（NTSC）/0.3 Vp-p（PAL）
RGB/コンポーネント
3列 Dサブ15ピン、75Ω
R/G/B:　0.714 Vp-p 、外部同期付き
H/Vまたはコンポジット同期、TTL負極性
Y/R-Y/B-Y:　0.7 Vp-p、Sync on Y付き

AUDIO OUT (L/R)
ピンジャック
音声利得：±1.0 dB
総合ひずみ率：1 %以下、1 Vrms

解像度変換

入力信号範囲　水平周波数：15.6 〜70 kHz
垂直周波数： 50 〜 120 Hz
プリセット信号　入力：10フォーマット
出力：6フォーマット
ゲンロック出力：NTSC/PAL
（詳細は23ページ参照）
映像メモリー　1152×1152×24 ビット（RGB全体）
サンプリング周波数
14.3 〜 40 MHz（位相オフセット時80 MHz相当）
出力ピクセルクロック
14.3 〜 50 MHz

一般

電源　AC 100 〜 120 V、50/60 Hz、0.4 A
AC 200 〜 240 V、50 〜 60 Hz、0.25 A
消費電力　30 W 最大（動作時）
3 W（電源切）
動作温度　0 〜 35℃
最大外形寸法　424×44×354 mm（幅/高さ/奥行き）
ハンドルブラケットと足を除く
質量　約4.1 kg
付属品　電源コード (1)
信号ケーブル (1)
取扱説明書 (1)
安全のために (1)

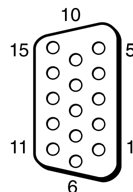
別売りアクセサリー

マウンティングブラケットキット MB-510
接続ケーブルSMF-400：Dサブ15ピン (オス) ←→ BNC
接続ケーブル SMF-401：Dサブ15ピン (オス) ←→サブ15ピン (オス)
リモコン RM-854、RM-1271、RM-PJ1292、RM-PJ350

＊ゲンロックについて
基準となるリファレンス信号は、SMPTE170M（NTSC）またはITU-R624（PAL）に適合したものを入力してください。

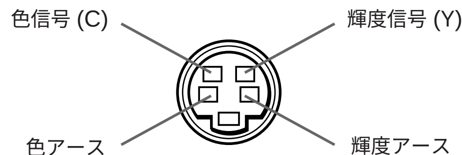
ピン配列

VIDEO 3 IN 端子（3列Dサブ15ピン）
VIDEO OUT 端子（3列Dサブ15ピン）



ピンNo.	信　号
1	赤映像信号またはR-Y信号
2	緑映像信号またはY信号
3	青映像信号またはB-Y信号
4	アース (GND)
5	アース (GND)
6	赤アース (GND)
7	緑アース (GND)
8	青アース (GND)
9	未使用
10	アース (GND)
11	アース (GND)
12	未使用
13	水平同期信号または複合同期信号
14	垂直同期信号
15	未使用

Y/C 映像入/出力端子（4ピンミニDIN）



プリセット信号

SIGNAL FORMATインジケーター		信号フォーマット		
IN	OUT	名　称	走査線数	走査周波数/フィールド周波数
NTSC	NTSC	NTSC	総数525本（インターレース）	15.73 kHz/59.94 Hz
PAL	PAL	PAL	総数625本（インターレース）	15.63 kHz/50.00 Hz
OTHERS	—	HDTV（日本）	総数1125本（インターレース）	33.75 kHz/59.94 Hz
31.5k	—	VGA Text	有効400本（ノンインターレース）	31.47 kHz/70.11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640×480	有効480本（ノンインターレース）	31.47 kHz/59.94 Hz
OTHERS	—	Mac 13” モード	有効480本（ノンインターレース）	35.00 kHz/66.67 Hz
37k	37k	VESA 800×600	有効600本（ノンインターレース）	37.88 kHz/60.32 Hz
OTHERS	—	Mac 16” モード	有効624本（ノンインターレース）	49.73 kHz/74.55 Hz
48k	48k	VESA 1024×768	有効768本（ノンインターレース）	48.36 kHz/60.00 Hz
64k	64k	VESA 1280×1024	有効1024本（ノンインターレース）	63.95 kHz/59.94 Hz

- すべての出力信号の垂直同期、水平同期の極性は負です。
- HDTVはRGB信号のみ受け付けます。YPBPR信号には対応しません。

VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
VGAとSVGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
Mac (Macintosh) はApple Computer, Incの登録商標です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お手入れ

キャビネットは柔らかい布でおふきください。キャビネットの汚れがひどいときは、水で5～6倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れをふきとります。このあと乾いた布でからぶきしてください。
シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げをいためたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。なお、お手入れのときは、必ず電源を切ってください。

ホコリは大敵
内部にホコリがたまると、故障や事故の原因になることがあります。いつも好調にお使いいただくため、年に一度くらいはお買い上げ店または担当セールスマンに内部の掃除、点検をご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ……………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月〜金
9:00〜20:00
土・日・祝日
9:00〜17:00

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Dangerously high voltages are present inside the unit. Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio / TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

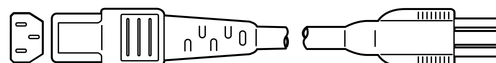
Cet appareil numérique de la class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

NOTICE
This notice is applicable for USA / Canada only.
If shipped to USA / Canada, install only a UL LISTED / CSA LABELLED power supply cord meeting the following specifications.
SPECIFICATIONS

Plug Type	Nema-Plug 5-15p
Cord	Type SVT or SJT, minimum 3 x 18 AWG
Length	Maximum 15 feet
Rating	Minimum 7A, 125V

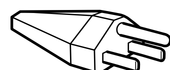
Cette notice s’applique aux Etats-Unis et au Canada uniquement.
Si cet appareil est exporté aux Etats-Unis ou au Canada, utiliser le cordon d’alimentation portant la mention UL LISTED / CSA LABELLED et remplissant les conditions suivantes:
SPECIFICATIONS

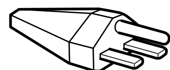
Type de fiche	Fiche Nema 5-15 broches
Cordon Type	SVT ou SJT, minimum 3 x 18 AWG
Longueur	Maximum 15 pieds
Tension	Minimum 7A, 125V

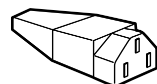


Warning on Power Connection

• Use a proper power cord for your local power supply.


115 Volts


230 Volts (not provided on standard cord set)


CEE-22 cord set, female end (all power cord sets)

	United States, Canada, Japan	Continental Europe	United Kingdom, Ireland	Australia, New Zealand
Plug type	NEMA S-15P	CEE 7 / VII (Schuko)	BS 1363	SAA AS 3112
Cord type	SJT	HAR (HO5VV-F3G1.0)	HAR (HO5VV-F3G1.0)	CDB03PLP
Minimum cord set rating	7 A / 125 V 3 x 18AWG	7 A / 250 V	7 A / 250 V	7 A / 250 V
Cord length	2 m ± 0.1m	2.5 m ± 0.1 m	2.5 m ± 0.1 m	2.5 m ± 0.1 m
Safety approval	UL / CSA	HAR	BSI, ASTA	Dept. of Energy of New South Wales

Autoranging usiversal power supply works anywhere; the unit self-adjusts if the appropriate power cord and plug for the local voltage are used.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

Precautions

On safety

- The nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat built-up. Do not place the unit on surface (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- If the internal temperature becomes high, the built-in thermal protector automatically functions to turn off the unit.

On application

This unit converts the scanning frequency and the scanning lines of the video signal. The unit does not recognize or communicate the information superimposed on the blanking signal, such as a copy guard signal or closed caption information.
A part of the information of the input signal may be lost in the conversion process.

On cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since these will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materias. They make an ideal container in which to transport the unit.
When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

Table of contents

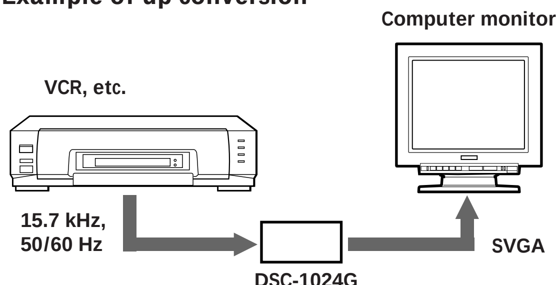
English

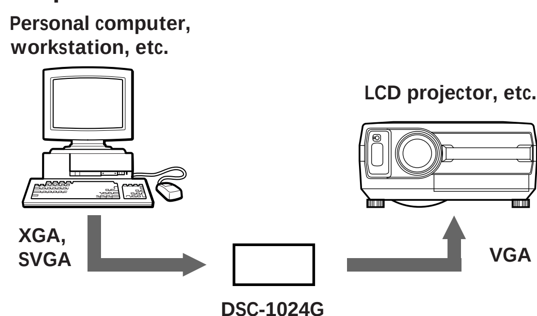
Features

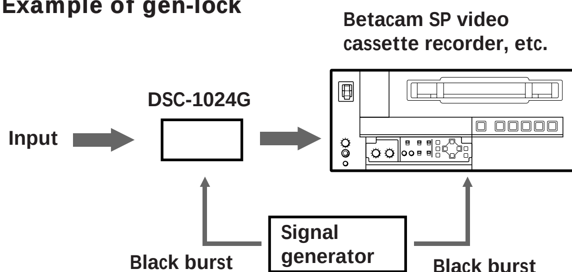
Thank you for purchasing the Sony Digital Scan Converter. Here are some of the features you'll enjoy with your converter:

Combination of Transcoder with Format Converter

The unit is capable of converting the video signal format among composite video, Y/C, component and RGB, and either up or down converting the scanning frequencies in the range of fH: 15 kHz - 70 kHz and fV: 50 - 120 Hz into six resolution formats.
With this new combination of the transcoder and format converter functions, the unit accepts variable video input sources to display images with high-resolution monitors or projectors, or to record and play back with ordinary video equipment.

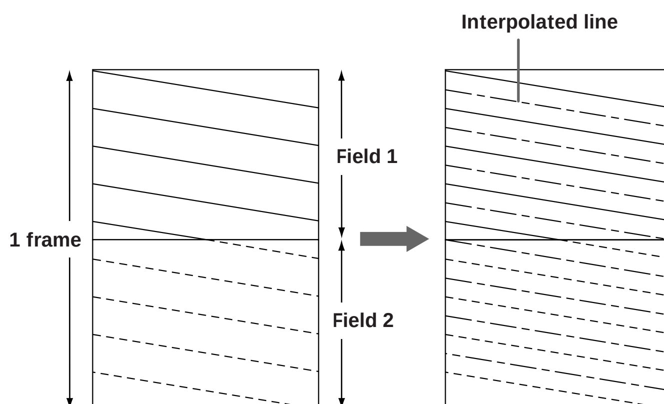






Line Doubler

The scanning frequencies of the input NTSC or PAL signals can be doubled for each field to 31.5 kHz horizontal frequency by interpolating information on line signals vertically. This enables smooth reproduction of fast moving pictures.



Generator lock (Gen-lock)

When you use this unit with your video editing system, the output NTSC or PAL signal can be locked to a reference signal (black burst video).

Aspect ratio display

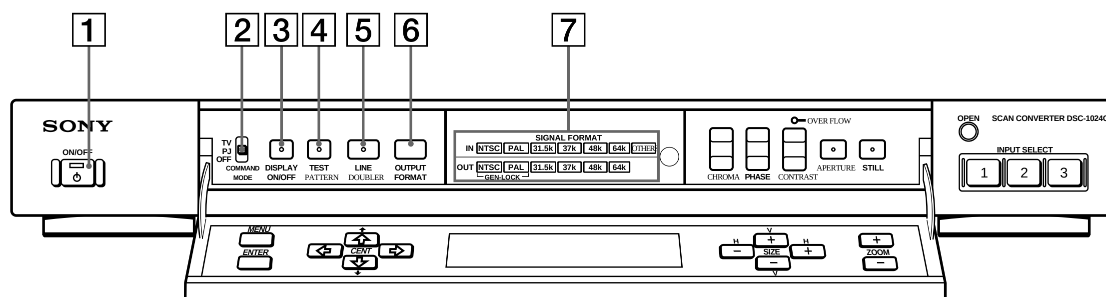
The aspect ratio of the converted picture is displayed on the screen as you zoom the picture or change the picture size.

Other features

- Three dimensional comb filter for NTSC Y/C separation
- Line correlation comb filter for PAL Y/C separation
- Up to × 4 zooming
- Accepts infrared or wired Sony remote commanders using SIRCS code
- On-screen display in five languages for user-friendly access
- Built-in test patterns for display alignment
- Three sets of video inputs with audio inputs: two composite video or Y/C inputs, and one RGB/component input
- Memory function for storage of up to five operation settings
- Automatic input signal detection with indication
- Self-adjusting for uniform output signal
- EIA rack mounting
- Selectable setup level (black reference level) for the output NTSC signal

Location and function of parts and controls

Front panel



1 ON/OFF (power) switch and indicator
Press to turn the unit on and off.
The indicator on the switch lights when the unit is turned on.

2 COMMAND MODE selector
When using the remote commander supplied with the Sony monitor or TV, set it to TV.
When using the remote commander supplied with the Sony projector, set it to PJ.
When not using the remote commander, set to OFF.

3 DISPLAY ON/OFF button and indicator
Press this button to turn on the indicator (DISPLAY ON) to display the current operating mode on the screen.
Press it again to turn off the indicator to eliminate the display (DISPLAY OFF).

Note
The main menu appears by pressing the MENU button, even if the DISPLAY OFF mode is selected.

4 TEST PATTERN button and indicator
Press this button to turn on the indicator to display the test pattern on the screen.
To turn off the test pattern, press the TEST PATTERN button repeatedly until no test pattern is displayed, or press the ON / OFF, INPUT SELECT or OUTPUT FORMAT button.

5 LINE DOUBLER button and indicator
When the input signal format is NTSC or PAL, press this button to turn on the indicator and activate the line doubler function. Press it again to turn off the indicator and cancel the line doubler function.

6 OUTPUT FORMAT button
Press this button to select the desired output signal format.
The selected output signal indicator lights.

7 SIGNAL FORMAT indicators

SIGNAL FORMAT
IN NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k OTHERS
OUT NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k
GEN-LOCK

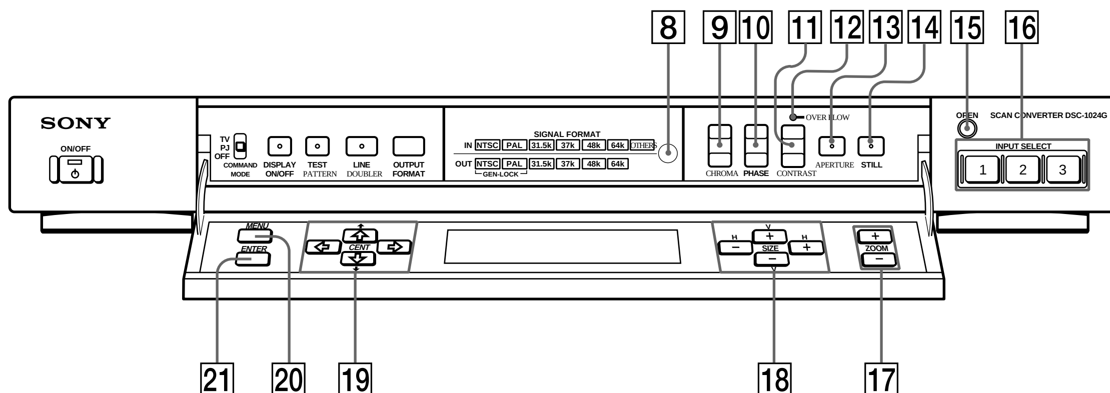
IN indicators (upper)
Shows the input signal format that the unit automatically detected.
31.5k, 37k, 48k and 64k indicate the horizontal scanning frequencies. If the horizontal scanning frequency of the input signal detected is one of these values ±1 kHz, the corresponding indicator lights. If another value is detected, the OTHERS indicator lights.

OUT indicators (lower)
Shows the output signal format selected by the OUTPUT FORMAT button. The output signal format shown by each indicator is as follows:

Indicator	Format name
NTSC	NTSC
PAL	PAL
31.5k	VGA 640 × 480
37k	VESA 800 × 600
48k	VESA 1024 × 768
64k	VESA 1280 × 1024

For specifications of each format, see “Preset signals” on page 47.

GEN-LOCK indicator
When the output signal format is PAL or NTSC and GEN LOCK is set to ON on the menu screen, the GEN-LOCK indicator lights or flashes.



8 Remote sensor
Receives the beam from the remote commander.

9 CHROMA +/– button
Press to adjust the picture chroma level.

10 PHASE +/– button
Press to adjust the picture phase level.

11 CONTRAST +/– button
Press to adjust the picture contrast.

12 OVERFLOW indicator
This indicator lights when input signal level is excessive.

13 APERTURE button and indicator
Press this button to turn on the indicator to make the picture sharper. Press it again to turn off the indicator for a softer picture.

14 STILL button and indicator
Press this button to turn on the indicator to get a still picture. Press it again to turn off the indicator to resume the normal screen.

15 OPEN button
Press to open the front cover.

16 INPUT SELECT buttons
Press to select the input signal.
1: to select the input source connected to the VIDEO 1 (Y/C or COMP) connector and the AUDIO 1 IN connector.
2: to select the input source connected to the VIDEO 2 (Y/C or COMP) connector and the AUDIO 2 IN connector.
3: to select the input source connected to the VIDEO 3 (RGB or YBR*) connector and the AUDIO 3 IN connector.

* YBR is an abbreviation of Y/B-Y/R-Y component signal.

17 ZOOM +/– buttons
Press the + button to zoom up, and the – button to zoom down.

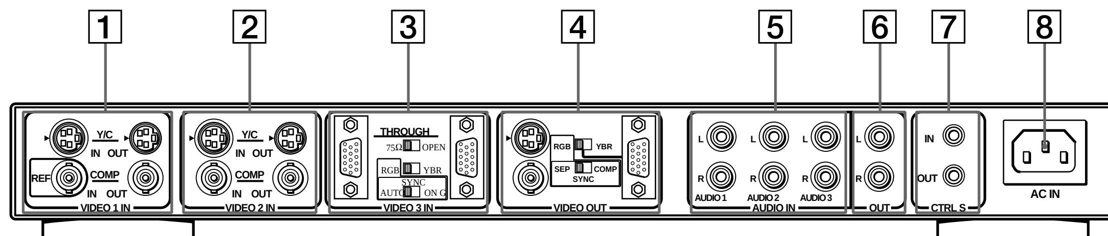
18 SIZE V/H +/– buttons
Press to adjust the size of the picture.
V +: to expand the vertical size
V–: to reduce the vertical size
H+: to expand the horizontal size
H–: to reduce the horizontal size

19 CENT⇧/⇩/⇦/⇨ buttons/cursor buttons
Press to shift the picture in the direction of the arrow.
The ⇧ and ⇩ buttons are also used for moving the cursor on the menu screen.

20 MENU button
Press to make the menu appear, or quit the menu.

21 ENTER button
Press to select the desired item in a menu.

Rear panel



1 **VIDEO 1 IN connector section**

2 **VIDEO 2 IN connector section**

Two sets of video inputs and loop-through outputs.

Y/C IN (4-pin):
Connect to the Y/C output of video equipment.
This connector has a priority over the COMP IN connector, if both connectors are used.

COMP IN/REF (BNC type):
Connect to the composite video output of video equipment.
Also, input the reference signal for the gen-lock (black burst signal) to the VIDEO 1 IN REF connector.

Y/C OUT (4-pin):
Loop-through output of the Y/C IN connector.

COMP OUT (BNC type):
Loop-through output of the COMP IN connector.

3 **VIDEO 3 IN connector section**

A set of RGB or component (Y/B-Y/R-Y) signal inputs.

RGB/component input (D-sub 15-pin, 3-row):
Connect one of the D-sub connectors to the RGB outputs of video equipment or the component (Y/B-Y/R-Y) outputs of a Betacam SP video cassette recorder. The other D-sub connector is a loop-through output.

Termination switch:
When nothing is connected to the loop-through output connector, set to 75 Ω. When the loop-through output connector is used, set to OPEN.

RGB/YBR* selector:
Select the position to match the format of the signal input to the D-sub connector.

SYNC selector:
Normally set to AUTO. Set to ON G to use the sync signal on green channel when both external sync signal and sync on green signal are input.

* YBR is an abbreviation of Y/B-Y/R-Y component signal.

4 **VIDEO OUT connector section**

Three sets of video outputs. The converted signal is output from this section.

Y/C output (4-pin):
Connect to the Y/C input of video equipment.
Only the NTSC or PAL signal is output from this connector.

Composite video output (BNC type):
Connect to the composite video input of video equipment.
Only the NTSC or PAL signal is output from this connector.

RGB/component output (D-sub 15-pin, 3-row):
Connect to the RGB or component (Y/B-Y/R-Y) inputs of video equipment.

RGB/YBR output selector:
Set this selector depending on the format of the signal output from the D-sub connector. YBR is effective when the NTSC or PAL signal is output.

SYNC output selector:
Select the sync signal for the RGB output.
Set to SEP to use separate horizontal/vertical sync signal.
Set to COMP to use the composite sync signal.

5 **AUDIO IN L/R jacks (RCA pin)**

Three sets of audio inputs.
Connect to the audio output jacks of equipment. If the input source is monaural, connect it to the L jack only.
You can select the audio input with the INPUT SELECT buttons on the front panel.

6 **AUDIO OUT L/R jacks (RCA pin)**

A set of audio outputs.
Connect to the audio input jacks of equipment.

7 **CTRL S IN/OUT jacks (minijack)**

Connect to the CONTROL S jacks of other Sony equipment. It is then possible to control the whole system with a single remote commander.
When a plug is connected to the CTRL S IN jack, the remote sensor on the front panel becomes inactive.

8 **AC IN connector**

Connect the supplied power cord.

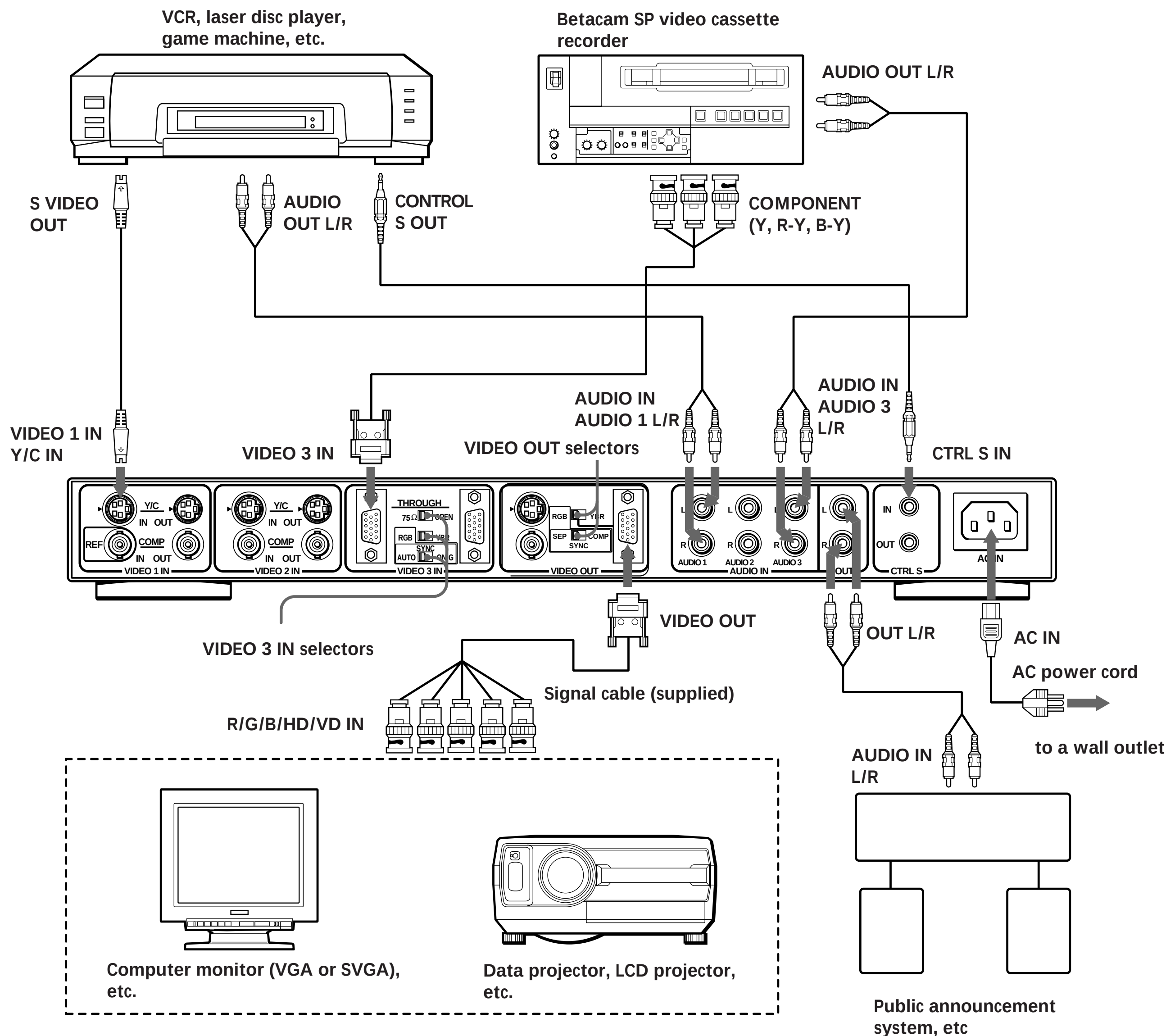
Hookups

Before you get started

- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Read the instruction manual of the equipment to be connected.

Hookup for getting the up-converted signal

The following diagram shows a connection example to convert a low-rate input signal into a high-rate output signal.



Setting the VIDEO OUT selectors

- Set the RGB / YBR selector to RGB (when a computer monitor, data projector or LCD projector is connected).
- Set the SYNC selector to SEP (HD or VD separate sync) or COMP (composite sync) depending on the connected equipment.

When the Betacam SP video cassette recorder is connected to VIDEO 3 IN

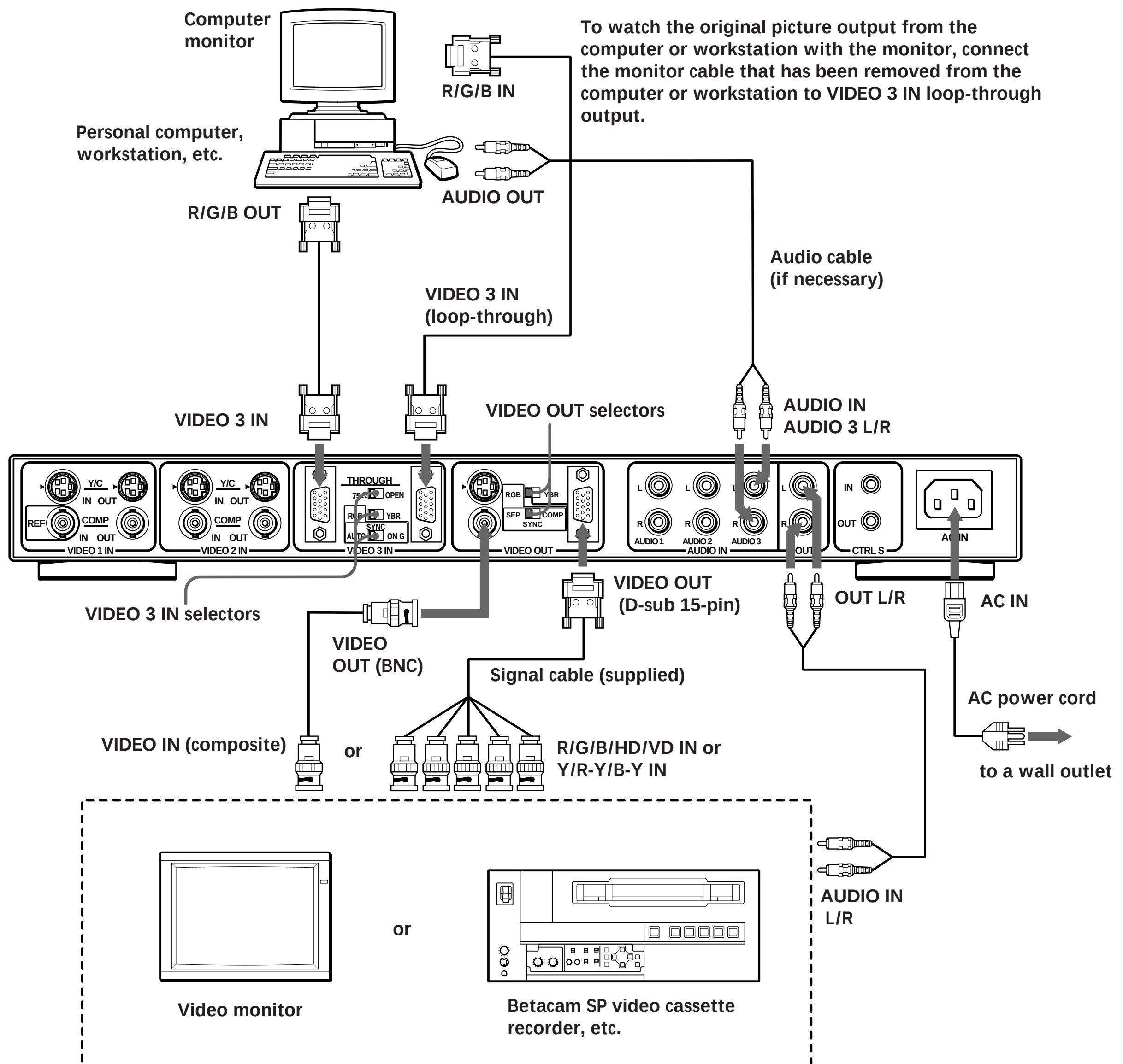
Set the VIDEO 3 IN selectors as follows:

- 75 Ω / OPEN selector → 75 Ω
- RGB / YBR selector → YBR
- SYNC selector → AUTO

Connect only the three plugs of the signal cable to the Betacam SP video cassette recorder: green plug to Y connector, red to R-Y, and blue to B-Y. Leave the other plugs, if provided, disconnected.

Hookup for getting the down-converted signal

The following diagram shows a connection example to convert a high-rate input signal into a low-rate output signal.



Setting the VIDEO OUT selectors

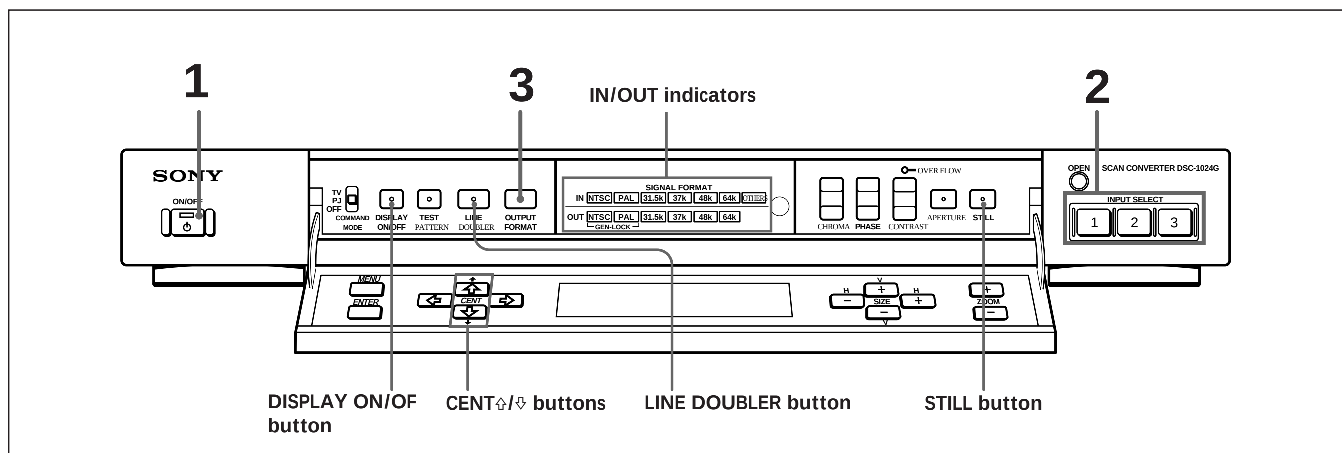
- Set the RGB / YBR selector to RGB when a video monitor or video projector is connected.
  Set it to YBR when a Betacam SP video cassette recorder is connected.
- Set the SYNC selector to SEP (HD or VD separate sync) or COMP (composite sync) depending on the connected equipment.

When the computer monitor is connected to the VIDEO 3 IN loop-through output

Set the VIDEO 3 IN selectors as follows:

- 75 Ω / OPEN selector → OPEN
- RGB / YBR selector → RGB
- SYNC selector → AUTO or ON G depending on the connecting equipment
  For Macintosh and Silicon Graphics Inc. computers, set to ON G.

Watching the converted picture

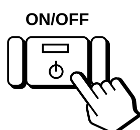


Before you start

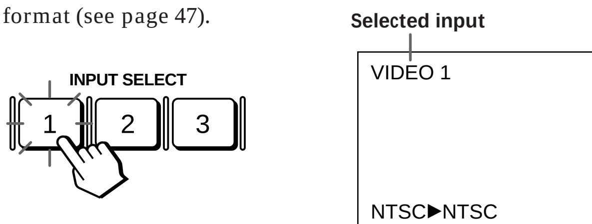
- Turn on the connected equipment and play a video source.
- To display the information on the current operation on the screen, make sure the indicator of the DISPLAY ON / OFF button is lit. If not, press the DISPLAY ON / OFF button.
- To set the on-screen language to yours, see page 44.

Converting the picture

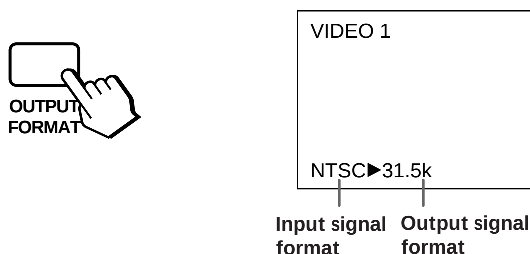
1 Press the ON/OFF switch.
The indicator of the ON / OFF switch and all the three INPUT SELECT buttons light.



2 Select the input source to be converted by pressing the INPUT SELECT button.
The pressed button lights brighter than the others, and the input signal indicator lights to show the input signal format (see page 47).



3 Select the desired output signal format by pressing the OUTPUT FORMAT button repeatedly.
The selected output signal indicator lights. The output signal is switched a few seconds after you release the button.
For the specification of each output format, see page 47.



Using the line doubler

The line doubler function of this unit converts the input NTSC or PAL signal into a digitally interpolated, high scan-rate output signal. The output signal format becomes a non-interlaced signal whose horizontal frequency is 31.5 kHz and vertical frequency is synchronized to the input signal.
The line doubler up-converts the signal field by field by interpolating information on two line signals vertically. Therefore, a fast moving picture is reproduced as a natural high-resolution picture.

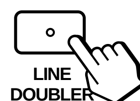
- The converted signal is output from the RGB / component output connector in the RGB format.
- The line doubler can be activated for the three inputs separately.

Activating the line doubler

1 Press the OUTPUT FORMAT button to select 31.5k.

2 Connect a NTSC or PAL signal source and select the input with the INPUT SELECT buttons.

3 Press the LINE DOUBLER button.
The indicator of the button lights, and the NTSC and 31.5k or the PAL and 31.5k OUT indicators light.



When the input source is NTSC

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

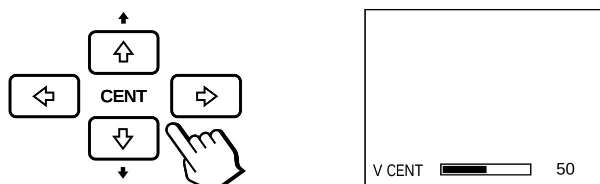
NTSC▶LINEx2

When the input source is PAL

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

PAL ▶LINEx2

4 Adjust the position of the picture by pressing the CENT ⇧/⇩/⇦/⇨ buttons.



To deactivate the line doubler

Press the LINE DOUBLER button again to turn off the indicator of the button. The 31.5k output format is restored.

Notes

- If you press the LINE DOUBLER button when the input source is not NTSC or PAL or the output format is not 31.5k, "NOT APPLICABLE" appears on the screen and the LINE DOUBLER button does not function.
- When the line doubler is activated, the ZOOM, SIZE, APERTURE and TEST PATTERN buttons do not function.
- When the line doubler is activated, the picture size is the same as the original one.
- When you use the line doubler function, we recommend the input source video equipment equipped with the TBC (time base corrector). If you activate the line doubler for the signal without the TBC and display the converted signal with a multi-scan monitor, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.

Watching a still picture

When a moving picture is displayed, press the STILL button to set STILL on the screen to ON. The output signal is displayed as a still picture. The indicator of the STILL button lights.





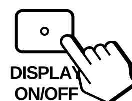
To resume the normal screen, press the STILL button again.

Note

In the still picture mode, only the ON / OFF switch, and the INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, LINE DOUBLER, TEST PATTERN, MENU, ENTER and CENT ⇧ / ⇩ buttons will function.
If you press any other button, "NOT APPLICABLE" appears on the screen.

Getting rid of on-screen information

When the indicator of the DISPLAY ON / OFF button is lit, the information on the operation you performed is displayed on the screen for a few seconds.
To get rid of the on-screen display, press the DISPLAY ON / OFF button to set DISPLAY on the screen to OFF.



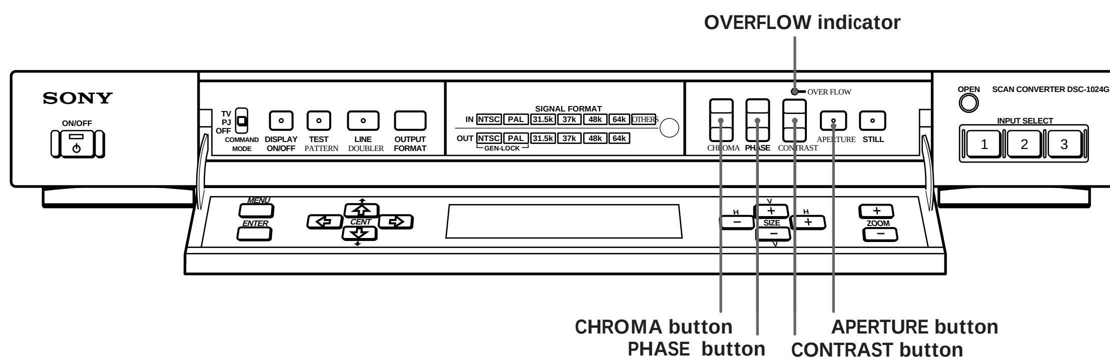


Note

Even if DISPLAY is set to OFF, only the main menu appears when you press the MENU button.

English

Adjusting the picture



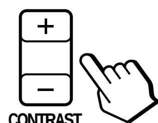
While watching the picture, you can adjust contrast, phase, chroma and aperture to suit your taste. The adjustments can be carried out for the three inputs separately. The adjusted levels are stored in memory.

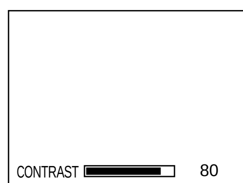
Adjusting the contrast, phase, and chroma

Press the desired adjustment button: CONTRAST, PHASE, or CHROMA.

The adjustment levels are displayed on the screen.

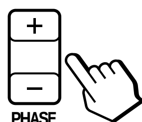
CONTRAST





+: to increase picture contrast
–: to decrease picture contrast

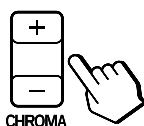
PHASE

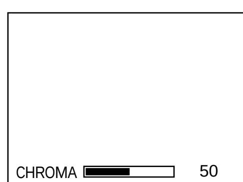




+: to make overall picture greenish
–: to make overall picture purplish

CHROMA





+: to increase color intensity
–: to decrease color intensity

Notes

- CHROMA and PHASE controls do not function for the RGB input signal.
- PHASE control does not function for the component (Y/B-Y/R-Y) input signal.
- PHASE control does not function with PAL color source.

If you press these buttons, “NOT APPLICABLE” appears on the screen.

Adjusting the aperture

To make the picture sharper, press the APERTURE button to set APERTURE on the screen to ON. The indicator of the APERTURE button lights.
To make the picture softer, press the APERTURE button again to set APERTURE to OFF.
The factory setting is APERTURE OFF for the NTSC or PAL video input, or APERTURE ON for the other inputs.



APERTURE ►ON OFF

Note

When the output signal format is an interlaced signal such as NTSC and PAL, setting APERTURE OFF reduces line flickers although the image contour becomes slightly blurred.

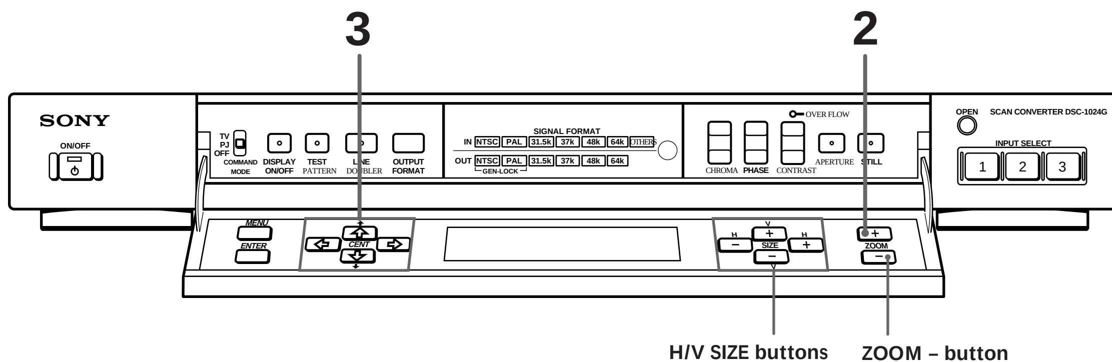
If the input signal level is excessive

The OVERFLOW indicator lights. In this case, check that the 75 Ω / OPEN selector and the RGB/YBR selector in the VIDEO 3 connector section are set correctly. If they are correct, press the CONTRAST – button.

Restoring the factory preset contrast, phase and chroma levels

Use COLOR RESET on the MENU 1 screen. (See page 39.)

Zooming and resizing the picture

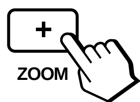


You can zoom up the picture making it 2 , 3 or 4 times larger than the original size.
You can also shift the position of the picture so that it fits in the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.
The adjustments can be carried out for the three inputs separately.

Zooming up the picture

1 Display the picture on the screen.

2 Press the ZOOM + button.

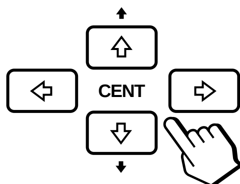


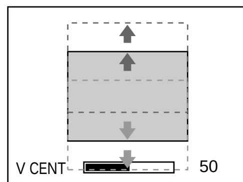


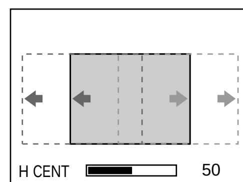
Each time you press the ZOOM + button, the picture is magnified by 2, 3 and 4 times respectively.
To zoom down, press the ZOOM – button.

3 Adjust the position of the close-up picture by pressing the CENT ⇧/⇩/⇦/⇨ buttons.

⇧/⇩: to shift the picture upward / downward (V CENT)
⇦/⇨: to shift the picture to the right / left (H CENT)





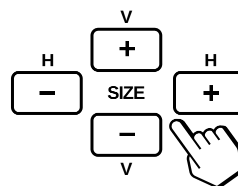


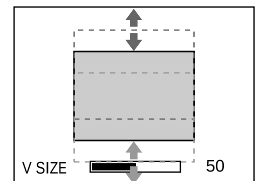
The position of the picture is indicated on the screen by the adjustment bar and value 0 to 100. The factory preset value is 50.

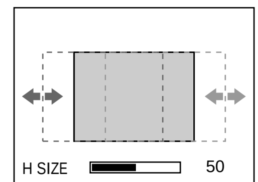
Resizing the picture

Press the H/V SIZE +/– buttons to resize the picture.

V SIZE +: to expand vertical size
V SIZE –: to reduce vertical size
H SIZE +: to expand horizontal size
H SIZE –: to reduce horizontal size



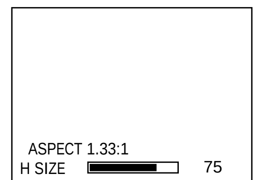




The size of the picture is indicated on the screen by the adjustment bar and value 0 to 100. The factory preset value is 50 (except the HDTV or 64 k input).

Aspect ratio display

As the picture size changes by the H / V SIZE button, the unit calculates the aspect ratio of the converted picture and displays it in decimal values on the screen together with the adjustment bar and value.
Example: 4 : 3 is displayed 1.33 : 1
16 : 9 is displayed 1.78 : 1



Note

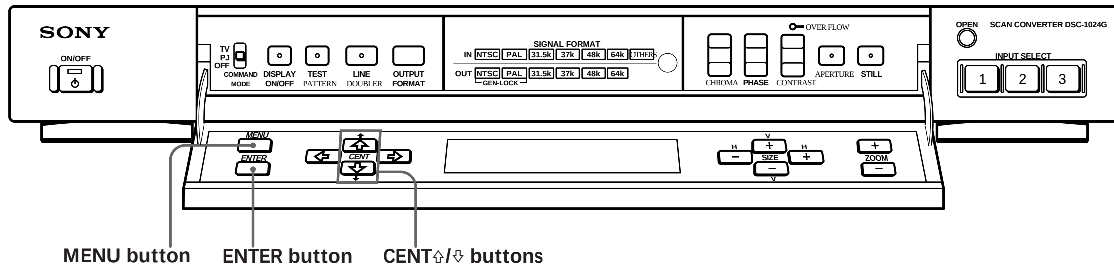
The aspect ratio is displayed only when the preset signal is input. For the preset signals, see page 47.

Restoring the original picture size and position

Use GEOM RESET on the MENU 1 screen. (See page 39.)

English

Using the memory



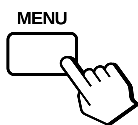
MENU button ENTER button CENT⇧/⇩ buttons

You can store the parameters of the adjusted picture into memory. Five sets of input/output selection, zooming size, H/V size and H/V position can be stored into memory and switched quickly.
Up to 5 memories are available.

Storing the current condition

1 Adjust the picture as necessary.

2 Press the MENU button.
The MENU 1 screen appears.

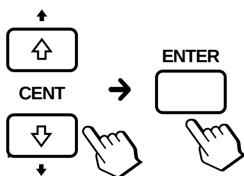


MENU 1

▶MEM LOAD
MEM SAVE
GEOM RESET
COLOR RESET
ALL RESET
INDEX NO.
LANGUAGE

USE:⇧⇩ENTER NEXT:MENU

3 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to MEM SAVE, and press the ENTER button.
The MEM SAVE screen appears.
The current data is displayed on the left column under "CURRENT" and the data in the memory on the right column. If no data is stored in the memory, that item is shown by "– ."



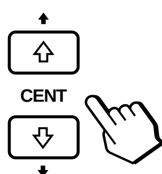
MEM SAVE

	CURRENT▶	MEMORY1
INPUT	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
HSIZE	50	–
HCENT	50	–
VSIZE	50	–
VCENT	50	–

USE:⇧⇩ENTER CANCEL:MENU

Current data

4 Press the CENT⇧/⇩ button repeatedly so that the desired memory number (1 to 5) appears.



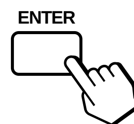
Memory number

MEM SAVE

	CURRENT▶	MEMORY3
INPUT	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
HSIZE	50	–
HCENT	50	–
VSIZE	50	–
VCENT	50	–

USE:⇧⇩ENTER CANCEL:MENU

5 Press the ENTER button.
The current data is stored under the selected memory number on the right column.
If any data has been stored in the selected memory number, it is now displayed on the left column under "CURRENT."



MEM SAVE

	CURRENT▶	MEMORY3
INPUT	VIDEO1	VIDEO1
SIGNAL	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
HSIZE	50	50
HCENT	50	50
VSIZE	50	50
VCENT	50	50

USE:⇧⇩ENTER CANCEL:MENU

Current data stored

6 To quit the menu, press the MENU button three times.

Calling up the stored data

1 Press the MENU button.
The MENU 1 screen appears.

2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to MEM LOAD, and press the ENTER button.
The MEM LOAD menu appears.

MEM LOAD

	MEMORY1▶	CURRENT
INPUT	VIDEO1	VIDEO2
SIGNAL	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
HSIZE	50	50
HCENT	50	80
VSIZE	50	60
VCENT	50	80

USE:⇧⇩ENTER CANCEL:MENU

3 Press the CENT ⇧/⇩ button repeatedly to select the desired memory number (1 to 5), and press the ENTER button.
The converter is adjusted to the selected memory data.

4 To cancel the operation, press the MENU button twice.

To call up the stored data quickly

Use the remote commander. See "Direct memory loading" on page 40.

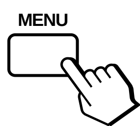
Resetting the data to the factory preset levels

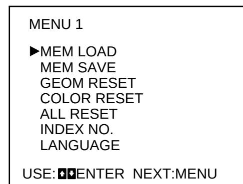
There are three options for resetting the adjustment data to the factory preset levels.

GEOM RESET: Resets ZOOM, H / V SIZE and H / V CENT currently in use.
COLOR RESET: Resets CONTRAST, PHASE and CHROMA currently in use.
ALL RESET: Resets all user adjustment items to the factory preset data and clears the memory contents.

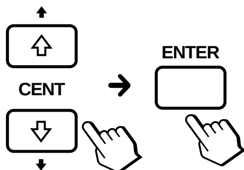
The operation procedures are the same for the three options.

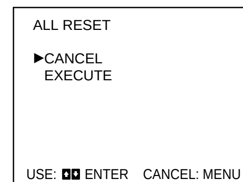
1 Press the MENU button.
The MENU 1 screen appears.





2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to GEOM RESET, COLOR RESET or ALL RESET, and press the ENTER button.



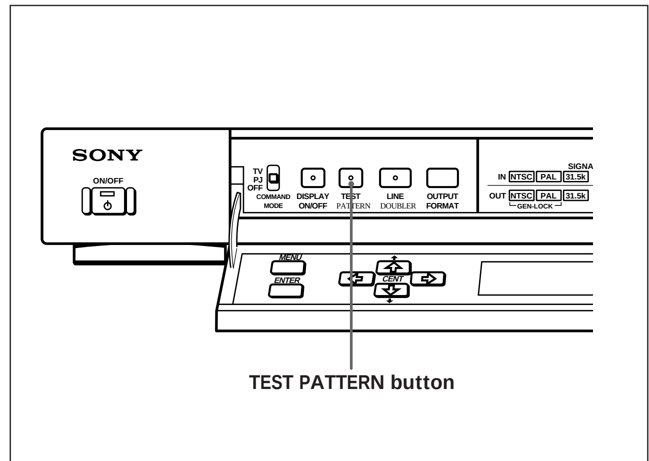


3 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor to EXECUTE, and press the ENTER button.
The adjustment data are reset to the factory preset levels.

To cancel resetting

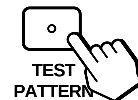
Press the MENU button, or select CANCEL in step 3 above and press the ENTER button.

Using the test pattern

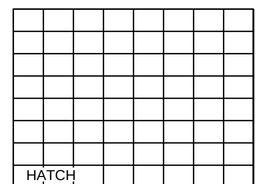


You can use the built-in test patterns to adjust the monitor or prejector screen.

Press the TEST PATTERN button.
Each time you press TEST PATTERN, the following test patterns appear in sequence.
Hatch ➔ Box ➔ Color bar ➔ Gray scale ➔ OFF (input signal) ➔ Hatch ➔ ...



Example: Hatch



The selected test pattern name is displayed on the screen for about 3 seconds.

To restore the normal screen

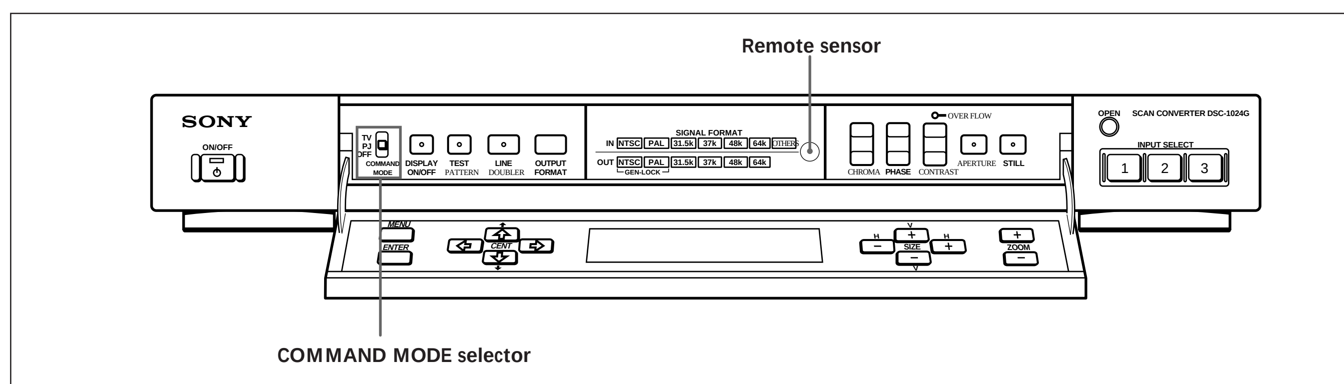
Press the TEST PATTERN button repeatedly until no test pattern is displayed. Pressing the ON / OFF switch, INPUT SELECT buttons or OUTPUT FORMAT button also restores the normal screen.

Note

When the test pattern is displayed, only the ON / OFF switch, and the INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, MENU and CENT ⇧ / ⇩ buttons will function.

English

Using the remote commander



This unit accepts wireless or wired remote commanders for Sony monitors, TVs and projectors.

Setting the type of the remote commander

Set the COMMAND MODE selector according to the type of the remote commander.

TV: Sony monitors' or TVs' commander
PJ: Sony projectors' commander
OFF: When not using the remote commandder, set to this position to avoid malfunction.



Available remote commander operations

The following operations can be controlled by the remote commander.
- Power on / off
- Input selection
- Picture adjustments: contrast, phase and chroma
- On-screen display on / off (only for video monitors and TVs)
- Menu operations (See the right column.)
- Direct memory loading (See the right column.)

The available operations and the buttons to be used for each operation are limited depending on each remote commander. See the table below.

Direct memory loading

The remote commander can quickly call up the adjustment data stored in the memory.

1. **Press buttons 7, 7, 7 and ENTER on the remote commander in sequence at intervals of one second.**
   The “MEMORY LOAD READY” appears on the screen.
2. **Select the memory number (1 to 5) you want to call up using the number button.**
   The converter is adjusted to the selected memory data.

To cancel the operation

Press buttons 0, 0, 0 and ENTER on the remote commander in sequence at intervals of one second. The “MEMORY LOAD EXIT” appears on the screen.
The direct memory load operation is also cancelled by turning off the unit.

Note

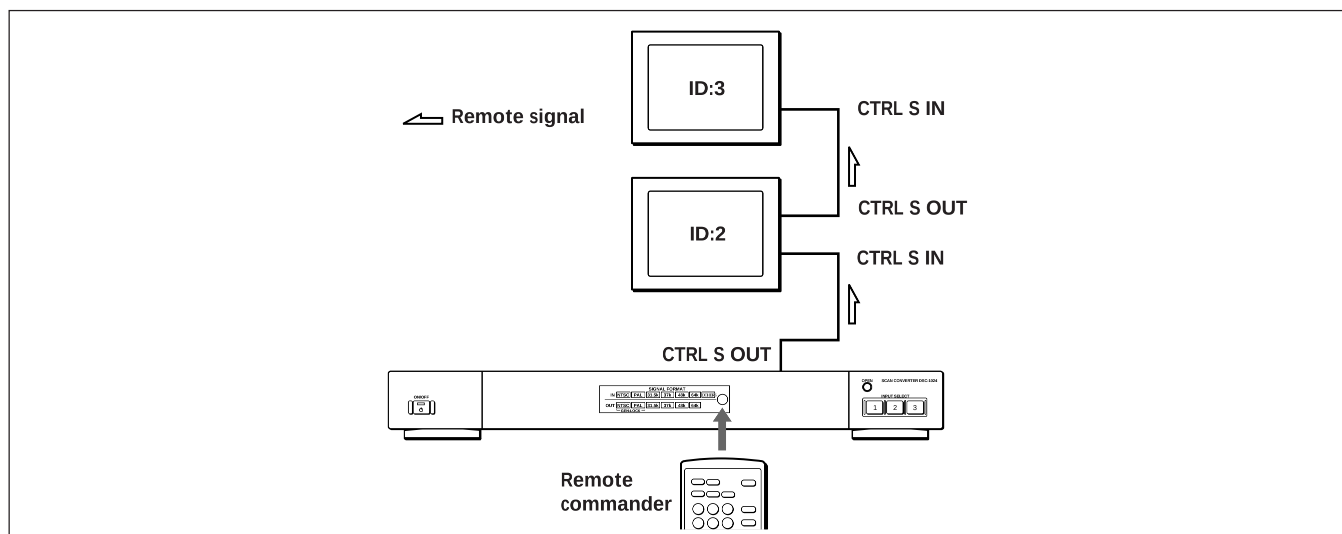
Be sure to press buttons 7, 7, 7 and ENTER, or 0, 0, 0 and ENTER at intervals of about one second.
If more than 3 seconds elapse between two presses, the operation will be cancelled. In this case, start again.

Menu operation using the remote commander

The menu screens for the remote commander are different from those for the main unit.
When you press the menu button (MENU, PAGE or ⬅) on the remote commander once or twice, the GEOM MENU or COLOR MENU appears respectively.
Select the item with the ⬆/⬇ button and press the enter button (ENTER, ➡ or M SEL) on the remote commander. Then adjust the selected item using the ⬆/⬇ button.

Remote commander model		RM-854	RM-1271	RM-PJ1292	RM-PJ350	RM-PJC520
COMMAND MODE setting		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
Input selection	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
Menu operation	MENU	MENU	PAGE or ⬅	PAGE or ⬅	PAGE or ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
Picture adjustment	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

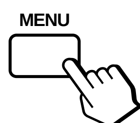
Operating a specific unit with the remote commander

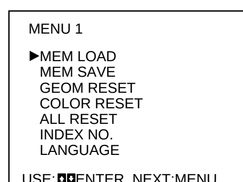


When multiple pieces of Sony equipment are connected via the CTRL S jack, you can operate a specific piece of equipment by assigning the index number preset for each piece of equipment on the converter, and then on the remote commander.
For presetting the index number on each piece of equipment, refer to the Instruction Manual of the equipment.
The following explanation is an example of use of the RM-854 remote commander.

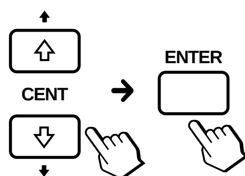
Assigning the index number on the converter

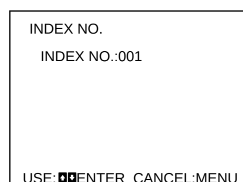
1 Press the MENU button once.
The MENU 1 screen appears.





2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to INDEX NO. and press the ENTER button.
The INDEX NO. screen appears.



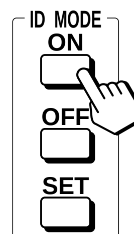


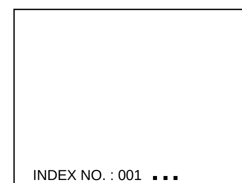
3 Press the CENT ⇧/⇩ button repeatedly to select the index number (1 to 255) of the equipment you want to control, and press the ENTER button.

4 To quit the menu, press the MENU button three times.

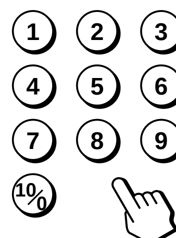
Operating the equipment with the RM-854 remote commander

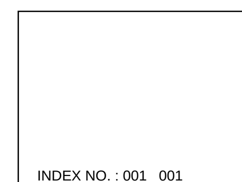
1 Press the ID MODE ON button on the remote commander.
The index numbers appear on all the pieces of equipment including the converter.



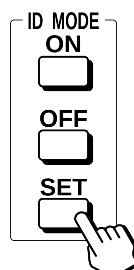


2 Input the index number of the equipment you want to operate using 0–9 buttons of the remote commander.
The input number appears right next to each equipment own index number.





3 Press the ID MODE SET button.
The character on the selected equipment changes to cyan while others change to red.

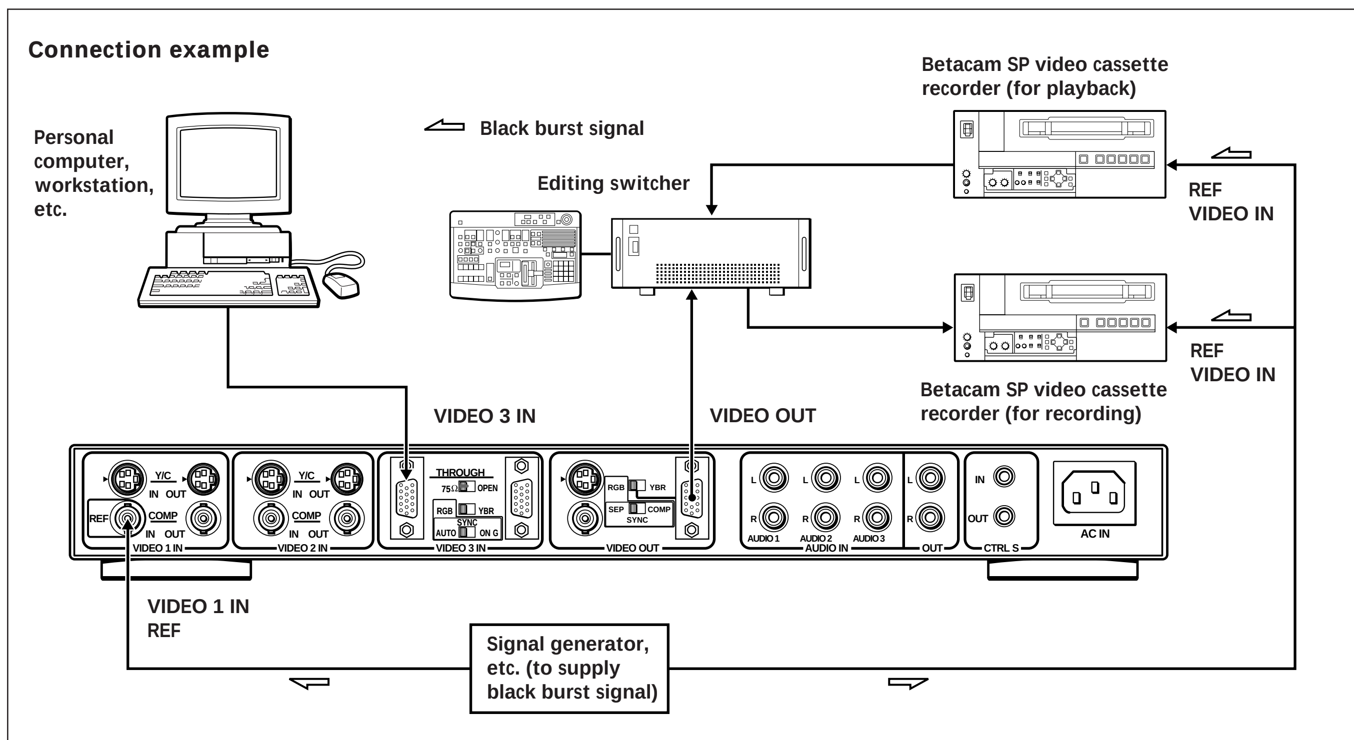


Now you can operate only a specified equipment (All operations available in ID mode except POWER ON / OFF).

English

Using the generator lock (gen-lock)

Connection example

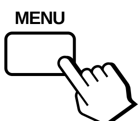


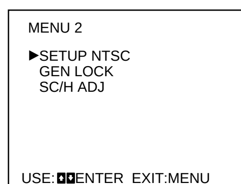
The output NTSC or PAL signal can be synchronized using the black burst signal input from a signal generator, etc. as a reference signal (gen-lock).
This enables smooth editing without transition noise when multiple video sources are used.

Activating the generator lock

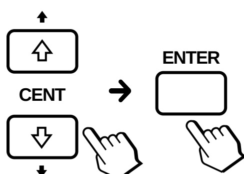
1 Input the reference signal which corresponds with the output signal format (NTSC or PAL) from the editor or signal generator to the VIDEO 1 IN REF connector.

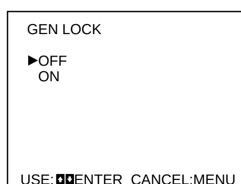
2 Press the MENU button twice.
The MENU 2 screen appears.





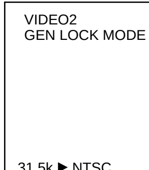
3 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to GEN LOCK, and press the ENTER button.
The GEN LOCK screen appears.





4 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to ON, and press the ENTER button.
The gen-lock is activated for the signal output from this unit and the GEN-LOCK indicator on the front panel lights.

When the converter is turned on or the input mode is changed, "GEN LOCK MODE" appears on the screen.



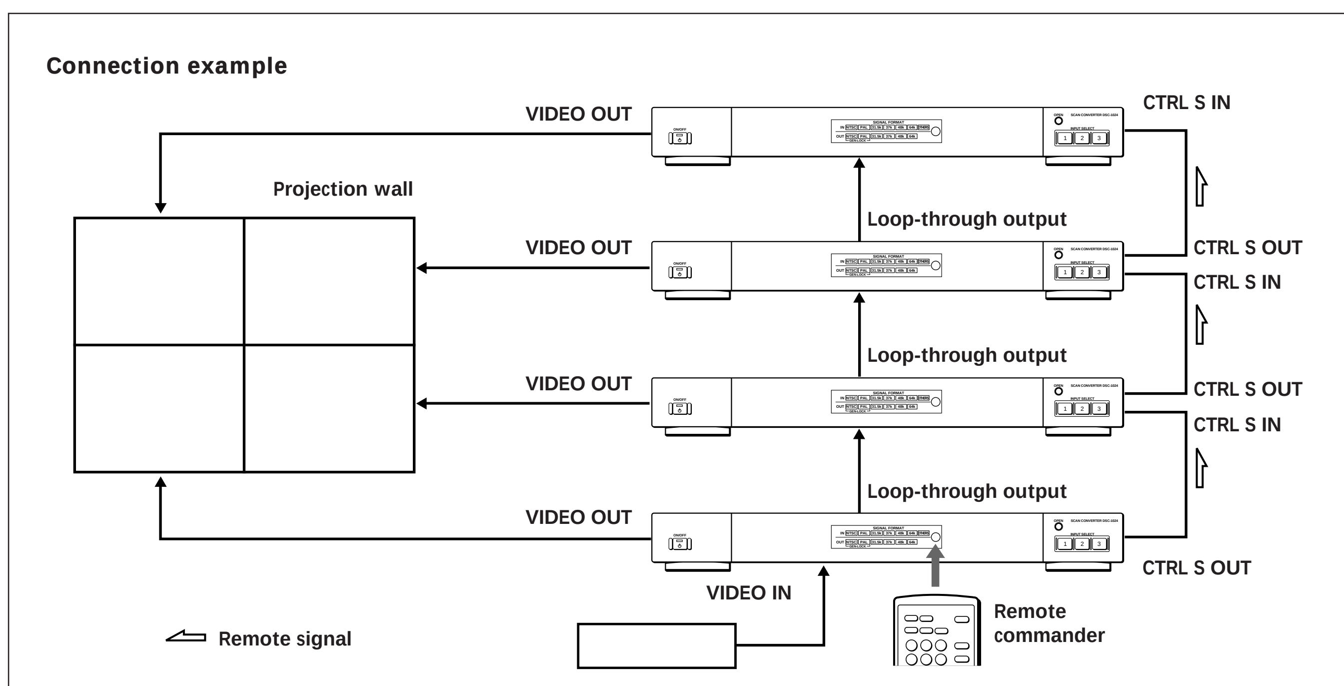
To deactivate the generator lock

Repeat steps 1 to 3 above, then set GEN LOCK to OFF in step 4. The GEN-LOCK indicator on the front panel turns off.

Notes

- If you select GEN LOCK on the MENU 2 screen with no reference signal input, "NO REFERENCE" appears on the screen.
- "WRONG REFERENCE" will appear when the reference signal format does not correspond with the input signal format.
- The RGB/component output is recommended for editing. If you use the composite video output, a frame synchronizer may be needed to adjust the phase to the reference signal. For the SC/H (Subcarrier to Horizontal) adjustment, see page 44.

Constructing a projection wall



When you construct a projection wall which displays a larger picture constructed from multiple projectors, use the converters as in the connection example above. Prepare one converter for each projector.

Adjust the picture of each projector so that the projection wall picture is displayed smoothly, and store the adjustment data on each converter under the same memory number. This enables you to quickly switch between a total of five projection wall pictures.

Storing the adjustment data of the picture

1 Adjust the projectors.
Use the test patterns (HATCH, COLOR BAR and GRAY SCALE) contained in the converter. For the test patterns, see page 39.

2 Adjust pieces of the picture with the converter.
Set the zooming magnification according to the number of pieces of the picture. Then adjust each piece of the picture using the H / V SIZE buttons and CENT buttons so that they connect smoothly as a large picture.

Number of pieces of the picture	Zooming
4	× 2
9	× 3
16	× 4

For zooming and resizing the picture, see page 37.

3 Store the adjustment data in the memory of the converter.
Store the data under the same memory number on each converter.
For details, see "Storing the current condition" on page 38.

4 Repeat steps 1 to 3 for storing other picture patterns.
The adjustment data for up to five picture patterns can be stored under memory numbers 1 to 5.

Displaying the picture on the projection wall

The names of the remote commander buttons differ depending on the commander model. Refer to the table on page 40.

1 Press buttons 7, 7, 7 and ENTER on the remote commander in sequence at intervals of one second.
"MEMORY LOAD READY" appears on each projector screen.

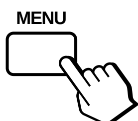
2 Select the memory number under which the adjustment data of the desired picture pattern is stored by pressing the number button.
All of the pieces of the picture are displayed properly so that they connect smoothly as a large picture.

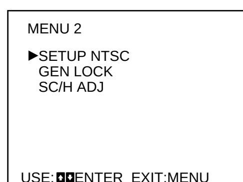
3 To switch to another picture pattern, press the number button corresponding to the memory number.

Selecting the setup level

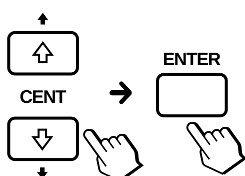
You can select the black level (setup level) for the output NTSC signal.
The black level is set to “0”(IRE) at the factory. If the output picture is too dark, change the setting to “7.5“(IRE).

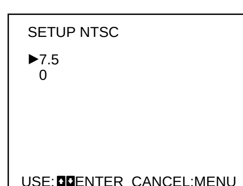
1 Press the MENU button twice.
The MENU 2 screen appears.





2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to SETUP NTSC, and press the ENTER button.
The SETUP NTSC menu appears.





3 Press the CENT ⇧/⇩ button to select “7.5” or “0,” and press the ENTER button.

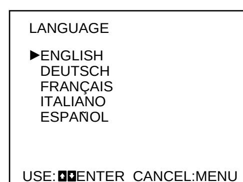
4 To quit the menu, press the MENU button twice.

Selecting the on-screen language

You can select the on-screen language among five languages.

1 Press the MENU button once.
The MENU 1 screen appears.

2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to LANGUAGE and press the ENTER button.
The LANGUAGE menu appears.



3 Press the CENT ⇧/⇩ button repeatedly to move the cursor (▶) to the desired language, and press the ENTER button.

4 To quit the menu, press the MENU button three times.

Adjusting the SC/H (Subcarrier to Horizontal)

When you edit or record a composite output signal with a VCR, you need to adjust the subcarrier-to-horizontal phase (SC / H).
Prepare special measurement equipment for the adjustment.

1 Press the MENU button twice
The MENU 2 screen appears.

2 Press the CENT ⇧/⇩ button to move the cursor (▶) to SC/H ADJ and press the ENTER button.
The adjustment value is displayed on the screen.



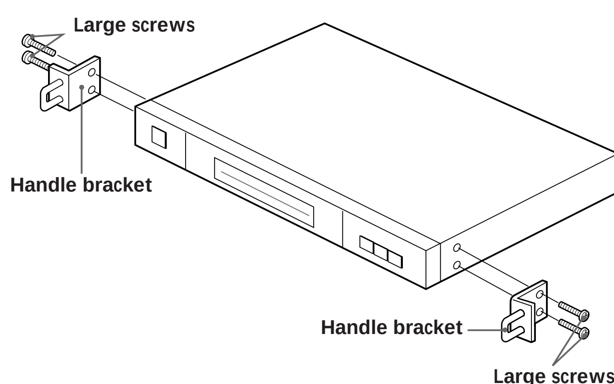
3 Press the CENT ⇧/⇩ button to adjust the SC/H.

4 To quit the menu, press the MENU button twice.

Rack mounting

You can mount the unit on a 19-inch EIA standard rack using the optional MB-510 mounting bracket kit.

1 Attach the handle brackets with the four large screws included in the kit.



2 Remove the four legs from the bottom of the unit.

3 Mount the unit into a 19-inch standard rack.

Caution
Do not hold the handle brackets to carry the unit. If you do, the unit may separate from the handle brackets.

Troubleshooting

If you are having problems, check the countermeasures for each symptom listed below.
If the problem still cannot be solved, contact your nearest service facility.

Symptom	Check and countermeasure
No picture	• Check if the indicator of the ON / OFF switch is lit. If not, make sure the power cord is connected and press the ON / OFF switch. • Check if the monitor / projector is turned on. • Check if the OUT indicator matching the monitor / projector is lit (see page 47). • Check if the monitor / projector is connected securely using the built-in test patterns. • Check if the correct INPUT SELECT button has been pressed. • Check if the input source equipment is turned on and input source is being played. • Check if one of the IN indicators is lit. If not, make sure the input source equipment is connected correctly. If equipment is connected to VIDEO 3 IN, set the SYNC AUTO / ON G selector to AUTO.
The sync signal streaks on the screen (does not stabilize).	• If the VIDEO OUT D-sub connector is used, check to see if the RGB / YBR selector and SYNC SEP / COMP selector of the VIDEO OUT section are correct.
Picture is greenish.	• If the input source equipment is a computer connected to VIDEO 3 IN, set the SYNC AUTO / ON G selector to ON G.
Picture is purplish.	• If the input source equipment is a computer connected to VIDEO 3 IN, set the RGB / YBR selector to RGB.
Picture is too large.	• Adjust the size of the picture using the SIZE buttons. • Press the ZOOM – button to set the zooming size to x1.
Remote commander does not function.	• Check the type of your remote commander and set the COMMAND MODE selector correctly (see page 40). • This unit functions with remote commanders for Sony TVs and projectors only. • Disconnect the plug from the CTRL S IN jack.
Remote commander malfunctions.	• Set the COMMAND MODE selector to OFF.
The POWER indicator flashes.	• The built-in thermal protector may have functioned. Check if the surrounding temperature is too high. • Press the POWER switch to turn the unit off. Then press it again and check the POWER indicator. If the POWER indicator still flashes, consult your dealer. • Press the POWER switch to turn the unit off. Then press it again and check the fan. If the fan does not work, consult your dealer.
"NOT APPLICABLE" is displayed on the screen.	• You have pressed a button that does not function in the current operating mode.
"NO REFERENCE" is displayed on the screen, and the GEN-LOCK indicator on the front panel flashes.	• The black burst signal is not input to the VIDEO 1 IN connector when GEN LOCK is set to ON on the MENU 2 screen.
"WRONG REFERENCE" is displayed on the screen, and the GEN-LOCK indicator on the front panel flashes..	• The format of the black burst signal input from the signal generator does not correspond with the output signal format (NTSC or PAL) of the converter.

Specifications

Signal input

VIDEO 1 IN — Composite video / reference input
- BNC connector × 2 (loop-through), 75 ohms (automatic termination)
- $NTSC_{3.58}$ / $PAL_{4.43}$, 1 Vp-p typical
- Black burst signal for the gen-lock function*

S video (Y / C)
- 4-pin mini DIN connector × 2 (loop-through), 75 ohms (automatic termination)
- Y: 1 Vp-p typical, sync negative
- C: 0.286 Vp-p (NTSC) / 0.3 Vp-p (PAL) typical

VIDEO 2 IN — Composite video
- BNC connector × 2 (loop-through), 75 ohms (automatic termination)
- $NTSC_{3.58}$ / $PAL_{4.43}$, 1 Vp-p typical

S video (Y / C)
- 4-pin mini DIN connector × 2 (loop-through), 75 ohms (automatic termination)
- Y: 1 Vp-p typical, sync negative
- C: 0.286 Vp-p (NTSC) / 0.3 Vp-p (PAL) typical

VIDEO 3 IN — RGB / component
- D-sub 15-pin, 3-row connector × 2 (loop-through), 75 ohms / high impedance
- R / G / B: 0.714 Vp-p (sync on G acceptable)
- H / V or composite sync: 1 to 5 Vp-p
- Y / R-Y / B-Y: 0.7 Vp-p typical (NTSC / PAL, sync on Y)

AUDIO IN 1, 2, 3 (L / R) — RCA pin jack, more than 10 kilohms
0 dBs (1 Vrms) max.

Signal output

VIDEO OUT — Composite video
- BNC connector, 75 ohms typical
- $NTSC_{3.58}$ / $PAL_{4.43}$, 1 Vp-p typical

S video (Y / C)
- 4-pin mini DIN connector, 75 ohms typical
- Y: 1 Vp-p typical, sync negative
- C: 0.286 Vp-p (NTSC) / 0.3 Vp-p (PAL) typical

RGB / component
- D-sub 15-pin, 3-row connector, 75 ohms typical
- R / G / B: 0.714 Vp-p with external sync
- H / V or composite sync: TTL sync negative
- Y / B-Y / R-Y: 0.7 Vp-p typical (sync on Y)

AUDIO OUT (L / R) — RCA pin jack
Audio gain: ± 1.0 dB typical
Total harmonic distortion: less than 1 %, 1 Vrms

Video processing

Capture range	Horizontal rate: 15.6 to 70 kHz, Vertical rate: 50 to 120 Hz
Preset signal	Input: 10 formats Output: 6 formats Gen-lock output: NTSC or PAL (See page 47.)
Video memory	1,152 × 1,152 × 24 bits (RGB total)
Sampling rate	14.3 to 40 MHz offset phase max. (equivalent to 80 MHz sampling)
Output pixel clock	14.3 to 50 MHz max.

General

Power requirements	100 to 120 V AC, 50 / 60 Hz, 0.4 A 200 to 240 V AC, 50 – 60 Hz, 0.25 A
Power consumption	30 W (max. in operation) 3 W (power off)
Operation temperature	0 to 35°C (32 – 95°F)
Dimensions	424 × 44 × 354 mm (w / h / d) (16 3/4 × 1 3/4 × 14 inches) excluding bracket and legs
Mass	Approx. 4.1 kg (9 lb 1 oz)
Supplied accessories	AC power cord (1) Signal cable (1)

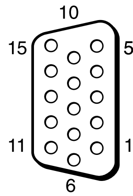
Optional accessories

Rack mount bracket MB-510
SMF-400: D-sub 15-pin (male) to 5 BNC cable
SMF-401: D-sub 15-pin (male) to D-sub 15-pin (male) cable
Remote commander RM-854, RM-1271, RM-PJ1292, RM-PJ350

*** Note on the gen-lock function**
The reference signal should comply with SMPTE 170M (NTSC) or ITU-R624 (PAL).

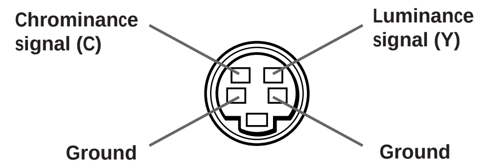
Signal assignment

VIDEO 3 IN connector (D-sub 15-pin, 3-row)
VIDEO OUT connector (D-sub 15-pin, 3-row)



Pin No.	Signal
1	Red video or R-Y
2	Green video or Y
3	Blue video or B-Y
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	Not used
13	H sync or composite sync
14	V sync
15	Not used

Y/C IN/OUT connector (4-pin mini DIN)



English

Preset signals

Indicator		Signal standards		
INPUT	**OUTPUT**	**Name**	**Scan lines**	**Line rate/field rate**
NTSC	NTSC	NTSC	525 lines total (interlaced)	15.73 kHz / 59.94 Hz
PAL	PAL	PAL	625 lines total (interlaced)	15.63 kHz / 50.00 Hz
OTHERS	—	HDTV (Japan)	1125 lines total (interlaced)	33.75 kHz / 59.94 Hz
31.5k	—	VGA Text	400 lines active (non-interlaced)	31.47 kHz / 70.11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640 × 480	480 lines active (non-interlaced)	31.47 kHz / 59.94 Hz
OTHERS	—	Mac 13” mode	480 lines active (non-interlaced)	35.00 kHz / 66.67 Hz
37k	37k	VESA 800 × 600	600 lines active (non-interlaced)	37.88 kHz / 60.32 Hz
OTHERS	—	Mac 16” mode	624 lines active (non-interlaced)	49.73 kHz / 74.55 Hz
48k	48k	VESA 1024 × 768	768 lines active (non-interlaced)	48.36 kHz / 60.00 Hz
64k	64k	VESA 1280 × 1024	1024 lines active (non-interlaced)	63.95 kHz / 59.94 Hz

• H. SYNC and V. SYNC of all the output signals are negative.

VESA is a registered trademark of Video Electronics Standards Association.
VGA and SVGA are registered trademarks of International Business Machines Corporation.
Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.

Design and specifications are subject to change without notice.

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

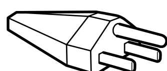
Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Dieses Gerät enstspricht den folgenden europäischen EMV-Vorschriften für Betrieb in gewerblichen Gebieten und Leichtindustriegebieten.

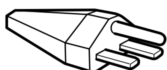
EN55022 / 1987 Klasse B
EN50082-1 / 1992

Wichtiger Hinweis zur Stromversorgung

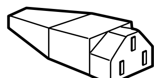
- Verwenden Sie ein für die lokale Stromversorgung geeignetes Netzkabel.



115 Volt



230 Volt (nicht im Standardkabelsatz enthalten)



Kabelsatz CEE-22, weibliches Ende (alle Netzkabelsätze)

	USA, Kanada, Japan	**Kontinentaleuropa**	**Großbritannien, Irland**	**Australien, Neuseeland**
Steckertyp	NEMA S-15P	CEE 7 / VII (Schuko)	BS 1363	SAA AS 3112
Kabeltyp	SJT	HAR (HO5VV-F3G1.0)	HAR (HO5VV-F3G1.0)	CDB03PLP
Minimale Kabelsatzspannung	7 A / 125 V 3 × 18AWG	7 A / 250 V	7 A / 250 V	7 A / 250 V
Kabellänge	2 m ± 0,1m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m
Sicherheitsstandards	UL / CSA	HAR	BSI, ASTA	Energiebehörde von Neu-Süd-Wales

Die universale Stromversorgungsfunktion mit automatischer Spannungsanpassung ist in allen Ländern einsetzbar. Das Gerät paßt sich der lokalen Stromversorgung an, wenn Sie ein entsprechendes Netzkabel mit entsprechendem Stecker verwenden.

Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Das Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gerät gelangen, trennen Sie es von der Netzsteckdose, und lassen Sie es von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät mehrere Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Ziehen Sie dabei immer am Stecker, niemals am Kabel.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen oder Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub oder Feuchtigkeit, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn die Temperatur im Inneren des Geräts zu hoch wird, schaltet die integrierte Temperaturschutzschaltung das Gerät automatisch aus.

Arbeitsweise des Geräts

Dieses Gerät konvertiert die Abtastfrequenz und die Abtastzeilen eines Videosignals. Daten jedoch, die über das Austastsignal geblendet werden, zum Beispiel ein Kopierschutzsignal (Copyguard-System) oder Untertitel, kann das Gerät nicht erkennen und weitergeben.
Ein Teil der Informationen des Eingangssignals kann bei der Konvertierung verlorengehen.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einem milden Reinigungsmittel. Verwenden Sie keine starken Lösungsmittel wie Benzin oder Verdünner und keine Scheuermittel, denn diese könnten die Gehäuseoberfläche angreifen. Ziehen Sie vor dem Reinigen des Geräts zur Sicherheit den Netzstecker aus der Netzsteckdose.

Wiederverpacken

Werfen Sie Karton und Verpackungsmaterial nicht weg. Wenn Sie das Gerät einmal transportieren müssen, verpacken Sie es wieder in der Originalverpackung, denn in dieser ist das Gerät optimal vor Transportschäden geschützt.

Sollten Sie zu diesem Gerät Fragen haben, wenden Sie sich bitte an Ihren autorisierten Sony-Händler.

Inhalt

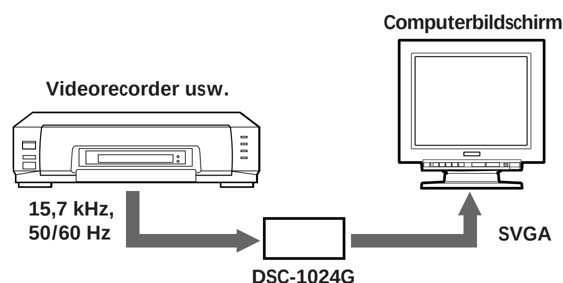
Merkmale und Funktionen

Danke, daß Sie sich für den Digital Scan Converter von Sony entschieden haben! Im folgenden sind einige der Merkmale und Funktionen aufgelisetet, die der Converter Ihnen zu bieten hat:

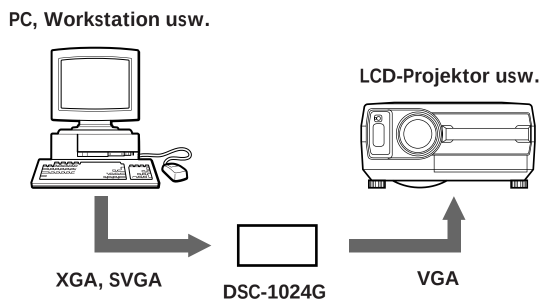
Kombination aus Transcoder und Formatwandler

Dieses Gerät dient zum Umwandeln (Konvertieren) von Videosignalen in andere Signalformate. Es können FBAS-Video-, Y/C-, Farbdifferenz- und RGB-Signale konvertiert werden. Ebenso kann das Gerät Abtastfrequenzen im Bereich zwischen 15 und 70 kHz für das Horizontalsignal (fH) und im Bereich zwischen 50 und 120 Hz für das Vertikalsignal (fV) in sechs verschiedene Auflösungsformate aufwärts- oder abwärtskonvertieren.
Dank dieser neuartigen Kombination von Transcoder und Formatwandler können Sie in dieses Gerät verschiedene Videoeingangssignale einspeisen und die Bilder mit hochauflösenden Monitoren oder Projektoren anzeigen oder mit normalen Videogeräten aufnehmen und wiedergeben lassen.

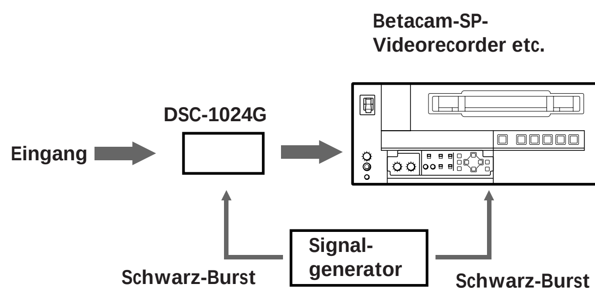
Beispiel für eine Aufwärtskonvertierung



Beispiel für eine Abwärtskonvertierung

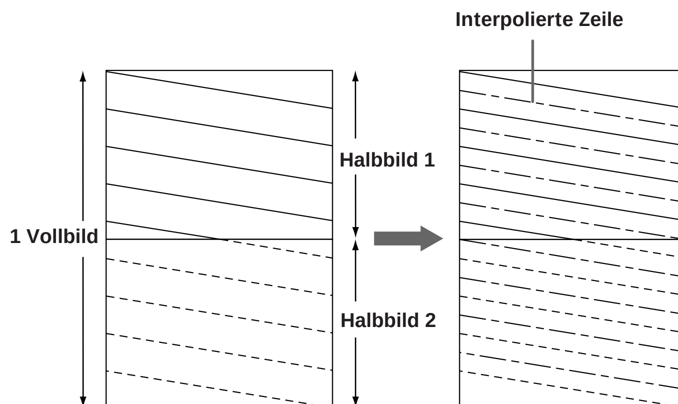


Beispiel für Synchronisation durch Generator



Zeilenverdoppelung

Die Abtastfrequenz der eingespeisten NTSC- oder PAL-Signale kann pro Halbbild auf einen Horizontalfrequenzwert von 31,5 kHz verdoppelt werden, indem Informationen vertikal in die Zeilensignale hineininterpoliert werden. Auf diese Weise lassen sich auch stark bewegte Sequenzen in bester Bildqualität wiedergeben.



Synchronisation durch Generator (Genlock-Modus)

Der Genlock-Modus kann für das Ausgangssignal mit Hilfe eines Schwarz-Burst-Signals aktiviert werden, das als Referenzsignal von einem Signalgenerator o. ä. eingespeist wird.

Anzeige des Bildformats

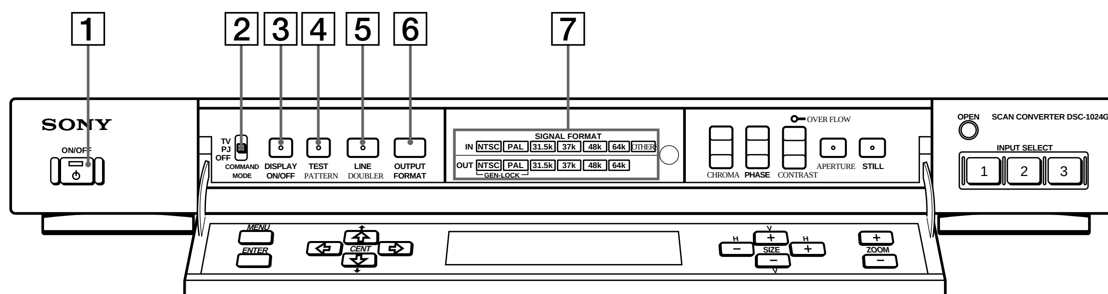
Das Bildseitenverhältnis des konvertierten Bildes wird angezeigt, wenn Sie das Bild zoomen oder die Bildgröße ändern.

Weitere Funktionen und Merkmale

- Dreidimensionaler Kammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei NTSC
- Zeilenkorrelationskammfilter für die Y/C-Trennung bei PAL-Signalen
- Bis zu 4facher Zoom
- Steuerung über Infrarot- oder Kabelfernbedienung von Sony (über SIRCS-Code)
- Menüanzeigen in fünf Sprachen zur Erleichterung der Arbeit mit dem Gerät
- Eingebaute Testsignale zur Korrektur der Bildqualität
- Drei Gruppen von Videoeingängen mit zugehörigen Audioeingängen: zwei FBAS-Video- bzw. Y/C-Eingänge, ein RGB-/Farbdifferenzsignaleingang
- Speicher für bis zu fünf Betriebseinstellungen
- Automatische Eingangssignalerkennung mit Anzeige
- Selbsteinstellung für gleichförmiges Ausgangssignal
- Montage in EIA-Gestell möglich
- Wählbarer Schwarzabhebungspegel (Schwarzreferenzpegel) für das NTSC-Ausgangssignal

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite



1 Netzschalter und Netzanzeige ON/OFF

Zum Ein- und Ausschalten des Geräts.
Die Anzeige auf dem Schalter leuchtet, wenn das Gerät eingeschaltet ist.

2 Wählschalter COMMAND MODE

Wenn Sie eine mit einem Monitor oder Fernsehgerät von Sony mitgelieferte Fernbedienung benutzen, stellen Sie diesen Schalter auf TV.
Wenn Sie eine mit einem Projektor von Sony mitgelieferte Fernbedienung benutzen, stellen Sie diesen Schalter auf PJ.
Wenn Sie keine Fernbedienung benutzen, stellen Sie diesen Schalter auf OFF.

3 Taste und Tastenanzeige DISPLAY ON/OFF

Wenn Sie diese Taste drücken, wird die Tastenanzeige eingeschaltet (ANZEIGEN auf EIN), und der aktuelle Betriebsmodus des Geräts wird angezeigt.
Wenn Sie diese Taste nochmals drücken, wird die Tastenanzeige ausgeschaltet (ANZEIGEN auf AUS), und die Anzeige wird ausgeblendet.

Hinweis

Wenn Sie die Taste MENU drücken, erscheint das Hauptmenü, auch wenn im Gerät ANZEIGEN auf AUS gesetzt ist.

4 Taste und Tastenanzeige TEST PATTERN

Wenn Sie diese Taste drücken, wird die Tastenanzeige eingeschaltet, und ein Testmuster wird angezeigt.
Um das Testmuster wieder auszublenden, drücken Sie die Taste TEST PATTERN so oft, bis kein Testmuster mehr erscheint, oder drücken Sie die Taste ON / OFF, INPUT SELECT oder OUTPUT FORMAT.

5 Taste und Tastenanzeige LINE DOUBLER

Wenn ein Signal im NTSC- oder PAL-Format eingespeist wird und Sie diese Taste drücken, wird die Tastenanzeige eingeschaltet, und die Zeilenverdoppelungsfunktion wird aktiviert. Wenn Sie diese Taste nochmals drücken, wird die Tastenanzeige ausgeschaltet, und die Zeilenverdoppelungsfunktion wird deaktiviert.

6 Taste OUTPUT FORMAT

Zum Auswählen des gewünschten Ausgangssignalformats. Die Anzeige zu dem ausgewählten Ausgangssignalformat leuchtet.

7 Anzeigen SIGNAL FORMAT

SIGNAL FORMAT
IN NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k OTHERS
OUT NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k
GEN-LOCK

IN-Anzeigen (obere Reihe)

Zeigen das Format des Eingangssignals an, das Gerät automatisch erkannt hat.
Die Werte 31,5k, 37k, 48k und 64k geben die Horizontalabtastfrequenz an. Entspricht die Horizontalabtastfrequenz des eingespeisten Signals einem dieser Werte (± 1 kHz), leuchtet die entsprechende Anzeige auf. Erkennt das Gerät einen davon abweichenden Wert, leuchtet die Anzeige OTHERS auf.

OUT-Anzeigen (untere Reihe)

Zeigen das Format des Ausgangssignals an, das Sie mit der Taste OUTPUT FORMAT gewählt haben. Die angezeigten Ausgangssignale haben folgendes Format:

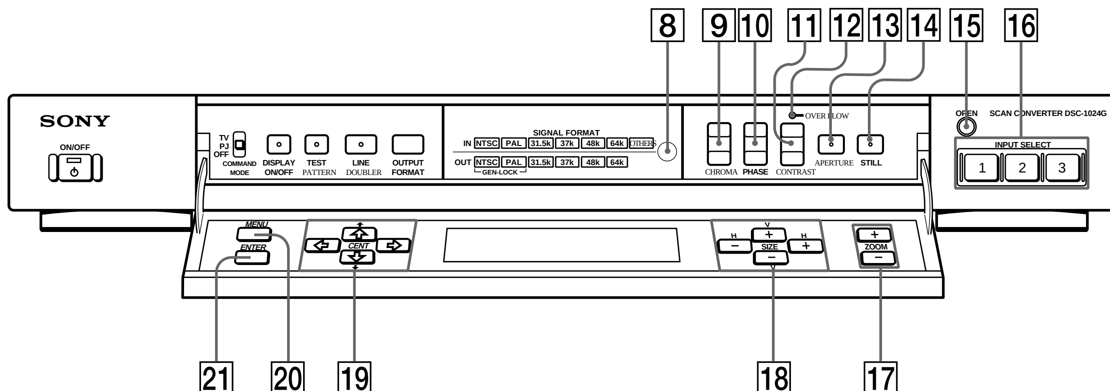
Anzeige	Format
NTSC	NTSC
PAL	PAL
31.5k	VGA 640 × 480
37k	VESA 800 × 600
48k	VESA 1024 × 768
64k	VESA 1280 × 1024

Näheres zu den einzelnen Formaten schlagen Sie bitte unter “Voreingestellte Signale” auf Seite 69 nach.

Anzeige GEN-LOCK

Wenn das Ausgangssignal im PAL- oder NTSC-Format ist und GENLOCK im Menübildschirm auf EIN gesetzt wird, leuchtet die Anzeige GEN-LOCK auf oder blinkt.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente (Fortsetzung)



8 **Fernbedienungssensor**
Erkennt das Signal einer nicht über Kabel angeschlossenen Fernbedienung.

9 **Taste CHROMA +/–**
Zum Einstellen der Farbsättigung des Bildes.

10 **Taste PHASE +/–**
Zum Einstellen der Bildphase.

11 **Taste CONTRAST +/–**
Zum Einstellen des Bildkontrasts.

12 **Anzeige OVERFLOW**
Leuchtet auf, wenn der Pegel des Eingangssignals zu hoch ist.

13 **Taste und Tastenanzeige APERTURE**
Wenn Sie diese Taste drücken, wird die Tastenanzeige eingeschaltet, und das Bild wird schärfer. Wenn Sie die Taste nochmals drücken, erlischt die Tastenanzeige, und die Bildkonturen werden weicher.

14 **Taste und Tastenanzeige STILL**
Wenn Sie diese Taste drücken, wird die Tastenanzeige eingeschaltet, und es erscheint ein Standbild. Wenn Sie die Taste nochmals drücken, erlischt die Tastenanzeige, und es erscheint wieder das normale Bild.

15 **Taste OPEN**
Zum Öffnen der Klappe an der Vorderseite

16 **Tasten INPUT SELECT**
Zum Auswählen des Eingangssignals.
1: Wählt die an VIDEO 1 (Y/C oder COMP) und AUDIO 1 IN angeschlossene Signalquelle
2: Wählt die an VIDEO 2 (Y/C oder COMP) und AUDIO 2 IN angeschlossene Signalquelle
3: Wählt die an VIDEO 3 (RGB oder YBR*) und AUDIO 3 IN angeschlossene Signalquelle

* YBR ist die Abkürzung für ein Y/B-Y/R-Y–Farbdifferenzsignal.

17 **Tasten ZOOM +/–**
Zum Verstärken (+) bzw. Abschwächen (–) des Zoom.

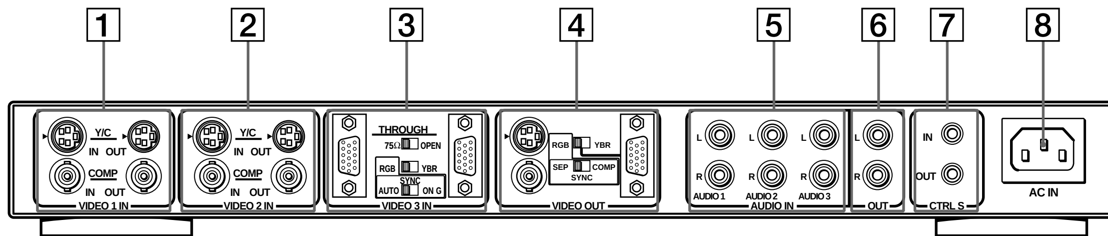
18 **Tasten SIZE V/H +/–**
Zum Einstellen der Bildgröße.
V+: Das Bild wird höher.
V–: Das Bild wird niedriger.
H+: Das Bild wird breiter.
H–: Das Bild wird schmaler.

19 **Tasten/Cursortasten CENT ⇧/⇩/⇦/⇨**
Zum Verschieben des Bildes in Pfeilrichtung.
Die Tasten ⇧ und ⇩ dienen darüber hinaus dazu, den Cursor auf der Menüanzeige zu bewegen.

20 **Taste MENU**
Zum Aufrufen und Ausblenden des Menüs.

21 **Taste ENTER**
Zum Auswählen einer Option in einem Menü.

Rückseite



1 **Anschlüsse VIDEO 1 IN**

2 **Anschlüsse VIDEO 2 IN**

Zwei Gruppen von Videoeingängen mit den entsprechenden Durchschleifausgängen.

Y/C IN (4polig):
Zum Anschließen an den Y / C-Ausgang eines Videogeräts. Dieser Anschluß hat Priorität über den Anschluß COMP IN, wenn beide Anschlüsse belegt sind.

COMP IN/REF (BNC):
Zum Anschließen an den FBAS-Ausgang eines Videogeräts.
Dient außerdem zum Einspeisen des Referenzsignals für den Genlock-Modus (Schwarz-Burst-Signal) in den Anschluß VIDEO 1 IN REF.

Y/C OUT (4polig):
Durchschleifausgang des Anschlusses Y / C IN.

COMP OUT (BNC):
Durchschleifausgang des Anschlusses COMP IN.

3 **Anschlüsse VIDEO 3 IN**

Eine Gruppe von RGB- oder Farbdifferenzsignaleingängen (Y / B-Y / R-Y).

RGB-/Farbdifferenzsignaleingang (D-Sub, 15polig, dreireihig):
Schließen Sie einen der D-Sub-Anschlüsse an die RGB-Ausgänge eines Videogeräts oder die Farbdifferenzsignalausgänge (Y / B-Y / R-Y) eines Betacam-SP-Videorecorders an. Der andere D-Sub-Anschluß fungiert als Durchschleifausgang.

Abschlußwiderstandschalter:
Ist an den Durchschleifausgang nichts angeschlossen, setzen Sie diesen Schalter auf 75 Ω. Ist etwas daran angeschlossen, setzen Sie ihn auf OPEN.

Wählschalter RGB/YBR*:
Stellen Sie diesen Schalter in die Position, die dem Format des in den D-Sub-Anschluß eingespeisten Signals entspricht.

Wählschalter SYNC:
Steht im Normalfall auf AUTO. Stellen Sie diesen Schalter auf ON G, wenn ein externes Synchronisationssignal und ein Grünsignal mit Synchronisation eingespeist werden und das Gerät das Grünsignal mit Synchronisation verwenden soll.

* YBR ist die Abkürzung für ein Y / B-Y / R-Y–Farbdifferenzsignal.

4 **Anschlüsse VIDEO OUT**

Drei Gruppen von Videoausgängen, über die das konvertierte Signal ausgegeben wird.

Y/C-Ausgang (4polig):
Zum Anschließen an den Y / C-Eingang eines Videogeräts. Über diesen Ausgang werden ausschließlich NTSC- oder PAL-Signale ausgegeben.

FBAS-Videoausgang (BNC):
Zum Anschließen an den FBAS-Videoeingang eines Videogeräts.
Über diesen Ausgang werden ausschließlich NTSC- oder PAL-Signale ausgegeben.

RGB-/Farbdifferenzsignalausgang (D-Sub, 15polig, dreireihig):
Zum Anschließen an die RGB- oder Farbdifferenzeingänge (Y / B-Y / R-Y) eines Videogeräts.

Wählschalter RGB/YBR:
Stellen Sie diesen Schalter in die Position, die dem Format des über den D-Sub-Anschluß ausgegebenen Signals entspricht. YBR gilt, wenn ein NTSC- oder PAL-Signal ausgegeben wird.

Ausgangswählschalter SYNC:
Wählen Sie das Synchronisationssignal für den RGB-Ausgang.
Stellen Sie diesen Schalter auf SEP, wenn das Gerät das getrennte Synchronisationssignal (horizontal / verikal) verwenden soll.
Stellen Sie diesen Schalter auf COMP, wenn das Gerät das zusammengesetzte Synchronisationssignal verwenden soll.

5 **Buchsen AUDIO IN L/R (Cinchbuchsen)**

Drei Gruppen von Audioeingängen.
Zum Anschließen an die Audioausgänge von angeschlossenen Geräten. Wird ein monaurales Signal eingespeist, schließen Sie nur die Buchse L an. Sie können die Audioquelle mit den Tasten INPUT SELECT an der Vorderseite wählen.

6 **Buchsen AUDIO OUT L/R (Cinchbuchsen)**

Eine Gruppe von Ausdioausgängen.
Zum Anschließen an die Audioeingänge von angeschlossenen Geräten.

7 **Buchsen CTRL S IN/OUT (Minibuchsen)**

Zum Anschließen an die Buchsen CONTROL S von angeschlossenen Geräten von Sony. Bei einer solchen Verbindung können Sie das gesamte System mit einer einzigen Fernbedienung steuern.
Wenn die Buchse CTRL S IN belegt ist, wird der Fernbedienungssensor an der Vorderseite automatisch deaktiviert.

8 **Netzanschluß AC IN**

Zum Anschließen des mitgelieferten Netzkabels.

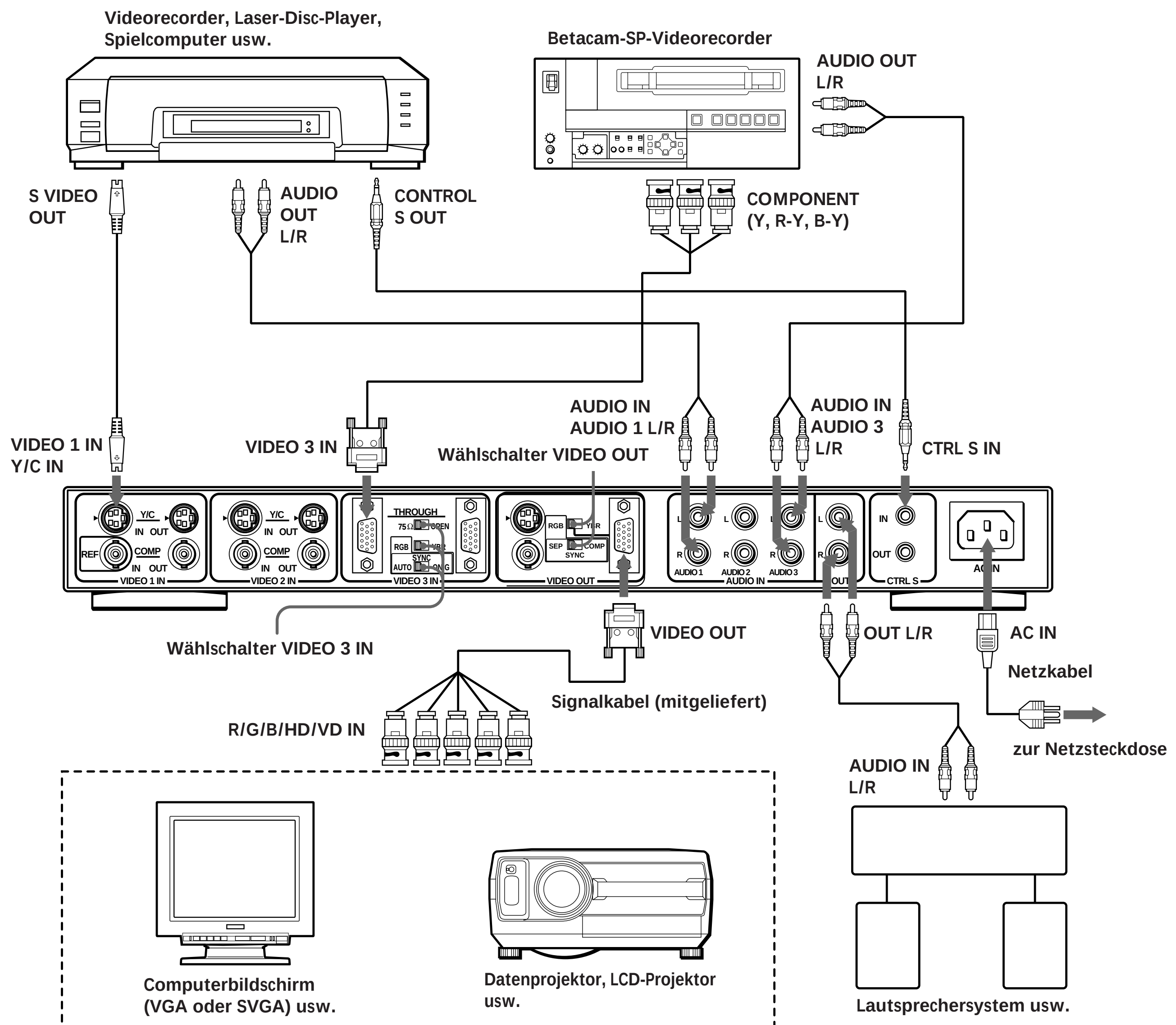
Anschließen des Geräts

Vorbereitungen

- Sorgen Sie zunächst dafür, daß alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Achten Sie darauf, daß sich die verwendeten Verbindungskabel für die anzuschließenden Geräte eignen.
- Stecken Sie die Stecker ganz in die Buchsen hinein. Eine lose Verbindung kann zu Rauschen und anderen Störungen führen.
- Ziehen Sie, wenn Sie eine Kabelverbindung lösen möchten, immer am Stecker, niemals am Kabel.
- Schlagen Sie auch in der Bedienungsanleitung zu dem Gerät nach, das Sie anschließen möchten.

Anschließen zum Aufwärtskonvertieren eines Signals

Das folgende Diagramm zeigt eine Verbindung, bei der ein Eingangssignal mit niedriger Frequenz in ein Ausgangssignal mit hoher Frequenz konvertiert wird.



Einstellen der Wählschalter VIDEO OUT

- Stellen Sie den Wählschalter RGB / YBR auf RGB, wenn ein Computerbildschirm, ein Datenprojektor, ein LCD-Projektor usw. angeschlossen ist.
- Stellen Sie den Wählschalter SYNC auf SEP für ein getrenntes HD- bzw. VD-Synchronisationssignal bzw. auf COMP für ein zusammengesetztes Synchronisationssignal, je nach angeschlossenen Geräten.

Wenn ein Betacam-SP-Videorecorder an VIDEO 3 IN angeschlossen ist

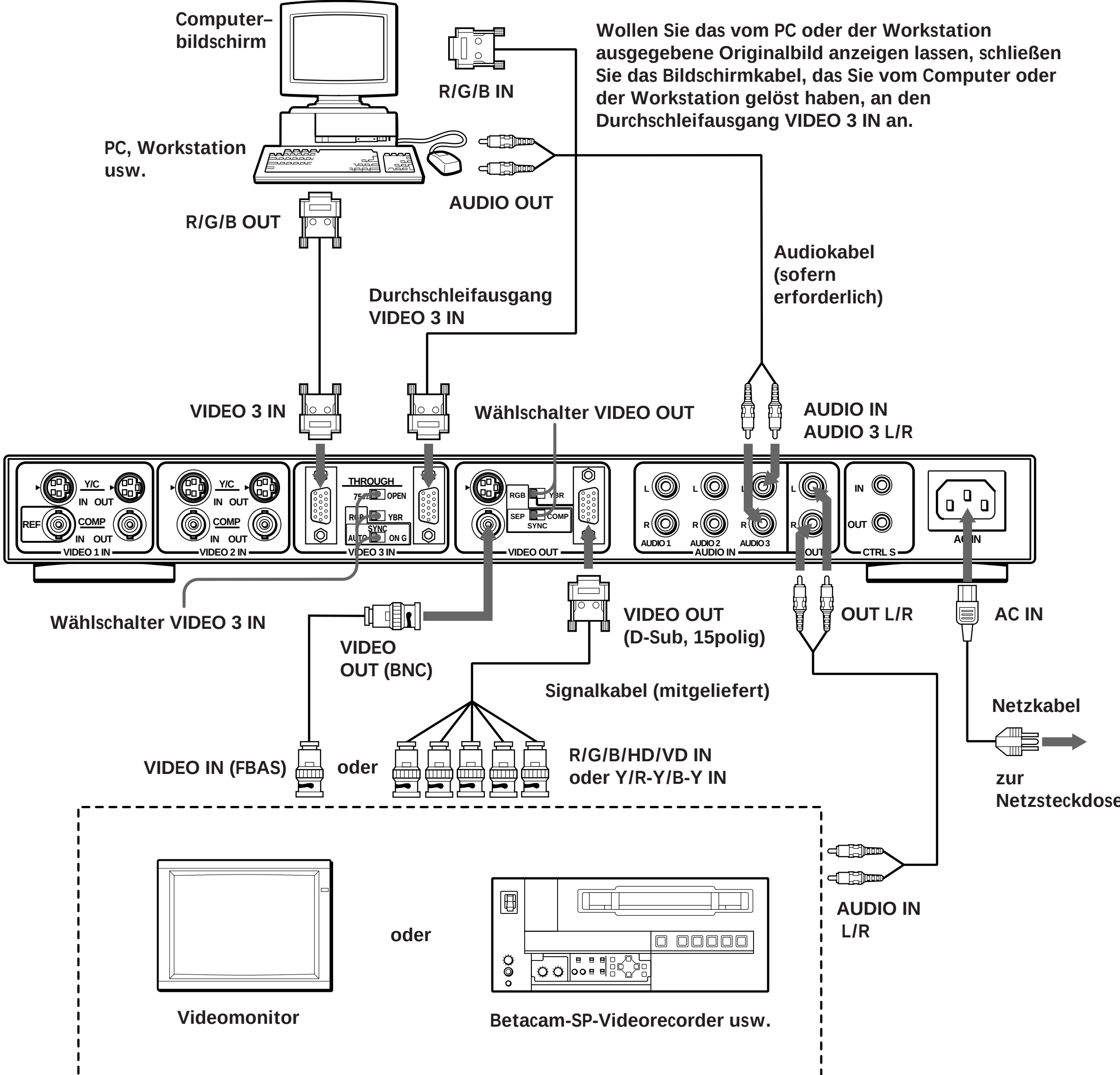
Stellen Sie die Wählschalter VIDEO 3 IN folgendermaßen ein:

- Wählschalter 75 Ω / OPEN auf 75 Ω
- Wählschalter RGB / YBR auf YBR
- Wählschalter SYNC auf AUTO

Verbinden Sie nur die drei Stecker des Signalkabels mit dem Betacam-SP-Videorecorder, und zwar den grünen Stecker mit dem Anschluß Y, den roten mit dem Anschluß R-Y und den blauen mit dem Anschluß B-Y. Schließen Sie möglicherweise vorhandene weitere Stecker nicht an.

Anschließen zum Abwärtskonvertieren eines Signals

Das folgende Diagramm zeigt eine Verbindung, bei der ein Eingangssignal mit hoher Frequenz in ein Ausgangssignal mit niedriger Frequenz konvertiert wird.



Einstellen der Wählschalter VIDEO OUT

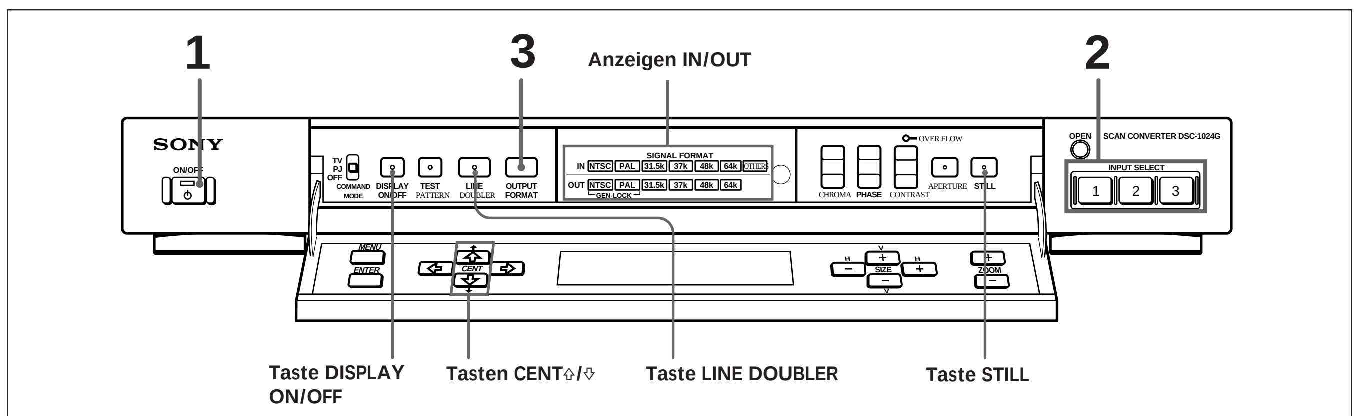
- Stellen Sie den Wählschalter RGB / YBR auf RGB, wenn ein Videomonitor oder ein Videoprojektor angeschlossen ist. Stellen Sie ihn auf YBR, wenn ein Betacam-SP-Videorecorder angeschlossen ist.
- Stellen Sie den Wählschalter SYNC auf SEP für ein getrenntes HD- bzw. VD-Synchronisationssignal bzw. auf COMP für ein zusammengesetztes Synchronisationssignal, je nach angeschlossenen Geräten.

Wenn der Computerbildschirm an den Durchschleifausgang VIDEO 3 IN angeschlossen ist

Stellen Sie die Wählschalter VIDEO 3 IN folgendermaßen ein:

- Wählschalter 75 Ω / OPEN auf OPEN
- Wählschalter RGB / YBR auf RGB
- Wählschalter SYNC auf AUTO oder ON G, je nach angeschlossenen Geräten
  Bei einem Macintosh oder einem Computer von Silicon Graphics Inc. stellen Sie den Schalter auf "ONG".

Anzeigen des konvertierten Bildes

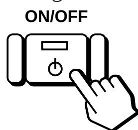


Vorbereitungen

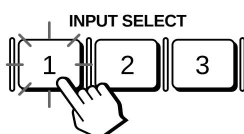
- Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein, und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
- Wenn Informationsanzeigen zu den aktuellen Funktionen angezeigt werden sollen, muß die Tastenanzeige der Taste DISPLAY ON / OFF leuchten. Leuchtet sie nicht, drücken Sie die Taste DISPLAY ON / OFF.
- Wie Sie für die Anzeige die gewünschte Sprache einstellen, erfahren Sie auf Seite 66.

Konvertieren des Bildes

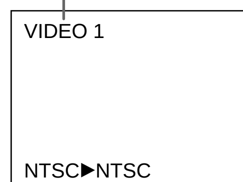
1 Drücken Sie den Schalter ON/OFF.
Die Anzeige des Schalters ON / OFF und die Tastenanzeigen der drei Tasten INPUT SELECT leuchten.



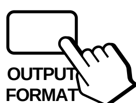
2 Wählen Sie mit der Taste INPUT SELECT die Signalquelle aus, deren Signal konvertiert werden soll.
Die Anzeige der gedrückten Taste leuchtet heller als die der anderen, und die Eingangssignalanzeige leuchtet auf und gibt das Format des Eingangssignals an (siehe Seite 69).

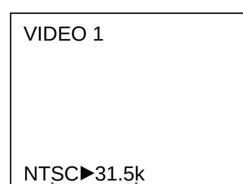


Ausgewählter Signaleingang



3 Wählen Sie das Signalformat des Ausgangssignals, indem Sie die Taste OUTPUT FORMAT entsprechend oft drücken.
Die ausgewählte Ausgangssignalanzeige leuchtet auf. Das Ausgangssignal wird einige Sekunden, nachdem Sie die Taste losgelassen haben, umgeschaltet.
Nähere Informationen zu den einzelnen Ausgangssignalformaten finden Sie auf Seite 69.





Format des eingespeisten Signals
Format des ausgegebenen Signals

Anzeigen des Bildes mit Zeilenverdoppelung

Die LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion) dieses Geräts konvertiert ein eingespeistes NTSC- oder PAL-Signal in ein digital hineininterpoliertes Signal mit hoher Abtastrate. Das Signal wird ohne Interlacing (ohne Zwischenzeilen) ausgegeben, wobei die Horizontalfrequenz 31,5 kHz beträgt und die Vertikalfrequenz mit dem eingespeisten Signal synchronisiert wird.
Die LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion) führt bei den einzelnen Halbbildern des Signals eine Aufwärtskonvertierung durch, indem sie Daten vertikal zwischen zwei Bildzeilen hineininterpoliert. Dank dieser Funktion läßt sich auch eine sehr stark bewegte Sequenz ohne Beeinträchtigungen als Bild mit hoher Auflösung wiedergeben.

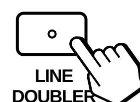
- Das konvertierte Signal wird über den RGB- / Farbdifferenzsignalausgang im RGB-Format ausgegeben.
- Die Zeilenverdoppelung kann für die drei Eingänge getrennt aktiviert werden.

Einschalten der LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion)

1 Wählen Sie mit der Taste OUTPUT FORMAT den Wert 31.5k.

2 Schließen Sie eine NTSC- oder PAL-Signalquelle an, und wählen Sie mit den Tasten INPUT SELECT den entsprechenden Eingang aus.

3 Drücken Sie die Taste LINE DOUBLER.
Die Tastenanzeige der Taste leuchtet auf, ebenso die Anzeigen NTSC und 31.5k oder PAL und 31.5k in der Reihe OUT.



Bei einer NTSC-Signalquelle

OUT NTSC | PAL | 31.5k | 37k
GEN-LOCK

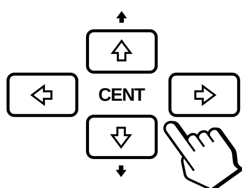
NTSC▶ZEILENx2

Bei einer PAL-Signalquelle

OUT NTSC | PAL | 31.5k | 37k
GEN-LOCK

PAL ▶ZEILENx2

4 Stellen Sie mit den Tasten CENT ⇧/⇩/⇦/⇨ die Bildposition ein.



V.ZENTR. 50

So schalten Sie die LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion) aus

Drücken Sie nochmals die Taste LINE DOUBLER, so daß die Tastenanzeige erlischt. Nun gilt als Ausgabeformat wieder 31,5k.

Hinweise

- Wenn Sie bei einer Signalquelle, bei der es sich nicht um ein NTSC- oder PAL-Gerät handelt, oder bei einem anderen Ausgabeformat als 31.5k die Taste LINE DOUBLER drücken, erscheint UNGÜLTIG, und die Taste LINE DOUBLER funktioniert nicht.
- Wenn die LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion) eingeschaltet ist, sind die Tasten ZOOM, SIZE, APERTURE und TEST PATTERN außer Funktion.
- Wenn die LINE DOUBLER-Funktion (Zeilenverdoppelungsfunktion) eingeschaltet ist, entspricht die Bildgröße der Größe des Originalbildes.
- Wenn Sie die Zeilenverdoppelungsfunktion verwenden, empfiehlt es sich, daß das Videogerät für die Signalquelle mit der TBC-Funktion (TBC = Time Base Corrector) ausgestattet ist. Wenn Sie die Zeilenverdoppelungsfunktion für das Signal aktivieren, ohne daß die TBC-Funktion zur Verfügung steht, und das konvertierte Signal auf einem Multiscan-Monitor anzeigen lassen, kann das Bild aufgrund von Störungen des Synchronisationssignals verschwinden.

Anzeigen eines Standbilds

Bei der Wiedergabe eines Films können Sie das Ausgangssignal auch als Standbild anzeigen lassen, indem Sie die Taste STILL drücken. Daraufhin erscheint neben der Meldung STANDBLD der Status EIN, und die Anzeige der Taste STILL leuchtet.



STANDBLD ▶EIN AUS

Soll wieder das normale Wiedergabebild angezeigt werden, drücken Sie die Taste STILL nochmals.

Hinweis

Im Standbildmodus funktionieren ausschließlich der Schalter ON / OFF und die Tasten INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, LINE DOUBLER, TEST PATTERN, MENU, ENTER und CENT⇧ ⇩.
Wenn Sie eine andere Taste drücken, erscheint die Meldung UNGÜLTIG.

Ausblenden der Meldungen

Wenn die Tastenanzeige der Taste DISPLAY ON / OFF leuchtet, wird ein paar Sekunden lang der Status der Funktion angezeigt, die Sie ausgeführt haben.
Wollen Sie diese Anzeige wieder ausblenden, drücken Sie DISPLAY ON / OFF. Damit setzen Sie ANZEIGEN auf AUS.



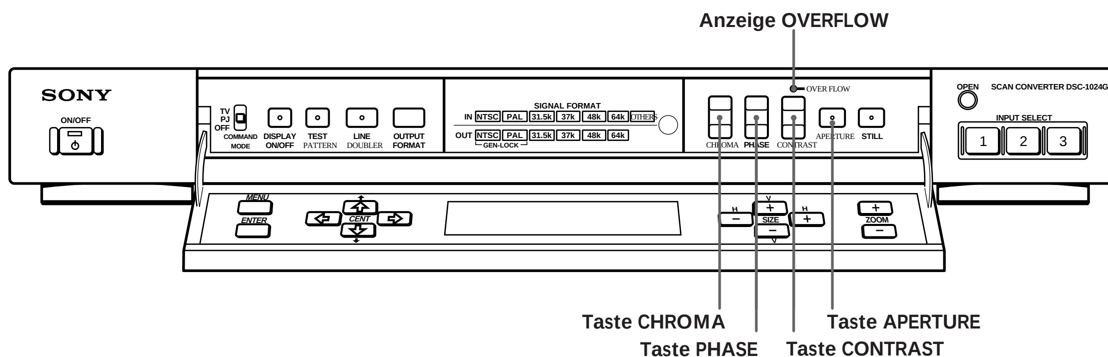
ANZEIGEN EIN ▶ AUS

Hinweis

Selbst wenn Sie ANZEIGEN auf AUS setzen, kann das Hauptmenü noch angezeigt werden, wenn Sie die Taste MENU drücken.

Deutsch

Einstellen des Bildes



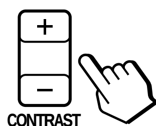
Bei einem angezeigten Bild können Sie Kontrast, Phase, Farbsättigung und Apertur (Bildschärfe) so einstellen, wie es Ihren Anforderungen entspricht. Diese Einstellungen können Sie für die drei Eingänge getrennt vornehmen. Die eingestellten Werte werden im Gerät gespeichert.

Einstellen von Kontrast, Phase und Farbsättigung

Drücken Sie die entsprechende Taste: CONTRAST für den Kontrast, PHASE für die Phase oder CHROMA für die Farbsättigung.

Der eingestellte Wert wird angezeigt.

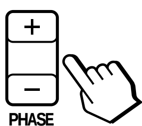
Kontrast





+: Zum Verstärken des Kontrasts
–: Zum Abschwächen des Kontrasts

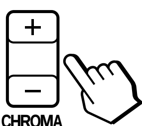
Phase





+: Zum Verstärken der Grünkomponente
–: Zum Verstärken der Rotkomponente

Farbsättigung





+: Zum Verstärken der Farbintensität (Farbsättigung)
–: Zum Abschwächen der Farbintensität (Farbsättigung)

Hinweise

- Für das RGB-Eingangssignal können Sie CHROMA und PHASE nicht einstellen.
- Beim Farbdifferenzeingangssignal (Y/B-Y/R-Y) können Sie PHASE nicht einstellen.
- Bei Farbbildern, die über ein PAL-Gerät eingespeist werden, hat die Taste PHASE keine Wirkung.

Wenn Sie die entsprechenden Tasten drücken, wird UNGÜLTIG angezeigt.

Einstellen der Apertur (Bildschärfe)

Um das Bild schärfer zu stellen, drücken Sie die Taste APERTURE, so daß die Option APERTUR auf EIN gesetzt wird. Die Tastenanzeige der Taste APERTURE leuchtet auf.
Um das Bild weniger scharf einzustellen, drücken Sie die Taste APERTURE nochmals, so daß die Option APERTUR auf AUS gesetzt wird.
Für NTSC- und PAL-Videoeingangssignale ist APERTUR werkseitig auf AUS gesetzt, für andere Eingangssignale auf EIN.



APERTUR ▶EIN AUS

Hinweis

Handelt es sich bei dem ausgegebenen Signal um ein Signal mit Interlacing (mit Zwischenzeilen), zum Beispiel NTSC oder PAL, läßt sich das Zeilenflimmern reduzieren, indem Sie APERTUR auf AUS setzen. Dabei erscheinen die Bildkonturen jedoch leicht verschwommen.

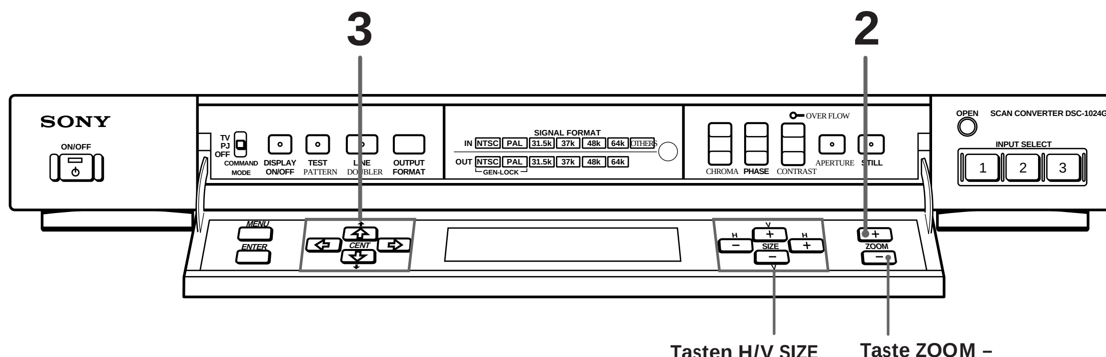
Wenn der Pegel des eingespeisten Signals zu hoch ist

Die Anzeige OVERFLOW leuchtet auf. Überprüfen Sie in diesem Fall, ob die Wählschalter 75 Ω/OPEN und RGB/YBR bei VIDEO 3 korrekt eingestellt sind. Wenn ja, drücken Sie die Taste CONTRAST –.

Zurücksetzen von Kontrast, Phase und Farbsättigung auf die werkseitigen Werte

Diese Einstellungen können Sie mit der Option RESET FARBE auf dem MENU 1 auf die werkseitigen Werte zurücksetzen (siehe Seite 61).

Vergrößern und Verkleinern des Bildes und Ändern des Bildformats

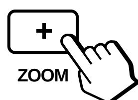


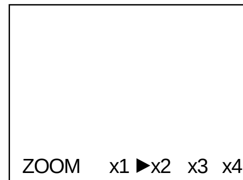
Sie können ein Bild auf das 2-, 3- oder 4fache seiner ursprünglichen Größe vergrößern. Darüber hinaus können Sie das Bild verschieben, so daß es auf den Bildschirm bzw. Projektionsschirm paßt, und Sie haben die Möglichkeit, Höhe und Breite des Bildes separat einzustellen. Die Einstellungen können für die drei Eingänge getrennt vorgenommen werden.

Vergrößern und Verkleinern des Bildes

1 **Lassen Sie das Bild anzeigen.**

2 **Drücken Sie die Taste ZOOM +.**

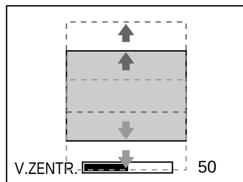


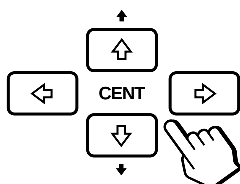


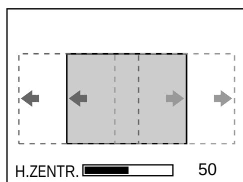
Mit jedem Tastendruck auf ZOOM+ wechselt die Vergrößerungsstufe in der Reihenfolge 2fach-3fach-4fach.
Wollen Sie das Bild verkleinern, drücken Sie ZOOM–.

3 **Nun können Sie mit den Tasten CENT ⇧/⇩/⇦/⇨ die Position des näher herangeholten Bildes korrigieren.**

⇧/⇩: Zum Verschieben des Bildes nach oben oder unten (V. ZENTR.)
⇦/⇨: Zum Verschieben des Bildes nach rechts oder links (H. ZENTR.)





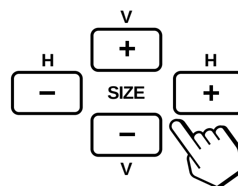


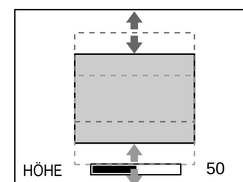
Die Bildposition wird in Form eines Einstellbalkens und eines Wertes zwischen 0 und 100 angezeigt. Werkseitig ist der Wert 50 voreingestellt.

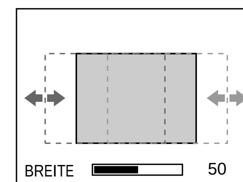
Ändern des Bildformats

Mit den Tasten H/V SIZE +/– können Sie das Bildformat verändern.

V SIZE +: Das Bild wird höher.
V SIZE –: Das Bild wird niedriger.
H SIZE +: Das Bild wird breiter.
H SIZE –: Das Bild wird schmaler.





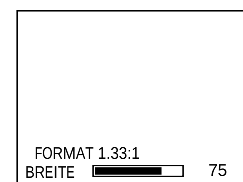


Das Bildformat wird in Form eines Einstellbalkens und eines Wertes zwischen 0 und 100 angezeigt. Werkseitig ist der Wert 50 voreingestellt (außer bei einem HDTV- oder 64-KB-Eingangssignal).

Anzeigen des Bildseitenverhältnisses

Wenn Sie mit den Tasten H / V SIZE das Bildformat ändern, berechnet das Gerät das Bildseitenverhältnis für das konvertierte Bild und zeigt den berechneten Wert als Dezimalzahl an. Zusätzlich werden Einstellbalken und Einstellwert angezeigt.

Beispiel: Das Bildseitenverhältnis 4:3 erscheint als 1.33:1.
Das Bildseitenverhältnis 16:9 erscheint als 1.78:1.



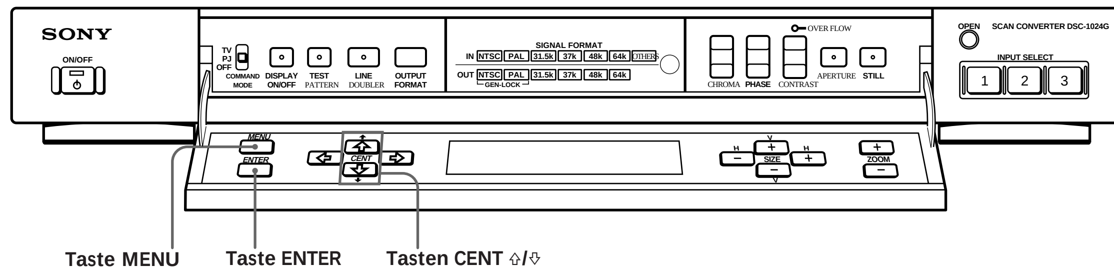
Hinweis

Das Bildseitenverhältnis wird nur dann angezeigt, wenn ein voreingestelltes Signal eingespeist wird. Eine Liste der voreingestellten Signale finden Sie auf Seite 69.

Wiederherstellen der Originalgröße und -position des Bildes

Mit RESET GEOM. auf dem MENU 1 können Sie die Originalgröße und -position des Bildes wiederherstellen (siehe Seite 61).

Die Speicherfunktion



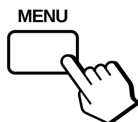
Taste MENU   Taste ENTER   Tasten CENT ⇧/⇩

Wenn Sie den Converter für die Wiedergabe eines Bildes aus einer bestimmten Eingangsquelle einstellen, können Sie die entsprechenden Einstelldaten als “Definitionen” speichern. Eine Definition gibt die Eingangsquelle und das Ausgabegerät, die Bildgröße, das Bildformat (H / VSIZE) und die Bildposition an. Haben Sie Definitionen gespeichert, können Sie schnell und mühelos zwischen diesen umschalten.
Es ist Speicherplatz für fünf solche Definitionen vorhanden.

Speichern der aktuellen Einstellungen

1 Stellen Sie das Bild wie gewünscht ein.

2 Drücken Sie die Taste MENU.
Das MENÜ 1 erscheint.

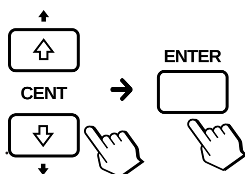


MENÜ 1

▶SPEI. LADEN
SPEI. SICHERN
RESET GEOM.
RESET FARBE
RESET TOTAL
INDEXNR.
SPRACHE

WAHL:⇕ENTER WEITER:MENU

3 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf SPEI. SICHERN, und drücken Sie die Taste ENTER.
Das Menü SPEI. SICHERN erscheint.
Die aktuellen Einstellungen erscheinen in der linken Spalte unter AKTUELL, die gespeicherten Daten in der rechten Spalte unter SPEI. Ist in der betreffenden Definition noch kein Wert gespeichert, erscheint an der Stelle ein “–”.



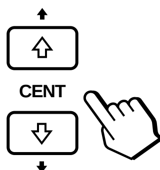
SPEI. SICHERN

	AKTUELL	▶ SPEI.1
EINGANG	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
AUSGANG	31.5k	–
ZOOM	x1	–
BREITE	50	–
H.ZENTR.	50	–
HÖHE	50	–
V.ZENTR.	50	–

WAHL:⇕ENTER STOP:MENU

Aktuelle Einstellungen

4 Drücken Sie CENT ⇧/⇩ so oft, bis die Definition mit der gewünschten Nummer (1 bis 5) erscheint.



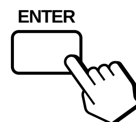
Definitionsnummer

SPEI. SICHERN

	AKTUELL	▶ SPEI.3
EINGANG	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
AUSGANG	31.5k	–
ZOOM	x1	–
BREITE	50	–
H.ZENTR.	50	–
HÖHE	50	–
V.ZENTR.	50	–

WAHL:⇕ENTER STOP:MENU

5 Drücken Sie die Taste ENTER.
Die aktuellen Einstellungen werden unter der Definitionsnummer in der rechten Spalte gespeichert. Wurden Daten unter der ausgewählten Definitionsnummer gespeichert, erscheinen sie nun in der linken Spalte unter AKTUELL.



SPEI. SICHERN

	AKTUELL	▶ SPEI.3
EINGANG	VIDEO1	VIDEO1
SIGNAL	NTSC	NTSC
AUSGANG	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
BREITE	50	50
H.ZENTR.	50	50
HÖHE	50	50
V.ZENTR.	50	50

WAHL:⇕ENTER STOP:MENU

Aktuelle gespeicherte Einstellungen

6 Um das Menü wieder auszublenden, drücken Sie dreimal die Taste MENU.

Aufrufen der gespeicherten Daten

1 Drücken Sie die Taste MENU.
Das MENÜ 1 erscheint.

2 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf SPEI. LADEN, und drücken Sie die Taste ENTER.
Das Menü SPEI. LADEN erscheint.

SPEI. LADEN

	SPEI.1	▶ AKTUELL
EINGANG	VIDEO1	VIDEO2
SIGNAL	NTSC	NTSC
AUSGANG	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
BREITE	50	50
H.ZENTR.	50	80
HÖHE	50	60
V.ZENTR.	50	80

WAHL:⇕ENTER STOP:MENU

3 Drücken Sie CENT ⇧/⇩ so oft, bis die Definition mit der gewünschten Nummer (1 bis 5) erscheint. Dann drücken Sie ENTER.
Im Gerät werden die gespeicherten Daten der gewählten Definition eingestellt.

4 Um den Vorgang abzubrechen, drücken Sie zweimal die Taste MENU.

So können Sie gespeicherte Daten sehr schnell wieder aufrufen

Verwenden Sie dazu die Fernbedienung (siehe “Direktladen einer Definition” auf Seite 62).

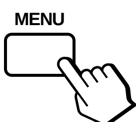
Zurücksetzen der Daten auf die werkseitigen Werte

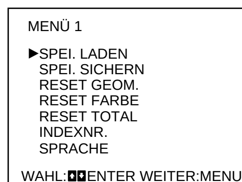
Beim Zurücksetzen der Daten auf die werkseitigen Werte haben Sie drei Möglichkeiten.

RESET GEOM.: Setzt die aktuellen Werte für ZOOM, BREITE, HÖHE, H.ZENTR. und V.ZENTR. zurück.
RESET FARBE: Setzt die aktuellen Werte für KONTRAST, PHASE und FARBE zurück.
RESET TOTAL: Setzt alle vom Benutzer definierten Werte auf die werkseitigen Einstellungen zurück und löscht den Speicherinhalt.

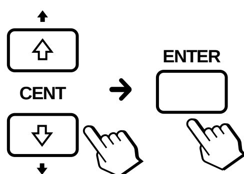
Das Vorgehen ist bei allen drei Möglichkeiten gleich.

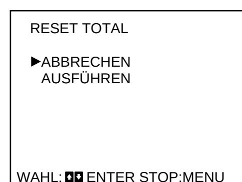
1 Drücken Sie die Taste MENU.
Das MENÜ 1 erscheint.





2 Stellen Sie den Cursor (►) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf RESET GEOM., RESET FARBE oder RESET TOTAL, und drücken Sie ENTER.



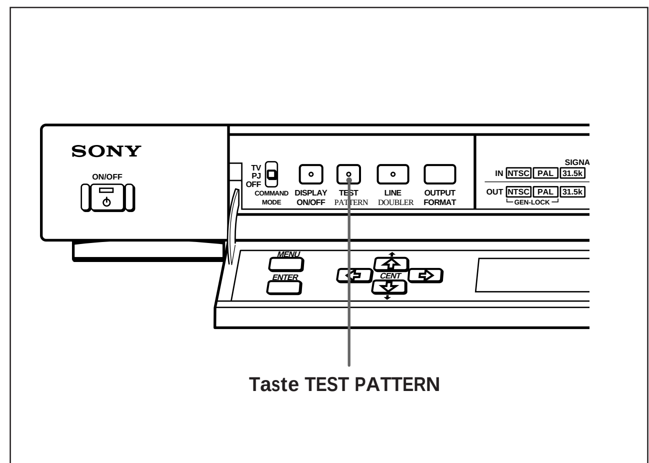


3 Stellen Sie den Cursor (►) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf AUSFÜHREN, und drücken Sie ENTER.
Nun gelten für die entsprechenden Einstellungen wieder die werkseitigen Werte.

So brechen Sie den Rücksetzvorgang ab

Drücken Sie die Taste MENU, oder wählen Sie in Schritt 3 oben die Option ABBRECHEN, und drücken Sie die Taste ENTER.

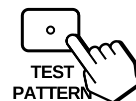
Das Testsignal



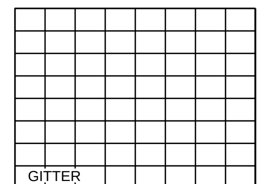
Taste TEST PATTERN

Mit Hilfe des eingebauten Testsignalgenerators können Sie das Gerät auf den Monitor oder den Projektionsschirm einstellen.

Drücken Sie die Taste TEST PATTERN.
Mit jedem Tastendruck auf TEST PATTERN werden die folgenden Testsignale in der angegebenen Reihenfolge angezeigt:
GITTER → RAHMEN → FARBBALKEN → GRAUTÖNE → AUS (Eingangssignal erscheint wieder) → GITTER...



Beispiel: Gittermuster



Der Name des ausgewählten Gittermusters wird etwa 3 Sekunden lang angezeigt.

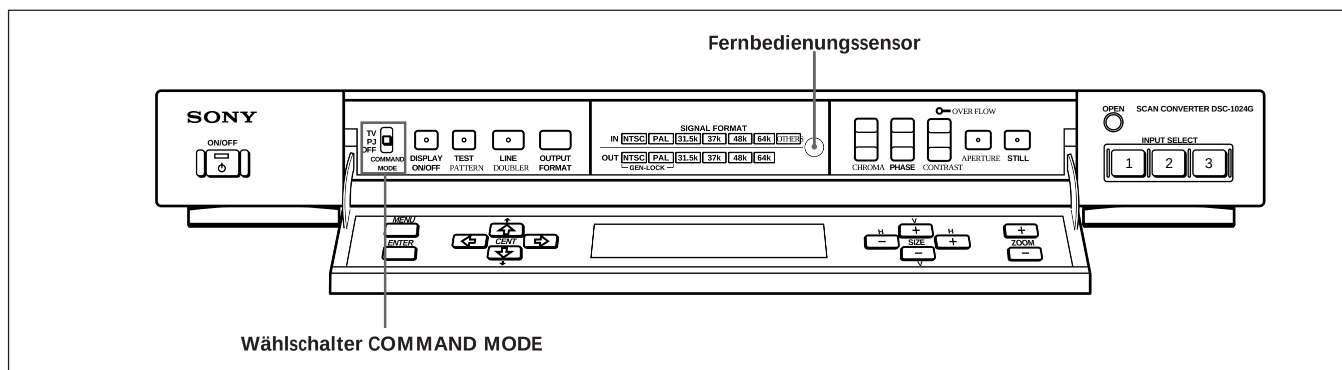
So schalten Sie zurück zur normalen Anzeige

Drücken Sie TEST PATTERN so oft, bis kein Testsignal mehr angezeigt wird. Die normale Anzeige erscheint auch dann wieder, wenn Sie den Schalter ON / OFF oder die Tasten INPUT SELECT oder OUTPUT FORMAT drücken.

Hinweis

Wenn ein Testsignal angezeigt wird, funktionieren nur der Schalter ON / OFF und die Tasten INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, MENU und CENT ⇧/⇩.

Die Fernbedienung



DiesesGerätkönnenSieüberkabelloseoder KabelfernbedienungenfürMonitore,Fernsehgeräteoder ProjektorenvonSonysteuern.

Einstellen des Fernbedienungstyps

Stellen Sie den Wählschalter COMMAND MODE auf den Typ der Fernbedienung ein.

TV: FernbedienungfüreinenMonitor odereinFernsehgerätvonSony

PJ: FernbedienungfüreinenProjektor vonSony

OFF:WennSiekeineFernbedienung verwendenmöchten,stellenSie denSchalterindiesePosition,um Fehlbedienungenzuvermeiden.



Welche Funktionen können mit der Fernbedienung ausgeführt werden?

FolgendeFunktionenlassensichüberdieFernbedienung steuern:

- Ein-und Ausschalten
- Eingangswahl
- EinstellendesBildes:Kontrast,Phase,Farbsättigung
- Ein-und AusblendenderMenüanzeigen(nurbei VideomonitorenundFernsehgeräten)
- Menüfunktionen(sieherechteSpalte)
- DirektladeneinerDefinition(sieherechteSpalte)

WelcheFunktionenjeweilsausgeführtwerdenkönnenund welcheTastenSiedazubenutzenmüssen,hängtvonder jeweiligenFernbedienungab(sieheTabelleunten).

Direktladen einer Definition

Mit der Fernbedienung können Sie die im Gerät gespeicherten Definitionen mit den entsprechenden Einstelldaten besonders schnell abrufen.

1 **Drücken Sie nacheinander im Abstand von etwa einer Sekunde die Tasten 7, 7, 7 und ENTER an der Fernbedienung.**
Die Meldung “SPEICHER GELADEN” erscheint auf dem Bildschirm.

2 **Geben Sie mit den Zahlentasten die Nummer der Definition (1 bis 5) ein, die Sie aufrufen wollen.**
Im Gerät werden die gespeicherten Daten der gewählten Definition eingestellt.

So brechen Sie den Vorgang ab

Drücken Sie nacheinander im Abstand von etwa einer Sekunde die Tasten 0, 0, 0 und ENTER an der Fernbedienung.
Die Meldung “SPEICHER LADEN ENDE” erscheint auf dem Bildschirm.
Der Vorgang wird auch abgebrochen, wenn Sie das Gerät ausschalten.

Hinweis

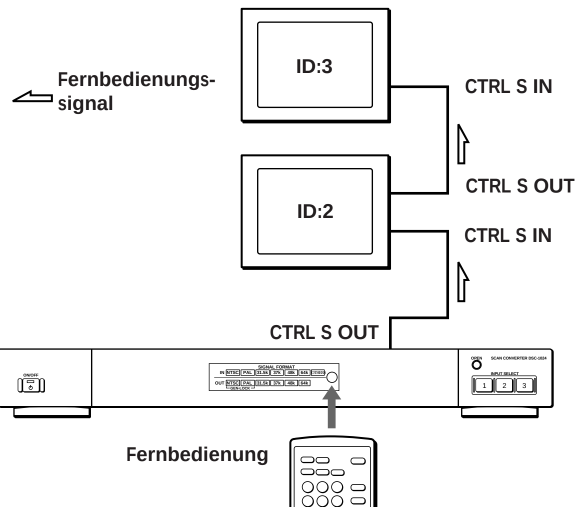
Achten Sie darauf, die Tasten 7, 7, 7 und ENTER bzw. 0, 0, 0 und ENTER im Abstand von etwa einer Sekunde zu drücken. Wenn mehr als 3 Sekunden vergehen, bevor Sie die nächste Taste drücken, wird die Operation abgebrochen. Beginnen Sie in diesem Fall bitte wieder von vorn.

Ausführen von Menüfunktionen mit der Fernbedienung

Bei der Arbeit mit der Fernbedienung erscheinen andere Menüs als bei der Arbeit mit dem Gerät selbst.
Wenn Sie die Menütaste der Fernbedienung (MENU, PAGE oder ⬅) ein- oder zweimal drücken, erscheint das MENÜ GEOM. oder MENÜ FARBE.
Wählen Sie mit ⬆/⬇ die gewünschte Option, und drücken Sie dann die Eingabetaste an der Fernbedienung (ENTER, ➡ oder M SEL). Dann stellen Sie mit ⬆/⬇ den gewünschten Wert für die Option ein.

Fernbedienung		RM-854	RM-1271	RM-PJ1292	RM-PJ350	RM-PJC520
Einstellung von COMMAND MODE		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
Eingangswahl	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
Menüfunktionen	MENU	MENU	PAGE oder ⬅	PAGE oder ⬅	PAGE oder ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
Einstellen des Bildes	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

Einstellen der Fernbedienung auf ein bestimmtes Gerät

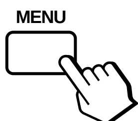


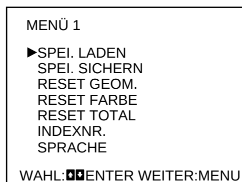
Deutsch

Wenn Sie mehrere Sony-Geräte über die Buchse CTRL S anschließen, können Sie ein bestimmtes dieser angeschlossenen Geräte steuern, indem Sie jedem Gerät am Converter und dann an der Fernbedienung eine bestimmte, voreingestellte Indexnummer zuordnen. Wie Sie die Indexnummer an den angeschlossenen Geräten einstellen können, schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung dieser Geräte nach.
In den folgenden Erläuterungen wird als Beispiel die Fernbedienung RM-854 verwendet.

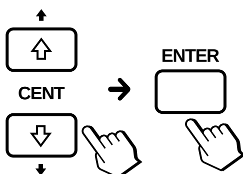
Zuordnen einer Indexnummer am Converter

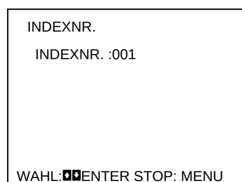
1 Drücken Sie die Taste MENU einmal.
Das MENÜ 1 erscheint.





2 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf INDEXNR., und drücken Sie ENTER.
Das Menü INDEXNR. erscheint.



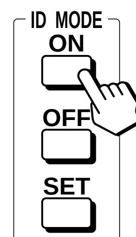


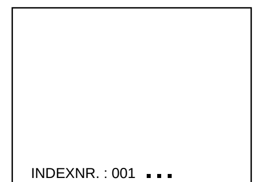
3 Drücken Sie die Taste CENT ⇧/⇩ so oft, bis die Indexnummer (1 bis 255) des angeschlossenen Geräts erscheint, das Sie mit der Fernbedienung steuern wollen. Dann drücken Sie ENTER.

4 Um das Menü auszublenden, drücken Sie dreimal MENU.

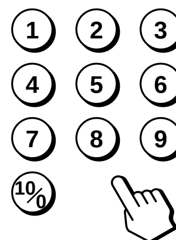
Steuern angeschlossener Geräte mit der Fernbedienung RM-854

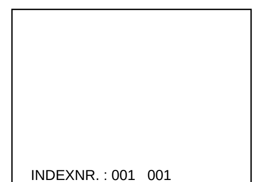
1 Drücken Sie an der Fernbedienung die Taste ID MODE ON.
Die Indexnummern aller Geräte, auch die des DSC-1024G, erscheinen.



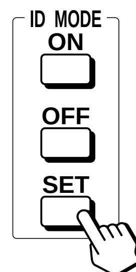


2 Geben Sie mit den Zahlentasten 0 bis 9 an der Fernbedienung die Indexnummer des Geräts ein, das Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer des jeweiligen Geräts.



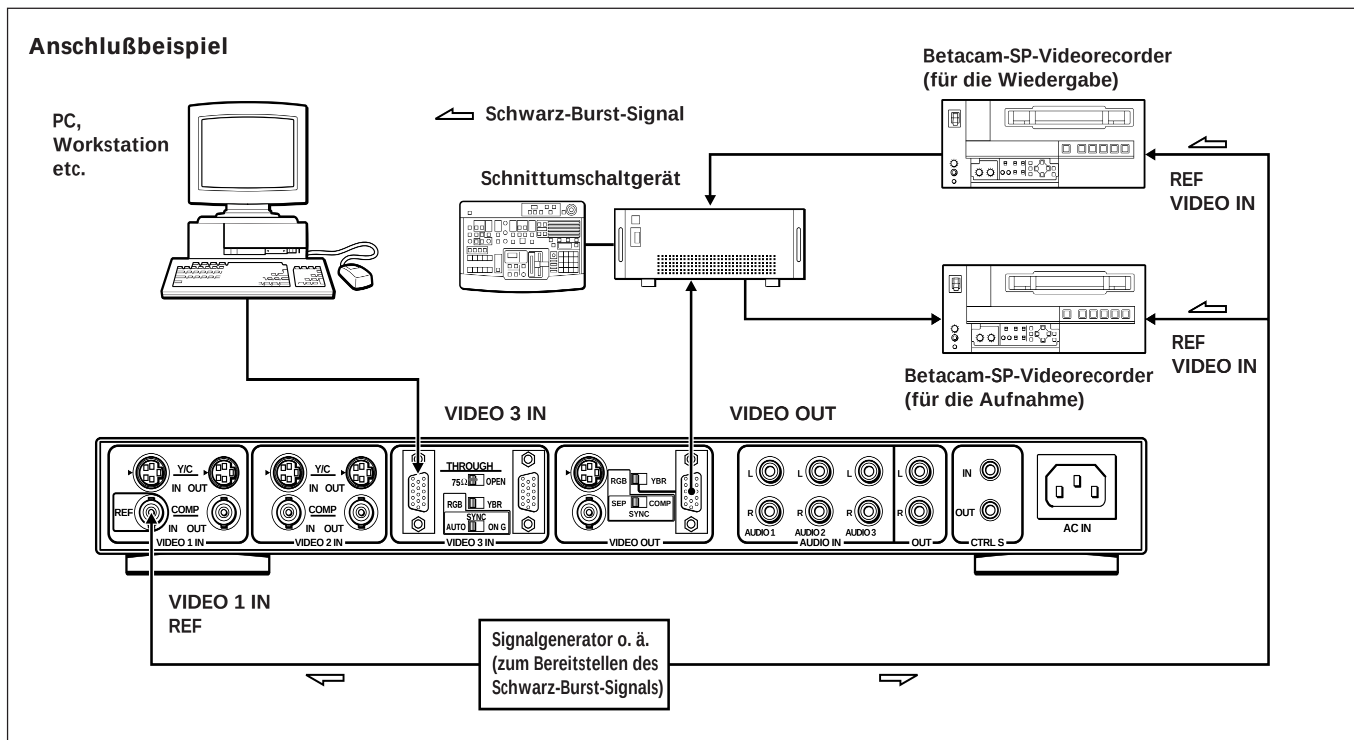


3 Drücken Sie die Taste ID MODE SET.
Nun erscheint die Anzeige für das ausgewählte Gerät in blau, die der anderen Geräte in rot.



Nun können Sie mit der Fernbedienung ausschließlich das ausgewählte Gerät steuern. In diesem Modus stehen alle Funktionen zur Verfügung. Nur ein- und ausschalten können Sie die Geräte nicht.

Synchronisation durch Generator (Genlock-Modus)

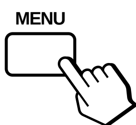


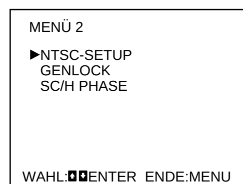
Das NTSC- oder PAL-Ausgangssignal kann mit dem Schwarz-Burst-Signal synchronisiert werden, das als Referenzsignal von einem Signalgenerator o. ä. eingespeist wird (Genlock-Modus). Auf diese Weise erzielen Sie auch dann, wenn mehrere Videoquellen eingesetzt werden, einen störungsfreien Schnitt ohne auffällige Übergänge.

Aktivieren der Synchronisation durch Generator

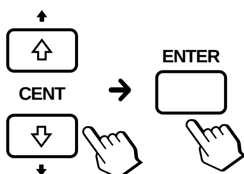
1 Speisen Sie ein Referenzsignal in den Anschluß VIDEO 1 IN REF ein, das dem Format des Ausgangssignals (NTSC oder PAL) vom Editor oder Signalgenerator entspricht.

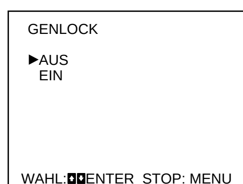
2 Drücken Sie zweimal die Taste MENU.
MENÜ 2 wird auf dem Bildschirm angezeigt.





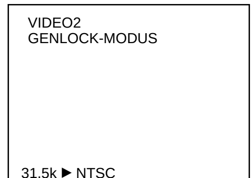
3 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf GENLOCK, und drücken Sie die Taste ENTER.
Der Bildschirm GENLOCK erscheint.





4 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf EIN, und drücken Sie die Taste ENTER.
Der Genlock-Modus (Synchronisation durch Generator) wird für das von diesem Gerät ausgegebene Signal aktiviert, und die Anzeige GEN-LOCK an der Vorderseite leuchtet.

Wenn der Converter eingeschaltet oder der Eingangsmodus gewechselt wird, erscheint "GENLOCK-MODUS" auf dem Bildschirm.



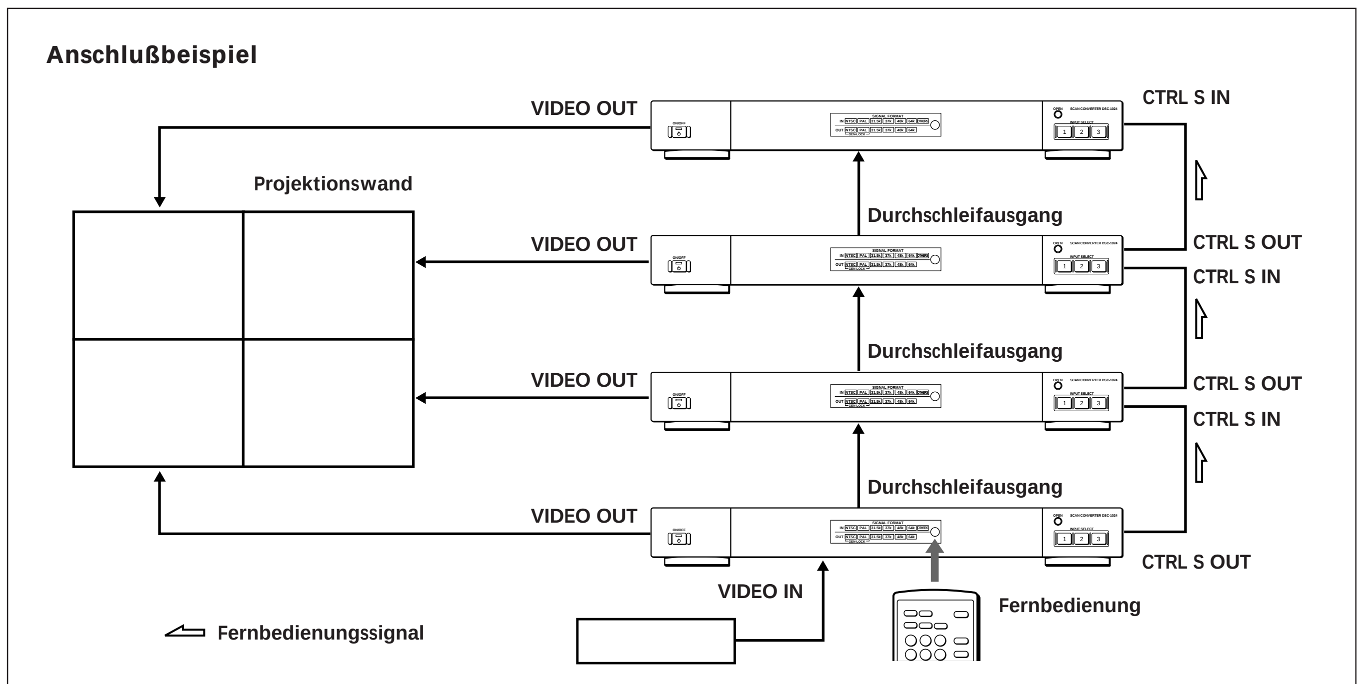
So deaktivieren Sie die Synchronisation durch Generator

Wiederholen Sie Schritt 1 bis 3, und stellen Sie dann in Schritt 4 GENLOCK auf AUS. Die Anzeige GEN-LOCK an der Vorderseite erlischt.

Hinweise

- Wenn Sie im Bildschirm MENÜ 2 die Option GENLOCK wählen, ohne daß ein Referenzsignal eingespeist wird, erscheint "KEIN REFERENZSIGNAL" auf dem Bildschirm.
- "REF. SIGNAL FEHLERHAFT" wird angezeigt, wenn das Format des Referenzsignals nicht mit dem des Eingangssignals übereinstimmt.
- Zum Schneiden empfiehlt sich der RGB- / Farbdifferenzsignalausgang. Wenn Sie den FBAS-Videoausgang verwenden, ist möglicherweise ein Frame-Synchronisator erforderlich, um die Phase an das Referenzsignal anzupassen. Näheres zur SC / H PHASE-Einstellung (SC / H: Subcarrier to Horizontal – Hilfsträger auf Horizontal) finden Sie auf Seite 66.

Zusammenstellen einer Projektionswand



Wenn Sie eine Projektionswand zusammenstellen, auf der aus den Bildern mehrerer Projektoren ein Großbild zusammengesetzt werden soll, verwenden Sie die Konverter wie im Anschlußbeispiel oben gezeigt. Bereiten Sie einen Konverter pro Projektor vor.
Stellen Sie die Bilder der einzelnen Projektoren so ein, daß das Bild auf der Projektionswand ohne störende Übergänge angezeigt wird, und speichern Sie die Einstelldaten in allen Konvertern unter derselben Speichernummer. Dadurch können Sie schnell zwischen insgesamt fünf Projektionswandbildern umschalten.

Speichern der Bildeinstelldaten

1 Stellen Sie die Projektoren ein.
Verwenden Sie die im Konverter integrierten Testmuster (GITTER, FARBBALKEN und GRAUTÖNE). Näheres zu den Testmustern finden Sie auf Seite 61.

2 Stellen Sie die Teilbilder mit dem Konverter ein.
Stellen Sie die Zoom-Vergrößerung je nach der Anzahl der Teilbilder ein. Stellen Sie dann die einzelnen Teilbilder mit den Tasten H / V SIZE und CENT so ein, daß das Gesamtbild auf der Projektionswand ohne störende Übergänge angezeigt wird.

Anzahl der Teilbilder	Zoom
4	× 2
9	× 3
16	× 4

Näheres zum Vergrößern und Verkleinern des Bildes sowie zum Ändern des Bildformats finden Sie auf Seite 59.

3 Speichern Sie die Einstelldaten in den Konvertern.
Speichern Sie die Daten in allen Konvertern unter derselben Speichernummer.
Näheres dazu finden Sie unter "Speichern der aktuellen Einstellungen" auf Seite 60.

4 Wiederholen Sie Schritt 1 bis 3, um weitere Bildmuster zu speichern.
Unter den Speichernummern 1 bis 5 können die Einstelldaten für bis zu fünf Bildmuster gespeichert werden.

Anzeigen des Bildes auf der Projektionswand

Die Bezeichnungen der Tasten an der Fernbedienung können je nach Modell unterschiedlich sein. Näheres dazu finden Sie in der Tabelle auf Seite 62.

1 Drücken Sie an der Fernbedienung nacheinander die Tasten 7, 7, 7 und ENTER im Abstand von einer Sekunde.
Auf allen Projektionsschirmen erscheint "SPEICHER GELADEN".

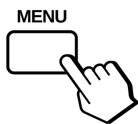
2 Wählen Sie die Speichernummer, unter der die Einstelldaten für das gewünschte Bildmuster gespeichert sind, indem Sie die entsprechende Zahlentaste drücken.
Die Teilbilder der einzelnen Projekten werden korrekt angezeigt, so daß das Gesamtbild auf der Projektionswand ohne störende Übergänge erscheint.

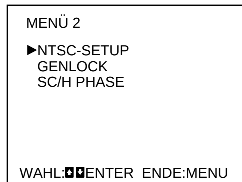
3 Wenn Sie zu einem anderen Bildmuster wechseln möchten, drücken Sie die Zahlentaste, die der jeweiligen Speichernummer entspricht.

Auswählen des Schwarzabhebungspegels

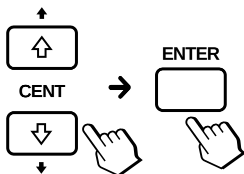
Sie können den Schwarzpegel (Schwarzabhebungspegel) für das NTSC-Ausgangssignal auswählen.
Der Schwarzpegel ist auf "0" (IRE) eingestellt. Wenn das ausgegebene Bild zu dunkel ist, stellen Sie den Wert "7.5" (IRE) ein.

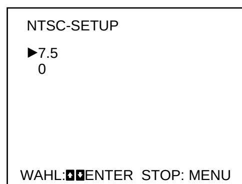
1 Drücken Sie die Taste MENU zweimal.
Der Bildschirm MENÜ 2 wird angezeigt.





2 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf NTSC-SETUP, und drücken Sie die Taste ENTER.
Der Bildschirm NTSC-SETUP erscheint.





3 Wählen Sie mit der Taste CENT ⇧/⇩ die Einstellung "7.5" oder "0", und drücken Sie die Taste ENTER.

4 Drücken Sie zweimal die Taste MENU, um das Menü zu verlassen.

Auswählen der Anzeigesprache

Sie können aus fünf Sprachen eine Sprache für die Menüanzeigen auswählen.

1 Drücken Sie die Taste MENU einmal.
Das MENÜ 1 erscheint.

2 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf LANGUAGE, und drücken Sie die Taste ENTER.
Das Menü LANGUAGE erscheint.



3 Drücken Sie mehrmals die Taste CENT ⇧/⇩, um den Cursor (▶) auf die gewünschte Sprache zu stellen. Drücken Sie danach die Taste ENTER.

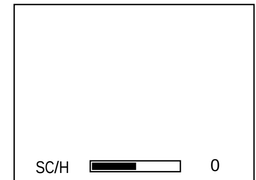
4 Um das Menü auszublenden, drücken Sie dreimal MENU.

SC/H PHASE-Einstellung

Wenn Sie das FBAS-Ausgangssignal mit einem Videorecorder bearbeiten oder aufnehmen, müssen Sie die SC/H PHASE (Hilfsträger-auf-Horizontal-Phase) einstellen.
Halten Sie für die Einstellung ein spezielles Meßgerät bereit.

1 Drücken Sie die Taste MENU zweimal.
MENÜ 2 wird auf dem Bildschirm angezeigt.

2 Stellen Sie den Cursor (▶) mit der Taste CENT ⇧/⇩ auf SC/H PHASE, und drücken Sie die Taste ENTER.
Der eingestellte Wert wird auf dem Bildschirm angezeigt.



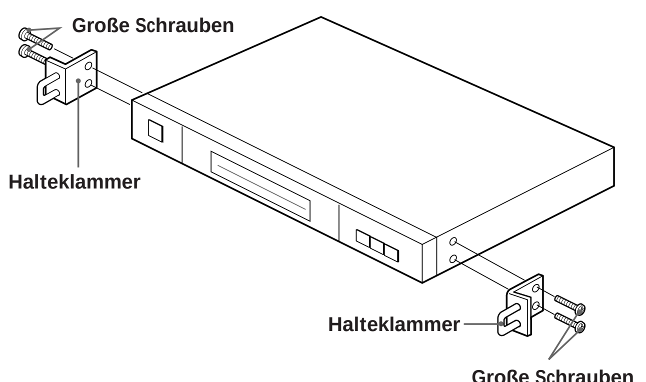
3 Stellen Sie die SC/H PHASE mit der Taste CENT ⇧/⇩ ein.

4 Zum Beenden des Menüs drücken Sie zweimal die Taste MENU.

Gestellmontage

Sie können das Gerät mit dem zusätzlich erhältlichen Montagehalterungssatz MB-510 in einem 19-Zoll-EIA-Standardgestell montieren.

1 Bringen Sie die Halteklammern mit den vier großen im Montagesatz enthaltenen Schrauben an.



2 Entfernen Sie die vier Füße an der Geräteunterseite.

3 Installieren Sie das Gerät in einem 19-Zoll-Standardgestell.

Vorsicht

Fassen Sie das Gerät zum Tragen nicht an den Halteklammern an. Andernfalls können sich die Halteklammern vom Gerät lösen.

Störungsbehebung

Sollten an Ihrem Gerät Probleme auftreten, lesen Sie die unten aufgeführten Abhilfemaßnahmen zu den einzelnen Symptomen nach. Läßt sich das Problem dennoch nicht beheben, wenden Sie sich an den nächsten Kundendienst.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild	• Überprüfen Sie, ob die Anzeige des Netzschalters ON / OFF leuchtet. Wenn nicht, sehen Sie nach, ob das Netzkabel angeschlossen ist, und schalten Sie das Gerät mit dem Schalter ON / OFF ein. • Überprüfen Sie, ob der Monitor / Projektor eingeschaltet ist. • Überprüfen Sie, ob die entsprechende Anzeige OUT für den Monitor / Projektor leuchtet (siehe Seite 69). • Überprüfen Sie mit den integrierten Testmustern, ob der Monitor / Projektor fest angeschlossen ist. • Überprüfen Sie, ob Sie die richtige INPUT SELECT-Taste gedrückt haben. • Überprüfen Sie, ob das Gerät am Videoeingang eingeschaltet ist und die Videoquelle wiedergegeben wird. • Überprüfen Sie, ob eine der IN-Anzeigen leuchtet. Ist dies nicht der Fall, sehen Sie nach, ob das Gerät an der Eingangsquelle korrekt angeschlossen ist. Wenn ein Gerät an VIDEO 3 IN angeschlossen ist, stellen Sie den Wählschalter SYNC AUTO / ON G auf AUTO.
Streifen des Synchronisationssignals sind auf dem Projektionsschirm zu sehen (nicht stabilisiert).	• Wenn der D-Sub-Anschluß VIDEO OUT verwendet wird, überprüfen Sie bitte, ob die Wählschalter RGB / YBR und SYNC SEP / COMP bei den Anschlüssen VIDEO OUT korrekt eingestellt sind.
Die Grünkomponente des Bildes ist zu stark betont.	• Wenn das Gerät am Videoeingang ein an VIDEO 3 IN angeschlossener Computer ist, stellen Sie den Wählschalter SYNC AUTO / ON G auf ON G.
Die Rotkomponente des Bildes ist zu stark betont.	• Wenn das Gerät am Videoeingang ein an VIDEO 3 IN angeschlossener Computer ist, stellen Sie den Wählschalter RGB / YBR auf RGB.
Das Bild ist zu groß.	• Stellen Sie das Bildformat mit den Tasten SIZE ein. • Stellen Sie die Bildgröße mit der Taste ZOOM – auf x1 ein.
Die Fernbedienung funktioniert nicht.	• Sehen Sie nach, was für eine Fernbedienung Sie verwenden, und stellen Sie den Wählschalter COMMAND MODE richtig ein (siehe Seite 62). • Dieses Gerät arbeitet nur mit Fernbedienungen von Sony-Fernsehgeräten und -Projektoren. • Ziehen Sie den Stecker aus der Buchse CTRL S IN.
Es kommt zu Fehlfunktionen im Zusammenhang mit der Fernbedienung.	• Stellen Sie den Wählschalter COMMAND MODE auf OFF.
Die Anzeige POWER blinkt.	• Die integrierte Temperaturschutzschaltung wurde möglicherweise aktiviert. Überprüfen Sie, ob die Umgebungstemperatur nicht zu hoch ist. • Betätigen Sie den Netzschalter POWER, um das Gerät auszuschalten. Betätigen Sie den Schalter erneut, und achten Sie auf die Netzanzeige POWER. Blinkt die Anzeige POWER weiterhin, wenden Sie sich bitte an Ihren Händler. • Betätigen Sie den Netzschalter POWER, um das Gerät auszuschalten. Betätigen Sie den Schalter erneut, und achten Sie auf den Ventilator. Wenn der Ventilator nicht funktioniert, wenden Sie sich bitte an Ihren Händler.
“UNGÜLTIG” wird angezeigt.	• Sie haben eine Taste gedrückt, die im aktuellen Betriebsmodus nicht funktioniert.
“KEIN REFERENZSINGAL” wird auf dem Bildschirm angezeigt, und die Anzeige GEN-LOCK an der Vorderseite blinkt.	• GENLOCK wurde im Bildschirm MENÜ 2 auf EIN gesetzt, aber es wird kein Schwarz-Burst-Signal in den Anschluß VIDEO 1 IN eingespeist.
“REF. SIGNAL FEHLERHAFT” wird auf dem Bildschirm angezeigt, und die Anzeige GEN-LOCK an der Vorderseite blinkt.	• Das Format des Schwarz-Burst-Signals, das vom Signalgenerator eingespeist wird, stimmt nicht mit dem Format des Ausgangssignals (NTSC oder PAL) des Converters überein.

Technische Daten

Signaleingänge

VIDEO 1 IN	FBAS-Video/Referenzsignaleingang BNC-Anschluß × 2 (Durchschleifanschluß),75Ohm (automatischer Abschlußwiderstand) NTSC3.58/PAL4.43, 1 Vp-p (Normalfall) Schwarz-Burst-Signalfürdie Genlock-Funktion * S-Videoeingang(Y/C) 4poligerMini-DIN-Anschluß × 2 (Durchschleifanschluß),75Ohm (automatischer Abschlußwiderstand) Y:1Vp-p(Normalfall),sync- negativ C:0,286Vp-p(NTSC)/0,3Vp-p (PAL)(Normalfall)
VIDEO 2 IN	FBAS-Videoeingang BNC-Anschluß × 2 (Durchschleifanschluß),75Ohm (automatischer Abschlußwiderstand) NTSC3.58/PAL4.43, 1 Vp-p (Normalfall) S-Videoeingang(Y/C) 4poligerMini-DIN-Anschluß × 2 (Durchschleifanschluß),75Ohm (automatischer Abschlußwiderstand) Y:1Vp-p(Normalfall),sync- negativ C:0,286Vp-p(NTSC)/0,3Vp-p (PAL)(Normalfall)
VIDEO 3 IN	RGB-/Farbdifferenzsignaleingang 15poliger,dreireihigerD-Sub- Anschluß × 2 (Durchschleifanschluß),75Ohm/ hoheImpedanz R/G/B:0,714Vp-p(Grünsignal mit Synchronisationgeeignet) H/V-oderzusammengesetztes Synchronisationssignal:1bis5 Vp-p Y/R-Y/B-Y:0,7Vp-p(Normalfall) (NTSC/PAL/Y mit Sync)
AUDIO IN 1, 2, 3 (L/R)	Cinchbuchse,über10Kiloohm max.0dBs(1VeffektiverMittelwert)

Signalausgänge

VIDEO OUT	FBAS-Videoausgang BNC-Anschluß,75Ohm (Normalfall) NTSC3.58/PAL4.43, 1 Vp-p (Normalfall) S-Videoausgang(Y/C) 4poligerMini-DIN-Anschluß,75 Ohm(Normalfall) Y:1Vp-p(Normalfall),sync- negativ C:0,286Vp-p(NTSC)/0,3Vp-p (PAL)(Normalfall) RGB-/Farbdifferenzsignalausgang 15poliger,dreireihigerD-Sub- Anschluß,75Ohm(Normalfall) R/G/B:0,714Vp-p mitexterner Synchronisation H/V-oderzusammengesetztes Synchronisationssignal:TTL sync-negativ Y/B-Y/R-Y:0,7Vp-p(Normalfall), YmitSync
AUDIO OUT (L/R)	Cinchbuchse AudioGain:±1,0dB(Normalfall) GesamteharmonischeVerzerrung: unter1%,1VeffektiverMittelwert

Videoverarbeitung

Fangbereich	Horizontal:15,6bis70kHz, Vertikal:50bis120Hz
VoreingestellteSignale	Eingang:10Formate Ausgang:6Formate Genlock-Ausgang: NTSCoderPAL (sieheSeite69)
Videospeicher	1.152 × 1.152 × 24Bit(RGBgesamt)
Abtastrate	14,3bis max.40MHzOffset-Phase (entsprichteinerAbtastratevon80 MHz)
Ausgangspixeltakt	14,3bis max.50MHz

Allgemeines

Betriebsspannung	200bis240VWechselstrom,50-60 Hz,0,25A
Leistungsaufnahme	30W(max.inBetrieb) 3W(ausgeschaltet)
Betriebstemperatur	0bis35°C
Abmessungen	424 × 44 × 354mm(B/H/T) ohneHalterungundFüße
Gewicht	ca.4,1kg
MitgeliefertesZubehör	Netzkabel(1) Signalkabel(1)

Nicht mitgeliefertes Zubehör

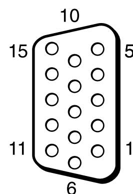
GestellmontagehalterungMB-510
KabelSMF-400:15poligerD-Sub-Anschluß(männlich)zu5 BNC-Anschlüsse
KabelSMF-401:15poligerD-Sub-Anschluß(männlich)zu 15poligemD-Sub-Anschluß(männlich)
FernbedienungRM-854,RM-1271,RM-PJ1292,RM-PJ350

* Hinweis zur Genlock-Funktion

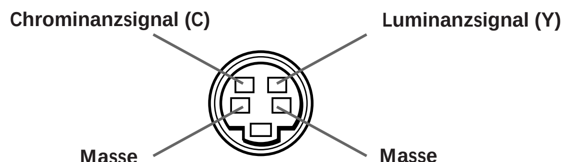
DasReferenzsignalsollteSMPTE170M(NTSC)bzw.ITU-R624 (PAL)entsprechen.

Stiftbelegung

Anschluß VIDEO 3 IN (D-Sub, 15polig, dreireihig)
Anschluß VIDEO OUT (D-Sub, 15polig, dreireihig)



Anschluß Y/C IN/OUT (4polig, Mini-DIN)



Stift Nr.	Signal
1	Videosignal (Rotsignal) oder R-Y
2	Videosignal (Grünsignal) oder Y
3	Videosignal (Blausignal) oder B-Y
4	Masse
5	Masse
6	Masse (Rotsignal)
7	Masse (Grünsignal)
8	Masse (Blausignal)
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	Nicht belegt
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	Nicht belegt

Voreingestellte Signale

Anzeige		Signalstandards		
INPUT	OUTPUT	Name	Abtastzeilen	Zeilenrate/Halbbildrate
NTSC	NTSC	NTSC	525 Zeilen gesamt (mit Interlacing)	15,73 kHz / 59,94 Hz
PAL	PAL	PAL	625 Zeilen gesamt (mit Interlacing)	15,63 kHz / 50,00 Hz
OTHERS	—	HDTV (Japan)	1125 Zeilen gesamt (mit Interlacing)	33,75 kHz / 59,94 Hz
31.5k	—	VGA Text	400 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	31,47 kHz / 70,11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640 × 480	480 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	31,47 kHz / 59,94 Hz
OTHERS	—	Macintosh-13-Zoll-Modus	480 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	35,00 kHz / 66,67 Hz
37k	37k	VESA 800 × 600	600 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	37,88 kHz / 60,32 Hz
OTHERS	—	Macintosh-16-Zoll-Modus	624 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	49,73 kHz / 74,55 Hz
48k	48k	VESA 1024 × 768	768 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	48,36 kHz / 60,00 Hz
64k	64k	VESA 1280 × 1024	1024 Zeilen aktiv (ohne Interlacing)	63,95 kHz / 59,94 Hz

- H.SYNC und V.SYNC aller Ausgangssignale sind negativ.

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Deutsch

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, garder cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis.
Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

NOTICE
This notice is applicable for USA / Canada only.
If shipped to USA / Canada, install only a UL LISTED / CSA LABELLED power supply cord meeting the following specifications.

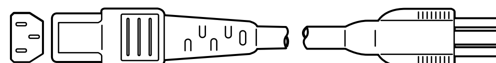
SPECIFICATIONS

Plug Type	Nema-Plug 5-15p
Cord	Type SVT or SJT, minimum 3 x 18 AWG
Length	Maximum 15 feet
Rating	Minimum 7A, 125V

Cette notice s'applique aux Etats-Unis et au Canada uniquement.
Si cet appareil est exporté aux Etats-Unis ou au Canada, utiliser le cordon d'alimentation portant la mention UL LISTED / CSA LABELLED et remplissant les conditions suivantes:

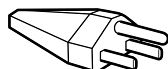
SPECIFICATIONS

Type de fiche	Fiche Nema 5-15 broches
Cordon Type	SVT ou SJT, minimum 3 x 18 AWG
Longueur	Maximum 15 pieds
Tension	Minimum 7A, 125V

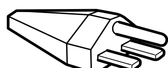


Avertissement sur le branchement de l'alimentation

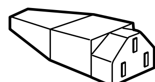
• Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre alimentation secteur locale.



115 volts



230 volts (non fourni sur le cordon standard)



Cordon CEE-22, fiche femelle (tous cordons d'alimentation)

	Etats-Unis, Canada, Japon	Europe continentale	Royaume-Uni, Irlande	Australie, Nouvelle-Zélande
Type de fiche	NEMA S-15P	CEE 7 / VII (Schuko)	BS 1363	SAA AS 3112
Type de cordon	SJT	HAR (HO5VV-F3G1.0)	HAR (HO5VV-F3G1.0)	CDB03PLP
Capacité nominale minimale du cordon	7 A / 125 V 3 x 18AWG	7 A / 250 V	7 A / 250 V	7 A / 250 V
Longueur du cordon	2 m ± 0,1m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m
Agréation de sécurité	UL / CSA	HAR	BSI, ASTA	Min. de l'Energie de Nouvelle-Galles du Sud

L'alimentation à adaptation universelle est opérante partout; l'appareil se règle de lui-même si vous utilisez le cordon et la fiche d'alimentation appropriés à la tension d'alimentation locale.

La prise d'alimentation murale doit être installée à proximité de l'appareil et être aisément accessible.

Précautions

Sécurité

- La plaquette signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc., se trouve à l'arrière de l'appareil.
- Si des liquides ou des solides venaient à pénétrer dans le châssis, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un personnel qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez l'appareil de la prise murale si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant quelques jours ou plus.
- Pour débrancher le cordon, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon proprement dit.

Installation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces souples (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de tissus (rideaux, draperies) qui risquent d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur telles que des radiateurs ou des conduits d'air chaud et ne le soumettez pas au rayonnement direct du soleil, à de la poussière ou à de l'humidité en excès, ni à des vibrations mécaniques ou à des chocs.
- Lorsque la température intérieure s'élève, la protection thermique intégrée est automatiquement activée pour mettre l'appareil hors tension.

Utilisation

Cet appareil convertit la fréquence de balayage et les lignes de balayage du signal vidéo. L'appareil ne reconnaît pas et ne communique pas les informations en surimpression sur le signal de suppression comme un signal de protection contre la copie ou les données de sous-titres.
Une partie des informations du signal d'entrée peut être perdue lors du processus de conversion.

Entretien

Pour que l'appareil garde l'aspect du neuf, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente neutre. N'utilisez jamais de solvants puissants tels que du diluant ou du benzène, qui risquent d'altérer le fini du châssis. Par mesure de précaution, débranchez le moniteur avant de le nettoyer.

Remballage

Conservez le carton d'emballage et les matériaux de conditionnement, car ils constituent une protection idéale en vue du transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballez-le comme illustré sur le carton.

Si vous avez des questions ou des problèmes concernant le fonctionnement de cet appareil, consultez votre revendeur Sony.

Table des matières

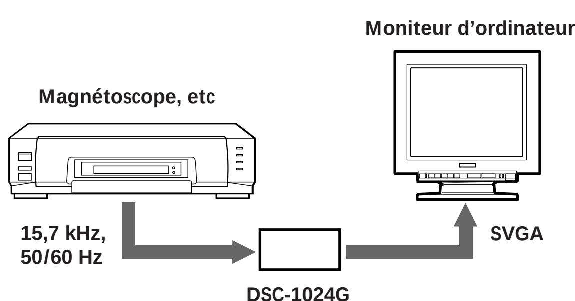
Caractéristiques

Nous vous remercions d'avoir fait l'acquisition d'un convertisseur de balayage numérique Sony. Nous donnons ci-après une description des caractéristiques de cet appareil qui vous permettront de l'exploiter au mieux de ses possibilités.

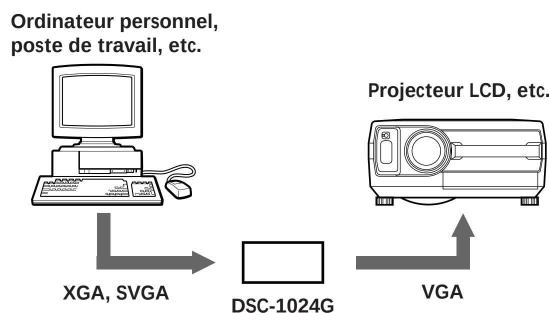
Combinaison d'un transcodeur et d'un convertisseur de format

Cet appareil est capable de convertir les formats de signaux vidéo composite, Y / C, composantes et RVB ainsi que de convertir vers le bas ou vers le haut les fréquences de balayage dans une plage de fH : 15 kHz - 70 kHz et fV : 50 - 120 Hz en six formats de définition.
Doté de cette nouvelle combinaison d'un transcodeur et de fonctions de conversion de format, l'appareil accepte des signaux de sources d'entrée variables pour l'affichage d'images à l'aide de moniteurs ou de projecteurs à haute définition ou pour l'enregistrement et la lecture au moyen d'appareils vidéo ordinaires.

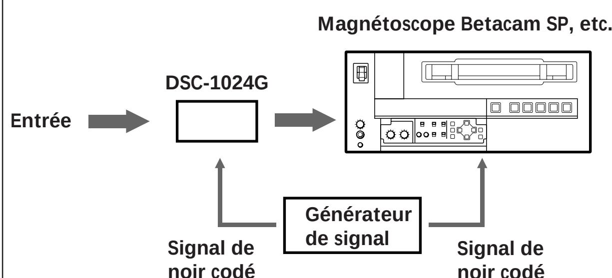
Exemple de conversion ascendante



Exemple de conversion descendante

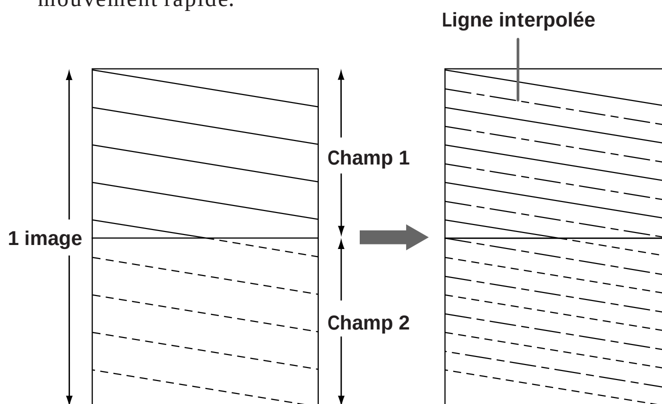


Exemple d'asservissement du générateur



Doubleur de ligne

Les fréquences de balayage des signaux d'entrée NTSC ou PAL peuvent être doublées pour chaque champ à une fréquence horizontale de 31,5 kHz en interpolant verticalement les informations des signaux de ligne. Cela permet une reproduction beaucoup plus fluide des images animées d'un mouvement rapide.



Asservissement du générateur (Gen-lock)

L'asservissement du générateur est activé pour le signal de sortie à l'aide d'un signal de noir codé entré depuis un générateur de signal, etc. comme signal de référence.

Rapport hauteur/largeur de l'affichage

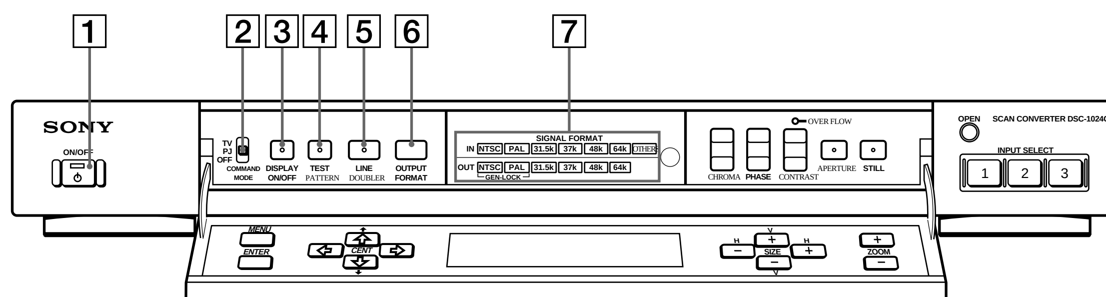
Le rapport hauteur / largeur est affiché sur l'écran lorsque vous zoomez sur l'image ou que vous changez le format de l'image.

Autre caractéristiques

- Filtre en peigne tridimensionnel pour la séparation Y / C des signaux NTSC
- Filtre en peigne de corrélation de ligne pour la séparation Y / C des signaux PAL
- Zoom jusqu'à 4 ×
- Compatible avec les télécommandes Sony à infrarouge ou filaires utilisant un code SIRCS
- Affichage sur écran en cinq langues pour un accès convivial
- Mires de test intégrées pour l'alignement de l'affichage
- Trois jeux d'entrées vidéo avec entrées audio: deux entrées vidéo composite ou Y / C et une entrée RVB / composantes
- Fonction de mémoire pour l'enregistrement de cinq réglages d'utilisation
- Détection automatique et indication du signal d'entrée
- Fonction d'auto-réglage pour un signal uniforme
- Support de montage EIA
- Niveau nominal sélectionnable (niveau de référence du noir) pour le signal de sortie NTSC

Emplacement et fonction des composants et des commandes

Panneau frontal



1 **Interrupteur et indicateur ON/OFF (alimentation)**

Appuyez sur cet interrupteur pour mettre l'appareil sous et hors tension.
L'indicateur situé sur l'interrupteur s'allume lorsque l'appareil est sous tension.

2 **Sélecteur COMMAND MODE**

Si vous utilisez la télécommande fournie avec le moniteur ou le téléviseur Sony, réglez-le sur TV.
Si vous utilisez la télécommande fournie avec le projecteur Sony, réglez-le sur PJ.
Si vous n'utilisez pas la télécommande, réglez-le sur OFF.

3 **Touche et indicateur DISPLAY ON/OFF**

Appuyez sur cette touche pour activer l'indicateur (DISPLAY ON) de manière à afficher sur l'écran le mode de fonctionnement utilisé.
Appuyez à nouveau sur cette touche pour désactiver l'indicateur et supprimer l'affichage (DISPLAY OFF).

Remarque

Le menu principal s'affiche en appuyant sur la touche MENU, même si le mode DISPLAY OFF a été sélectionné.

4 **Touche et indicateur TEST PATTERN**

Appuyez sur cette touche pour activer l'indicateur de manière à afficher la mire de test sur l'écran.
Pour désactiver la mire de test, appuyez plusieurs fois de suite sur la touche TEST PATTERN jusqu'à ce que plus aucune mire ne soit affichée, ou appuyez sur la touche ON / OFF, INPUT SELECT ou OUTPUT FORMAT.

5 **Touche et indicateur LINE DOUBLER**

Si le format du signal d'entrée est NTSC ou PAL, appuyez sur cette touche pour activer l'indicateur et la fonction de doubleur de ligne. Appuyez à nouveau sur cette touche pour désactiver l'indicateur et la fonction de doubleur de ligne.

6 **Touche OUTPUT FORMAT**

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le format de signal de sortie voulu. L'indicateur de signal de sortie sélectionné s'allume.

7 **Indicateurs SIGNAL FORMAT**

SIGNAL FORMAT
IN NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k OTHERS
OUT NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k
GEN-LOCK

Indicateurs IN (supérieurs)

Indiquent le format du signal d'entrée que l'appareil identifie automatiquement.
31.5k, 37k, 48k et 64k indiquent les fréquences de balayage horizontal. Si la fréquence de balayage horizontal du signal d'entrée détecté est l'une de ces valeurs ± 1 kHz, l'indicateur correspondant s'allume. Si une autre valeur est identifiée, l'indicateur OTHERS s'allume.

Indicateurs OUT (inférieurs)

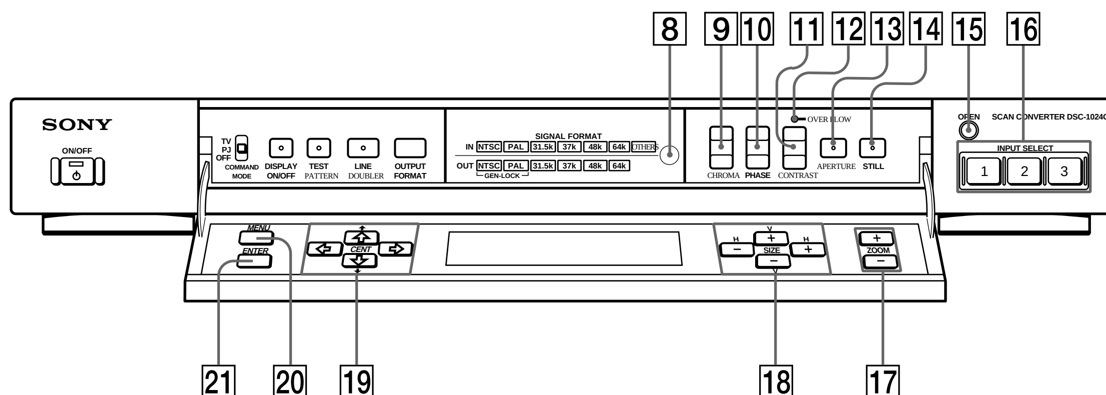
Indiquent le format du signal de sortie sélectionné à l'aide de la touche OUTPUT FORMAT. Le format du signal de sortie indiqué par chaque indicateur correspond à :

Indicateur	Désignation du format
NTSC	NTSC
PAL	PAL
31.5k	VGA 640 × 480
37k	VESA 800 × 600
48k	VESA 1024 × 768
64k	VESA 1280 × 1024

Pour les spécifications de chaque format, reportez-vous à la section "Signaux présélectionnés" à la page 91.

Indicateur GEN-LOCK

Lorsque le format du signal de sortie est PAL ou NTSC et que GEN LOCK est réglé sur ON dans l'écran de menu, l'indicateur GEN-LOCK s'allume ou se met à clignoter.



8 **Capteur de télécommande**
Capte le faisceau émis par la télécommande.

9 **Touche CHROMA +/–**
Appuyez sur cette touche pour régler le niveau chromatique de l'image.

10 **Touche PHASE +/–**
Appuyez sur cette touche pour régler le niveau de phase de l'image.

11 **Touche CONTRAST +/–**
Appuyez sur cette touche pour régler le niveau de contraste de l'image.

12 **Indicateur OVERFLOW**
Cet indicateur s'allume lorsque le niveau du signal d'entrée est excessif.

13 **Touche et indicateur APERTURE**
Appuyez sur cette touche pour activer l'indicateur et rendre l'image plus nette. Appuyez à nouveau sur cette touche pour désactiver l'indicateur et revenir à l'écran de départ.

14 **Touche et indicateur STILL**
Appuyez sur cette touche pour activer un arrêt sur image. Appuyez à nouveau sur cette touche pour revenir à l'écran de départ.

15 **Touche OPEN**
Appuyez sur cette touche pour ouvrir le volet frontal.

16 **Touches INPUT SELECT**
Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal d'entrée.
1: pour sélectionner la source d'entrée raccordée via le connecteur VIDEO 1 (Y / C ou COMP) et le connecteur AUDIO 1 IN
2: pour sélectionner la source d'entrée raccordée via le connecteur VIDEO 2 (Y / C ou COMP) et le connecteur AUDIO 2 IN
3: pour sélectionner la source d'entrée raccordée via le connecteur VIDEO 3 (RGB ou YBR*) et le connecteur AUDIO 3 IN

* YBR est l'abréviation du signal de composantes Y / B-Y / R-Y.

17 **Touches ZOOM +/–**
Appuyez sur la touche + pour effectuer un zoom avant et sur la touche – pour un zoom arrière.

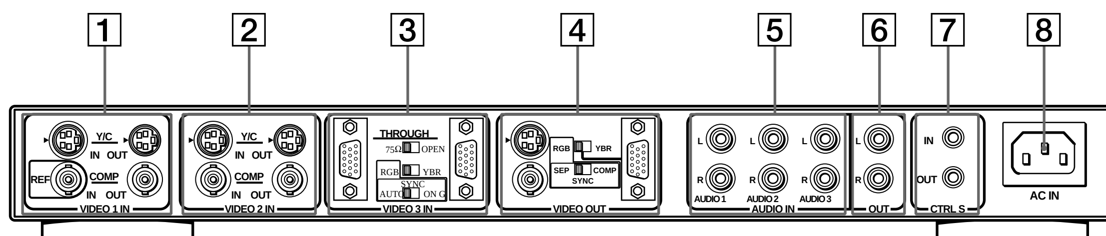
18 **Touches SIZE V/H +/–**
Appuyez sur cette touche pour régler la taille de l'image.
V+ : pour augmenter la taille verticale
V– : pour diminuer la taille verticale
H+ : pour augmenter la taille horizontale
H– : pour diminuer la taille horizontale

19 **Touches CENT ⇧/⇩/⇦/⇨/touches curseur**
Appuyez sur ces touches pour déplacer l'image dans le sens de la flèche.
Les touches ⇧ et ⇩ servent également à déplacer le curseur dans le menu.

20 **Touche MENU**
Appuyez sur cette touche pour appeler ou pour quitter le menu.

21 **Touche ENTER**
Appuyez sur cette touche pour sélectionner un paramètre dans un menu.

Panneau arrière



1 **Section du connecteur VIDEO 1 IN**

2 **Section du connecteur VIDEO 2 IN**

Deux jeux d'entrées vidéo et de sorties en boucle directe.

Y/C IN (4 broches):
A raccorder à la sortie Y / C de l'appareil vidéo.
Ce connecteur a la priorité sur le connecteur COMP IN dans le cas où ces deux connecteurs sont utilisés.

COMP IN/REF (type BNC):
A raccorder à la sortie vidéo composite de l'appareil vidéo. Permet également l'entrée du signal de référence pour l'asservissement du générateur (signal de noir codé) sur le connecteur VIDEO 1 IN REF.

Y/C OUT (4 broches):
Sortie en boucle directe du connecteur Y / C IN.

COMP OUT (type BNC):
Sortie en boucle directe du connecteur COMP IN.

3 **Section du connecteur VIDEO 3 IN**

Un jeu d'entrées de signal RVB ou composantes (Y / B-Y / R-Y).

Entrée RVB/composantes (D-sub à 15 broches, 3 rangées):
Raccordez l'un des connecteurs D-sub aux sorties RVB de l'appareil vidéo ou aux sorties composantes (Y / B-Y / R-Y) d'un magnétoscope Betacam SP. L'autre connecteur D-sub est une sortie en boucle directe.

Commutateur de terminaison:
Si rien n'est raccordé au connecteur de sortie en boucle directe, réglez-le sur 75 Ω. Si le connecteur de sortie en boucle directe est utilisé, réglez-le sur OPEN.

Sélecteur RGB/YBR*:
Sélectionnez la position correspondant au format du signal entré par le connecteur D-sub.

Sélecteur SYNC:
En principe, réglez-le sur AUTO. Réglez-le sur ON G pour utiliser le signal de synchronisation sur le canal vert lorsque le signal de synchronisation externe et le signal de synchronisation sur le vert sont transmis.

* YBR est l'abréviation du signal de composantes Y / B-Y / R-Y.

4 **Section du connecteur VIDEO OUT**

Trois jeux de sorties vidéo. Le signal converti est sorti via cette section.

Sortie Y/C (4 broches):
A raccorder à l'entrée Y / C de l'appareil vidéo.
Seul le signal NTSC ou PAL est sorti via ce connecteur.

Sortie vidéo composite (type BNC):
A raccorder à l'entrée vidéo composite de l'appareil vidéo.
Seul le signal NTSC ou PAL est sorti via ce connecteur.

Sortie RVB/composantes (D-sub à 15 broches, 3 rangées):
A raccorder aux entrées RVB ou composantes (Y / B-Y / R-Y) de l'appareil vidéo.

Sélecteur de sortie RGB/YBR:
Réglez ce sélecteur en fonction du format du signal sorti par le connecteur D-sub. YBR est opérant lorsque le signal NTSC ou PAL est sorti.

Sélecteur de sortie SYNC:
Permet de sélectionner le signal de synchronisation pour la sortie RVB.
Réglez-le sur SEP pour utiliser un signal de synchronisation horizontale / verticale séparé.
Réglez-le sur COMP pour utiliser le signal de synchronisation composite.

5 **Prises AUDIO IN L/R (broche RCA)**

Trois jeux d'entrées audio.
A raccorder aux prises de sortie audio de l'appareil. Si la source d'entrée est de type monaural, raccordez-la uniquement à la prise L.
Vous pouvez sélectionner l'entrée audio à l'aide des touches INPUT SELECT sur le panneau frontal.

6 **Prises AUDIO OUT L/R (broche RCA)**

Un jeu de sorties audio.
A raccorder aux prises d'entrée audio de l'appareil.

7 **Prises CTRL S IN/OUT (miniprises)**

A raccorder aux prises CONTROL S d'un appareil Sony.
Il est alors possible de commander l'ensemble de l'installation à l'aide d'une seule télécommande.
Si une fiche est branchée sur la prise CTRL S IN, le capteur de télécommande du panneau frontal est inopérant.

8 **Connecteur AC IN**

Branchez-y le cordon d'alimentation fourni.

Raccordement

Avant de commencer

- Assurez-vous d'abord que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez les câbles de connexion appropriés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs des câbles doivent être introduits à fond dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer un ronflement et d'autres parasites.
- Pour débrancher un câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon proprement dit.
- Lisez attentivement le mode d'emploi de l'appareil que vous prévoyez de raccorder.

Raccordement pour obtenir un signal de conversion ascendante

Le schéma suivant présente un exemple de raccordement permettant de convertir un signal d'entrée de faible amplitude en un signal de sortie de forte amplitude.

Réglage des sélecteurs VIDEO OUT

- Réglez le sélecteur RGB / YBR sur RGB (si vous avez raccordé un moniteur d'ordinateur, un projecteur de données ou un projecteur LCD).
- Réglez le sélecteur SYNC sur SEP (synchronisation HD ou VD séparée) ou COMP (synchronisation composite) en fonction de l'appareil raccordé.

Si vous avez raccordé un magnétoscope SP Betacam à VIDEO 3 IN

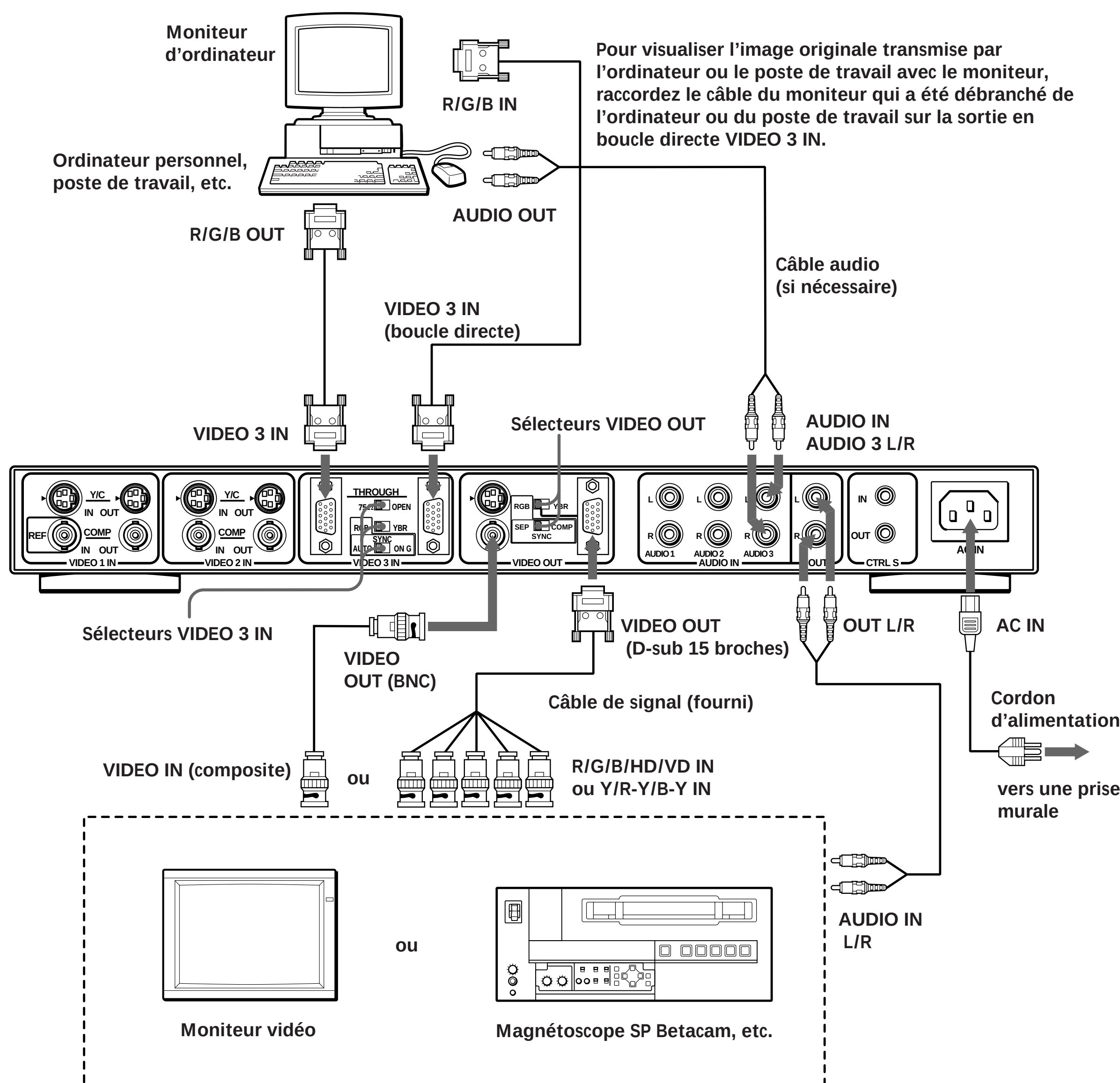
Réglez les sélecteurs VIDEO 3 IN comme suit :

- Sélecteur 75 Ω / OPEN → 75 Ω
- Sélecteur RGB / YBR → YBR
- Sélecteur SYNC → AUTO

Raccordez uniquement les trois fiches du câble de signal au magnétoscope Betacam SP : la fiche verte sur le connecteur Y, la rouge sur R-Y et la bleue sur B-Y. Ne raccordez pas les autres fiches, s'il y en a.

Raccordement pour obtenir un signal de conversion descendante

Le schéma suivant présente un exemple de raccordement permettant de convertir un signal d'entrée de forte amplitude en un signal de sortie de faible amplitude.



Réglage des sélecteurs VIDEO OUT

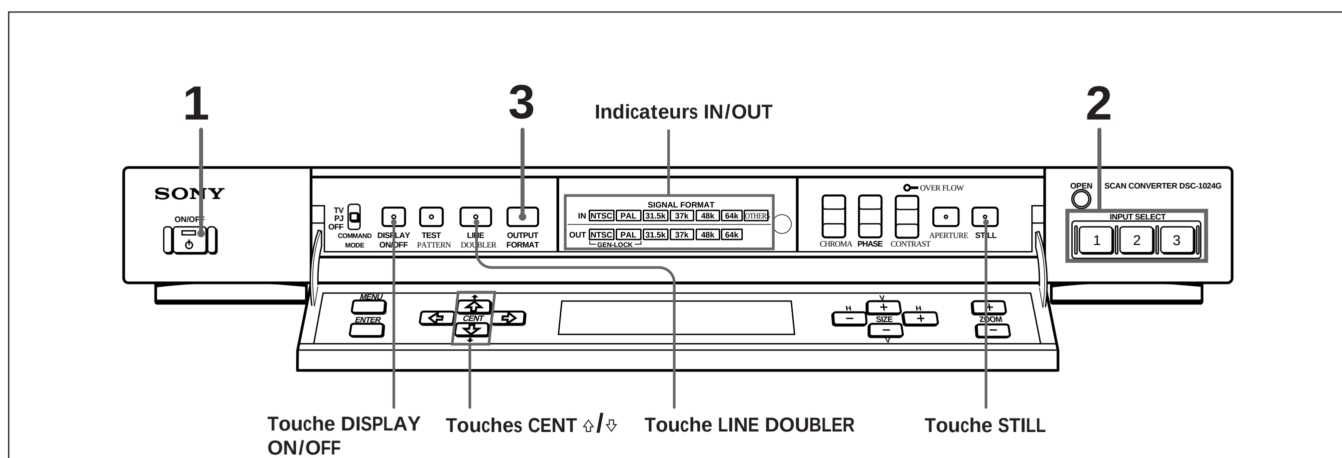
- Réglez le sélecteur RGB / YBR sur RGB si vous avez raccordé un moniteur vidéo ou un projecteur vidéo.
  Réglez le sélecteur sur YBR lorsqu'un magnétoscope Betacam SP est raccordé.
- Réglez le sélecteur SYNC sur SEP (synchronisation HD ou VD séparée) ou COMP (synchronisation composite) en fonction de l'appareil raccordé.

Si le moniteur d'ordinateur est raccordé à la sortie en boucle directe VIDEO 3 IN

Réglez les sélecteurs VIDEO 3 IN comme suit :

- Sélecteur 75 Ω / OPEN → OPEN
- Sélecteur RGB / YBR → RGB
- Sélecteur SYNC → AUTO ou ON G en fonction de l'appareil raccordé.
  Sur les ordinateurs Macintosh et Silicon Graphics Inc., réglez-le sur "ON G".

Visualisation de l’image convertie

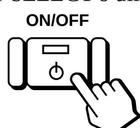


Avant de commencer

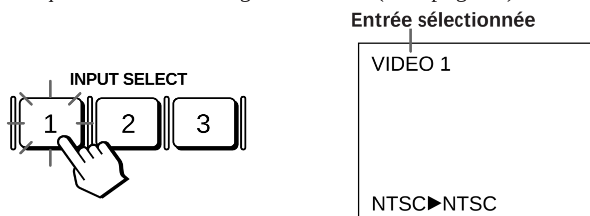
- Mettez l’appareil raccordé sous tension et lancez la lecture d’une source vidéo.
- Pour afficher les informations relatives au fonctionnement de l’écran, assurez-vous que l’indicateur de la touche DISPLAY ON / OFF est allumé. Si ce n’est pas le cas, appuyez sur la touche DISPLAY ON / OFF.
- Pour sélectionner la langue d’affichage de votre choix pour les menus, reportez-vous à la page 88.

Conversion de l’image

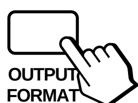
1 Appuyez sur l’interrupteur ON/OFF.
L’indicateur de l’interrupteur ON / OFF et les trois touches INPUT SELECT s’allument.

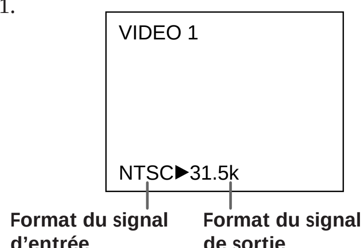


2 Sélectionnez la source d’entrée à convertir en appuyant sur la touche INPUT SELECT.
La touche enfoncée s’illumine plus intensément que les autres et l’indicateur de signal d’entrée s’allume pour indiquer le format du signal d’entrée (voir page 91).



3 Sélectionnez le format du signal de sortie voulu en appuyant plusieurs fois de suite sur la touche OUTPUT FORMAT.
L’indicateur du signal de sortie sélectionné s’allume. Le signal de sortie est commuté quelques secondes après que vous avez relâché la touche.
Pour les spécifications de chacun des formats de sortie, reportez-vous à la page 91.





Visualisation de l’image au moyen du doubleur de ligne

La fonction doubleur de ligne dont cet appareil est doté convertit le signal d’entrée NTSC ou PAL en un signal de sortie à interpolation numérique double densité à haute fréquence de balayage. Le format du signal de sortie devient un signal non entrelacé d’une fréquence horizontale de 31,5 kHz et dont la fréquence verticale est synchronisée sur le signal d’entrée.
Le doubleur de ligne convertit vers le haut le signal champ par champ en interpolant l’information verticalement sur deux signaux de ligne.
Par conséquent, une image animée d’un mouvement rapide est restituée comme une image à haute définition.

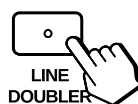
- Le signal converti est transmis en format RVB par le connecteur de sortie RVB / composantes.
- Le doubleur de ligne peut être activé séparément pour les trois entrées.

Pour activer le doubleur de ligne

1 Appuyez sur la touche OUTPUT FORMAT pour sélectionner 31.5k.

2 Raccordez une source de signal NTSC ou PAL et sélectionnez l’entrée à l’aide des touches INPUT SELECT.

3 Appuyez sur la touche LINE DOUBLER.
L’indicateur de la touche s’allume et les indicateurs NTSC et 31.5k ou PAL et 31.5k OUT s’allument.



Si la source d’entrée est de type NTSC

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

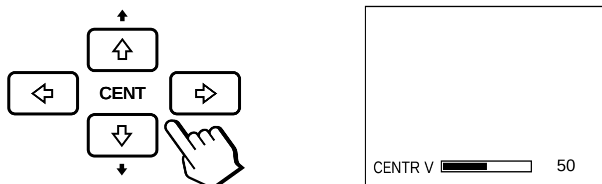
NTSC▶LIGNEx2

Si la source d’entrée est de type PAL

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

PAL ▶LIGNEx2

4 Ajustez la position de l'image en appuyant sur les touches CENT ⇧/⇩/⇦/⇨.



Pour désactiver le doubleur de ligne

Appuyez à nouveau sur la touche LINE DOUBLER pour désactiver l'indicateur de la touche. Le format de sortie 31.5k est restauré.

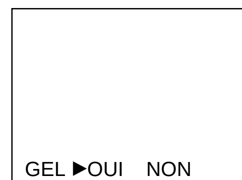
Remarques

- Si vous appuyez sur la touche LINE DOUBLER alors que la source d'entrée n'est pas de type NTSC ou PAL ou que le format de sortie n'est pas de 31.5k, l'indication "NON APPLICABLE" apparaît à l'écran et la touche LINE DOUBLER est inopérante.
- Lorsque le doubleur de ligne est activé, les touches ZOOM, SIZE, APERTURE et TEST PATTERN sont inopérantes.
- Lorsque le doubleur de ligne est activé, la taille de l'image est identique à l'original.
- Si vous exploitez la fonction doubleur de ligne, nous recommandons d'utiliser comme source d'entrée un appareil vidéo équipé d'un TBC (correcteur de base de temps). Si vous activez le doubleur de ligne pour le signal sans TBC et si vous affichez le signal converti sur un moniteur à balayage multiple, l'image risque de disparaître en raison d'une perturbation du signal de synchronisation.

Visualisation d'un arrêt sur image

Lorsqu'une image animée est affichée, appuyez sur la touche STILL pour régler GEL à l'écran sur OUI. Le signal de sortie est alors affiché sous la forme d'un arrêt sur image. L'indicateur de la touche STILL s'allume.





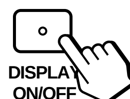
Pour revenir à l'écran normal, appuyez à nouveau sur la touche STILL.

Remarque

En mode d'arrêt sur image, seul l'interrupteur ON / OFF et les touches INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, LINE DOUBLER, TEST PATTERN, MENU, ENTER et CENT ⇧/⇩ sont opérants.
Si vous appuyez sur une autre touche, l'indication "NON APPLICABLE" apparaît à l'écran.

Pour supprimer les informations affichées à l'écran

Lorsque l'indicateur de la touche DISPLAY ON / OFF est allumé, les informations relatives au mode de fonctionnement sélectionné s'affichent quelques secondes à l'écran.
Pour faire disparaître l'affichage de l'écran, appuyez sur la touche DISPLAY ON / OFF pour régler AFFICH à l'écran sur NON.



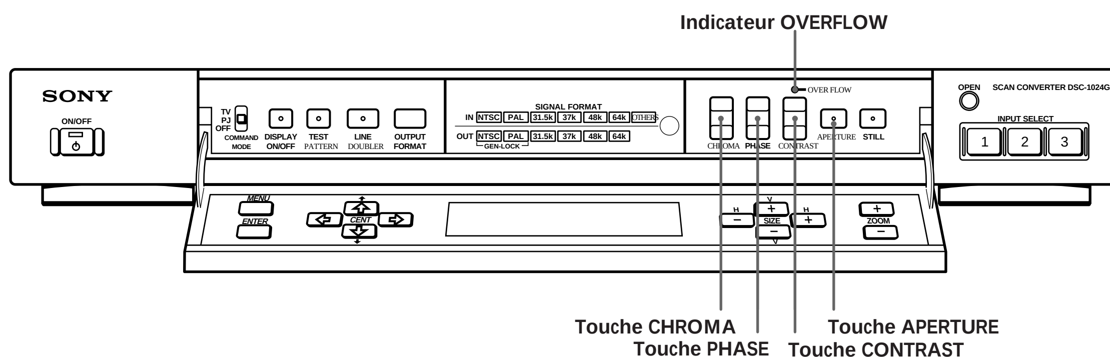


Remarque

Même si AFFICH est réglé sur NON, seul le menu principal s'affiche lorsque vous appuyez sur la touche MENU.

Français

Réglage de l'image



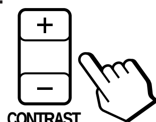
Lorsque vous visualisez l'image, vous pouvez régler le contraste, la phase, le niveau chromatique et l'ouverture en fonction de vos goûts personnels. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour les trois entrées. Les niveaux réglés sont enregistrés dans la mémoire.

Réglage du contraste, de la phase et du niveau chromatique

Appuyez sur la touche de réglage voulue : CONTRAST, PHASE ou CHROMA.

Les niveaux de réglage s'affichent à l'écran.

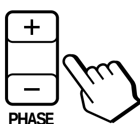
CONTRASTE





+ : pour augmenter le contraste de l'image
– : pour diminuer le contraste de l'image

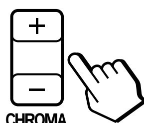
PHASE





+ : pour rendre l'image plus verdâtre
– : pour rendre l'image plus rougeâtre

NIVEAU CHROMATIQUE





+ : pour augmenter l'intensité des couleurs
– : pour diminuer l'intensité des couleurs

Remarques

- Les commandes CHROMA et PHASE ne fonctionnent pas pour le signal d'entrée RVB.
- La commande PHASE ne fonctionne pas pour le signal d'entrée composantes (Y/B-Y/R-Y).
- La commande PHASE est inopérante avec les sources couleur PAL.

Si vous appuyez sur ces touches, l'indication "NON APPLICABLE" apparaît à l'écran.

Réglage de l'ouverture

Pour rendre l'image plus nette, appuyez sur la touche APERTURE de façon à régler OUVERTURE à l'écran sur OUI. L'indicateur de la touche APERTURE s'allume.
Pour adoucir les contours de l'image, appuyez à nouveau sur la touche APERTURE de façon à régler OUVERTURE sur NON.
Le réglage par défaut est OUVERTURE NON pour l'entrée vidéo NTSC ou PAL, ou OUVERTURE OUI pour les autres entrées.



OUVERTURE ▶OUI NON

Remarque

Si le format du signal d'entrée est de type entrelacé tel que NTSC ou PAL, le réglage OUVERTURE NON réduit les scintillements de ligne bien que les contours de l'image soient légèrement flous.

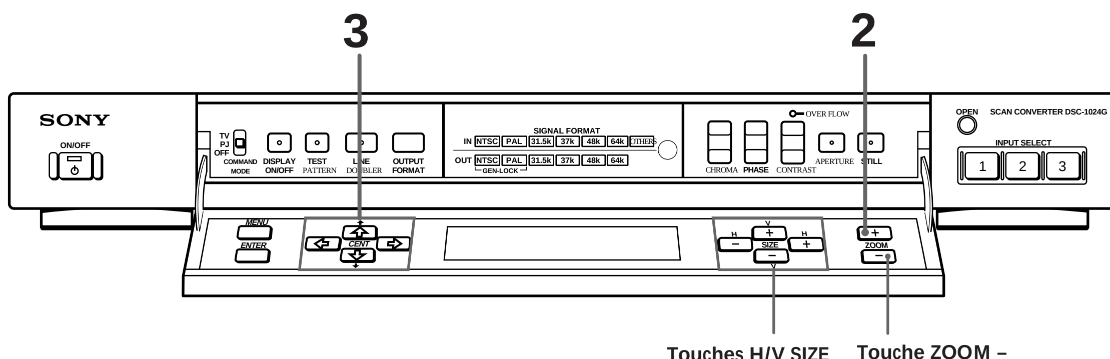
Si le niveau du signal d'entrée est excessif

L'indicateur OVERFLOW s'allume. Dans ce cas, vérifiez si le sélecteur 75 Ω / OPEN et le sélecteur RGB/YBR de la section du connecteur VIDEO 3 sont correctement réglés. S'ils sont correctement réglés, appuyez sur la touche CONTRAST –.

Pour restaurer les réglages par défaut du contraste, de la phase et du niveau chromatique

Utilisez RAZ COULEUR dans l'écran MENU 1. (Voir page 83.)

Zoomer et redimensionner l'image

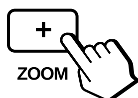


Vous pouvez zoomer l'image de façon à la rendre 2, 3 ou 4 plus grande que le format original.
Vous pouvez également décaler la position de l'image de façon à ce qu'elle s'adapte à l'écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l'image.
Vous pouvez effectuer les réglages séparément pour les trois entrées.

Zoom avant de l'image

1 Affichez l'image à l'écran.

2 Appuyez sur la touche ZOOM +.

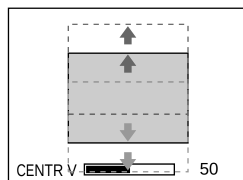


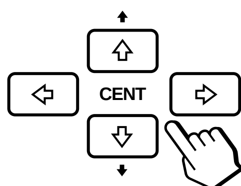


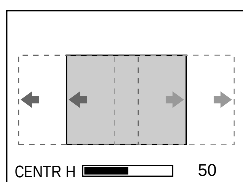
Chaque fois que vous appuyez sur la touche ZOOM +, l'image est agrandie suivant un facteur 2, 3 et 4.
Pour un zoom arrière, appuyez sur la touche ZOOM –.

3 Réglez la position de l'image en gros plan en appuyant sur les touches CENT ⇧/⇩/⇦/⇨.

⇧/⇩: pour déplacer l'image vers le haut / bas (CENTR V)
⇦/⇨: pour déplacer l'image vers la gauche / droite (CENTR H)





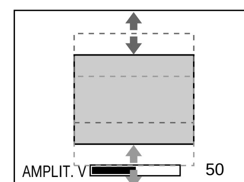


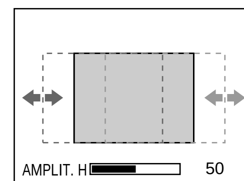
La position de l'image est indiquée à l'écran par la barre de réglage et une valeur de 0 à 100. La valeur de réglage par défaut est de 50.

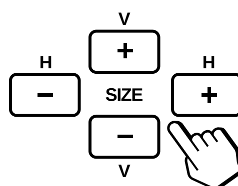
Redimensionner l'image

Appuyez sur les touches H/V SIZE +/– pour redimensionner l'image.

V SIZE + : pour augmenter la taille verticale (AMPLIT. V)
V SIZE – : pour diminuer la taille verticale (AMPLIT. V)
H SIZE + : pour augmenter la taille horizontale (AMPLIT. H)
H SIZE – : pour diminuer la taille horizontale (AMPLIT. H)



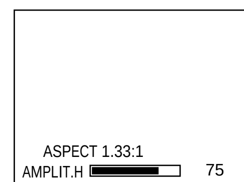




La taille de l'image est indiquée à l'écran par la barre de réglage et une valeur de 0 à 100. La valeur de réglage par défaut est de 50 (sauf entrée HDTV ou 64k).

Affichage du rapport hauteur/largeur (ASPECT)

Lorsque la taille de l'image est modifiée à l'aide de la touche H / V SIZE, l'appareil calcule le rapport hauteur / largeur de l'image convertie et l'affiche à l'écran en unités décimales en même temps que la barre et la valeur de réglage.
Exemple : 4:3 est indiqué par 1.33:1
16:9 est indiqué par 1.78:1



Remarque

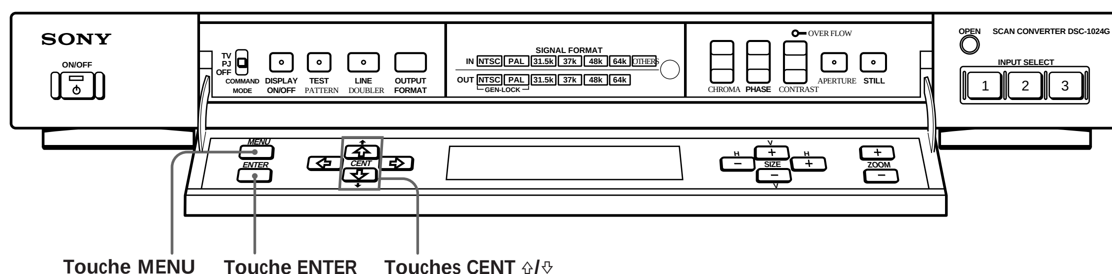
Le rapport hauteur / largeur est uniquement affiché si le signal présélectionné est entré. Pour les signaux présélectionnés, voir page 91.

Restaurer la taille et la position originales de l'image

Utilisez RAZ GEOM dans l'écran MENU 1. (Voir page 83.)

Français

Utilisation de la mémoire

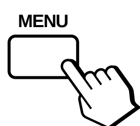


Lorsque vous réglez le convertisseur pour afficher correctement une source d'entrée, enregistrez les données de réglage dans la mémoire. Cinq séries de sélection d'entrée/ sortie, rapport de zoom, taille H / V et position H / V peuvent être enregistrées dans la mémoire et commutées rapidement. Cinq positions de mémoire sont accessibles.

Mémorisation des réglages actuels

1 Réglez l'image si nécessaire.

2 Appuyez sur la touche MENU.
Le MENU 1 apparaît.

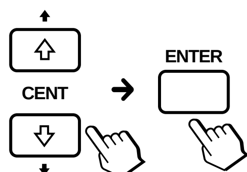


MENU 1

▶CHARGER MEM
SAUVER MEM
RAZ GEOM
RAZ COULEUR
RAZ TOTALE
NO INDEX
LANGUE

UTIL: ⇧⇩ENTER SUIVT.:MENU

3 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de SAUVER MEM et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
L'écran SAUVER MEM apparaît.
Les données en cours s'affichent dans la colonne gauche sous "ACTUEL" et les données enregistrées dans la mémoire dans la colonne de droite. Si aucune donnée n'est enregistrée dans la mémoire, c'est l'indication "–" qui s'y affiche.



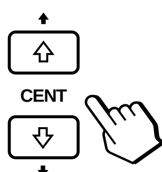
SAUVER MEM

	ACTUEL ▶	MEM1
ENTREE	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
SORTIE	31.5k	–
ZOOM	x1	–
AMPLIT. H	50	–
CENTR H	50	–
AMPLIT. V	50	–
CENTR V	50	–

UTIL: ⇧⇩ ENTER ANNULE:MENU

Données actuelles

3 Appuyez plusieurs fois de suite sur la touche CENT ⇧/⇩ de façon à ce que le numéro de position de mémoire voulu (1 à 5) apparaisse.



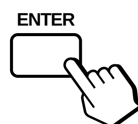
Numéro de position de mémoire

SAUVER MEM

	ACTUEL ▶	MEM3
ENTREE	VIDEO1	–
SIGNAL	NTSC	–
SORTIE	31.5k	–
ZOOM	x1	–
AMPLIT. H	50	–
CENTR H	50	–
AMPLIT. V	50	–
CENTR V	50	–

UTIL: ⇧⇩ ENTER ANNULE:MENU

5 Appuyez sur la touche ENTER.
Les données actuelles sont enregistrées sous le numéro de mémoire sélectionné dans la colonne de droite.
Si des données ont déjà été enregistrées sous le numéro de mémoire sélectionné, elles s'affichent dans la colonne de gauche sous "ACTUEL".



SAUVER MEM

	ACTUEL ▶	MEM3
ENTREE	VIDEO1	VIDEO1
SIGNAL	NTSC	NTSC
SORTIE	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
AMPLIT. H	50	50
CENTR H	50	50
AMPLIT. V	50	50
CENTR V	50	50

UTIL: ⇧⇩ ENTER ANNULE:MENU

Données actuelles mémorisées

6 Pour quitter le menu, appuyez trois fois sur la touche MENU.

Pour rappeler les données mémorisées

1 Appuyez sur la touche MENU.
Le MENU 1 apparaît.

2 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de CHARGER MEM et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
Le menu CHARGER MEM s'affiche.

CHARGER MEM

	MEM1 ▶	ACTUEL
ENTREE	VIDEO1	VIDEO2
SIGNAL	NTSC	NTSC
SORTIE	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
AMPLIT. H	50	50
CENTR H	50	80
AMPLIT. V	50	60
CENTR V	50	80

UTIL: ⇧⇩ ENTER ANNULE:MENU

3 Appuyez plusieurs fois de suite sur la touche CENT ⇧/⇩ pour sélectionner le numéro de position de mémoire voulu (1 à 5) et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
Le convertisseur se règle suivant les données enregistrées dans la position de mémoire sélectionnée.

4 Pour annuler l'opération, appuyez deux fois sur la touche MENU.

Pour rappeler rapidement les données mémorisées

Utilisez la télécommande. Reportez-vous à la section "Chargement direct de la mémoire" à la page 84.

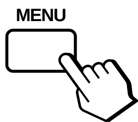
Pour restaurer les données aux valeurs par défaut

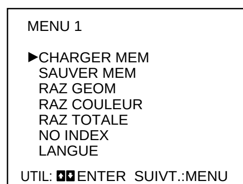
Trois options permettent de restaurer les réglages aux valeurs par défaut.

RAZ GEOM: Réinitialise les réglages ZOOM, TAILLE H / V et CENTR H / V actuels.
RAZ COULEUR: Réinitialise les réglages CONTRAST, PHASE et CHROMA actuels.
RAZ TOTALE: Réinitialise tous les paramètres aux valeurs de réglage par défaut et efface le contenu de la mémoire.

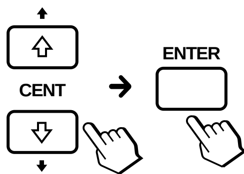
Les procédures d'application sont identiques pour les trois options.

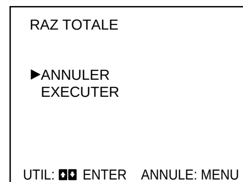
1 Appuyez sur la touche MENU.
Le MENU 1 apparaît à l'écran.





2 Appuyez sur la touche pour amener le curseur (▶) en regard de RAZ GEOM, RAZ COULEUR ou RAZ TOTALE et appuyez ensuite sur la touche ENTER.

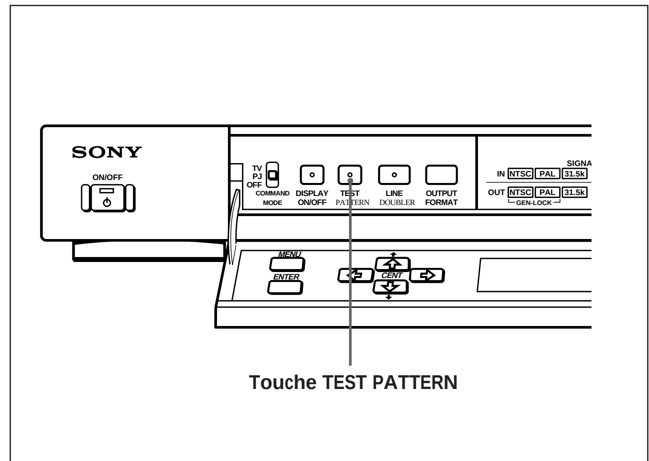




3 Appuyez sur les touches CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de EXECUTER et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
Les données de réglage sont ramenées aux réglages par défaut.

Pour annuler la réinitialisation

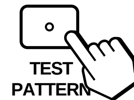
Appuyez sur la touche MENU ou sélectionnez ANNULER à l'étape 3 ci-dessus et appuyez ensuite sur la touche ENTER.



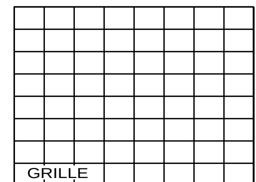
Touche TEST PATTERN

Vous pouvez utiliser les mires de test intégrées pour régler le moniteur ou l'écran du projecteur.

Appuyez sur la touche TEST PATTERN.
Chaque fois que vous appuyez sur la touche TEST PATTERN, les mires de test suivantes apparaissent successivement à l'écran.
GRILLE → CASE → BARRE DE COULEUR → ECH GRIS → NON (signal d'entrée) → GRILLE ...



Exemple: Grille



Le nom de la mire de test sélectionnée s'affiche à l'écran pendant environ 3 secondes.

Pour revenir à l'écran de départ

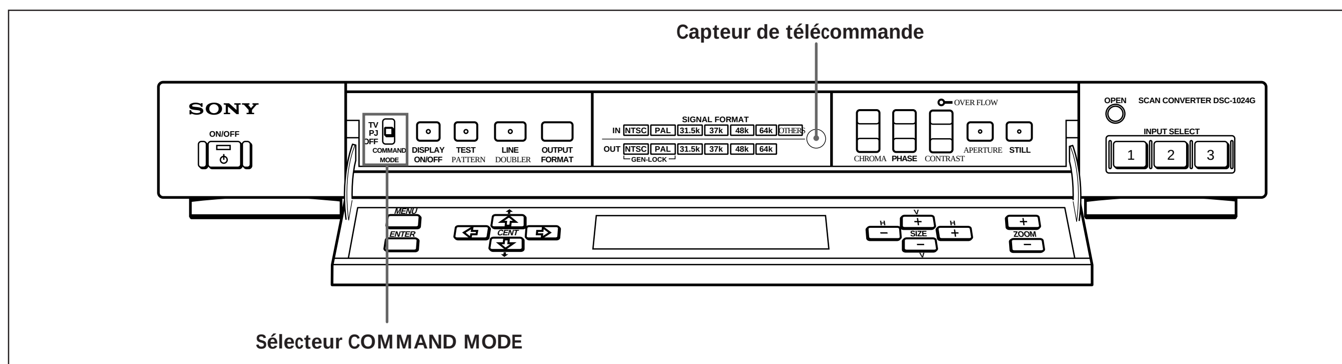
Appuyez plusieurs fois de suite sur la touche TEST PATTERN jusqu'à ce que plus aucune mire de test ne soit affichée à l'écran. Une pression sur l'interrupteur ON / OFF, les touches INPUT SELECT ou la touche OUTPUT FORMAT restaure également l'écran normal.

Remarque

Lorsque la mire de test est affichée, seul l'interrupteur ON / OFF et les touches INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, MENU et CENT ⇧/⇩ sont opérantes.

Français

Utilisation de la télécommande



Cet appareil accepte les unités de télécommande filaires et à infrarouge pour les moniteurs, les téléviseurs et les projecteurs Sony.

Sélection du type de télécommande

Réglez le sélecteur COMMAND MODE suivant le type de la télécommande.

TV: Télécommandes de moniteurs ou de téléviseurs Sony
PJ: Télécommande de projecteur Sony
OFF: Si vous n'utilisez pas de télécommande, sélectionnez cette position pour éviter tout dysfonctionnement.



Fonctions de télécommande accessibles

Les fonctions suivantes peuvent être commandées au moyen de la télécommande.

- Mise sous / hors tension
- Sélection d'entrée
- Réglages de l'image : contraste, phase et niveau chromatique
- Activation / désactivation de l'affichage sur écran (uniquement pour les moniteurs vidéo et les téléviseurs)
- Exploitation des menus (voir colonne de droite)
- Chargement direct de la mémoire (voir colonne de droite)

Les fonctions accessibles et les touches à utiliser pour chacune de ces fonctions sont limitées en fonction de chaque télécommande.
Voir tableau ci-dessous.

Chargement direct de la mémoire

La télécommande permet de rappeler rapidement les données de réglage enregistrées dans la mémoire.

1 **Appuyez successivement sur les touches 7, 7, 7 et ENTER de la télécommande en observant à chaque fois un intervalle d'environ une seconde.**
Le message "PRET CHARGMT MEM" apparaît à l'écran.
2 **Sélectionnez le numéro de la position de mémoire (1 à 5) que vous voulez rappeler à l'aide de la touche numérique correspondante.**
Le convertisseur se règle en fonction des données de la position de mémoire sélectionnée.

Pour annuler l'opération

Appuyez successivement sur les touches 0, 0, 0 et ENTER de la télécommande en observant à chaque fois un intervalle d'environ une seconde. Le message "SORTIE CHARGMT MEM" apparaît à l'écran.
L'opération de chargement direct de la mémoire est également annulée en mettant l'appareil hors tension.

Remarque

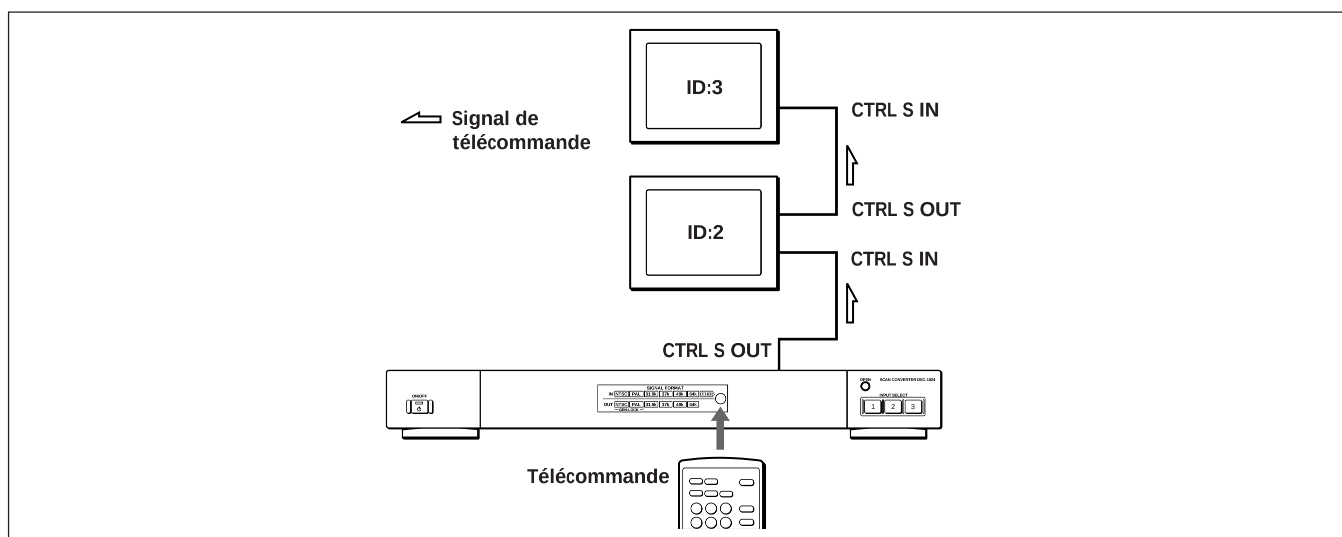
Appuyez successivement sur les touches 7, 7, 7 et ENTER, ou 0, 0, 0 et ENTER de la télécommande en observant à chaque fois un intervalle d'environ une seconde.
S'il s'écoule plus de trois secondes entre chaque manipulation, l'opération est annulée. Dans ce cas, recommencez la procédure.

Exploitation des menus à l'aide de la télécommande

Les écrans de menu pour la télécommande sont différents de ceux prévus pour l'appareil principal.
Le MENU GEOM et le MENU COUL s'affichent lorsque vous appuyez respectivement une ou deux fois sur la touche de menu (MENU, PAGE ou ⬅) de la télécommande.
Sélectionnez le paramètre voulu à l'aide des touches ⬆/⬇ et appuyez ensuite sur la touche de confirmation (ENTER, ➡ ou M SEL) de la télécommande. Réglez ensuite le paramètre sélectionné à l'aide de la touche ⬆/⬇.

Modèle de télécommande		RM-854	RM-1271	RM-PJ1292	RM-PJ350	RM-PJC520
Réglage COMMAND MODE		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
Sélection d'entrée	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
Exploitation des menus	MENU	MENU	PAGE ou ⬅	PAGE ou ⬅	PAGE ou ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
Réglage de l'image	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

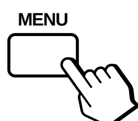
Exploitation d'un appareil déterminé à l'aide de la télécommande

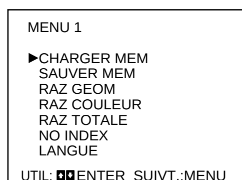


Si plusieurs appareils Sony sont raccordés via la prise CTRL S, vous pouvez commander un appareil déterminé en attribuant le numéro d'index présélectionné pour chaque appareil sur le convertisseur et ensuite sur la télécommande. Pour présélectionner le numéro d'index de chaque appareil, reportez-vous au mode d'emploi des appareils en question. L'explication suivante présente un exemple d'utilisation de la télécommande RM-854.

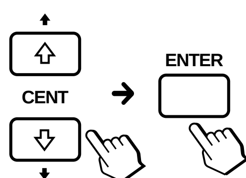
Attribuer des numéros d'index sur le convertisseur

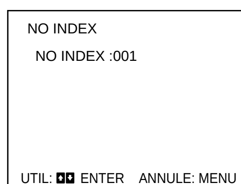
1 Appuyez une fois sur la touche MENU.
Le MENU 1 apparaît à l'écran.





2 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de NR INDEX et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
L'écran NO INDEX s'affiche.



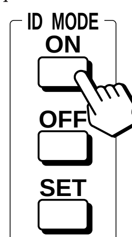


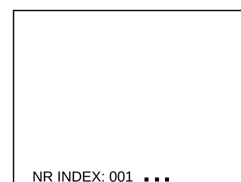
3 Appuyez plusieurs fois de suite sur la touche CENT ⇧/⇩ pour sélectionner le numéro d'index (1 à 255) de l'appareil que vous voulez commander et appuyez ensuite sur la touche ENTER.

4 Pour quitter le menu, appuyez trois fois sur la touche MENU.

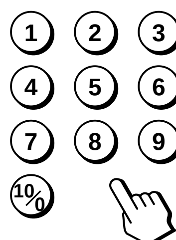
Pour commander l'appareil avec la télécommande RM-854

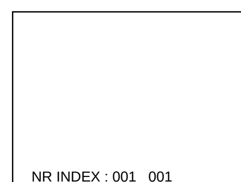
1 Appuyez sur la touche ID MODE ON de la télécommande.
Les numéros d'index apparaissent sur tous les appareils ainsi que sur le convertisseur.



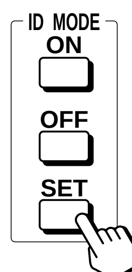


2 Introduisez le numéro d'index de l'appareil que vous voulez utiliser à l'aide des touches numériques 0 à 9 de la télécommande.
Le numéro introduit apparaît à droite du numéro d'index de chaque appareil.





3 Appuyez sur la touche ID MODE SET.
Le caractère de l'appareil sélectionné vire au cyan et les autres au rouge.

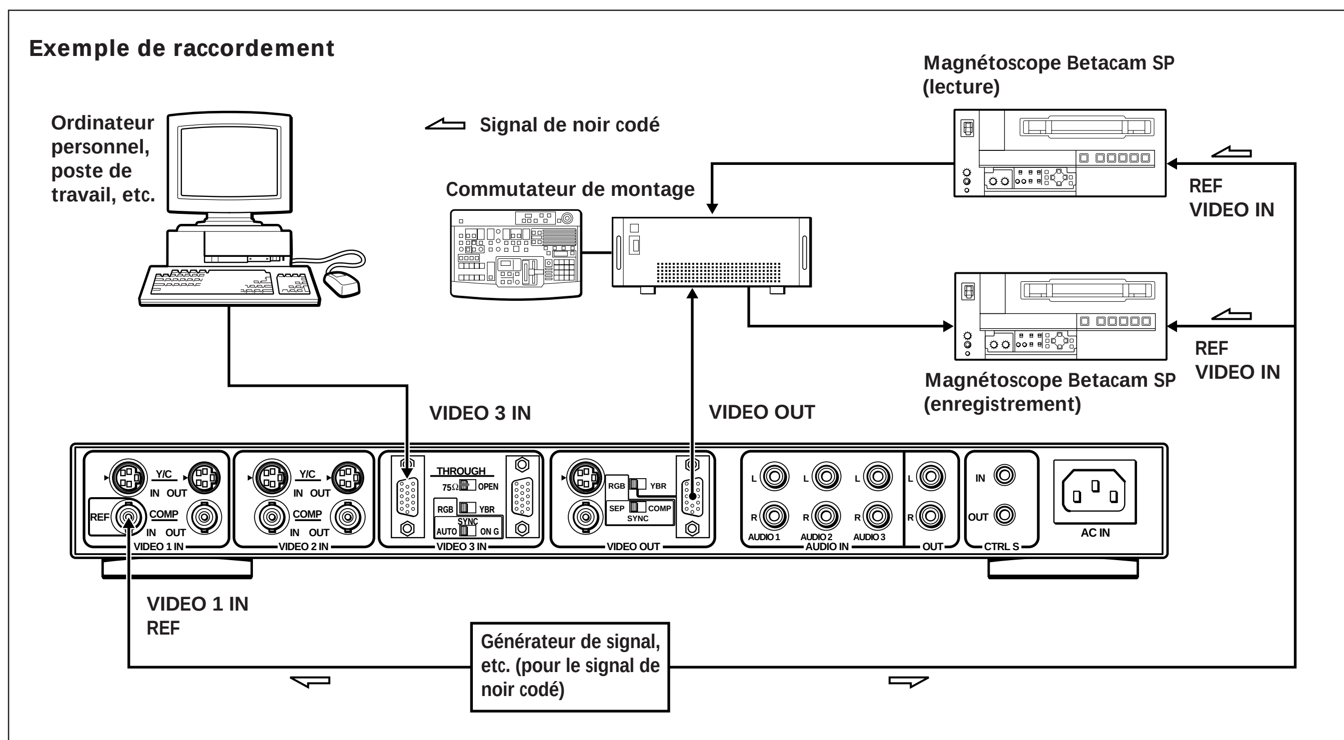


Vous pouvez à présent commander un appareil spécifique (toutes les fonctions sont accessibles en mode ID, sauf POWER ON / OFF).

Français

Utilisation de l’asservissement du générateur (gen-lock)

Exemple de raccordement

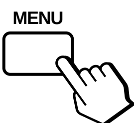


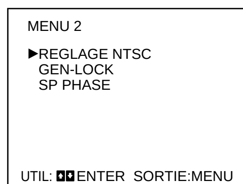
Le signal de sortie NTSC ou PAL peut être synchronisé au moyen du signal de noir codé entré depuis un générateur de signal, etc., comme signal de référence (asservissement du générateur).
Cela permet un montage parfait exempt des parasites de transition dus à l’utilisation de plusieurs sources vidéo.

Activation de l’asservissement du générateur

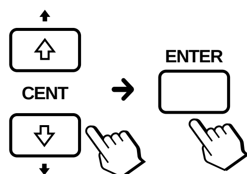
1 Entrez le signal de référence qui correspond au format du signal de sortie (NTSC ou PAL) de l’unité de montage ou du générateur de signal via le connecteur VIDEO 1 IN REF.

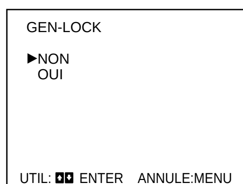
2 Appuyez deux fois sur la touche MENU.
MENU 2 apparaît à l’écran.





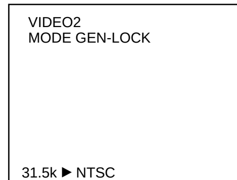
3 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) sur GEN-LOCK et appuyez ensuite sur ENTER.
L’écran GEN-LOCK apparaît.





4 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) sur OUI et appuyez ensuite sur ENTER.
L’asservissement du générateur est activé pour le signal sorti de cet appareil et l’indicateur GEN-LOCK du panneau frontal s’allume.

Lorsque le convertisseur est mis sous tension ou lorsque le mode d’entrée est changé, “MODE GEN-LOCK” apparaît à l’écran.



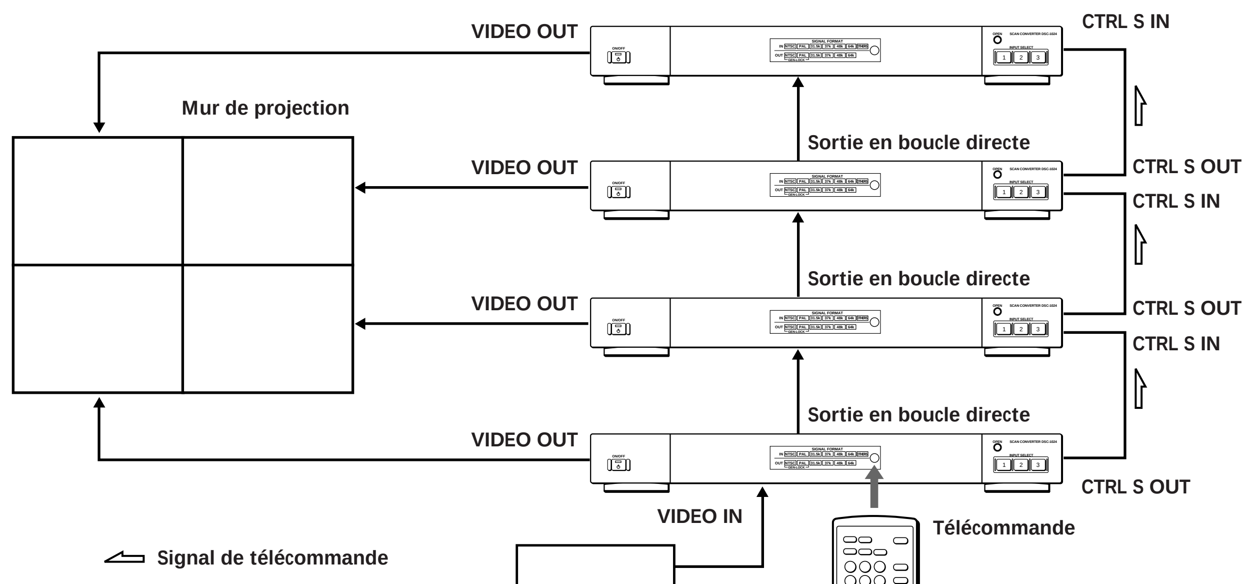
Pour désactiver l’asservissement du générateur

Répétez les étapes 1 à 3 ci-dessus, réglez ensuite GEN-LOCK sur NON à l’étape 4. L’indicateur GEN-LOCK du panneau frontal s’éteint.

Remarques

- Si vous sélectionnez GEN-LOCK sur l’écran MENU 2 sans entrée de signal de référence, l’indication “PAS DE REFERENCE” apparaît à l’écran.
- L’indication “REFERENCE ERRONEE” s’affiche si le format du signal de référence ne correspond pas au format du signal d’entrée.
- La sortie RVB / composantes est recommandée pour le montage. Si vous utilisez la sortie vidéo composite, il est possible que vous deviez utiliser un synchroniseur d’images pour ajuster la phase au signal de référence.
  Pour le réglage de la sous-porteuse de phase horizontale (SP PHASE), voir page 88.

Construction d'un mur de projection



Lorsque vous réalisez un mur de projection qui affiche une image plus grande à partir de plusieurs projecteurs, utilisez les convertisseurs comme dans l'exemple de raccordement ci-dessus. Prévoyez un convertisseur par projecteur.
Réglez l'image de chaque projecteur de façon à ce que l'image générale du mur de projection s'assemble parfaitement et enregistrez les données de réglage sur chaque convertisseur sous le même numéro de mémoire. Cela vous permet de commuter rapidement un total de cinq images sur le mur de projection.

Enregistrement des données de réglage de l'image

1 Réglez les projecteurs.
Utilisez les mires de test (GRILLE, BARRE DE COULEUR et ECH GRIS) intégrées au convertisseur. Pour plus de détails sur les mires de test, reportez-vous à la page 83.

2 Ajustez les portions d'image au moyen du convertisseur.
Réglez l'agrandissement en fonction du nombre de portions d'image. Ensuite, ajustez chaque portion de l'image à l'aide des touches H / V SIZE et des touches CENT de sorte qu'elles forment une seule grande image parfaite.

Nombre de portions de l'image	Agrandissement
4	× 2
9	× 3
16	× 4

Pour savoir comment zoomer et redimensionner l'image, reportez-vous à la page 81.

3 Enregistrez les données de réglage dans la mémoire du convertisseur. Enregistrez les données sous le même numéro de mémoire sur chacun des convertisseurs.
Pour plus de détails, voir "Mémorisation des réglages actuels" à la page 82.

4 Répétez les étapes 1 à 3 pour la mémorisation d'autres modes d'affichage de l'image.
Vous pouvez enregistrer les données de réglage de cinq modes d'affichage sous les numéros de mémoire 1 à 5.

Affichage de l'image sur le mur de projection

Le nom des touches de la télécommande diffère suivant le modèle de la télécommande. Consultez le tableau à la page 84.

1 Appuyez successivement sur les touches 7, 7, 7 et ENTER de la télécommande à des intervalles de 1 seconde.
L'indication "PRET CHARGMT MEM" s'affiche sur chaque projecteur.

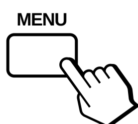
2 Sélectionnez le numéro de mémoire sous lequel les données de réglage du mode d'affichage voulu sont enregistrées.
Toutes les portions de l'image sont affichées convenablement de sorte qu'elles forment une seule grande image parfaite.

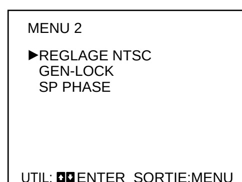
3 Pour commuter un autre mode d'affichage de l'image, appuyez sur la touche numérique correspondant au numéro de mémoire en question.

Sélection du niveau nominal

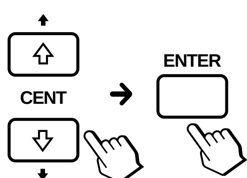
Vous pouvez sélectionner le niveau de noir (niveau nominal) pour le signal de sortie NTSC.
Le niveau de noir est réglé sur “0”(IRE). Si l’image transmise est trop sombre, réglez-le sur “7.5”(IRE).

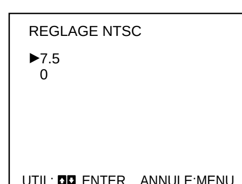
1 Appuyez deux fois sur la touche MENU.
L’écran MENU 2 s’affiche.





2 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) sur REGLAGE NTSC et appuyez ensuite sur ENTER.
L’écran REGLAGE NTSC s’affiche.





3 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour sélectionner ”7.5“ ou “0” et appuyez ensuite sur ENTER.

4 Pour quitter le menu, appuyez deux fois sur la touche MENU.

Sélection de la langue d’affichage

Vous pouvez sélectionner la langue d’affichage des menus parmi cinq possibilités.

1 Appuyez une fois sur la touche MENU.
Le MENU 1 apparaît à l’écran.

2 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de LANGUAGE et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
Le menu LANGUAGE apparaît.



3 Appuyez plusieurs fois de suite sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) en regard de la langue d’affichage voulue et appuyez ensuite sur la touche ENTER.

4 Pour quitter le menu, appuyez trois fois sur la touche MENU.

Réglage de la sous-porteuse de phase horizontale (SP PHASE)

Lorsque vous copiez ou que vous enregistrez le signal de sortie composite sur un magnétoscope, vous devez régler la sous-porteuse de phase horizontale (SP PHASE).
Pour effectuer ce réglage, préparez un appareil de mesure spécial.

1 Appuyez deux fois sur la touche MENU.
L’écran MENU 2 apparaît

2 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour amener le curseur (▶) sur SP PHASE et appuyez ensuite sur la touche ENTER.
La valeur de réglage est affichée sur l’écran.



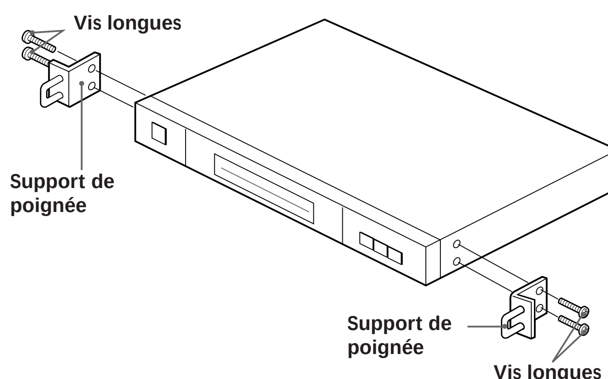
3 Appuyez sur la touche CENT ⇧/⇩ pour régler SP/H.

4 Pour quitter le menu, appuyez deux fois sur la touche MENU.

Montage sur une étagère

Vous pouvez installer l’appareil sur une étagère de 19 pouces aux normes EIA en utilisant le support de montage MB-510.

1 Fixez les supports de poignée à l’aide des quatre vis longues fournies avec le kit de montage.



2 Démontez les quatres pieds de la base de l’appareil.

3 Installez l’appareil dans une étagère de 19 pouces aux normes EIA.

Attention

Ne transportez pas l’appareil en le maintenant par les supports de poignée. Sinon, l’appareil risque de se séparer des supports de poignée.

Dépannage

Si vous rencontrez des problèmes, consultez les remèdes proposés pour les différents symptômes énumérés ci-dessous.
Si le problème ne peut être résolu de cette façon, consultez votre revendeur Sony.

Symptôme	Vérification et remède
Pas d'image	• Vérifiez si l'indicateur de l'interrupteur ON / OFF est allumé. Si ce n'est pas le cas, vérifiez si le cordon d'alimentation est branché et appuyez sur l'interrupteur ON / OFF. • Vérifiez si le moniteur / projecteur est sous tension. • Vérifiez si l'indicateur OUT correspondant au moniteur / projecteur est allumé (voir page 91). • Vérifiez à l'aide des mires de test intégrées si le moniteur / projecteur est raccordé correctement. • Vérifiez si la touche INPUT SELECT correcte a été enfoncée. • Vérifiez si l'appareil de source d'entrée est sous tension et si la source d'entrée est en cours de lecture. • Vérifiez si l'un des indicateurs IN est allumé. Sinon, assurez-vous que l'appareil de source d'entrée est raccordé correctement. Si une source d'entrée est raccordée via VIDEO 3 IN, réglez le sélecteur SYNC AUTO / ON G sur AUTO.
Le signal de synchronisation forme des rayures à l'écran (ne se stabilise pas).	• Si connecteur D-sub VIDEO OUT est utilisé, vérifiez si le sélecteur RGB / YBR et le sélecteur SYNC SEP / COMP de la section VIDEO OUT sont correctement réglés.
L'image est verdâtre.	• Si l'appareil de source d'entrée est un ordinateur raccordé via VIDEO 3 IN, réglez le sélecteur SYNC AUTO / ON G sur ON G.
L'image est rougeâtre.	• Si l'appareil de source d'entrée est un ordinateur raccordé via VIDEO 3 IN, réglez le sélecteur RGB / YBR sur RGB.
L'image est trop grande.	• Réglez la taille de l'image à l'aide des touches SIZE. • Appuyez sur la touche ZOOM – pour sélectionner le rapport de zoom × 1.
La télécommande est inopérante.	• Vérifiez le type de votre télécommande et réglez le sélecteur COMMAND MODE correctement (voir page 84). • Cet appareil fonctionne uniquement avec les télécommandes de téléviseurs et de projecteurs Sony. • Débranchez la fiche de la prise CTRL S IN.
La télécommande ne fonctionne pas correctement.	• Réglez le sélecteur COMMAND MODE sur OFF.
L'indicateur POWER clignote.	• La protection thermique intégrée a peut-être été activée. Vérifiez si la température ambiante n'est pas trop élevée. • Appuyez sur le contacteur POWER pour mettre l'appareil hors tension. Appuyez ensuite à nouveau sur ce commutateur et vérifiez l'indicateur POWER. Si l'indicateur POWER clignote toujours, consultez votre revendeur. • Appuyez sur POWER pour mettre l'appareil hors tension. Appuyez ensuite à nouveau dessus et vérifiez le ventilateur. Si le ventilateur ne fonctionne pas, consultez votre revendeur.
L'indication "NON APPLICABLE" s'affiche sur l'écran.	• Vous avez appuyé sur une touche inopérante dans le mode de fonctionnement actuel.
"PAS DE REFERENCE" apparaît à l'écran et l'indicateur GEN-LOCK se met à clignoter sur le panneau frontal.	• Le signal de noir codé n'est pas entré par le connecteur VIDEO 1 IN, lorsque GEN-LOCK est réglé sur OUI dans l'écran MENU 2.
"REFERENCE ERRONEE" apparaît à l'écran et l'indicateur GEN-LOCK se met à clignoter sur le panneau frontal.	• Le format du signal de noir codé entré depuis le générateur de signal ne correspond pas au format du signal de sortie (NTSC ou PAL) du convertisseur.

Spécifications

Entrée du signal

VIDEO 1 IN
Entreé vidéo composite / référence
Connecteur BNC × 2 (boucle directe), 75 ohms (terminaison automatique)
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vcc typique
Signal de noir codé pour la fonction d'asservissement du générateur*
S-VIDEO (Y / C)
Miniconnecteur DIN à 4 broches × 2 (boucle directe), 75 ohms (terminaison automatique)
Y: 1 Vcc typique, sync négative
C: 0,286 Vcc (NTSC) / 0,3 Vcc (PAL) typique

VIDEO 2 IN
Signal vidéo composite
Connecteur BNC × 2 (boucle directe), 75 ohms (terminaison automatique)
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vcc typique
S-VIDEO (Y / C)
Miniconnecteur DIN à 4 broches × 2 (boucle directe), 75 ohms (terminaison automatique)
Y: 1 Vcc typique, sync négative
C: 0,286 Vcc (NTSC) / 0,3 Vcc (PAL) typique

VIDEO 3 IN
RVB / composantes
Connecteur D-sub à 15 broches, 3 rangées × 2 (boucle directe), 75 ohms / haute impédance
R / G / B: 0,714 Vcc (sync sur G acceptable)
Sync H / V ou composite: 1 à 5 Vp-p
Y / R-Y / B-Y: 0,7 Vcc typique (NTSC / PAL, sync sur Y)

AUDIO IN 1, 2, 3 (L / R)
Prise à broche RCA, plus de 10 kohms
0 dBs (1 Vrms) max.

Sortie du signal

VIDEO OUT
Signal vidéo composite
Connecteur BNC, 75 ohms typique
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vcc typique
S-VIDEO (Y / C)
Miniconnecteur DIN à 4 broches: 75 ohms typique
Y: 1 Vcc typique, sync négative
C: 0,286 Vcc (NTSC) / 0,3 Vcc (PAL) typique
RVB / composantes
Connecteur D-sub à 15 broches, 3 rangées, 75 ohms typique
R / G / B: 0,714 Vcc avec sync externe
Sync H / V ou composite: sync TTL négative
Y / R-Y / B-Y: 0,7 Vcc typique (sync sur Y)

AUDIO OUT (L / R)
Prise à broche RCA
Gain audio: ± 1,0 dB typique
Distorsion harmonique totale: moins de 1 %, 1 Vrms

Traitement vidéo

Plage de saisie: Fréquence horizontale : 15,6 à 70 kHz
Fréquence verticale : 50 à 120 Hz

Signal présélectionné: Entrée: 10 formats
Sortie: 6 formats
Sortie gen-lock: NTSC ou PAL
(Voir page 91.)

Mémoire vidéo: 1.152 × 1.152 × 24 bits (total RGB)

Fréquence d'échantillonnage
Phase de décalage 14,3 à 40 MHz max. (équivalent à un échantillonnage de 80 MHz)

Sortie d'horloge pixel: 14,3 à 50 MHz max.

Caractéristiques générales

Puissance de raccordement
100 à 120 V CA, 50 / 60 Hz, 0,4 A
200 à 240 V CA, 50 – 60 Hz, 0,25 A

Consommation électrique
30 W (max. en utilisation)
3 W (alimentation coupée)

Température d'utilisation
0 à 35°C (32 - 95°F)

Dimensions: 424 × 44 × 354 mm (l / h / p)
(16 $^3/_4$ × 1 $^3/_4$ × 14 pouces)
support et pieds non compris

Poids: Approx. 4,1 kg (9 livres 1 once)

Accessoires fournis: Cordon d'alimentation (1)
Câble de signal (1)

Accessoires optionnels

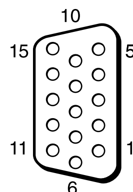
Support de montage pour étagère MB-510
SMF-400: Câble D-sub à 15 broches (mâle) / 5 BNC
SMF-401: Câble D-sub à 15 broches (mâle) / câble D-sub à 15 broches (mâle)
Télécommande RM-854, RM-1271, RM-PJ1292, RM-PJ350

* Remarque sur la fonction d'asservissement du générateur

Le signal de référence doit être conforme SMPTE 170M (NTSC) ou ITU-R624 (PAL)

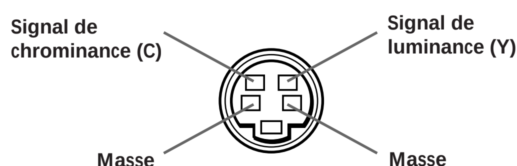
Assignation du signal

Connecteur VIDEO 3 IN (D-sub à 15 broches, 3 rangées)
Connecteur VIDEO OUT (D-sub à 15 broches, 3 rangées)



Broche n°	Signal
1	Signal vidéo rouge ou R-Y
2	Signal vidéo vert ou Y
3	Signal vidéo bleu ou B-Y
4	Masse
5	Masse
6	Masse rouge
7	Masse vert
8	Masse bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	Non utilisé
13	Synchro H ou synchro composite
14	Synchro V
15	Non utilisé

Connecteur Y/C IN/OUT (miniconnecteur DIN à 4 broches)



Français

Signaux présélectionnés

Indicateur		Normes de signal		
INPUT	OUTPUT	Désignation	Lignes de balayage	Fréquence de ligne/Fréquence de champ
NTSC	NTSC	NTSC	525 lignes au total (entrelacées)	15,73 kHz / 59,94 Hz
PAL	PAL	PAL	625 lignes au total (entrelacées)	15,63 kHz / 50,00 Hz
OTHERS	—	HDTV (Japon)	1125 lignes au total (entrelacées)	33,75 kHz / 59,94 Hz
31.5k	—	VGA Text	400 lignes actives (non entrelacées)	31,47 kHz / 70,11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640 × 480	480 lignes actives (non entrelacées)	31,47 kHz / 59,94 Hz
OTHERS	—	Mode Mac 13”	480 lignes actives (non entrelacées)	35,00 kHz / 66,67 Hz
37k	37k	VESA 800 × 600	600 lignes actives (non entrelacées)	37,88 kHz / 60,32 Hz
OTHERS	—	Mode Mac 16”	624 lignes actives (non entrelacées)	49,73 kHz / 74,55 Hz
48k	48k	VESA 1024 × 768	768 lignes actives (non entrelacées)	48,36 kHz / 60,00 Hz
64k	64k	VESA 1280 × 1024	1024 lignes actives (non entrelacées)	63,95 kHz / 59,94 Hz

• Les H. SYNC et V. SYNC de tous les signaux d’entrée sont négatives.

VESA est une marque déposée de Video Electronics Standard Association.
VGA et SVGA sont des marques déposées d’International Business Machines Corporation.
Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.

La conception et les spécifications sont sujettes à modifications sans préavis.

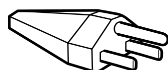
ADVERTENCIA

Para evitar el peligro de incendio o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

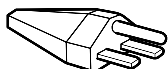
Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

Advertencia sobre la conexión de alimentación

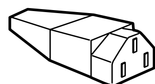
• Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.



115 voltios



230 voltios (no provisto en cables de alimentación estándar)



Cable de alimentación CEE-22, extremo hembra (todos los cables de alimentación)

	Estados Unidos, Canadá, Japón	**Continente europeo**	**Reino Unido, Irlanda**	**Australia, Nueva Zelanda**
Tipo de enchufe	NEMA S-15P	CEE 7 / VII (Schuko)	BS 1363	SAA AS 3112
Tipo de cable	SJT	HAR (HO5VV-F3G1.0)	HAR (HO5VV-F3G1.0)	CDB03PLP
Capacidad mínima del cable de alimentación	7 A / 125 V 3 x 18AWG	7 A / 250 V	7 A / 250 V	7 A / 250 V
Longitud del cable	2 m ± 0,1m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m
Homologación de seguridad	UL / CSA	HAR	BSI, ASTA	Departamento de energía de New South Wales

Suministro eléctrico universal de rango automático operativo en cualquier lugar. La unidad se autoajusta si se utilizan el cable de alimentación y enchufe apropiados a la tensión local.

La toma de corriente debe instalarse cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Precauciones

Seguridad

- La placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, el consumo de energía, etc., está situada en la parte posterior.
- Si dentro de la unidad cae algún objeto sólido o se vierte líquido, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Si no va a utilizar la unidad durante algún tiempo, desenchúfela de la toma mural.
- Para desconectar el cable de alimentación de CA, tire del enchufe, nunca del propio cable.

Instalación

- Permita la circulación adecuada de aire para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad cerca de fuentes térmicas, como radiadores o conductos de aire caliente, ni en un lugar expuesto a la luz solar directa, polvo excesivo o humedad, ni vibraciones o golpes mecánicos.
- Si la temperatura interna aumenta, el protector térmico incorporado se activa de forma automática y apaga la unidad.

Aplicación

Esta unidad convierte la frecuencia y las líneas de exploración de la señal de vídeo. La unidad no reconoce ni comunica la información sobreimpresionada en la señal de supresión, como una señal protectora de copias o la información de subtítulos. Parte de la información de la señal de entrada puede desaparecer en el proceso de conversión.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpiela periódicamente con una solución detergente poco concentrada. No utilice nunca disolventes concentrados, como diluyentes o bencina, ni limpiadores abrasivos, ya que podrían dañar el acabado. Como medida de seguridad, desenchufe la unidad antes de limpiarla.

Reembalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que resultarán de gran utilidad cuando transporte la unidad. Cuando vaya a transportar la unidad, realice el embalaje como se muestra en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Indice

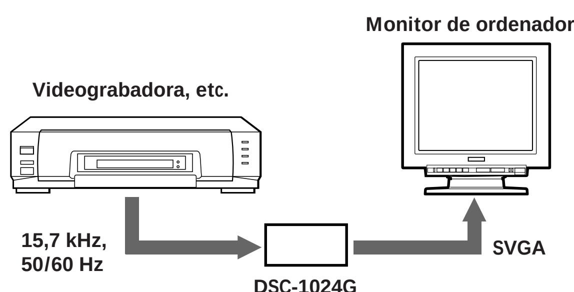
Características

Enhorabuena por la adquisición del convertidor de exploración digital de Sony. A continuación, se describen algunas de las características del convertidor:

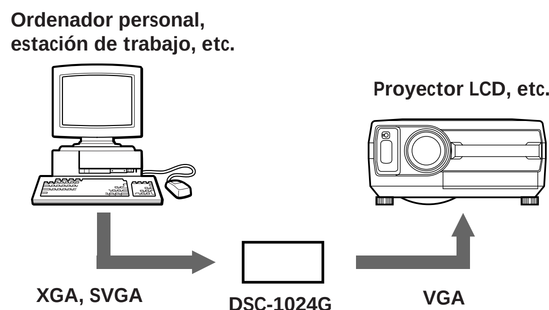
Combinación de transcodificador con convertidor de formatos

La unidad puede convertir el formato de señales de vídeo en compuestas, Y/C y de componente y RGB, así como sobreconvertir o subconvertir las frecuencias de exploración de la gama de fH (15 kHz - 70 kHz) y de fV (50 - 120 Hz) en seis formatos de resolución.
Con esta nueva combinación de las funciones de transcodificación y conversión de formatos, la unidad acepta fuentes de entrada de vídeo variables para mostrar las imágenes con monitores o proyectores de alta resolución, o para realizar grabaciones y reproducciones con equipos de vídeo normales.

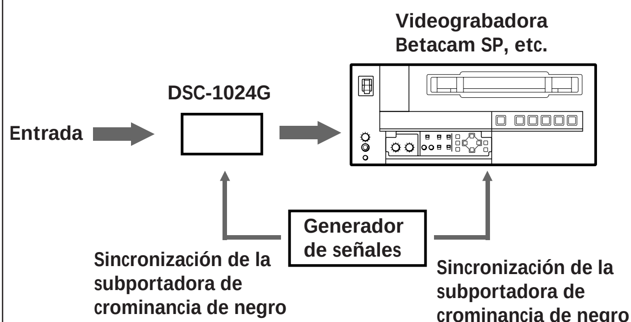
Ejemplo de sobreconversión



Ejemplo de subconversión

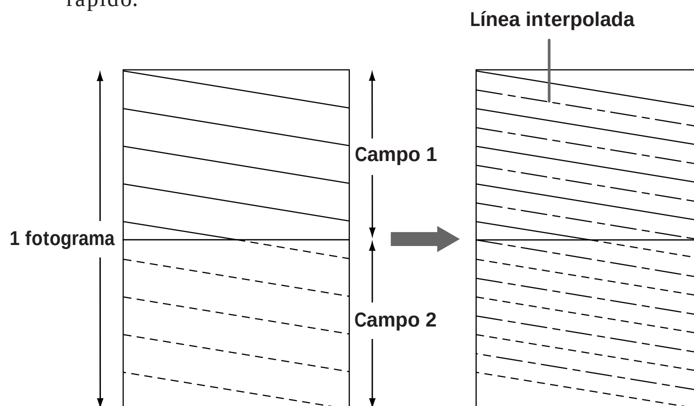


Ejemplo de bloqueo del generador



Duplicación de línea

Las frecuencias de exploración de las señales de entrada NTSC o PAL pueden duplicarse para cada campo en la frecuencia horizontal de 31,5 kHz mediante la interpolación vertical de información sobre las señales de línea. De esta forma se obtiene una reproducción uniforme de imágenes con movimiento rápido.



Bloqueo del generador (Gen-lock)

El bloqueo del generador puede activarse para la señal de salida al introducirse desde un generador de señales, etc., una señal de sincronización de la subportadora de crominancia de negro como señal de referencia.

Visualización de relación entre dimensiones

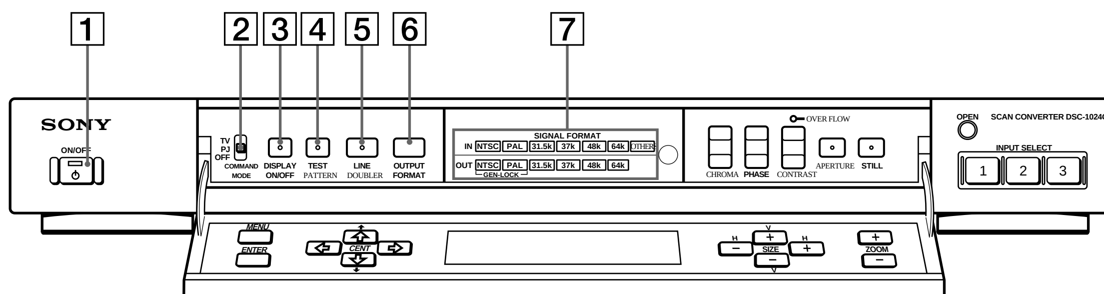
La relación entre dimensiones de la imagen convertida aparece en pantalla al ampliar o disminuir la imagen o al cambiar el tamaño de ésta.

Otras características

- Filtro de peine tridimensional para la separación Y/C NTSC
- Filtro de peine de correlación de líneas para la separación PAL Y/C
- Zoom × 4 máximo
- Permite el uso de mandos a distancia Sony alámbricos o infrarrojos con código SIRCS
- Indicaciones en pantalla en cinco idiomas para facilitar el uso
- Patrones de prueba incorporados para el ajuste de la visualización
- Tres grupos de entradas de vídeo con entradas de audio: dos entradas de Y/C o de vídeo compuestas y una entrada de RGB/componente
- Función de memoria para almacenar un máximo de cinco ajustes de funcionamiento
- Detección automática de señal de entrada con indicación
- Autoajuste para obtener señales de salida uniformes
- Montaje en soporte EIA
- Nivel de ajuste seleccionable (nivel de referencia negro) para la señal NTSC de salida

Ubicación y función de componentes y controles

Panel frontal



1 Indicador e interruptor de alimentación ON/OFF

Púlselo para activar y desactivar la unidad.
El indicador del interruptor se ilumina cuando la unidad se encuentra activada.

2 Selector COMMAND MODE

Ajústelo en TV cuando emplee el mando a distancia suministrado con un monitor o TV Sony.
Ajústelo en PJ cuando emplee el mando a distancia suministrado con un proyector Sony.
Si no utiliza el mando a distancia, ajústelo en OFF.

3 Botón e indicador DISPLAY ON/OFF

Pulse este botón para activar el indicador (DISPLAY ON) de forma que el modo actual de funcionamiento aparezca en la pantalla.
Vuelva a pulsarlo para desactivar la indicación en pantalla (DISPLAY OFF).

Nota

El menú principal aparece al pulsar el botón MENU aunque seleccione el modo DISPLAY OFF.

4 Botón e indicador TEST PATTERN

Pulse este botón para activar el indicador de forma que el patrón de prueba aparezca en la pantalla.
Para desactivar el patrón de prueba, pulse el botón TEST PATTERN varias veces hasta que no aparezca ningún patrón de prueba, o bien pulse el botón ON / OFF, INPUT SELECT o OUTPUT FORMAT.

5 Botón e indicador LINE DOUBLER

Si el formato de la señal de entrada es NTSC o PAL, pulse este botón para encender el indicador y activar la función duplicadora de línea. Vuelva a pulsarlo para apagar el indicador y desactivar dicha función.

6 Botón OUTPUT FORMAT

Pulse este botón para seleccionar el formato de señal de salida que desee.
El indicador correspondiente a la señal de salida seleccionada se ilumina.

7 Indicadores SIGNAL FORMAT

SIGNAL FORMAT
IN NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k OTHERS
OUT NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k
GEN-LOCK

Indicadores IN (superiores)

Muestran el formato de la señal de entrada detectada automáticamente por la unidad.
31.5k, 37k, 48k y 64k indican las frecuencias de exploración horizontales. Si la frecuencia de exploración horizontal de la señal de entrada detectada es uno de estos valores ± 1 kHz, el indicador correspondiente se iluminará. Si se detecta otro valor, se iluminará el indicador OTHERS.

Indicadores OUT (inferiores)

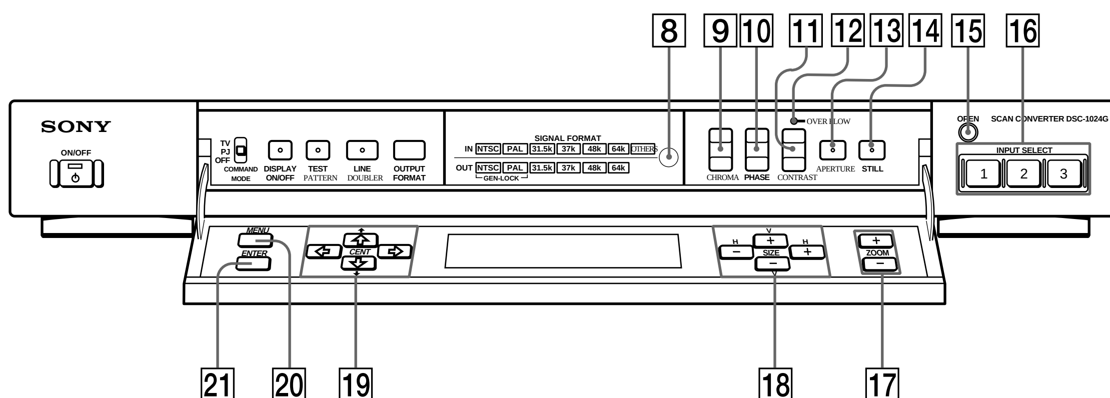
Muestran el formato de la señal de salida seleccionado con el botón OUTPUT FORMAT. El formato de la señal de salida que muestra cada indicador es de la siguiente forma:

Indicador	Nombre de formato
NTSC	NTSC
PAL	PAL
31.5k	VGA 640 x 480
37k	VESA 800 x 600
48k	VESA 1024 x 768
64k	VESA 1280 x 1024

Para obtener información sobre las especificaciones de cada formato, consulte “Señales preajustadas” en la página 113.

Indicador GEN-LOCK

Si el formato de la señal de salida es PAL o NTSC y BLOQ GEN está ajustado en SI en la pantalla de menú, el indicador GEN-LOCK se iluminará o parpadeará.



8 **Sensor remoto**
Recibe el haz del mando a distancia.

9 **Botón CHROMA +/–**
Púlselo para ajustar el nivel de croma de la imagen.

10 **Botón PHASE +/–**
Púlselo para ajustar el nivel de fase de la imagen.

11 **Botón CONTRAST +/–**
Púlselo para ajustar el contraste de la imagen.

12 **Indicador OVERFLOW**
Este indicador se ilumina cuando el nivel de la señal de entrada es excesivo.

13 **Botón e indicador APERTURE**
Pulse este botón para activar el indicador y aumentar la nitidez de la imagen. Vuelva a pulsarlo para desactivar el indicador y disminuir la nitidez de la imagen.

14 **Botón e indicador STILL**
Pulse este botón para activar el indicador y obtener una imagen fija. Vuelva a pulsarlo para desactivar el indicador y recuperar la pantalla normal.

15 **Botón OPEN**
Púlselo para abrir la cubierta frontal.

16 **Botones INPUT SELECT**
Utilícelos para seleccionar la señal de entrada.
1: para seleccionar la fuente de entrada conectada al conector VIDEO 1 (Y/C o COMP) y AUDIO 1 IN.
2: para seleccionar la fuente de entrada conectada al conector VIDEO 2 (Y/C o COMP) y AUDIO 2 IN.
3: para seleccionar la fuente de entrada conectada al conector VIDEO 3 (RGB o YBR*) y AUDIO 3 IN.

* YBR es la abreviatura de la señal de componente Y/B-Y/R-Y.

17 **Botones ZOOM +/–**
Pulse el botón + para aumentar el zoom y el botón – para disminuirlo.

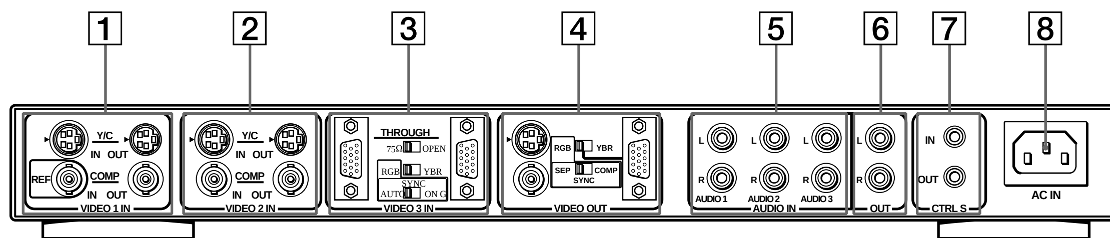
18 **Botones SIZE V/H +/–**
Utilícelos para ajustar el tamaño de la imagen.
V +: para aumentar el tamaño vertical
V –: para disminuirlo
H +: para aumentar el tamaño horizontal
H –: para disminuirlo

19 **Botones de cursor/botones CENT ⇧/⇩/⇦/⇨**
Utilícelos para desplazar la imagen en la dirección de la flecha. Los botones ⇧ y ⇩ también se emplean para desplazar el cursor en la pantalla de menú.

20 **Botón MENU**
Púlselo para mostrar el menú o para salir de él.

21 **Botón ENTER**
Púlselo para seleccionar la opción que desee en un menú.

Panel posterior



1 **Sección del conector VIDEO 1 IN**

2 **Sección del conector VIDEO 2 IN**

Dos grupos de entradas de vídeo y salidas derivadas.

Y/C IN (4 pines):
Conéctelo a la salida Y / C de un equipo de vídeo.
Este conector tiene prioridad sobre el conector COMP IN, si ambos se utilizan.

COMP IN/REF (tipo BNC):
Conéctelo a la salida de vídeo compuesta de un equipo de vídeo.
Igualmente, introduce la señal de referencia para el bloqueo del generador (señal de sincronización de la subportadora de crominancia de negro) en el conector VIDEO 1 IN REF.

Y/C OUT (4 pines):
Salida derivada del conector Y / C IN.

COMP OUT (tipo BNC):
Salida derivada del conector COMP IN.

3 **Sección del conector VIDEO 3 IN**

Grupo de entradas de señal de RGB o de componente (Y / B-Y / R-Y).

Entrada RGB/componente (D sub de 3 filas y 15 pines):
Conecte uno de los conectores D sub a las salidas RGB del equipo de vídeo o las salidas de componente (Y / B-Y / R-Y) de una videograbadora Betacam SP. El otro conector D sub es una salida derivada.

Interruptor de terminación:
Si no hay nada conectado al conector de salida derivada, ajústelo en 75 Ω. Si utiliza dicho conector, ajústelo en OPEN.

Selector de RGB/YBR*:
Seleccione la posición que coincide con el formato de la señal introducida al conector D sub.

Selector SYNC:
Normalmente, ajústelo en AUTO. Ajústelo en ON G para emplear el canal de la señal de sincronización en verde si se reciben la señal de sincronización externa y la señal de sincronización en verde.

* YBR es la abreviatura de la señal de componente Y / B-Y / R-Y.

4 **Sección del conector VIDEO OUT**

Tres grupos de salidas de vídeo. La señal convertida se envía desde esta sección.

Salida Y/C (4 pines):
Conéctela a la entrada de Y / C de un equipo de vídeo.
Sólo la señal NTSC o PAL se envía desde este conector.

Salida de vídeo compuesta (tipo BNC):
Conéctela a la entrada de vídeo compuesta de un equipo de vídeo. Sólo la señal NTSC o PAL se envía desde este conector.

Salida RGB/componente (D sub de 3 filas y 15 pines):
Conéctela a las entradas de RGB o de componente (Y / B-Y / R-Y) de un equipo de vídeo.

Selector de salida de RGB/YBR:
Ajuste este selector en función del formato de la señal enviada desde el conector D sub. YBR es efectivo si se envía la señal NTSC o PAL.

Selector de salida SYNC:
Selecciona la señal de sincronización para la salida RGB.
Ajústelo en SEP para emplear por separado la señal de sincronización horizontal y vertical.
Ajústelo en COMP para emplear la señal de sincronización compuesta.

5 **Tomas AUDIO IN L/R (pin RCA)**

Tres grupos de entradas de audio.
Conéctelas a las tomas de salida de audio del equipo. Si la fuente de entrada es monofónica, realice la conexión sólo a la toma L. Es posible seleccionar la entrada de audio con los botones INPUT SELECT del panel frontal.

6 **Tomas AUDIO OUT L/R (pin RCA)**

Grupo de salidas de audio.
Conéctelas a las tomas de entrada de audio del equipo.

7 **Minitomas CTRL S IN/OUT**

Conéctelas a las tomas CONTROL S de otro equipo Sony. De esta forma es posible controlar todo el sistema con un sólo mando a distancia.
Si conecta un enchufe a la toma CTRL S IN, el sensor remoto del panel frontal será inoperativo.

8 **Conector AC IN**

Conecte el cable de alimentación suministrado.

Conexiones

Antes de comenzar

- Asegúrese en primer lugar de que ha desactivado la alimentación de todo el equipo.
- Utilice cables de conexión adecuados para el equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede causar zumbidos y ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Lea el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.

Conexión para obtener la señal sobreconvertida

En el siguiente diagrama se muestra un ejemplo de conexión para convertir una señal de entrada de bajo índice en una señal de salida de alto índice.

Videograbadora, reproductor de discos láser, máquina de juegos, etc.
Videograbadora Betacam SP
AUDIO OUT L/R
S VIDEO OUT
AUDIO OUT L/R
CONTROL S OUT
COMPONENT (Y, R-Y, B-Y)
VIDEO 1 IN Y/C IN
VIDEO 3 IN
Selectores VIDEO OUT
AUDIO IN AUDIO 1 L/R
AUDIO IN AUDIO 3 L/R
CTRL S IN
Selectores VIDEO 3 IN
VIDEO OUT
OUT L/R
AC IN
Cable de alimentación de CA
a una toma mural
R/G/B/HD/VD IN
Cable de señal (suministrado)
AUDIO IN L/R
Monitor de ordenador (VGA o SVGA), etc.
Proyector de datos, proyector LCD, etc.
Sistema de anuncios públicos, etc.

Ajuste de los selectores VIDEO OUT

- Ajuste el selector RGB / YBR en RGB (si se conecta un monitor de ordenador, proyector de datos o proyector LCD).
- Ajuste el selector SYNC en SEP (sincronización separada HD o VD) o en COMP (sincronización compuesta) en función del equipo conectado.

Si conecta la videograbadora Betacam SP a VIDEO 3 IN

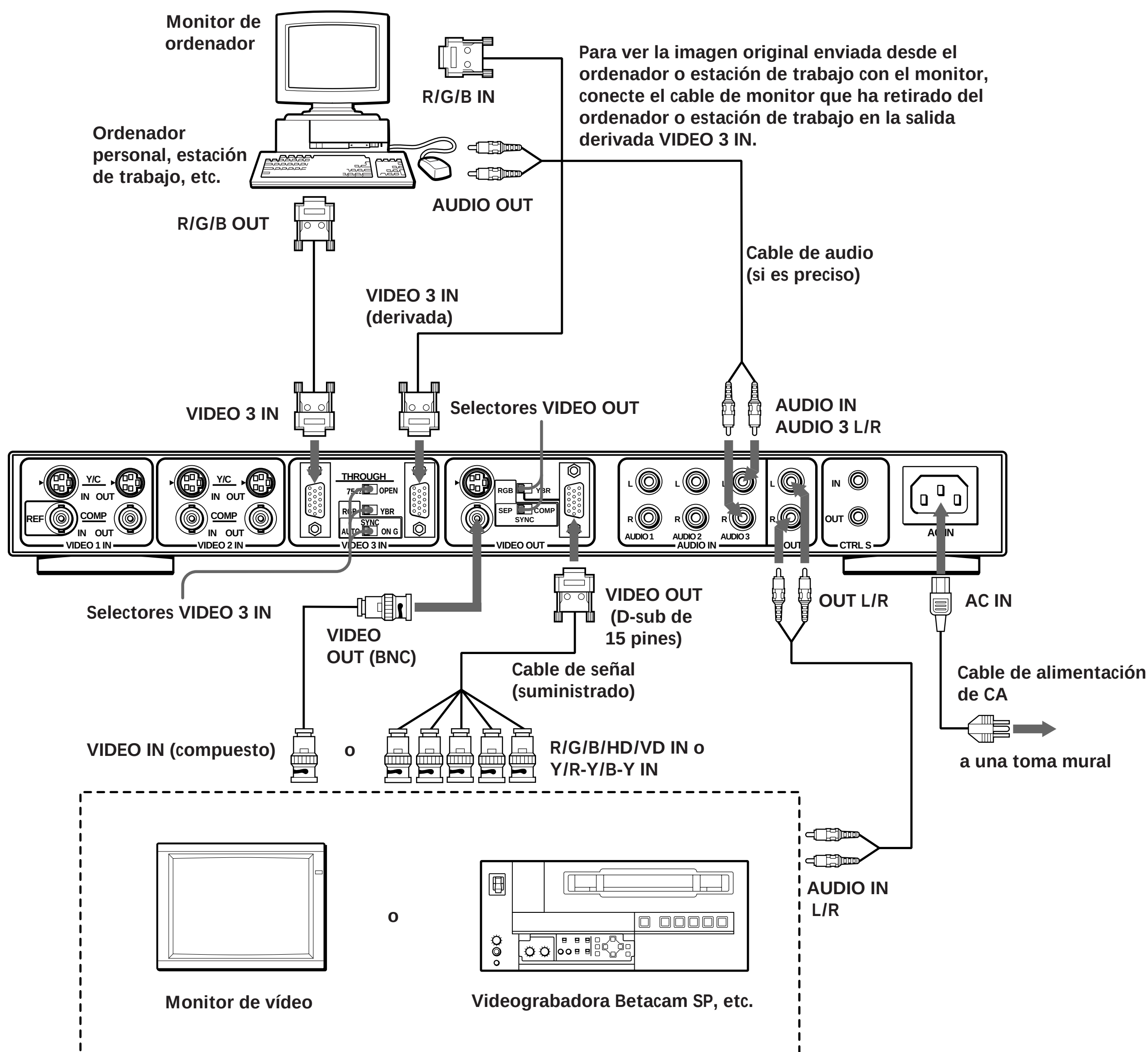
Ajuste los selectores VIDEO 3 IN de la siguiente forma:

- Selector 75 Ω / OPEN → 75 Ω
- Selector RGB / YBR → YBR
- Selector SYNC → AUTO

Conecte a la videograbadora Betacam SP sólo las tres clavijas del cable de señal: clavija verde al conector Y, roja al conector R-Y y azul al conector B-Y. Si se han suministrado más clavijas, déjelas desconectadas.

Conexión para obtener la señal subconvertida

En el siguiente diagrama se muestra un ejemplo de conexión para convertir una señal de entrada de alto índice en una señal de salida de bajo índice.



Ajuste de los selectores VIDEO OUT

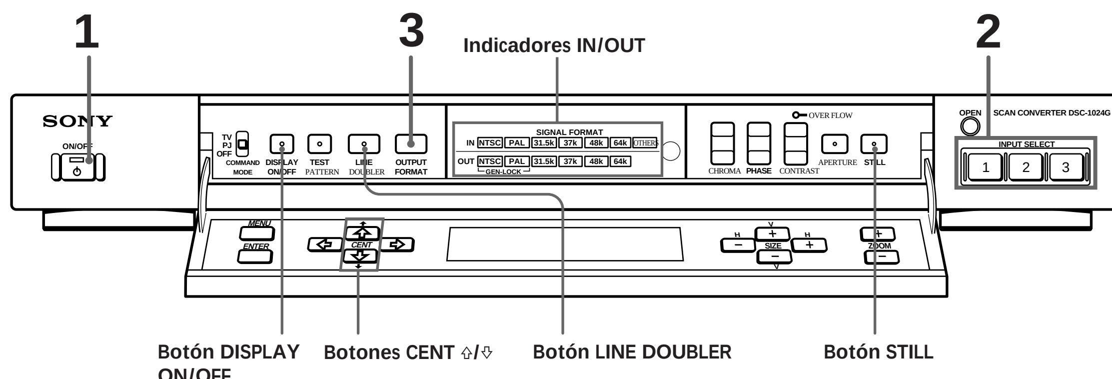
- Ajuste el selector RGB / YBR en RGB si conecta un monitor o proyector de vídeo.
  Ajústelo en YBR si conecta una videograbadora Betacam SP.
- Ajuste el selector SYNC en SEP (sincronización separada de HD o VD) o COMP (sincronización compuesta) en función del equipo conectado.

Si conecta el monitor de ordenador a la salida derivada VIDEO 3 IN

Ajuste los selectores VIDEO 3 IN de la siguiente forma:

- Selector 75 Ω / OPEN ➔ OPEN
- Selector RGB / YBR ➔ RGB
- Selector SYNC ➔ AUTO u ON G en función del equipo conectado
  Para ordenadores Macintosh y Silicon Graphics Inc., ajústelo en ON G.

Visualización de la imagen convertida



Antes de comenzar

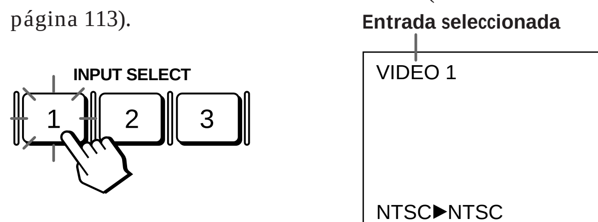
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para mostrar en pantalla la información sobre la operación actual, compruebe que el indicador del botón DISPLAY ON / OFF esté iluminado. De no ser así, pulse el botón DISPLAY ON / OFF.
- Para ajustar el idioma de indicación en pantalla que desee, consulte la página 110.

Conversión de la imagen

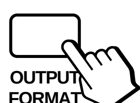
1 Pulse el interruptor ON/OFF.
El indicador de este interruptor y los tres botones INPUT SELECT se iluminan.

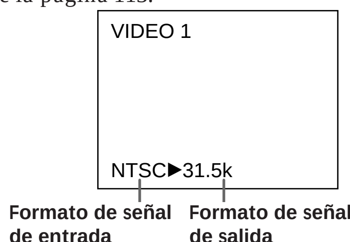


2 Seleccione con los botones INPUT SELECT la fuente de entrada que va a convertir.
El botón pulsado se ilumina con mayor intensidad que el resto y el indicador de señal de entrada se ilumina para mostrar el formato de la señal de entrada (consulte la página 113).



3 Seleccione el formato de señal de salida que desee pulsando el botón OUTPUT FORMAT varias veces.
El indicador de señal de salida seleccionada se ilumina. La señal de salida se conmuta unos segundos después de soltar el botón.
Para obtener información sobre la especificación de cada formato de salida, consulte la página 113.





Visualización de la imagen con la función duplicadora de línea

La función duplicadora de línea de esta unidad permite convertir la señal NTSC o PAL de entrada en una señal de salida de alto índice de exploración digitalmente interpolada. El formato de la señal de salida se convierte en una señal no entrelazada cuya frecuencia horizontal es de 31,5 kHz, mientras que la vertical se sincroniza con la señal de entrada. La función duplicadora de línea sobreconvierte la señal campo por campo mediante la interpolación vertical de información en dos señales de línea.
De esta forma, una imagen con movimiento rápido se reproduce con naturalidad como una imagen de alta resolución.

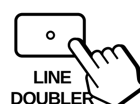
- La señal convertida se envía desde el conector de salida RGB / componente con el formato RGB.
- Es posible activar la función duplicadora de línea para las tres entradas por separado.

Activación de la función duplicadora de línea

1 Pulse el botón OUTPUT FORMAT para seleccionar 31.5k.

2 Conecte la fuente de señal PAL o NTSC y seleccione la entrada con los botones INPUT SELECT.

3 Pulse el botón LINE DOUBLER.
El indicador del botón se ilumina y los indicadores NTSC y 31.5k o PAL y 31.5k de OUT se iluminan.



Cuando la fuente de entrada es NTSC

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

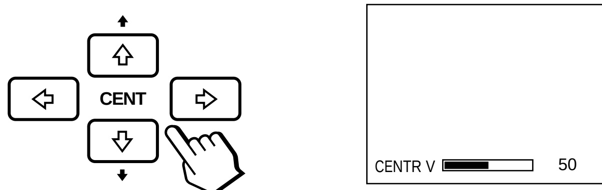
NTSC ▶LINEAx2

Cuando la fuente de entrada es PAL

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

PAL ▶LINEAx2

4 Ajuste la posición de la imagen con los botones CENT ⇧/⇩/⇦/⇨.



Desactivación de la función duplicadora de línea

Vuelva a pulsar el botón LINE DOUBLER para desactivar el indicador.
El formato de salida 31.5k se restaurará.

Notas

- Si pulsa el botón LINE DOUBLER cuando la fuente de entrada no sea PAL ni NTSC o cuando el formato de salida no sea 31,5k, el mensaje "NO APLICABLE" aparecerá en la pantalla y el botón LINE DOUBLER no funcionará.
- Si la función duplicadora de línea está activada, los botones ZOOM, SIZE, APERTURE y TEST PATTERN no funcionarán.
- Si la función duplicadora de línea está activada, el tamaño de imagen será igual al original.
- Si utiliza la función duplicadora de línea, se recomienda el equipo de vídeo fuente de entrada equipado con TBC (corrector de base temporal). Si activa dicha función para la señal sin TBC y muestra la señal convertida con un monitor de exploración múltiple, la imagen puede desaparecer debido a interferencias de la señal de sincronización.

Visualización de imágenes fijas

Al aparecer una imagen con movimiento, pulse el botón STILL para ajustar la opción IMG FIJA de la pantalla en ON.
La señal de salida aparece como una imagen fija y el indicador del botón STILL se ilumina.





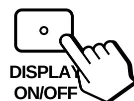
Para recuperar la pantalla normal, vuelva a pulsar el botón STILL.

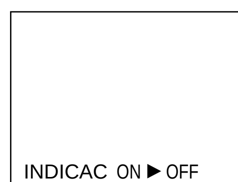
Nota

En el modo de imagen fija, sólo funcionarán el interruptor ON / OFF y los botones INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, LINE DOUBLER, TEST PATTERN, MENU, ENTER y CENT ⇧/⇩ .
Si pulsa otros botones, la pantalla mostrará el mensaje "NO APLICABLE".

Supresión de información en pantalla

Cuando el indicador del botón DISPLAY ON / OFF esté iluminado, la información relativa a la operación realizada aparece en la pantalla durante unos segundos.
Para suprimir la indicación en pantalla, pulse el botón DISPLAY ON / OFF para ajustar la opción INDICAC de la pantalla en OFF.





Nota

Aunque INDICAC esté ajustado en OFF, sólo aparece el menú principal al pulsar el botón MENU.

Ajuste de la imagen

Indicador OVERFLOW

Botón CHROMA
Botón PHASE
Botón CONTRAST
Botón APERTURE

Mientras visualiza la imagen, es posible ajustar el contraste, la fase, la croma y la apertura según sus preferencias. Los ajustes para las tres entradas pueden realizarse por separado. Los niveles ajustados se almacenan en la memoria.

Ajuste del contraste, fase y croma

Pulse el botón de ajuste que desee: CONTRAST, PHASE o CHROMA.

Los niveles de ajuste aparecen en la pantalla.

CONTRASTE

CONTRAST 80

+: para aumentar el contraste de la imagen
–: para disminuirlo

FASE

FASE 0

+: para que la imagen adquiera un tono verdoso
–: para que la imagen adquiera un tono púrpura

CROMA

CROMA 50

+: para aumentar la intensidad de color
–: para disminuirla

Notas

- Los controles CHROMA y PHASE no funcionan para la señal de entrada RGB.
- El control PHASE no funciona para la señal de entrada componente (Y/B-Y/R-Y).
- El control PHASE no funcionará con fuentes de color PAL.

Si pulsa estos botones, el mensaje “NO APLICABLE” aparecerá en la pantalla.

Ajuste de la apertura

Para aumentar la nitidez de la imagen, pulse el botón APERTURE para ajustar la opción APERTURA de la pantalla en ON. El indicador de dicho botón se iluminará.
Para disminuir la nitidez de la imagen, vuelva a pulsar el botón APERTURE para ajustar APERTURA en OFF.
El ajuste de fábrica es APERTURA OFF para la entrada de vídeo NTSC o PAL, o APERTURA ON para las otras entradas.

APERTURA ►ON OFF

Nota

Si el formato de la señal de salida corresponde a una señal entrelazada, como NTSC o PAL, el ajuste APERTURA OFF reduce el parpadeo de línea aunque el contorno de la imagen aparecerá ligeramente borroso.

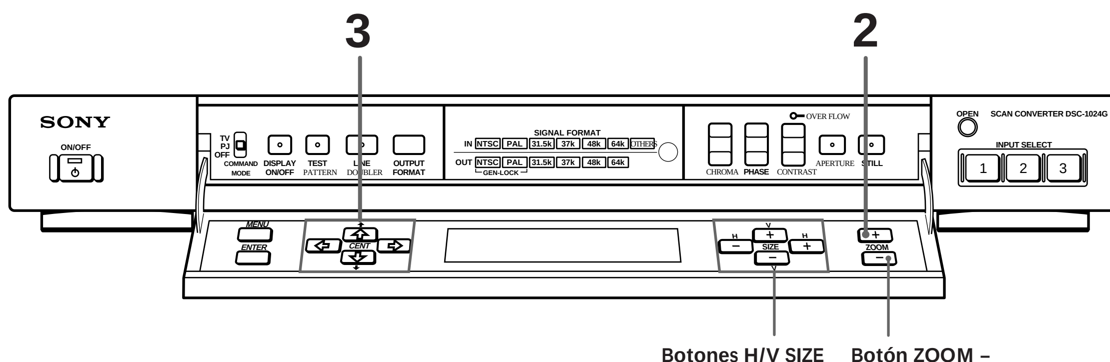
Si el nivel de la señal de entrada es excesivo

El indicador OVERFLOW se iluminará. En este caso, compruebe que los selectores 75 Ω /OPEN y RGB/YBR de la sección del conector VIDEO 3 estén correctamente ajustados. Si es así, pulse el botón CONTRAST –.

Restauración de los niveles ajustados de fábrica del contraste, fase y croma

Utilice la opción RESET COLOR de la pantalla MENU 1. (Consulte la página 105.)

Cambio de la posición y del tamaño de la imagen

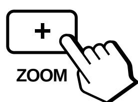


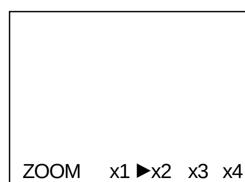
Es posible utilizar el botón de zoom para hacer que la imagen sea 2, 3 o 4 veces mayor al tamaño original.
También es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar por separado el tamaño horizontal y vertical de dicha imagen.
Es posible realizar los ajustes para las tres entradas por separado.

Aumento del tamaño de la imagen

1 Muestre la imagen en la pantalla.

2 Pulse el botón ZOOM +.



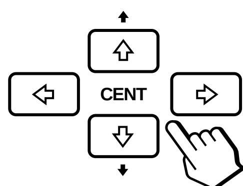


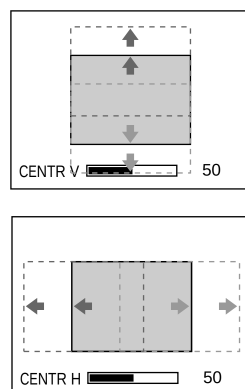
Cada vez que pulse el botón ZOOM +, la imagen aumenta 2, 3 y 4 veces respectivamente.
Para disminuir el tamaño, pulse el botón ZOOM –.

3 Ajuste la posición de la imagen ampliada con los botones CENT ⇧/⇩/⇦/⇨ .

⇧/⇩: para desplazar la imagen hacia arriba o hacia abajo (CENTR V)

⇦/⇨: para desplazarla hacia la derecha o hacia la izquierda (CENTR H)



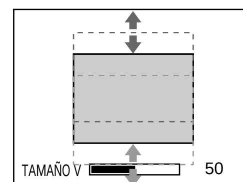


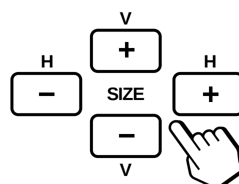
La posición de la imagen se indica en la pantalla mediante la barra de ajuste y los valores 0 a 100. El valor ajustado de fábrica es 50.

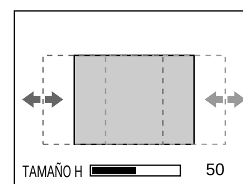
Cambio del tamaño de la imagen

Pulse los botones H/V SIZE +/– para cambiar el tamaño de la imagen.

V SIZE +: para aumentar el tamaño vertical
V SIZE –: para disminuirlo
H SIZE +: para aumentar el tamaño horizontal
H SIZE –: para disminuirlo



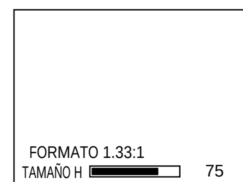




El tamaño de la imagen se indica en la pantalla mediante la barra de ajuste y los valores 0 a 100. El valor ajustado de fábrica es 50 (excepto la entrada HDTV o 64k)

Relación entre dimensiones

Ya que el tamaño de la imagen cambia mediante el uso del botón H / V SIZE, la unidad calcula la relación entre dimensiones de la imagen convertida y la muestra en pantalla con valores decimales junto con la barra de ajuste y el valor.
Ejemplo: 4:3 aparece como 1.33:1
16:9 aparece como 1.78:1



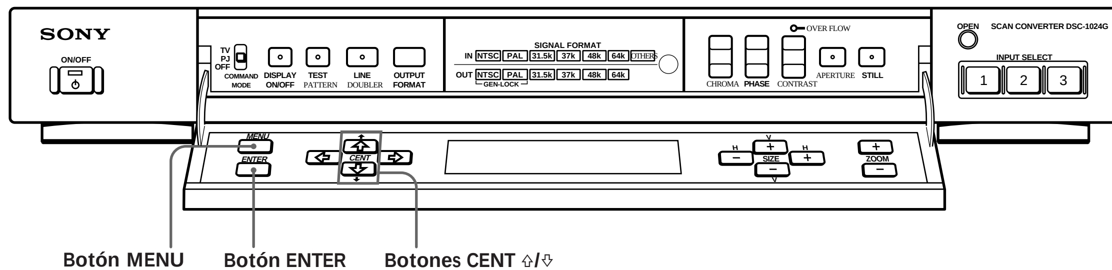
Nota

La relación entre dimensiones aparece sólo si se recibe la señal preajustada. Para obtener información sobre las señales preajustadas, consulte la página 113.

Restauración del tamaño y posición originales de la imagen

Utilice la opción RESET GEOM de la pantalla MENU 1. (Consulte la página 105.)

Uso de la memoria

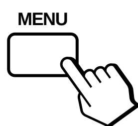


Al ajustar el convertidor para la visualización adecuada de una fuente de entrada, almacene en la memoria los datos de ajuste. Es posible almacenar y conmutar rápidamente cinco grupos de selección de entrada y salida, el tamaño de zoom y el tamaño y posición H / V.
Se encuentran disponibles hasta 5 memorias.

Almacenamiento de la condición actual

1 Ajuste la imagen como sea necesario.

2 Pulse el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 1.

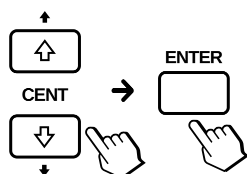


MENU 1

▶CARGAR MEM
ALMAC MEM
RESET GEOM
RESET COLOR
RESET TODO
N. INDICE
IDIOMA

USAR:⇧⇩ ENTER PROX:MENU

3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta ALMAC MEM y pulse el botón ENTER.
Aparece la pantalla ALMAC MEM.
Los datos actuales aparecen en la columna izquierda debajo de “ACTUAL” y los datos almacenados en la columna derecha. Si no hay datos almacenados en la memoria, esa opción aparece con la forma “–”.



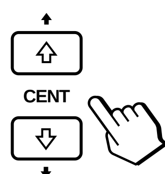
ALMAC MEM

	ACTUAL▶	MEMOR1
ENTRADA	VIDEO1	–
SEÑAL	NTSC	–
SALIDA	31.5k	–
ZOOM	x1	–
TAMAÑO H	50	–
CENTR H	50	–
TAMAÑO V	50	–
CENTR V	50	–

USAR:⇧⇩ ENTER ANULAR:MENU

Datos actuales

4 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ varias veces de forma que aparezca el número de memoria que desee (1 a 5).



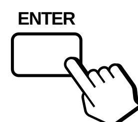
Número de memoria

ALMAC MEM

	ACTUAL▶	MEMOR3
ENTRADA	VIDEO1	–
SEÑAL	NTSC	–
SALIDA	31.5k	–
ZOOM	x1	–
TAMAÑO H	50	–
CENTR H	50	–
TAMAÑO V	50	–
CENTR V	50	–

USAR:⇧⇩ ENTER ANULAR:MENU

5 Pulse el botón ENTER.
Los datos actuales se almacenan en el número de memoria seleccionado en la columna derecha.
Si se ha almacenado cualquier dato en el número de memoria seleccionado, a partir de este momento aparecerá en la columna izquierda debajo de “ACTUAL”.



ALMAC MEM

	ACTUAL▶	MEMOR3
ENTRADA	VIDEO1	VIDEO1
SEÑAL	NTSC	NTSC
SALIDA	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
TAMAÑO H	50	50
CENTR H	50	50
TAMAÑO V	50	50
CENTR V	50	50

USAR:⇧⇩ ENTER ANULAR:MENU

Datos actuales almacenados

6 Para salir del menú, pulse tres veces el botón MENU.

Recuperación de los datos almacenados

1 Pulse el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 1.

2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta CARGAR MEM y pulse el botón ENTER.
Aparece el menú CARGAR MEM.

CARGAR MEM

	MEMOR1▶	ACTUAL
ENTRADA	VIDEO1	VIDEO2
SEÑAL	NTSC	NTSC
SALIDA	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
TMAÑO H	50	50
CENTR V	50	80
TAMAÑO V	50	60
CENTR V	50	80

USAR:⇧⇩ ENTER ANULAR:MENU

3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ varias veces para seleccionar el número de memoria (1 a 5) que desee y, a continuación, pulse el botón ENTER.
El convertidor se ajusta a los datos de memoria seleccionados.

4 Para cancelar la operación, pulse dos veces el botón MENU.

Recuperación rápida de los datos almacenados

Emplee el mando a distancia. Consulte el apartado "Carga directa en memoria" en la página 106.

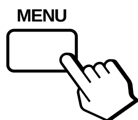
Restauración de los datos a los niveles ajustados de fábrica

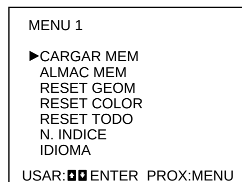
Existen tres opciones para restaurar los datos a los niveles ajustados de fábrica.

RESET GEOM: Permite restaurar las opciones ZOOM, TAMAÑO H / V y CENTRADO H / V actualmente en uso.
RESET COLOR: Permite restaurar las opciones CONTRASTE, FASE y CROMA actualmente en uso.
RESET TODO: Restaura todas las opciones de ajuste de usuario en los datos ajustados de fábrica y borra el contenido de la memoria.

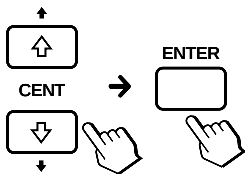
Los procedimientos de operación son los mismos para las tres opciones.

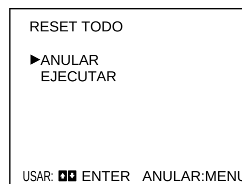
1 Pulse el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 1.





2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta RESET GEOM, RESET COLOR o RESET TODO y, a continuación, pulse el botón ENTER.



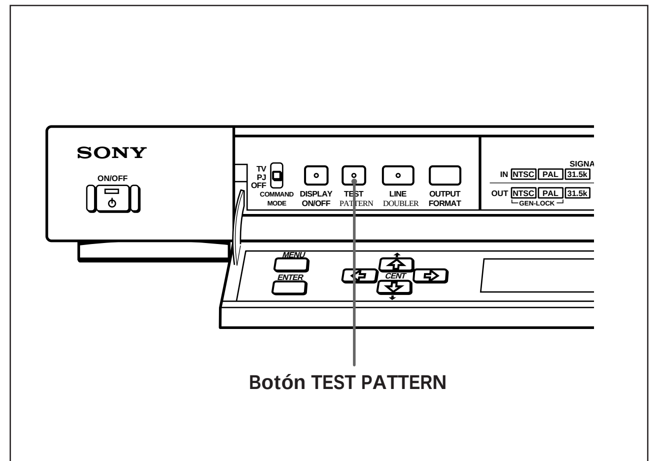


3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor hasta EJECUTAR y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Los datos de ajuste se restauran a los niveles ajustados de fábrica.

Para cancelar la restauración

Pulse el botón MENU, o bien seleccione ANULAR en el anterior paso 3 y pulse el botón ENTER.

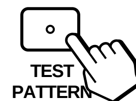
Uso del patrón de prueba



Botón TEST PATTERN

Es posible emplear los patrones de prueba incorporados para ajustar el monitor o la pantalla del proyector.

Pulse el botón TEST PATTERN.
Cada vez que lo pulse, los siguientes patrones de prueba aparecen de forma secuencial:
CUADRICULA → RECUADRO → BARRA COLOR → ESCALA GRIS → NINGUNO (señal de entrada) → CUADRICULA → ...



Ejemplo: Cuadrícula



El nombre del patrón de prueba seleccionado aparece en la pantalla durante 3 segundos aproximadamente.

Restauración de la pantalla normal

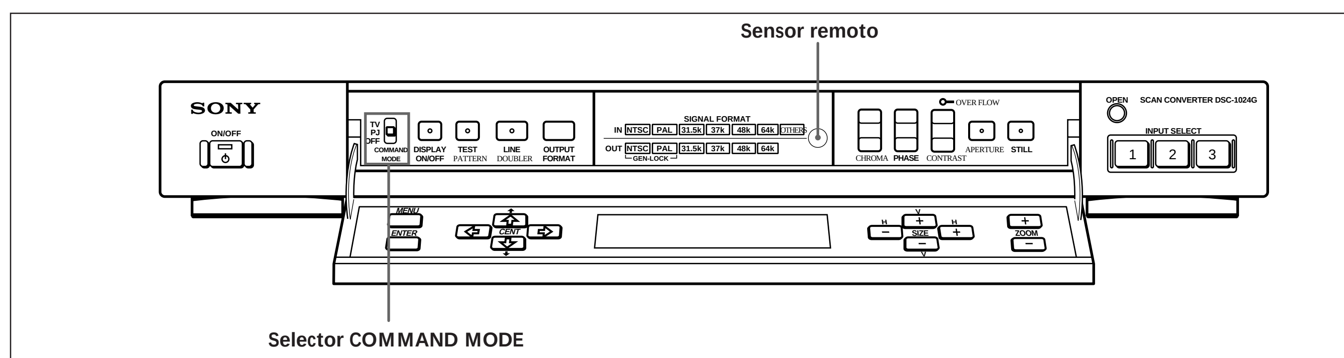
Pulse el botón TEST PATTERN varias veces hasta que no aparezca ningún patrón de prueba. También es posible restaurar la pantalla normal pulsando el interruptor ON / OFF, los botones INPUT SELECT o el botón OUTPUT FORMAT.

Nota

Cuando se visualiza el patrón de prueba, sólo funcionarán el interruptor ON / OFF y los botones INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, MENU y CENT ⇧/⇩.

Español

Uso del mando a distancia



Esta unidad permite utilizar mandos a distancia alámbricos o inalámbricos con monitores, televisores y proyectores Sony.

Ajuste del tipo de mando a distancia

Ajuste el selector COMMAND MODE en función del tipo de mando a distancia.

TV: Mando de monitores o televisores Sony
PJ: Mando de proyectores Sony
OFF: Cuando no utilice el mando a distancia, ajústelo en esta posición para evitar funcionamientos defectuosos.



Operaciones disponibles con el mando a distancia

Las siguientes operaciones pueden controlarse con el mando a distancia:

- Activación y desactivación de la alimentación
- Selección de entrada
- Ajustes de la imagen: contraste, fase y croma
- Activación y desactivación de indicaciones en pantalla (sólo para monitores de vídeo y televisores)
- Operaciones de menú (Consulte la columna derecha.)
- Carga directa en memoria (Consulte la columna derecha.)

Las operaciones disponibles y los botones que se utilizan para cada operación estarán limitados en función de cada mando a distancia. Consulte la tabla que aparece a continuación.

Carga directa en memoria

Es posible recuperar rápidamente con el mando a distancia los datos de ajuste almacenados en la memoria.

1. **Pulse los botones 7, 7, 7 y ENTER del mando a distancia de forma secuencial en un intervalo de un segundo aproximadamente.**
   Aparece en pantalla "PREPARADO CARGAR MEM".
2. **Seleccione el número de memoria (1 a 5) que desee recuperar con el botón numérico.**
   El convertidor se ajusta a los datos de memoria seleccionados.

Para cancelar la operación

Pulse los botones 0, 0, 0 y ENTER del mando a distancia de forma secuencial en un intervalo de un segundo aproximadamente. Aparece en pantalla "CARGAR MEM Y SALIR".
La operación de carga directa en memoria también se cancela al apagar la unidad.

Nota

Cerciórese de que pulse los botones 7, 7, 7 y ENTER, o 0, 0, 0, y ENTER del mando a distancia de forma secuencial en un intervalo de un segundo aproximadamente.
Si transcurren más de tres segundos, la operación se cancelará. En ese caso, vuelva a empezar.

Control de menú con el mando a distancia

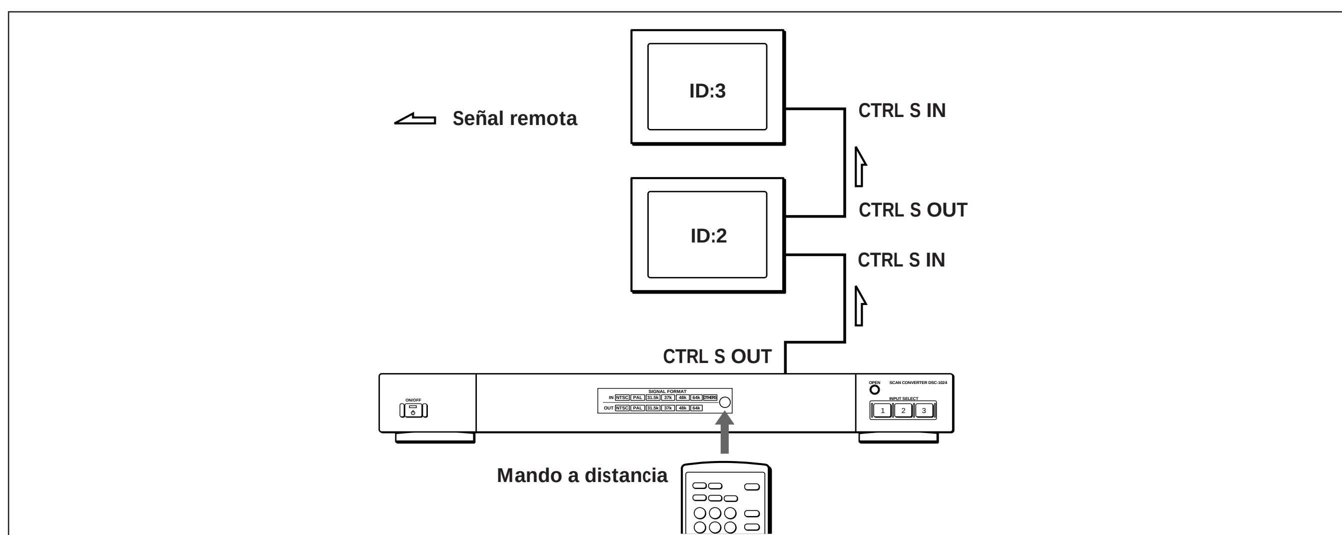
Las pantallas de menú para el mando a distancia son diferentes de las pantallas para la unidad principal.

Al pulsar el botón de menú (MENU, PAGE o ⬅) en el mando a distancia una o dos veces, aparece el MENU GEOM o el MENU COLOR respectivamente.

Seleccione la opción con el botón ⬆/⬇ y, a continuación, pulse el botón de introducción (ENTER, ➡ o M SEL) en el mando a distancia. Después, ajuste la opción seleccionada con el botón ⬆/⬇.

Modelo de mando a distancia		RM-854	RM-1271	RM-PJ1292	RM-PJ350	RM-PJC520
Ajuste COMMAND MODE		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
Selección de entrada	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
Operación de menú	MENU	MENU	PAGE o ⬅	PAGE o ⬅	PAGE o ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
Ajuste de imagen	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

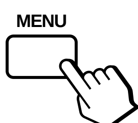
Empleo de una unidad determinada con el mando a distancia

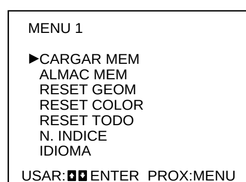


Si se conectan diversos componentes de un equipo Sony mediante la toma CTRL S, es posible emplear un componente determinado del equipo mediante la asignación en el convertidor, y a continuación en el mando a distancia, del número de índice programado para cada componente de dicho equipo.
Para programar el número de índice de cada componente, consulte el manual de instrucciones del equipo.
La explicación que aparece a continuación es un ejemplo de empleo del mando a distancia RM-854.

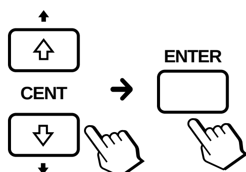
Asignación del número de índice en el convertidor

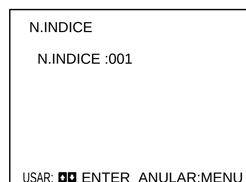
1 Pulse una vez el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 1.





2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta N. INDICE y pulse el botón ENTER.
Aparece la pantalla N. INDICE.



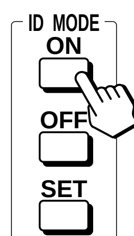


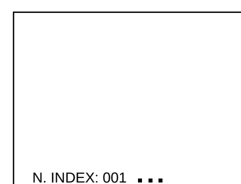
3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ varias veces para seleccionar el número de índice (1 a 255) del equipo que desee controlar y, a continuación, pulse el botón ENTER.

4 Para salir del menú, pulse tres veces el botón MENU.

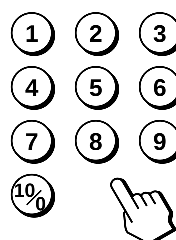
Empleo del equipo con el mando a distancia RM-854

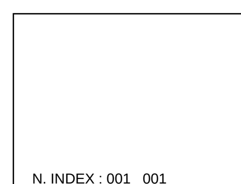
1 Pulse el botón ID MODE ON del mando a distancia.
Los números de índice aparecen en todos los componentes del equipo incluido el convertidor.



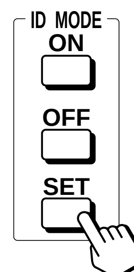


2 Introduzca con los botones 0-9 del mando a distancia el número de índice del equipo que desee emplear.
El número introducido aparece junto al propio número de índice de cada equipo.



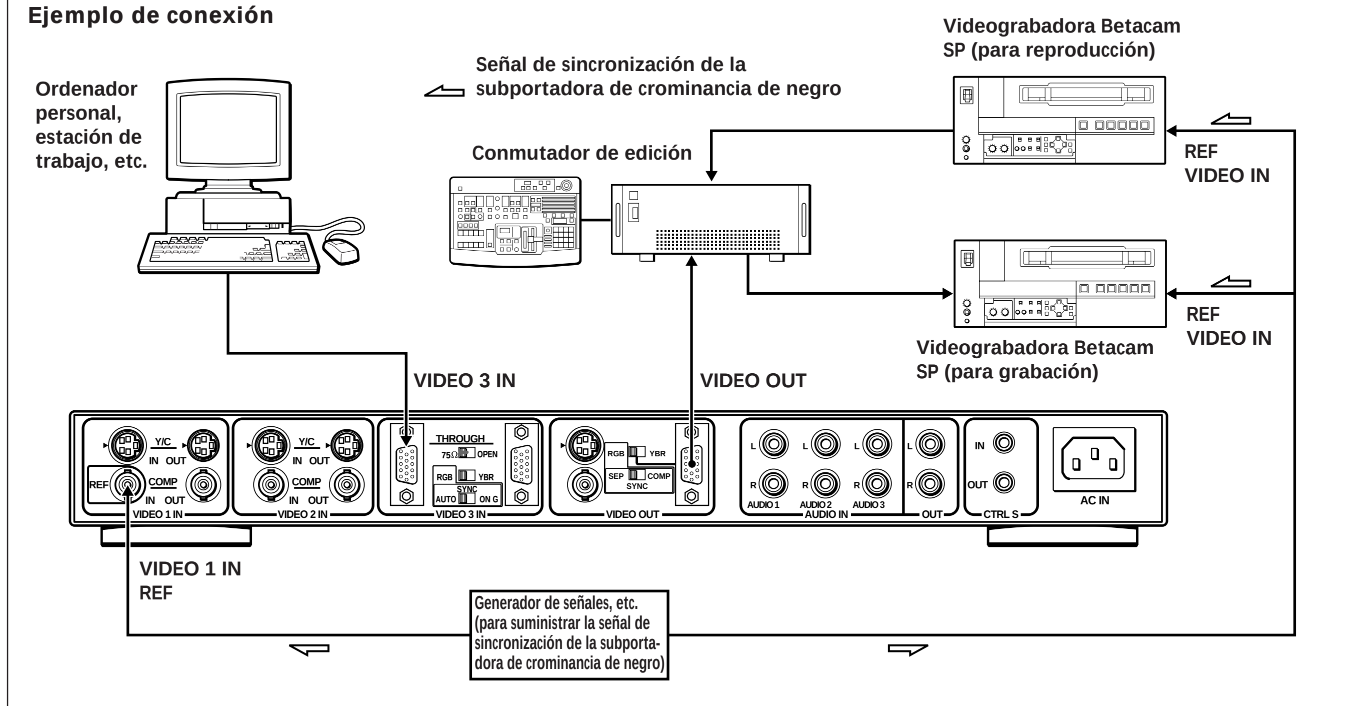


3 Pulse el botón ID MODE SET.
El carácter del equipo seleccionado cambia a color cian mientras que otros cambian a rojo.



A partir de este momento podrá emplear sólo el equipo especificado (Todas las operaciones se encuentran disponibles en el modo ID, excepto POWER ON / OFF).

Empleo del bloqueo del generador (gen-lock)

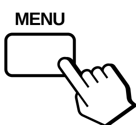


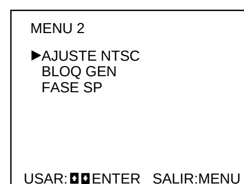
La señal de salida NTSC o PAL puede sincronizarse utilizando la señal de sincronización de la subportadora de crominancia de negro introducida desde un generador de señales, etc., como señal de referencia (gen-lock). De esta forma se posibilita editar de forma uniforme sin diferencias entre señales cuando se emplean varias fuentes de vídeo.

Activación del bloqueo del generador

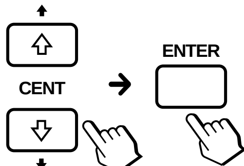
1 Introduzca desde el editor o desde el generador de señales la señal de referencia correspondiente al formato de la señal de salida (NTSC o PAL) en el conector VIDEO 1 IN REF.

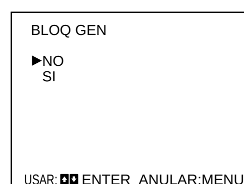
2 Pulse dos veces el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 2.





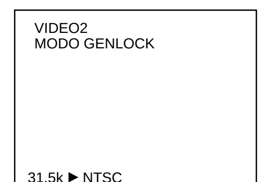
3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta BLOQ GEN y pulse ENTER.
Aparece la pantalla BLOQ GEN.





4 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta SI y pulse ENTER.
El bloqueo del generador se activa para la señal enviada desde esta unidad y el indicador GEN-LOCK del panel frontal se ilumina.

Al encender el convertidor o al cambiar el modo de entrada, aparece “MODO GENLOCK” en pantalla.



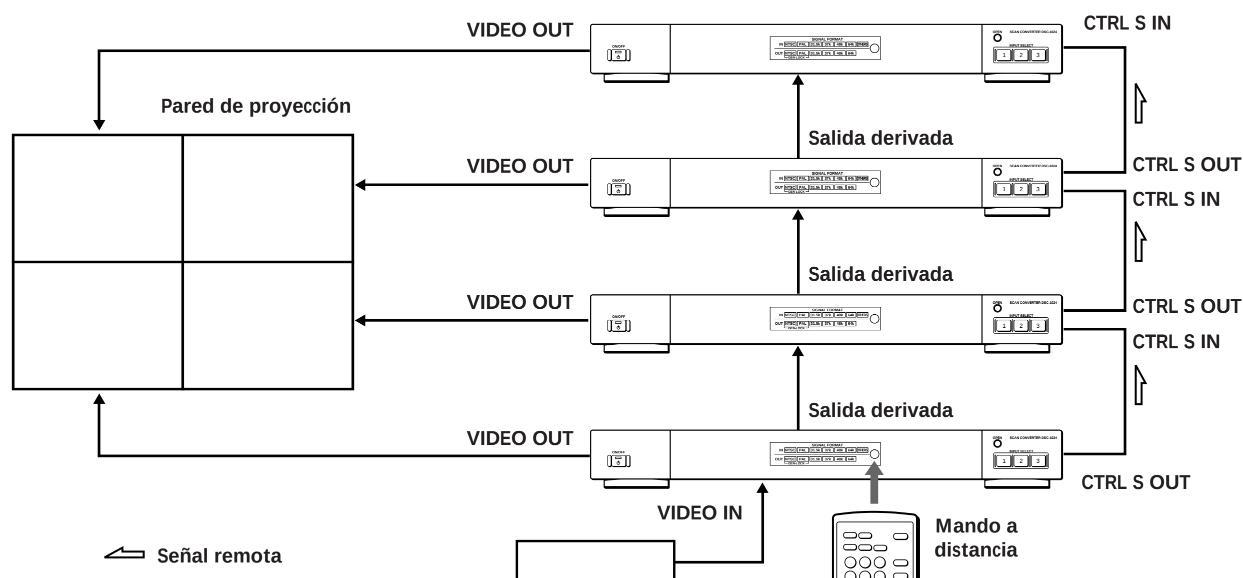
Para desactivar el bloqueo del generador

Repita los anteriores pasos 1 a 3 y, a continuación, ajuste BLOQ GEN en NO en el paso 4. El indicador GEN-LOCK del panel frontal se apagará.

Notas

- Si selecciona BLOQ GEN en la pantalla MENU 2 sin ninguna entrada de señal de referencia, aparecerá “SIN REFERENCIA” en pantalla.
- Aparecerá “REFERENCIA INCORRECTA” si el formato de la señal de referencia no se corresponde con el formato de la señal de entrada.
- Se recomienda la salida RGB/componente para realizar la edición. Si utiliza la salida de vídeo compuesta, es posible que sea necesario un sincronizador de fotogramas para ajustar la fase a la señal de referencia.
  Con respecto al ajuste FASE SP (Fase subportadora a horizontal), consulte la página 110.

Acondicionamiento de la pared de proyección



Al acondicionar una pared de proyección para mostrar una imagen más grande obtenida desde varios proyectores, emplee los convertidores como se muestra en el anterior ejemplo de conexión. Prepare un convertidor para cada proyector.
Ajuste la imagen de cada proyector de forma que la imagen mural de proyección se muestre uniforme, y almacene los datos de ajuste en cada convertidor en el mismo número de memoria. De esta forma se posibilita cambiar rápidamente entre un total de cinco imágenes de proyección mural.

Almacenamiento de los datos de ajuste de la imagen

1 Ajuste los proyectores.
Utilice los patrones de prueba (CUADRICULA, BARRA COLOR y ESCALA GRIS) incorporados en el convertidor. Para obtener información sobre los patrones de prueba, consulte la página 105.

2 Ajuste las partes de la imagen con el convertidor.
Ajuste el aumento de zoom en función del número de partes de la imagen. A continuación, ajuste cada parte de ésta con los botones H / V SIZE y CENT de forma que queden uniformemente conectadas formando una imagen grande.

Número de partes de la imagen	Zoom
4	× 2
9	× 3
16	× 4

Para obtener información sobre el cambio de la posición y tamaño de la imagen, consulte la página 103.

3 Almacene los datos de ajuste en la memoria del convertidor.
Almacene los datos en el mismo número de memoria en cada convertidor.
Para más información, consulte “Almacenamiento de la condición actual” en la página 104.

4 Repita los pasos 1 a 3 para almacenar otros patrones de imagen.
Es posible almacenar en los números de memoria 1 a 5 los datos de ajuste de un máximo de cinco patrones de imagen.

Visualización de la imagen en la pared de proyección

Los nombres de los botones del mando a distancia varían en función del modelo de éste. Consulte la tabla de la página 106.

1 Pulse los botones 7, 7, 7 y ENTER en el mando a distancia de forma secuencial a intervalos de un segundo.
El mensaje “PREPARADO CARGAR MEM” aparece en la pantalla de cada proyector.

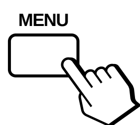
2 Seleccione el número de memoria en el que estén almacenados los datos de ajuste del patrón de imagen que desee; para ello, pulse el botón numérico.
Todas las partes de la imagen se muestran de forma correcta, conectadas uniformemente formando una imagen grande.

3 Para cambiar a otro patrón de imagen, pulse el botón numérico correspondiente al número de memoria.

Selección del nivel de ajuste

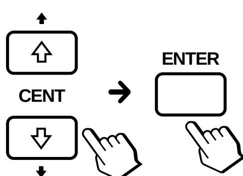
Es posible seleccionar el nivel de negro (nivel de ajuste) para la señal NTSC de salida.
El nivel de negro está ajustado en “0”(IRE). Si la imagen de salida es demasiado oscura, cambie el ajuste a “7.5” (IRE).

1 Pulse dos veces el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU2.



MENU 2
▶AJUSTE NTSC
BLOQ GEN
FASE SP
USAR:⇧⇩ENTER SALIR:MENU

2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta AJUSTE NTSC y pulse ENTER.
Aparece la pantalla AJUSTE NTSC.



AJUSTE NTSC
▶7.5
0
USAR:⇧⇩ENTER ANULAR:MENU

3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para seleccionar “7.5” o “0” y pulse ENTER.

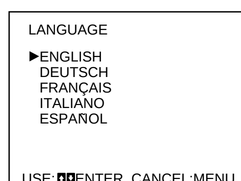
4 Para salir del menú, pulse dos veces el botón MENU.

Selección de idioma de las indicaciones en pantalla

Es posible seleccionar uno de los cinco idiomas para las indicaciones en pantalla.

1 Pulse una vez el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 1.

2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta LANGUAGE y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Aparece la pantalla LANGUAGE.



3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ varias veces para desplazar el cursor (▶) hasta el idioma que desee y, a continuación, pulse el botón ENTER.

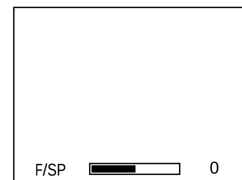
4 Para salir del menú, pulse tres veces el botón MENU.

Ajuste de FASE SP (Fase subportadora a horizontal)

Para editar o grabar la señal de salida compuesta con una videograbadora, es necesario ajustar la fase subportadora a horizontal (FASE SP).
Prepare un equipo de medición especial para realizar el ajuste.

1 Pulse dos veces el botón MENU.
Aparece la pantalla MENU 2.

2 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para desplazar el cursor (▶) hasta FASE SP y pulse el botón ENTER.
El valor de ajuste aparece en pantalla.



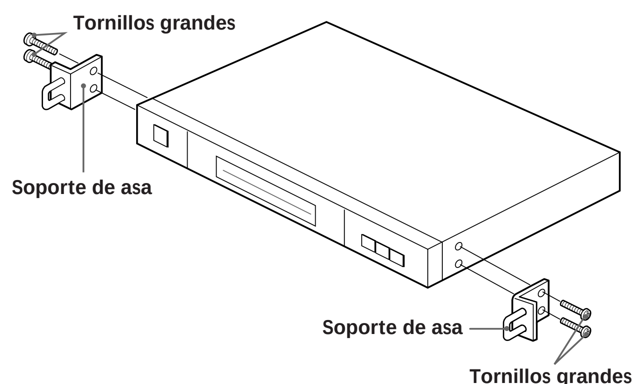
3 Pulse el botón CENT ⇧/⇩ para ajustar F/SP.

4 Para salir del menú, pulse dos veces el botón MENU.

Montaje en soporte

Es posible instalar la unidad en un soporte de 19 pulgadas de acuerdo con la norma EIA utilizando el kit de soporte de montaje MB-510 opcional.

1 Fije los soportes de asa con los cuatro tornillos grandes incluidos en el kit.



2 Retire las cuatro patas de la base de la unidad.

3 Monte la unidad en el soporte de 19 pulgadas.

Precaución

No utilice los soportes de asa para transportar la unidad, ya que si lo hace es posible que la unidad se separe de dichos soportes.

Solución de problemas

Si surge algún problema, consulte las sugerencias que aparecen a continuación para solucionarlo.
Si el problema no se soluciona, póngase en contacto con el servicio de asistencia técnica más próximo.

Problema	Solución
Ausencia de imagen	• Compruebe que el indicador del interruptor ON / OFF esté iluminado. En caso contrario, asegúrese de que el cable de alimentación esté conectado y pulse el interruptor ON / OFF. • Asegúrese de que el monitor o proyector esté activado. • Compruebe que el indicador OUT correspondiente al monitor o proyector esté iluminado (consulte la página 113). • Compruebe que el monitor o proyector está firmemente conectado utilizando los patrones de prueba incorporados. • Asegúrese de que ha pulsado el botón INPUT SELECT correcto. • Compruebe que el equipo fuente de entrada esté activado y que la fuente de entrada esté reproduciéndose. • Compruebe si uno de los indicadores IN está iluminado. En caso contrario, asegúrese de que el equipo fuente de entrada esté correctamente conectado. Si el equipo está conectado a VIDEO 3 IN, ajuste el selector SYNC AUTO / ON G en AUTO.
La señal de sincronización aparece con rayas en la pantalla (no está estabilizada).	• Si utiliza el conector D sub VIDEO OUT, compruebe que los selectores RGB / YBR y SYNC SEP / COMP de la sección VIDEO OUT están ajustados correctamente.
La imagen aparece con un tono verdoso.	• Si el equipo fuente de entrada es un ordenador conectado a VIDEO 3 IN, ajuste el selector SYNC AUTO / ON G en ON G.
La imagen aparece con un tono púrpura.	• Si el equipo fuente de entrada es un ordenador conectado a VIDEO 3 IN, ajuste el selector RGB / YBR en RGB.
La imagen es demasiado grande.	• Ajuste el tamaño de la imagen con los botones SIZE. • Pulse el botón ZOOM – para ajustar el tamaño de zoom a × 1.
El mando a distancia no funciona.	• Compruebe el tipo de mando a distancia y ajuste correctamente el selector COMMAND MODE (consulte la página 106). • Esta unidad funciona sólo con mandos a distancia para televisores y proyectores Sony. • Desconecte el enchufe de la toma CTRL S IN.
El mando a distancia funciona defectuosamente.	• Ajuste el selector COMMAND MODE en OFF.
El indicador POWER parpadea.	• El protector térmico incorporado puede haberse activado. Compruebe si la temperatura del alrededor es demasiado alta. • Pulse el interruptor POWER para apagar la unidad. A continuación, vuelva a pulsarlo y compruebe el indicador POWER. Si dicho indicador sigue parpadeando, consulte con su proveedor. • Pulse el interruptor POWER para apagar la unidad. A continuación, vuelva a pulsarlo y compruebe el ventilador. Si éste no funciona, consulte con su proveedor.
El mensaje "NO APLICABLE" aparece en la pantalla.	• Ha pulsado un botón no operativo en el modo actual de funcionamiento.
Aparece "SIN REFERENCIA" en pantalla y el indicador GENLOCK del panel frontal parpadea.	• La señal de sincronización de la subportadora de crominancia de negro no se recibe en el conector VIDEO 1 IN cuando BLOQ GEN está ajustado en SI en la pantalla MENU 2.
Aparece "REFERENCIA INCORRECTA" en pantalla y el indicador GENLOCK del panel frontal parpadea.	• El formato de la señal negra de sincronización de la subportadora de crominancia introducida desde el generador de señales no se corresponde con el formato de la señal de salida (NTSC o PAL) del convertidor.

Español

Especificaciones

Entrada de señal

VIDEO 1 IN
Entrada de vídeo compuesta / de referencia
Conector BNC × 2 (derivado), 75 ohmios (terminación automática)
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p típica
Señal de sincronización de la subportadora de crominancia de negro para la función de bloqueo del generador*
S vídeo (Y / C)
Conector mini DIN de 4 pines × 2 (derivado), 75 ohmios (terminación automática)
Y: 1 Vp-p típica, sincronización negativa
C: 0,286 Vp-p (NTSC) / 0,3 Vp-p (PAL) típica

VIDEO 2 IN
Vídeo compuesta
Conector BNC × 2 (derivado), 75 ohmios (terminación automática)
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p típica
S vídeo (Y / C)
Conector mini DIN de 4 pines × 2 (derivado), 75 ohmios (terminación automática)
Y: 1 Vp-p típica, sincronización negativa
C: 0,286 Vp-p (NTSC) / 0,3 Vp-p (PAL) típica

VIDEO 3 IN
RGB / componente
Conector D sub de 3 filas de 15 pines × 2 (derivado), 75 ohmios / alta impedancia
R / G / B: 0,714 Vp-p (sincronización en G aceptable)
H / V o sincronización compuesta: 1 a 5 Vp-p
Y / R-Y / B-Y: 0,7 Vp-p típica (NTSC / PAL, sincronización en Y)

AUDIO IN 1, 2, 3 (L / R)
Toma de pines RCA, superior a 10 kiloohmios
0 dBs (1 Vrms) máx.

Salida de señal

VIDEO OUT
Vídeo compuesta
Conector BNC, 75 ohmios típica
NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p típica
S vídeo (Y / C)
Conector mini DIN de 4 pines, 75 ohmios típica
Y: 1 Vp-p típica, sincronización negativa
C: 0,286 Vp-p (NTSC) / 0,3 Vp-p (PAL) típica
RGB / componente
Conector D sub de 3 filas de 15 pines, 75 ohmios típica
R / G / B: 0,714 Vp-p con sincronización externa
H / V o sincronización compuesta: TTL, sincronización negativa
Y / B-Y / R-Y: 0,7 Vp-p típica (sincronización en Y)

AUDIO OUT (L / R)
Toma de pines RCA
Ganancia de audio: ± 1,0 dB típica
Distorsión total armónica: inferior al 1%, 1 Vrms

Proceso de vídeo

Rango de captura
Indice horizontal: 15,6 a 70 kHz
Indice vertical: 50 a 120 Hz

Señal preajustada
Entrada: 10 formatos
Salida: 6 formatos
Salida de bloqueo del generador: NTSC o PAL
(Consulte la página 113.)

Memoria de vídeo
1.152 × 1.152 × 24 bits (Total RGB)

Indice de muestreo
Fase de desplazamiento de 14,3 a 40 MHz máx. (equivalente al muestreo de 80 MHz)

Reloj píxel de salida
14,3 a 50 MHz máx.

Generales

Requisitos de alimentación
100 a 120 V CA, 50 / 60 Hz, 0,4 A
200 a 240 V CA, 50 – 60 Hz, 0,25 A

Consumo de energía
30 W (máx. durante el funcionamiento)
3 W (alimentación desactivada)

Temperatura de funcionamiento
0 a 35°C

Dimensiones
424 × 44 × 354 mm (an / al / prf)
sin soporte ni patas

Masa
Aprox. 4,1 kg

Accesorios suministrados
Cable de alimentación de CA (1)
Cable de señal (1)

Accesorios opcionales

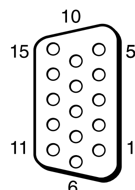
Abrazadera para montaje en soporte MB-510
SMF-400: Cable de D-sub de 15 pines (macho) para 5 BNC
SMF-401: Cable de D-sub de 15 pines (macho) para D-sub de 15 pines (macho)
Mando a distancia RM-854, RM-1271, RM-PJ1292, RM-PJ350

* Nota sobre la función de bloqueo del generador

La señal de referencia debe estar de acuerdo con SMPTE 170M (NTSC) o ITU-R624 (PAL).

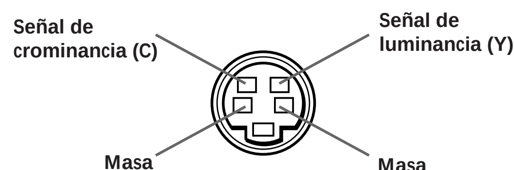
Asignación de señal

Conector VIDEO 3 IN (D sub de 3 filas y 15 pines)
Conector VIDEO OUT (D sub de 3 filas y 15 pines)



Pin nº	Señal
1	Vídeo rojo o R-Y
2	Vídeo verde o Y
3	Vídeo azul o B-Y
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	Sin uso
13	Sincronización H o compuesta
14	Sincronización V
15	Sin uso

Conector Y/C IN/OUT (mini DIN de 4 pines)



Señales preajustadas

Indicador		Tipos de señal		
INPUT	OUTPUT	Nombre	Líneas de exploración	Indice de línea/índice de campo
NTSC	NTSC	NTSC	525 líneas total (entrelazadas)	15,73 kHz / 59,94 Hz
PAL	PAL	PAL	625 líneas total (entrelazadas)	15,63 kHz / 50,00 Hz
OTHERS	—	HDTV (Japón)	1125 líneas total (entrelazadas)	33,75 kHz / 59,94 Hz
31.5k	—	VGA Text	400 líneas activas (no entrelazadas)	31,47 kHz / 70,11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640 × 480	480 líneas activas (no entrelazadas)	31,47 kHz / 59,94 Hz
OTHERS	—	Modo Mac de 13 pulgadas	480 líneas activas (no entrelazadas)	35,00 kHz / 66,67 Hz
37k	37k	VESA 800 × 600	600 líneas activas (no entrelazadas)	37,88 kHz / 60,32 Hz
OTHERS	—	Modo Mac de 16 pulgadas	624 líneas activas (no entrelazadas)	49,73 kHz / 74,55 Hz
48k	48k	VESA 1024 × 768	768 líneas activas (no entrelazadas)	48,36 kHz / 60,00 Hz
64k	64k	VESA 1280 × 1024	1024 líneas activas (no entrelazadas)	63,95 kHz / 59,94 Hz

• La sincronización horizontal (H. SYNC) y vertical (V. SYNC) correspondientes a todas las señales de salida son negativas.

Diseño y especificaciones sujetos a cambio sin previo aviso.

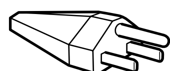
AVVERTENZA

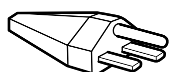
Per evitare rischi di incendio o di scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

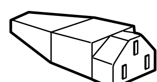
Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore.
Rivolgersi solo a personale qualificato.

Avvertimenti sui collegamenti di rete

• Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato per l'alimentazione locale.


115 volt


230 volt
(non fornita su cavi standard)


Cavi CEE-22, terminazione femmina (tutti i tipi di cavi)

	Stati Uniti, Canada, Giappone	Europa continentale	Regno Unito, Irlanda	Australia, Nuova Zelanda
Tipo di presa	NEMA S-15P	CEE 7 / VII (Schuko)	BS 1363	SAA AS 3112
Tipo di cavo	SJT	HAR (HO5VV-F3G1.0)	HAR (HO5VV-F3G1.0)	CDB03PLP
Voltaggio minimo dei cavi	7 A / 125 V 3 × 18AWG	7 A / 250 V	7 A / 250 V	7 A / 250 V
Lunghezza del cavo	2 m ± 0,1m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m	2,5 m ± 0,1 m
Approvazione di sicurezza	UL / CSA	HAR	BSI, ASTA	Dept. of Energy (New South Wales)

L'alimentazione universale autoregolante funziona ovunque; l'apparecchio si adatta se vengono utilizzati il cavo di alimentazione adeguato e la presa per il voltaggio locale.

La presa deve essere vicino all'apparecchio e facilmente accessibile.

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante il voltaggio, la potenza assorbita, ecc. si trova sul retro dell'apparecchio.
- Se oggetti solidi o liquidi dovessero penetrare nell'apparecchio, scollegarlo e farlo controllare da personale qualificato prima di riutilizzarlo.
- Scollegare l'apparecchio dalla presa a muro se non verrà utilizzato per alcuni giorni.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo per la presa e mai per il cavo stesso.

Installazione

- Lasciare dello spazio libero per permettere la circolazione dell'aria ed evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'apparecchio su superfici come tappeti o coperte o vicino a materiali come tendaggi che potrebbero ostruire i fori di ventilazione.
- Non sistemare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori o condotti di ventilazione oppure in un luogo esposto a luce diretta del sole, polvere o umidità, vibrazioni meccaniche o urti.
- Se la temperatura interna diventa troppo alta, il dispositivo incorporato di protezione scatta automaticamente e spegne l'apparecchio.

Applicazione

Questo apparecchio converte la frequenza di scansione e le linee di scansione del segnale video. L'apparecchio non riconosce né trasmette le informazioni in sovrimpressione sul segnale di cancellazione come ad esempio un segnale anticopia o le informazioni di tipo teletext.
Parte delle informazioni del segnale d'ingresso potrebbe andare perduta durante il processo di conversione.

Manutenzione

Per mantenere l'apparecchio sempre come nuovo, pulirlo regolarmente con una soluzione detergente neutra. Non utilizzare solventi forti, come ad esempio trementina benzene, o prodotti abrasivi onde evitare di danneggiare l'apparecchio. Per ragioni di sicurezza, scollegare l'apparecchio prima di pulirlo.

Imballaggio

Conservare l'imballaggio d'origine (cartone e materiale di imballaggio); potrebbero risultare utili per un eventuale trasporto dell'apparecchio. Nel trasportare l'apparecchio, imballarlo così come viene illustrato sulla scatola.

In caso di domande, contattare il rivenditore autorizzato Sony.

Sommario

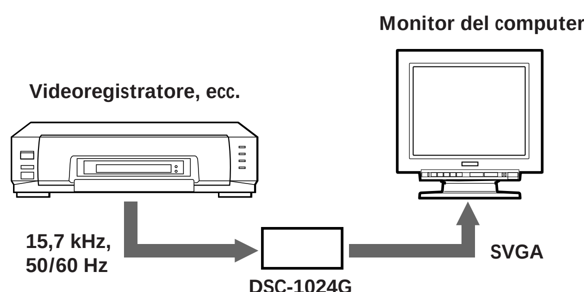
Caratteristiche

Complimenti per l'acquisto di questo convertitore a scansione digitale Sony. Di seguito sono illustrate alcune delle caratteristiche di questo apparecchio.

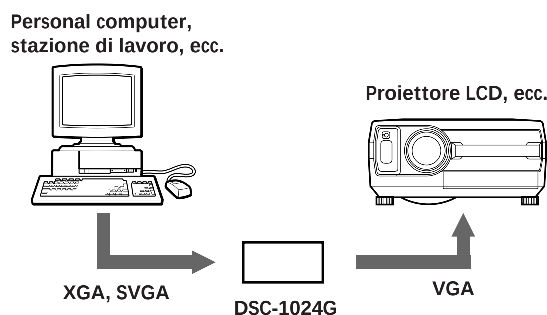
Combinazione di un codificatore e di un convertitore di formato

L'apparecchio può convertire il formato del segnale video in video composito, Y/C, componente e RGB (rosso, verde e blu) verso l'alto o verso il basso convertendo le frequenze di scansione entro i valori fH di 15 kHz – 70 kHz e fV di 50 – 120 Hz in sei formati di risoluzione.
Grazie a questa nuova combinazione delle funzioni di codificatore e di convertitore di formato, l'apparecchio può accettare sorgenti di ingresso video variabili per visualizzare le immagini con monitor ad alta risoluzione o proiettori o per registrare e riprodurre con apparecchi video normali.

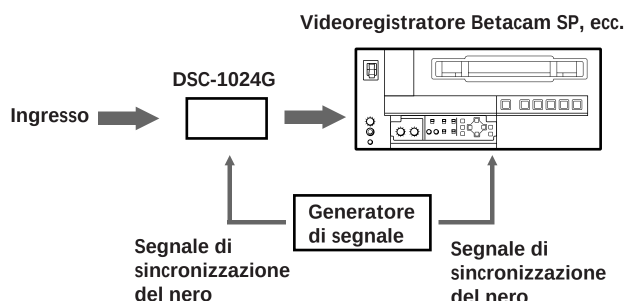
Esempi di conversione verso l'alto



Esempio di conversione verso il basso

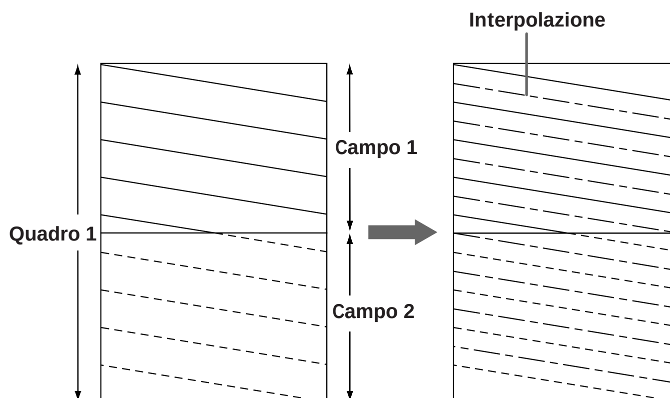


Esempio di blocco del generatore



Duplicatore di linea

Le frequenze di scansione dei segnali di ingresso NTSC o PAL possono venir raddoppiate a 31,5 kHz di frequenza orizzontale per ogni campo interpolando verticalmente le informazioni sui segnali della linea. In questo modo è possibile ottenere la riproduzione ottimale di immagini in movimento rapido.



Blocco del generatore (Gen-lock)

Il blocco del generatore può essere attivato per il segnale di uscita quando un segnale di sincronizzazione del nero viene emesso da un generattore di segnale, ecc. come ad esempio un segnale di riferimento.

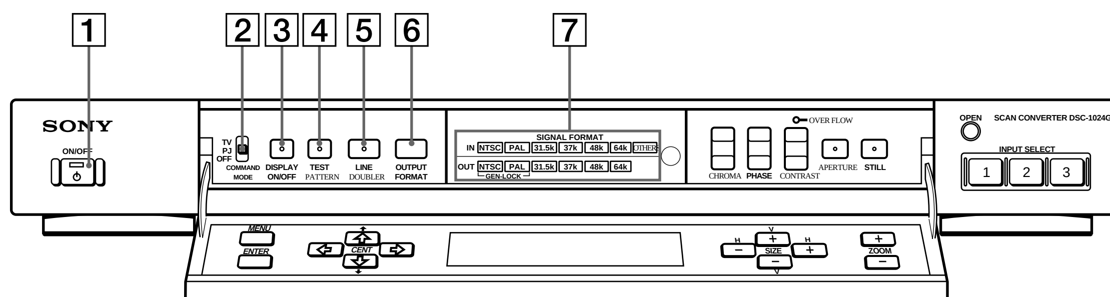
Visualizzazione del rapporto di formato

Il rapporto di formato dell'immagine convertita viene visualizzato sullo schermo mentre si zuma sull'immagine o se ne modifica la dimensione.

Altre caratteristiche

- Filtro a pettine tridimensionale per la separazione NTSC Y/C
- Filtro a pettine per correlazione di linea per la separazione dei segnali Y/C PAL
- Fino a uno zoom × 4
- Accetta i telecomandi Sony a infrarossi o con fili tramite il codice SIRCS
- Indicazioni a schermo in cinque lingue per un facile uso.
- Test integrati per visualizzare l'allineamento
- Tre set di ingressi video con ingressi audio: due ingressi per video composito o Y/C e un ingresso RGB/componente
- Funzione memoria per memorizzare fino a cinque impostazioni di funzionamento
- Rilevazione automatica del segnale di ingresso con indicazione
- Auto regolazione per avere un segnale di uscita uniforme
- Struttura di supporto EIA
- Livello di impostazione selezionabile (livello di riferimento del nero) per il segnale NTSC di uscita

Pannello frontale



1 Interruttore di alimentazione e indicatore ON/OFF

Premere per accendere o spegnere l'apparecchio. L'indicatore sull'interruttore si accende quando l'apparecchio è acceso.

2 Selettore COMMAND MODE

Se si utilizza il telecomando in dotazione con il monitor o il televisore Sony, impostarlo su TV.
Se si utilizza il telecomando in dotazione con il proiettore Sony, impostarlo su PJ.
Se non si utilizza nessun telecomando, impostarlo su OFF.

3 Tasto e indicatore DISPLAY ON/OFF

Premere questo tasto per attivare l'indicatore (DISPLAY ON) e visualizzare il modo operativo corrente sullo schermo.
Premerlo di nuovo per disattivare l'indicatore e togliere la visualizzazione (DISPLAY OFF).

Nota

Premendo il tasto MENU comparirà il menu principale anche se è stato selezionato il modo DISPLAY OFF.

4 Tasto e indicatore TEST PATTERN

Premere questo tasto per attivare l'indicatore e visualizzare il test sullo schermo.
Per disattivare il test, premere più volte il tasto TEST PATTERN fino a quando il test scompare, oppure premere il tasto ON / OFF, INPUT SELECT o OUTPUT FORMAT.

5 Tasto e indicatore LINE DOUBLER

Se il formato del segnale di ingresso è NTSC o PAL, premere questo tasto per attivare l'indicatore e la funzione di duplicatore di linea. Premerlo di nuovo per disattivare l'indicatore e la funzione corrispondente.

6 Tasto OUPUT FORMAT

Premere questo tasto per selezionare il formato desiderato del segnale di uscita. L'indicatore del segnale di uscita selezionato si accende.

7 Indicatori SIGNAL FORMAT

SIGNAL FORMAT
IN NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k OTHERS
OUT NTSC PAL 31.5k 37k 48k 64k
GEN-LOCK

Indicatori superiori IN

Indicano il formato del segnale di ingresso rilevato automaticamente dall'apparecchio.
31.5k, 37k, 48k e 64k indicano le frequenze di scansione orizzontali. Se la frequenza di scansione orizzontale del segnale di ingresso rilevato è uno dei valori sopra indicati ± 1kHz, l'indicatore corrispondente si accenderà. Se viene rilevato un altro valore, si accenderà l'indicatore OTHERS.

Indicatori inferiori OUT

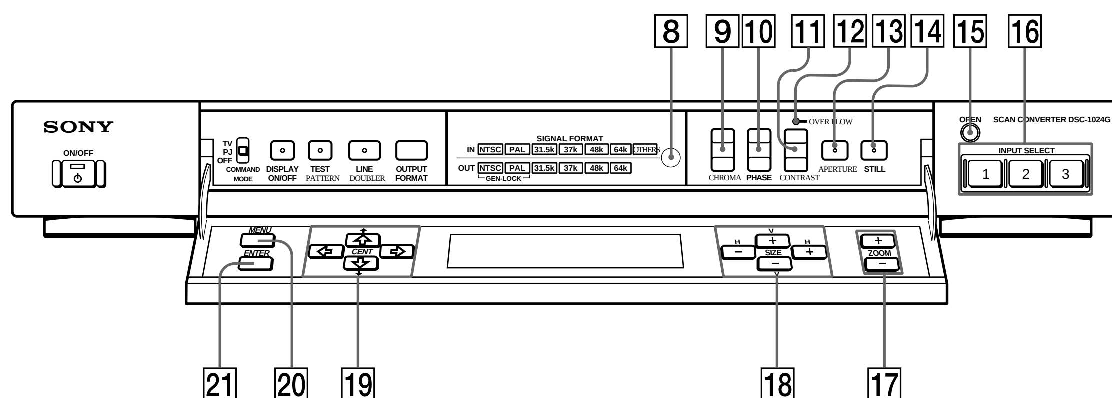
Indicano il formato del segnale di uscita selezionato con il tasto OUTPUT FORMAT. Il formato del segnale dí uscita indicato da ciascun indicatore è il seguente:

Indicatore	Nome del formato
NTSC	NTSC
PAL	PAL
31.5k	VGA 640 × 480
37k	VESA 800 × 600
48k	VESA 1024 × 768
64k	VESA 1280 × 1024

Per maggiori informazioni su ogni formato, vedere "Segnali preimpostati" a pagina 135.

Indicatore GEN-LOCK

Quando il formato del segnale di uscita è PAL o NTSC e GENLOCK è impostato su ON nel menu a schermo, l'indicatore GEN-LOCK si accende o lampeggia.



8 **Sensore remoto**
Riceve il segnale dal telecomando.

9 **Tasto CHROMA +/–**
Premere per regolare il livello del colore dell'immagine.

10 **Tasto PHASE +/–**
Premere per regolare il livello di fase dell'immagine.

11 **Tasto CONTRAST +/–**
Premere per regolare il contrasto dell'immagine.

12 **Indicatore OVERFLOW**
Questo indicatore si accende se il livello del segnale di ingresso è troppo alto.

13 **Tasto e indicatore APERTURE**
Premere questo tasto per attivare l'indicatore e rendere più nitida l'immagine. Premerlo di nuovo per disattivare l'indicatore ed avere l'immagine più sfumata.

14 **Tasto e indicatore STILL**
Premere questo tasto per attivare l'indicatore e fermare l'immagine. Premerlo di nuovo per disattivare l'indicatore e tornare alla schermata normale.

15 **Tasto OPEN**
Premere per aprire il coperchio frontale.

16 **Tasti INPUT SELECT**
Premere per selezionare il segnale di ingresso.
1: per selezionare la fonte del segnale di ingresso collegata al connettore VIDEO 1 (Y/C o COMP) e al connettore AUDIO 1 IN.
2: per selezionare la fonte del segnale di ingresso collegata al connettore VIDEO 2 (Y/C o COMP) e al connettore AUDIO 2 IN.
3: per selezionare la fonte del segnale di ingresso collegata al connettore VIDEO 3 (RGB o YBR*) e al connettore AUDIO 3 IN.

* YBR è l'abbreviazione del segnale componente Y/B-Y/R-Y.

17 **Tasti ZOOM +/–**
Premere il tasto + per ingrandire o il tasto – per ridurre.

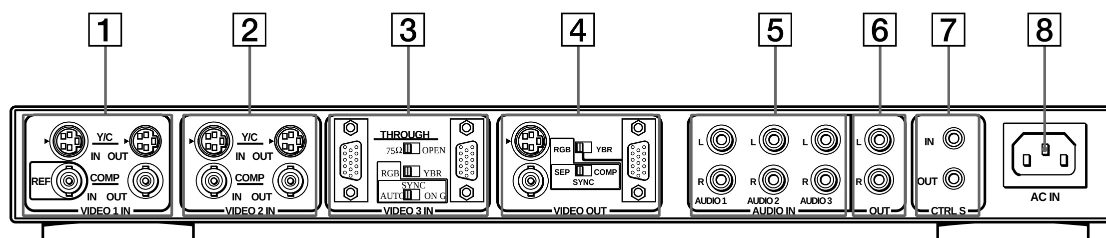
18 **Tasti SIZE V/H +/–**
Premere per regolare le dimensioni dell'immagine
V +: per aumentare la dimensione verticale
V–: per ridurre la dimensione verticale
H +: per aumentare la dimensione orizzontale
H –: per ridurre la dimensione orizzontale

19 **Tasti cursore/tasti CENT ⇧/⇩/⇦/⇨**
Premere per spostare l'immagine nella direzione indicata dalla freccia. I tasti ⇧ e ⇩ sono utilizzati anche per spostare il cursore sullo schermo.

20 **Tasto MENU**
Premere per visualizzare il menu o per uscire dal menu.

21 **Tasto ENTER**
Premere per selezionare l'elemento desiderato in un menu.

Pannello posteriore



1 **Sezione connettori VIDEO 1 IN**

2 **Sezione connettori VIDEO 2 IN**

Due set di ingressi video e di ingressi a ciclo aperto.

Y/C IN (4 piedini):
Collegare all'uscita Y / C dell'apparecchiatura video. Questo connettore è prioritario rispetto al connettore COMP IN quando sono utilizzati entrambi.

COMP IN/REF (tipo BNC):
Collegare all'uscita del video composito dell'apparecchiatura video.
Immette inoltre il segnale di riferimento per gen-lock (livello di riferimento del nero) nel connettore VIDEO 1 IN REF.

Y/C OUT (4 piedini):
Uscita a ciclo aperto del connettore Y / C IN.

COMP OUT (tipo BNC):
Uscita a ciclo aperto del connettore COMP IN.

3 **Sezione connettori VIDEO 3 IN**

Un set di ingressi di segnali RGB o componente (Y / B-Y / R-Y).

Ingresso RGB/componente (D-sub 15 piedini, a 3 file):
Collegare uno dei connettori D-sub alle uscite RGB dell'apparecchio video o alle uscite componenti (Y / B-Y / R-Y) di un registratore Betacam SP. L'altro connettore D-sub è un'uscita a circuito aperto.

Interruttore di terminazione:
Se il connettore di uscita a ciclo aperto è libero, impostare su 75 Ω. Se invece questo connettore viene utilizzato, impostare su OPEN.

Selettore RGB/YBR*:
Selezionare la posizione che corrisponda al formato dell'ingresso del segnale sul connettore D-sub.

Selettore SYNC:
Di solito impostato su AUTO. Impostare su ON G per utilizzare il segnale sincrono sul canale verde quando entrambi il segnale sincrono esterno e il segnale sincrono su verde sono immessi.

* YBR è l'abbreviazione del segnale componente Y / B-Y / R-Y.

4 **Sezione connettori VIDEO OUT**

Tre set di uscite video. Il segnale convertito viene emesso da questi connettori.

Uscita Y/C (4 piedini):
Collegare all'ingresso Y / C dell'apparecchiatura video. Solo il segnale NTSC o PAL viene emesso da questo connettore.

Uscita video composto (tipo BNC):
Collegare all'uscita video composito dell'apparecchiatura video. Solo il segnale NTSC o PAL viene emesso da questo connettore.

Uscita RGB/componente (D-sub 15 piedini, a 3 file):
Collegare agli ingressi RGB o componente (Y / B-Y / R-Y) dell'apparecchiatura video.

Selettore di uscita RGB/YBR:
Impostare questo selettore in base al formato dell'uscita del segnale dal connettore D-sub. YBR è attivo quando viene emesso il segnale NTSC o PAL.

Selettore di uscita SYNC:
Selezionare il segnale di sincronizzazione per l'uscita RGB.
Impostare su SEP per utilizzare il segnale sincrono verticale / orizzontale separato.
Impostare su COMP per utilizzare il segnale sincrono composto.

5 **Prese AUDIO IN L/R (piedino RCA)**

Un set di uscite audio.
Collegare alle prese di uscita audio dell'apparecchiatura. Se la fonte di ingresso è monofonica, collegarla solo alla presa L. Selezionare l'ingresso audio con i tasti INPUT SELECT sul pannello frontale.

6 **Prese AUDIO OUT L/R (piedino RCA)**

Un set di uscite audio.
Collegare alle prese di ingresso audio dell'apparecchiatura.

7 **Prese CTRL S IN/OUT (minipresa)**

Collegare alle prese CONTROL S di un'altra apparecchiatura Sony. In questo modo si potrà controllare l'intero sistema con un unico telecomando.
Quando una spina è collegata alla presa CTRL S IN, il sensore remoto del pannello frontale viene disattivato.

8 **Connettore AC IN**

Collegare il cavo di alimentazione in dotazione.

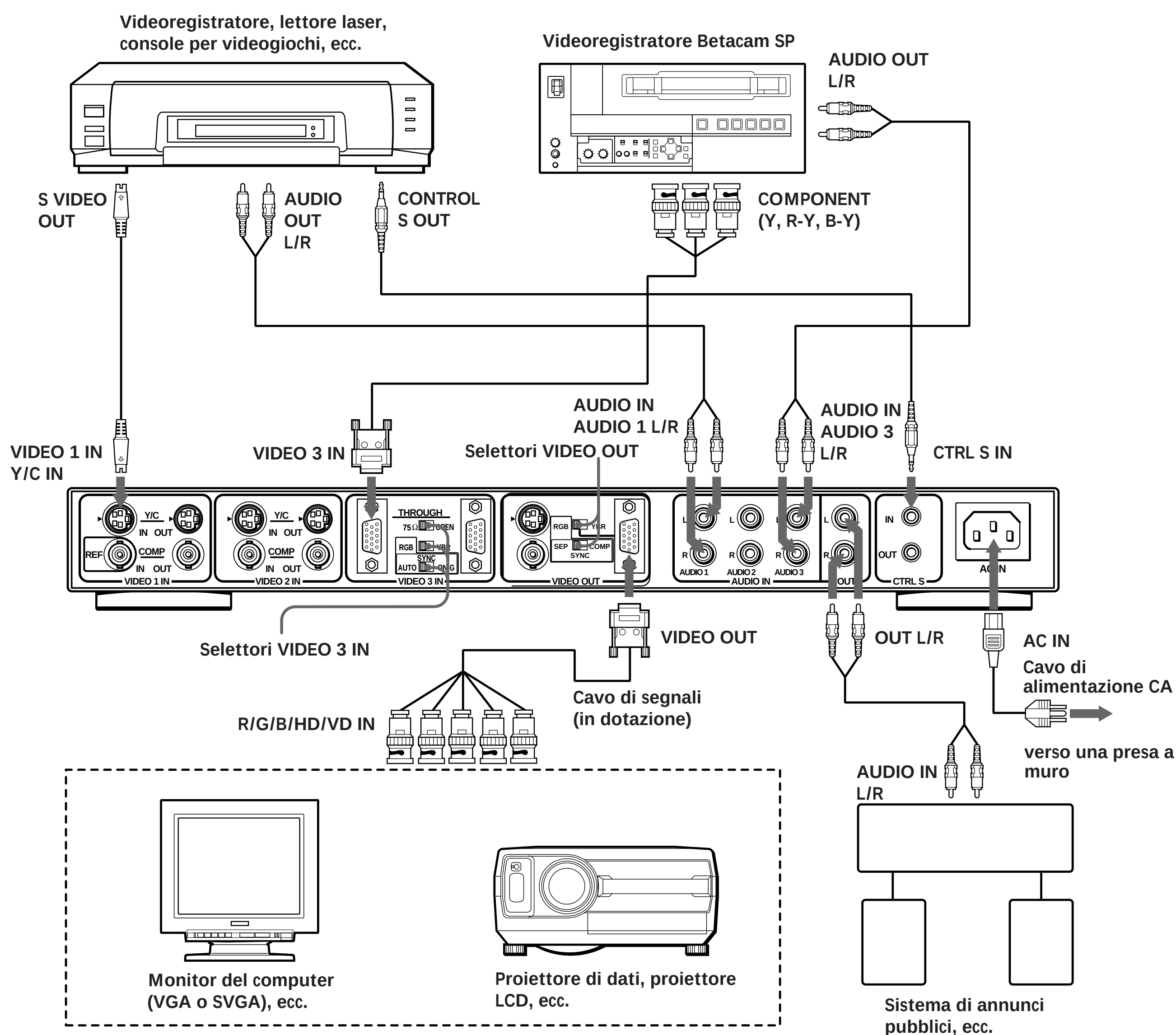
Collegamenti

Prima di iniziare

- Accertarsi che tutti gli apparecchi non siano alimentati da corrente.
- Utilizzare dei cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori del cavo devono essere inseriti a fondo nelle prese. Diversamente si udiranno dei rumori e dei ronzii.
- Per scollegare il cavo, tirarlo per la presa e mai per il cavo stesso.
- Leggere le istruzioni del manuale dell'apparecchiatura da collegare.

Collegamento per ottenere il segnale convertito verso l'alto

Il diagramma che segue illustra un esempio di collegamento per convertire un segnale di ingresso di basso livello in uno di uscita di alto livello.



Impostazione dei selettori VIDEO OUT

- Impostare il selettore RGB / YBR su RGB (quando è collegato il monitor di un computer, un proiettore di dati, un proiettore LCD).
- Impostare il selettore SYNC su SEP (sincrono separato HD o VD) o COMP (sincrono composito) a seconda dell'apparecchiatura collegata.

Se il videoregistratore Betacam SP è collegato alla presa VIDEO 3 IN

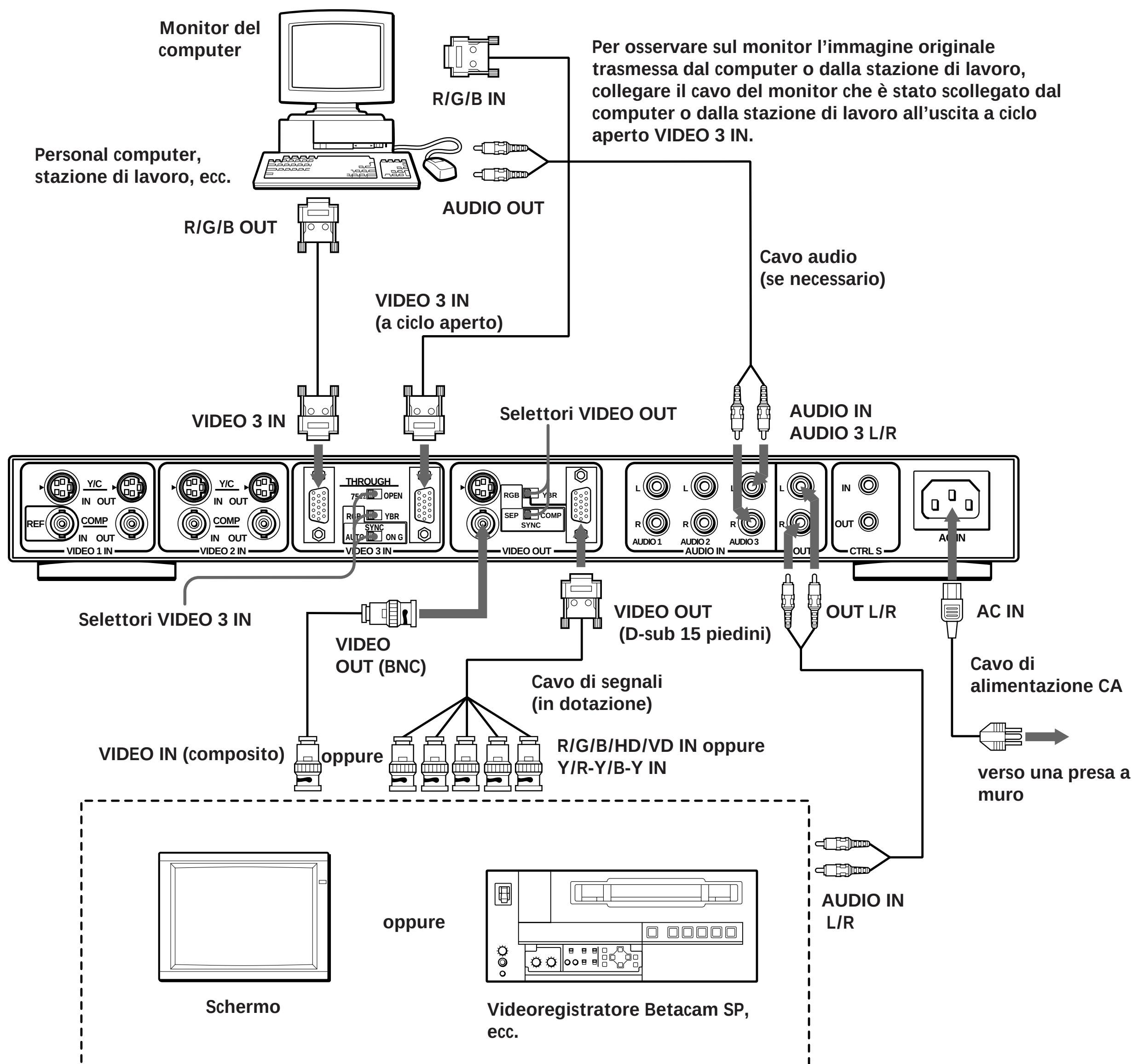
Impostare i selettori VIDEO 3 IN come segue:

- Selettore 75 Ω / OPEN → 75 Ω
- Selettore RGB / YBR→YBR
- Selettore SYNC →AUTO

Collegare solo le tre spine del cavo di segnale al videoregistratore Betacam SP; la spina verde al connettore Y, la rossa al connettore R-Y e la blu al connettore B-Y. Lasciare le altre spine, se necessario, scollegate.

Collegamento per ottenere il segnale convertito verso il basso

Il diagramma che segue illustra un esempio di collegamento per convertire un segnale di ingresso di alto livello in uno di uscita di livello basso.



Impostazione dei selettori VIDEO OUT

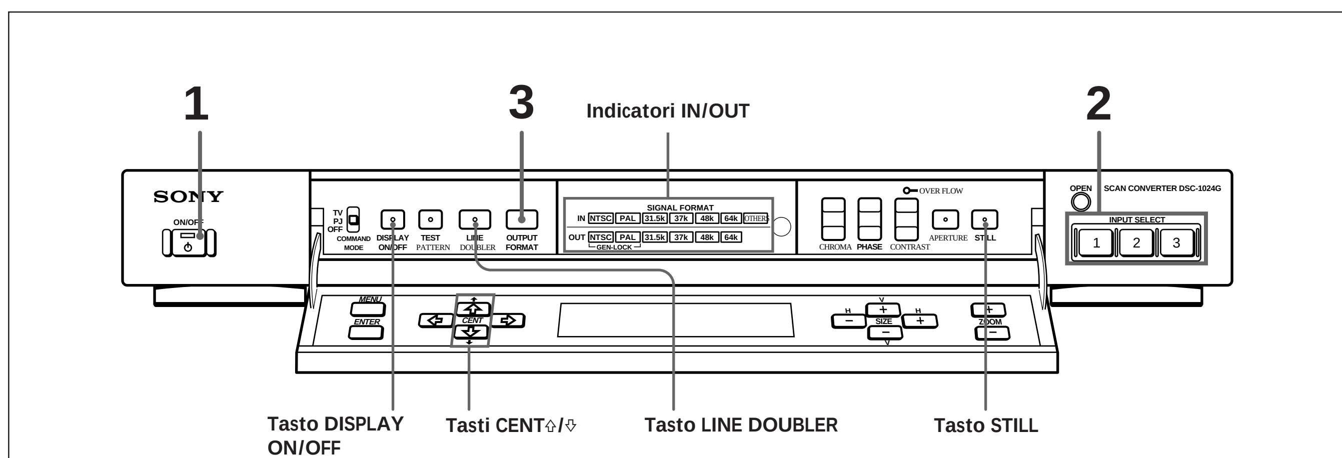
- Impostare il selettore RGB / YBR su RGB quando è collegato uno schermo o un proiettore video.
  Impostarlo su YBR quando è collegato un videoregistratore Betacam SP.
- Impostare il selettore SYNC su SEP (sincrono separato HD o VD) o COMP (sincrono composito) a seconda dell'apparecchiatura collegata.

Quando il monitor del computer è collegato all'uscita VIDEO 3 IN a ciclo aperto

Impostare i selettori VIDEO 3 IN come segue:

- Selettore 75 Ω / OPEN ➔ OPEN
- Selettore RGB / YBR ➔ RGB
- Selettore SYNC ➔ AUTO o ON G a seconda dell'apparecchiatura collegata
  Per computer Macintosh e Silicon Graphics Inc., impostare su ON G.

Controllo dell’immagine convertita

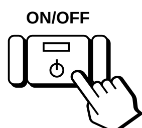


Prima di iniziare

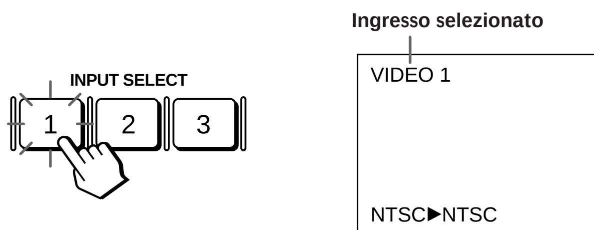
- Accendere l’apparecchiatura collegata e riprodurre una fonte video.
- Per visualizzare le informazioni sull’operazione corrente sullo schermo, accertarsi che l’indicatore del tasto DISPLAY ON / OFF sia acceso. Se non lo fosse, premere il tasto DISPLAY ON / OFF.
- Per impostare la lingua su schermo, vedere pagina 132.

Conversione dell’immagine

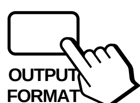
1 Premere l’interruttore ON/OFF.
L’indicatore dell’interruttore ON / OFF e tutti e tre i tasti INPUT SELECT si accendono.

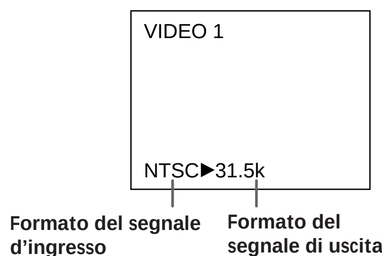


2 Selezionare la fonte da convertire premendo il tasto INPUT SELECT.
Il tasto premuto diventa più luminoso degli altri e l’indicatore del segnale di ingresso si accende per mostrare il formato del segnale (vedere a pagina 135).



3 Selezionare il formato del segnale di uscita desiderato premendo più volte il tasto OUTPUT FORMAT.
L’indicatore del segnale di uscita selezionato si accende. Il segnale di uscita viene interrotto per alcuni secondi dopo aver rilasciato il tasto.
Per maggiori informazioni sui vari formati di uscita, vedere a pagina 135.





Visualizzazione dell’immagine con il duplicatore di linea

La funzione di duplicazione di linea converte il segnale di ingresso NTSC o un segnale PAL in un segnale di uscita interpolato ad alto livello di scansione. Il formato del segnale di uscita diventa non interlacciato con una frequenza orizzontale di 31,5 kHz e la frequenza verticale sincronizzata sul segnale di ingresso.
Il duplicatore di linea converte verso l’alto il segnale campo dopo campo interpolando verticalmente le informazioni su due segnali di linea. Un’immagine in rapido movimento verrà quindi riprodotta come un’immagine normale a risoluzione elevata.

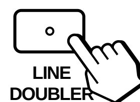
- Il segnale convertito viene emesso dal connettore di uscita RGB / componente nel formato RGB.
- Il duplicatore di linea può essere attivato per i tre ingressi separatamente.

Attivazione del duplicatore di linea

1 Premere il tasto OUTPUT FORMAT per selezionare 31,5 k.

2 Collegare una fonte di segnali NTSC o PAL e selezionare l’ingresso con i tasti INPUT SELECT.

3 Premere il tasto LINE DOUBLER.
L’indicatore del tasto si accende e gli indicatori NTSC e 31.5k o PAL e 31.5 k OUT si accendono.



Quando la fonte di ingresso è NTSC

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

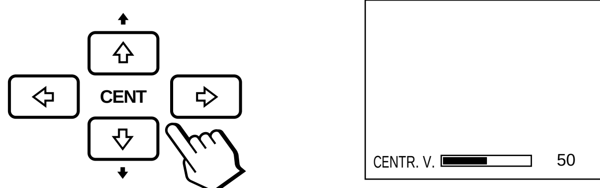
NTSC ▶LINEAx2

Quando la fonte di ingresso è PAL

OUT NTSC PAL 31.5k 37k
GEN-LOCK

PAL ▶LINEAx2

4 Regolare la posizione dell'immagine premendo i tasti CENT⇧/⇩/⇦/⇨.



Per disattivare il duplicatore di linea

Premere di nuovo il tasto LINE DOUBLER per disattivare l'indicatore del tasto.
Il formato di uscita 31,5k viene ripristinato.

Note

- Premendo il tasto LINE DOUBLER quando la fonte di ingresso non è NTSC o PAL o quando il formato di uscita non è 31,5k, comparirà NON DISPONIBILE sullo schermo e il tasto LINE DOUBLER non funzionerà.
- Quando il duplicatore di linea è attivato, i tasti ZOOM, SIZE, APERTURE e TEST PATTERN non funzionano.
- Quando il duplicatore di linea è attivato, le dimensioni dell'immagine sono uguali a quelle dell'immagine originale.
- Quando si utilizza la funzione del duplicatore di linea, si consiglia che l'apparecchiatura video di ingresso disponga del TBC (time base corrector). Se si attiva il duplicatore di linea del segnale senza TBC e si visualizza il segnale convertito in uno schermo a scansione multipla, l'immagine può scomparire per disturbo del segnale di sincronizzazione.

Immagine ferma

Quando viene visualizzata un'immagine in movimento, premere il tasto STILL per impostare FERMO sullo schermo su ON. Il segnale di uscita viene visualizzato come un'immagine ferma. L'indicatore del tasto STILL si accende.



FERMO ▶ON OFF

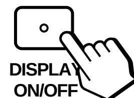
Per tornare alla schermata normale, premere di nuovo il tasto STILL.

Nota

Nel modo immagine ferma, funzioneranno solo l'interruttore ON / OFF e i tasti INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, LINE DOUBLER, TEST PATTERN, MENU, ENTER e CENT ⇧/⇩.
Premendo un altro tasto, sullo schermo apparirà NON DISPONIBILE.

Disattivazione delle indicazioni a schermo

Quando l'indicatore del tasto DISPLAY ON / OFF è acceso, le informazioni sulle operazioni effettuate sono visualizzate sullo schermo per alcuni secondi.
Per non visualizzare queste informazioni, premere il tasto DISPLAY ON / OFF per impostare DISPLAY sullo schermo su OFF.



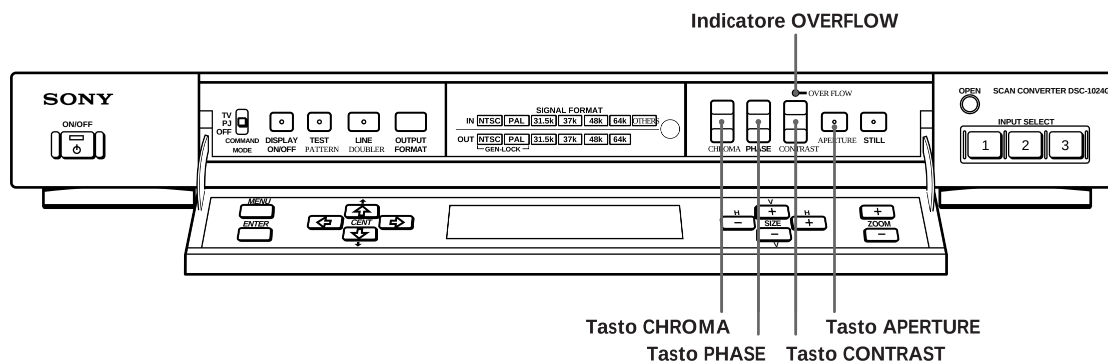
DISPLAY ON ▶ OFF

Nota

Anche se DISPLAY è impostato su OFF, verrà visualizzato solo il menu principale premendo il tasto MENU.

Italiano

Regolazione dell'immagine

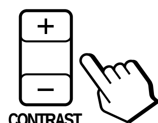


E possibile regolare il contrasto, la fase, il colore e l'apertura in funzione delle proprie preferenze. I tre valori possono essere regolati separatamente e le regolazioni sono salvate nella memoria.

Regolazione del contrasto, della fase e del colore

Premere il tasto di regolazione desiderato: CONTRAST, PHASE o CHROMA.
I livelli di regolazione sono visualizzati sullo schermo.

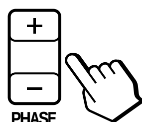
Contrasto





+: per aumentare il contrasto dell'immagine
–: per diminuire il contrasto dell'immagine

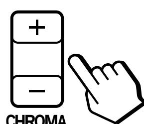
Fase





+: per rendere l'immagine tendente al verde
–: per rendere l'immagine tendente al viola

Colore





+: per aumentare l'intensità del colore
–: per diminuire l'intensità del colore

Note

- I comandi CHROMA e PHASE non funzionano per il segnale di ingresso RGB.
- Il comando PHASE non funziona per il segnale di ingresso (Y / B-Y / R-Y) componente.
- Il comando PHASE non funziona con la fonte di colore PAL.

Premendo questi tasti, comparirà NON DISPONIBILE sullo schermo.

Regolazione dell'apertura

Per rendere l'immagine più nitida, premere il tasto APERTURE per impostare APERTURA sullo schermo su ON. L'indicatore del tasto APERTURE si accende. Per addolcire l'immagine, premere di nuovo il tasto APERTURE per impostare APERTURA su OFF.
L'impostazione di fabbrica è APERTURA OFF per l'ingresso video NTSC o PAL o APERTURA ON per gli altri ingressi.



APERTURA ▶ON OFF

Nota

Quando il formato del segnale di uscita è un segnale interlacciato come NTSC e PAL, impostando APERTURA su OFF si riduce lo sfarfallio ma il contorno dell'immagine risulterà leggermente confuso.

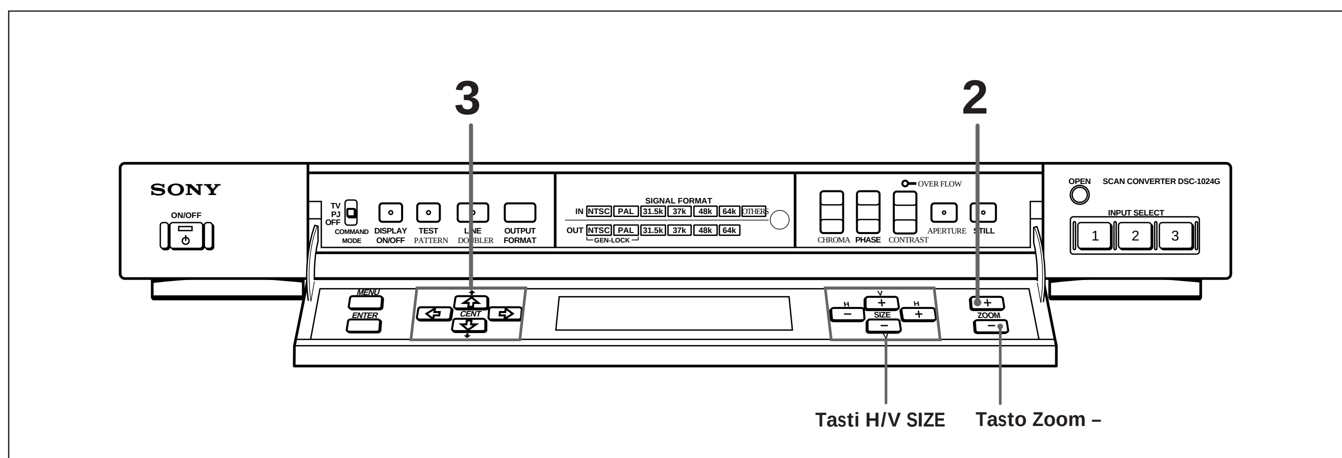
Se il livello del segnale di ingresso è eccessivo

L'indicatore OVERFLOW si accende. In questo caso controllare che il selettore 75 Ω / OPEN e il selettore RGB / YBR nella sezione del connettore VIDEO 3 siano impostati correttamente. In caso affermativo, premere il tasto CONTRAST –.

Ripristino dei livelli di contrasto, fase e colore preimpostati in fabbrica

Utilizzare REIMP COL nello schermo MENU 1 (vedere a pagina 127).

Zoom e ridimensionamento dell'immagine

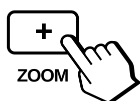


E possibile ingrandire l'immagine di 2, 3 o 4 volte rispetto alle sue dimensioni originali.
E inoltre possibile spostarla in modo che si adatti allo schermo oppure cambiarne separatamente le dimensioni verticale e orizzontale.
Si possono effettuare cambiamenti per i tre ingressi separati.

Ingrandimento dell'immagine

1 Visualizzare l'immagine sullo schermo.

2 Premere il tasto ZOOM +.



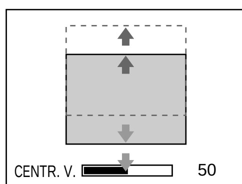


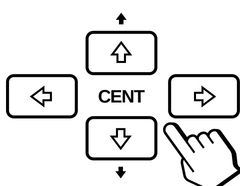
Ogni volta che viene premuto il tasto ZOOM +, l'immagine verrà ingrandita di 2, 3 e 4 volte rispettivamente.
Per ridurre, premere il tasto ZOOM –.

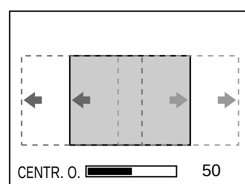
3 Regolare la posizione dell'immagine ravvicinata premendo i tasti CENT ⇧/⇩/⇦/⇨.

⇧/⇩: per spostare l'immagine verso l'alto o verso il basso (CENTR. V.)

⇦/⇨: per spostare l'immagine verso destra o verso sinistra (CENTR. O.)





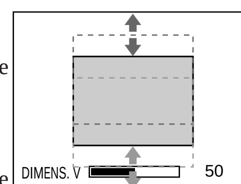


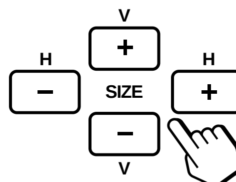
La posizione dell'immagine è riportata sullo schermo accanto alla barra di regolazione e il valore è compreso tra 0 e 100. Il valore di fabbrica è 50.

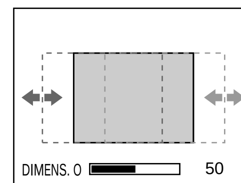
Ridimensionamento dell'immagine

Premere i tasti H/V SIZE +/– per ridimensionare l'immagine.

V SIZE +: per aumentare la dimensione verticale
V SIZE –: per diminuire la dimensione verticale
H SIZE +: per aumentare la dimensione orizzontale
H SIZE –: per diminuire la dimensione orizzontale





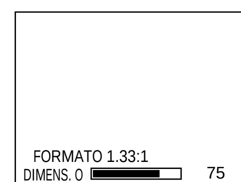


La dimensione dell'immagine è riportata sullo schermo accanto alla barra di regolazione e il valore è compreso tra 0 e 100. Il valore di fabbrica è 50. (tranne che per HDTV o l'ingresso a 64k)

Visualizzazione del rapporto di formato

Quando le dimensioni dell'immagine vengono modificate con il tasto H / V SIZE, l'apparecchio calcola il rapporto di formato dell'immagine convertita e lo visualizza in valori decimali sullo schermo insieme alla barra di regolazione e al valore.

Esempio: 4:3 viene visualizzato 1.33:1
16:9 viene visualizzato 1.78:1



Nota

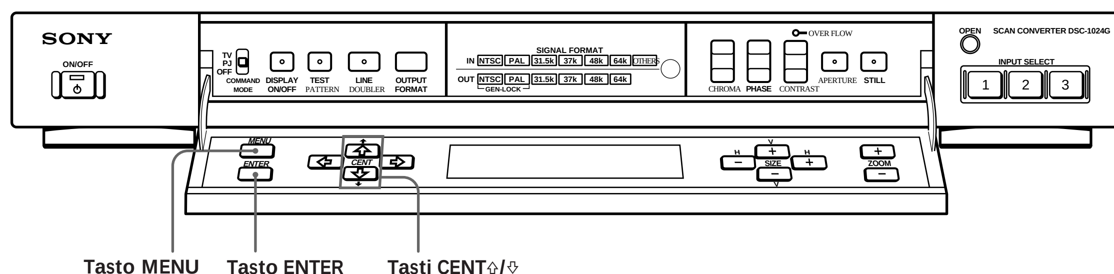
Il rapporto di formato viene visualizzato solo se viene trasmesso il segnale preimpostato. Per la lista dei segnali preimpostati, vedere a pagina 135.

Ripristino della dimensione e della posizione originarie dell'immagine

Utilizzare REIMP GEOM nello schermo MENU 1 (vedere a pagina 127).

Italiano

Uso della memoria

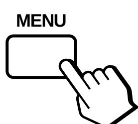


Quando si regola il convertitore per la visualizzazione ottimale a partire da una fonte di segnali, memorizzare i dati di regolazione nella memoria. Nella memoria è possibile salvare cinque set di combinazioni ingresso / uscita, lo zoom, la dimensione orizzontale e verticale e la posizione orizzontale e verticale e passare rapidamente dall'uno all'altro. Sono disponibili fino a 5 memorie.

Memorizzazione della condizione corrente

1 Regolare l'immagine nel modo necessario.

2 Premere il tasto MENU.
Compare il MENU 1.

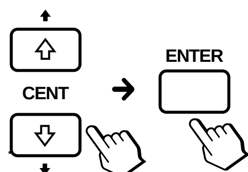


MENU 1

▶CARICA MEM
SALVA MEM
REIMP GEOM
REIMP COL
REIMP TUTTO
INDICE N.
LINGUA

USA:⇧⇩ENTER SUCC:MENU

3 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su SALVA MEM e premere il tasto ENTER.
Verrà visualizzata la schermata SALVA MEM.
I dati correnti sono visualizzati nella colonna sinistra sotto ATTUALE e i dati presenti nella memoria nella colonna di destra. Se nessun dato è memorizzato, l'elemento verrà visualizzato come "–".



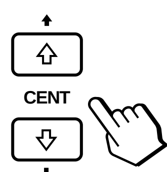
SALVA MEM

	ATTUALE▶	MEM1
INPUT	VIDEO1	–
SEGNALE	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
DIMENS. O	50	–
CENTR. O.	50	–
DIMENS. V	50	–
CENTR. V.	50	–

USA:⇧⇩ ENTER CANC:MENU

Dati correnti

4 Premere più volte il tasto CENT⇧/⇩ in modo da far apparire il numero di memoria desiderato (da 1 a 5).



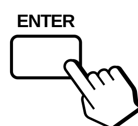
Numero della memoria

SALVA MEM

	ATTUALE▶	MEM3
INPUT	VIDEO1	–
SEGNALE	NTSC	–
OUTPUT	31.5k	–
ZOOM	x1	–
DIMENS. O	50	–
CENTR. O.	50	–
DIMENS. V	50	–
CENTR. V.	50	–

USA:⇧⇩ ENTER CANC:MENU

5 Premere il tasto ENTER.
I dati correnti sono memorizzati nel numero di memoria selezionato nella colonna di destra.
Se nel numero di memoria selezionato erano già stati salvati dei dati, questi verranno visualizzati nella colonna di sinistra sotto ATTUALE.



SALVA MEM

	ATTUALE ▶	MEM3
INPUT	VIDEO1	VIDEO1
SEGNALE	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	31.5k
ZOOM	x1	x1
DIMENS. O	50	50
CENTR. O.	50	50
DIMENS. V	50	50
CENTR. V.	50	50

USA:⇧⇩ENTER CANC:MENU

Dati correnti memorizzati

6 Per uscire dal menu, premere tre volte il tasto MENU.

Richiamo dei dati memorizzati

1 Premere il tasto MENU.
Verrà visualizzato il MENU 1.

2 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su CARICA MEM e premere il tasto ENTER.
Verrà visualizzato il menu CARICA MEM.

CARICA MEM

	MEM1▶	ATTUALE
INPUT	VIDEO1	VIDEO2
SEGNALE	NTSC	NTSC
OUTPUT	31.5k	64k
ZOOM	x1	x2
DIMENS. O	50	50
CENTR. O.	50	80
DIMENS. V	50	60
CENTR. V.	50	80

USA:⇧⇩ENTER CANC:MENU

3 Premere più volte il tasto CENT ⇧/⇩ per selezionare il numero di memoria desiderato (da 1 a 5) e premere il tasto ENTER.
Il convertitore viene regolato in base ai dati di memoria selezionati.

4 Per annullare l'operazione, premere due volte il tasto MENU.

Per richiamare velocemente i dati memorizzati

Utilizzare il telecomando. Vedere "Caricamento direttamente dalla memoria" a pagina 128.

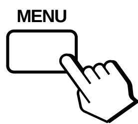
Ripristino dei dati ai valori preimpostati di fabbrica

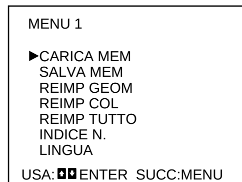
Sono disponibili tre opzioni per ripristinare i valori di fabbrica.

REIMP GEOM: Ripristina i valori correnti di ZOOM, DIMENS. O / V e CENTR. O. / V.
REIMP COL: Ripristina i valori correnti di CONTRASTO, FASE e COLORE.
REIMP TUTTO: Ripristina tutti i valori di regolazione dell'utente ai valori di fabbrica e cancella il contenuto della memoria.

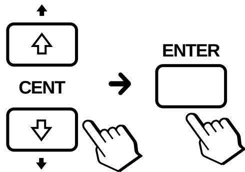
La procedura è la stessa per tutte e tre le opzioni.

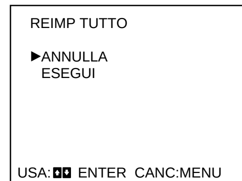
1 Premere il tasto MENU.
Verrà visualizzato il MENU 1 sullo schermo.





2 Premere il tasto CENT⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su REIMP GEOM, REIMP COL o REIMP TUTTO e premere il tasto ENTER.



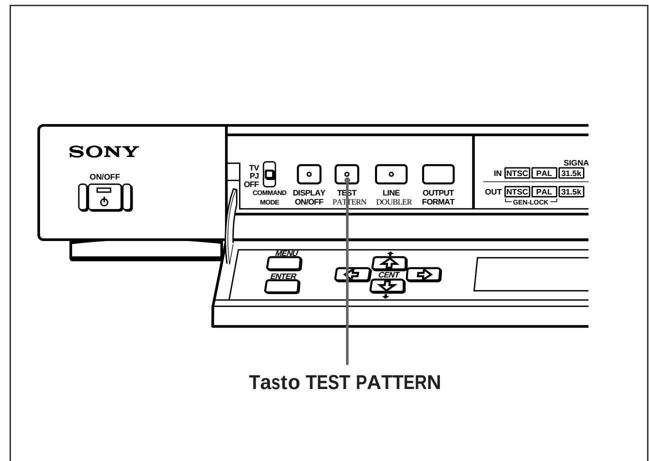


3 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore su ESEGUI e premere il tasto ENTER.
I dati sono reimpostati ai loro valori di fabbrica.

Per annullare l'operazione di ripristino

Premere il tasto MENU o selezionare ANNULLA al punto 3 sopra menzionato e premere il tasto ENTER.

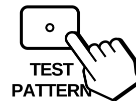
Uso del test



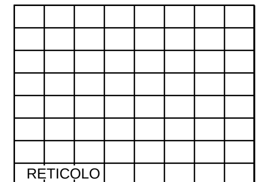
Tasto TEST PATTERN

Utilizzare il test fornito per regolare il monitor o lo schermo del proiettore.

Premere il tasto TEST PATTERN.
Ogni volta che il tasto TEST PATTERN verrà premuto, verranno visualizzati in sequenza i seguenti test:
RETICOLO ➔ CASELLA ➔ BARRA DEI COLORI ➔ SCALA GRIGI ➔ OFF (segnale di ingresso) ➔ RETICOLO...



Esempio: Reticolo



Il nome del test selezionato resta visualizzato sullo schermo per circa 3 secondi.

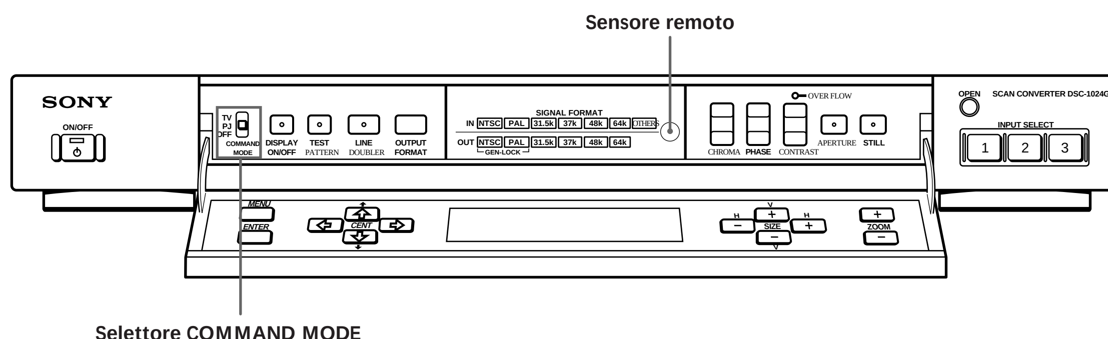
Per ripristinare lo schermo normale

Premere più volte il tasto TEST PATTERN fino a quando non è più visualizzato alcun test. Premendo l'interruttore ON / OFF, i tasti INPUT SELECT o il tasto OUPTUT FORMAT ripristinano la schermata normale.

Nota

Quando viene visualizzato il test, funzioneranno solo l'interruttore ON / OFF e i tasti INPUT SELECT, OUTPUT FORMAT, MENU e CENT ⇧/⇩.

Uso del telecomando



Questo apparecchio accetta i telecomandi senza o con filo per monitor, televisori e proiettori Sony.

Impostazione del tipo di telecomando

Impostare il selettore COMMAND MODE in base al tipo di telecomando.



TV: Telecomandi di monitor o televisori Sony
PJ: Telecomando per proiettori Sony
OFF: Se non si usa nessun telecomando, impostare su questa posizione per evitare dei malfunzionamenti.

Operazioni possibili tramite il telecomando

Dal telecomando è possibile eseguire le seguenti operazioni:

- Accensione / Spegnimento
- Scelta dell'ingresso
- Regolazioni dell'immagine: contrasto, fase e colore
- Attivazione o disattivazione delle indicazioni a schermo (solo per gli schermi e i televisori)
- Operazioni con i menu (vedere la colonna a destra)
- Caricamento direttamente dalla memoria (vedere la colonna a destra).

Le operazioni possibili e i tasti da utilizzare per ogni operazione variano da telecomando a telecomando. Consultare la tabella sotto riportata.

Caricamento direttamente dalla memoria

Tramite il telecomando è possibile richiamare rapidamente i dati memorizzati.

1 **Premere uno dopo l'altro i tasti 7, 7, 7 e ENTER sul telecomando a intervalli di un secondo.**
Sullo schermo appare "CARICAM. MEM PRONTO".
2 **Selezionare il numero della memoria (da 1 a 5) da richiamare utilizzando il tasto numerico.**
Il convertitore viene regolato in base ai dati di memoria selezionati.

Per annullare l'operazione

Premere uno dopo l'altro i tasti 0, 0, 0 e ENTER sul telecomando a intervalli di un secondo. Sullo schermo appare "CARICAM. MEM ESCI".
L'operazione del caricamento di memoria diretto viene annullata spegnendo l'unità.

Nota

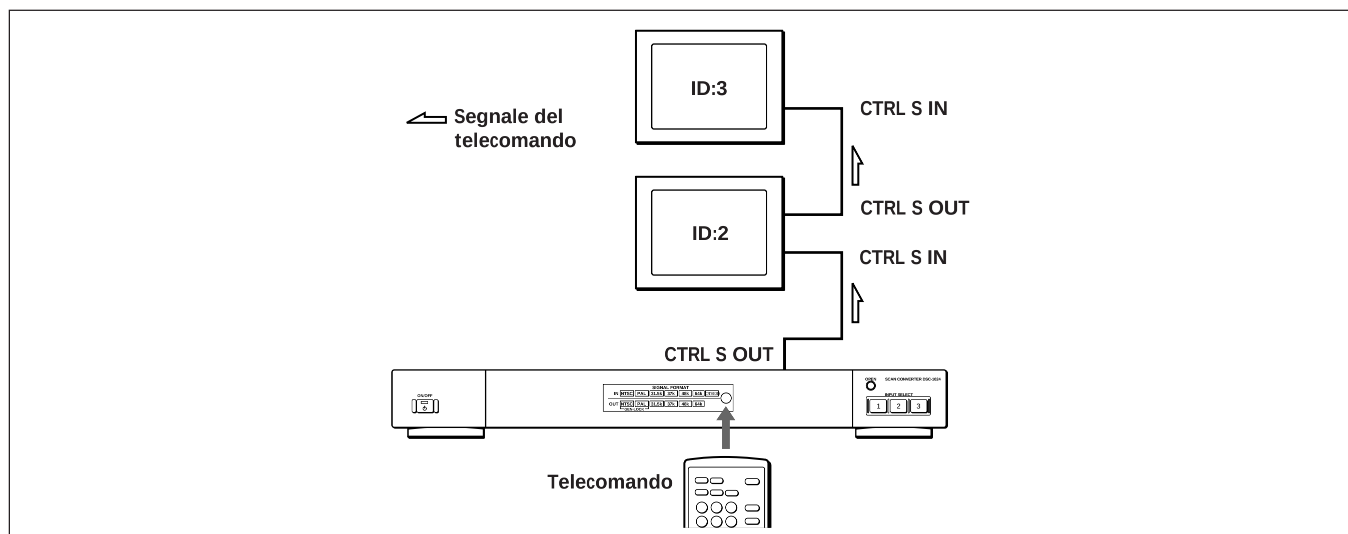
Assicurarsi di premere i pulsanti 7,7,7 e ENTER oppure 0,0,0 e ENTER a intervalli di circa un secondo.
Se trascorrono più di tre secondi tra due pressioni dei tasti, l'operazione verrà annullata. In questo caso, iniziare di nuovo.

Utilizzo delle opzioni di menu tramite il telecomando

Le schermate dei menu del telecomando sono diverse da quelle dell'apparecchio principale.
Premendo una o due volte il tasto del menu (MENU, PAGE o ⬅) sul telecomando, compariranno rispettivamente MENU GEOM e MENU COLORE.
Selezionare l'elemento con il tasto ⬆/⬇ e premere il tasto ENTER (ENTER, ➡ o M SEL) sul telecomando. Regolare quindi l'elemento selezionato utilizzando il tasto ⬆/⬇.

Modello di telecomando		**RM-854**	**RM-1271**	**RM-PJ1292**	**RM-PJ350**	**RM-PJC520**
Impostazione COMMAND MODE		TV	PJ	PJ	PJ	PJ
Scelta dell'ingresso	INPUT SELECT 1	LINE1	VIDEO	VIDEO	VIDEO1	1
	INPUT SELECT 2	LINE2	A	A	VIDEO2	2
	INPUT SELECT 3	LINE3	B	B	RGB	3
Menu	MENU	MENU	PAGE o ⬅	PAGE o ⬅	PAGE o ⬅	PAGE
	ENTER	ENTER	➡	➡	➡	M SEL
	CENT ⇧	⬆	⬆	⬆	⬆	⬆
	CENT ⇩	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
Regolazione dell'immagine	CONTRAST	CONTRAST	CONTR	CONTR	CONTR	CONTR
	CHROMA	CHROMA	COLOR	COLOR	COLOR	–
	PHASE	PHASE	HUE	HUE	HUE	–

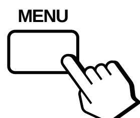
Controllo di un determinato apparecchio dal telecomando

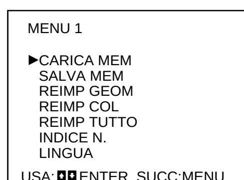


Quando vari apparecchi Sony sono collegati tramite una presa CTRL S, è possibile utilizzarne uno specifico attribuendo il numero indice predefinito ad ogni apparecchio sul convertitore e poi sul telecomando. Per impostare il numero indice su ogni apparecchio, consultare il relativo manuale delle istruzioni.
La spiegazione che segue è un esempio di come utilizzare il telecomando RM-854.

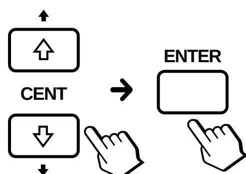
Attribuzione del numero indice sul convertitore

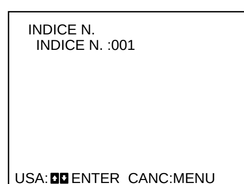
1 Premere il tasto MENU una volta.
Verrà visualizzato il MENU 1.





2 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su INDICE N. e premere il tasto ENTER.
Verrà visualizzata la schermata INDICE N.



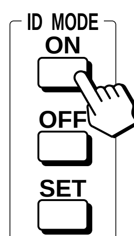


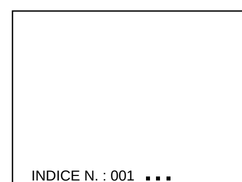
3 Premere più volte il tasto CENT ⇧/⇩ per selezionare il numero indice (da 1 a 255) dell'apparecchio che si desidera utilizzare e premere il tasto ENTER.

4 Per uscire dal menu, premere tre volte il tasto MENU.

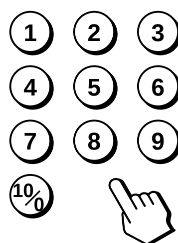
Controllo dell'apparecchio a partire dal telecomando RM-854

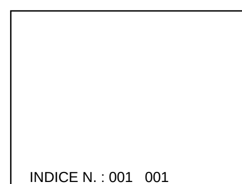
1 Premere il tasto ID MODE ON sul telecomando.
I numeri indice appaiono su tutti gli apparecchi compreso il convertitore.



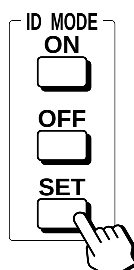


2 Immettere il numero indice dell'apparecchio che si desidera controllare utilizzando i tasti 0-9 del telecomando.
Il numero immesso figurerà vicino al numero indice di ogni apparecchio.





3 Premere il tasto ID MODE SET.
Il carattere sull'apparecchio selezionato diventa di colore ciano mentre gli altri diventano rossi.

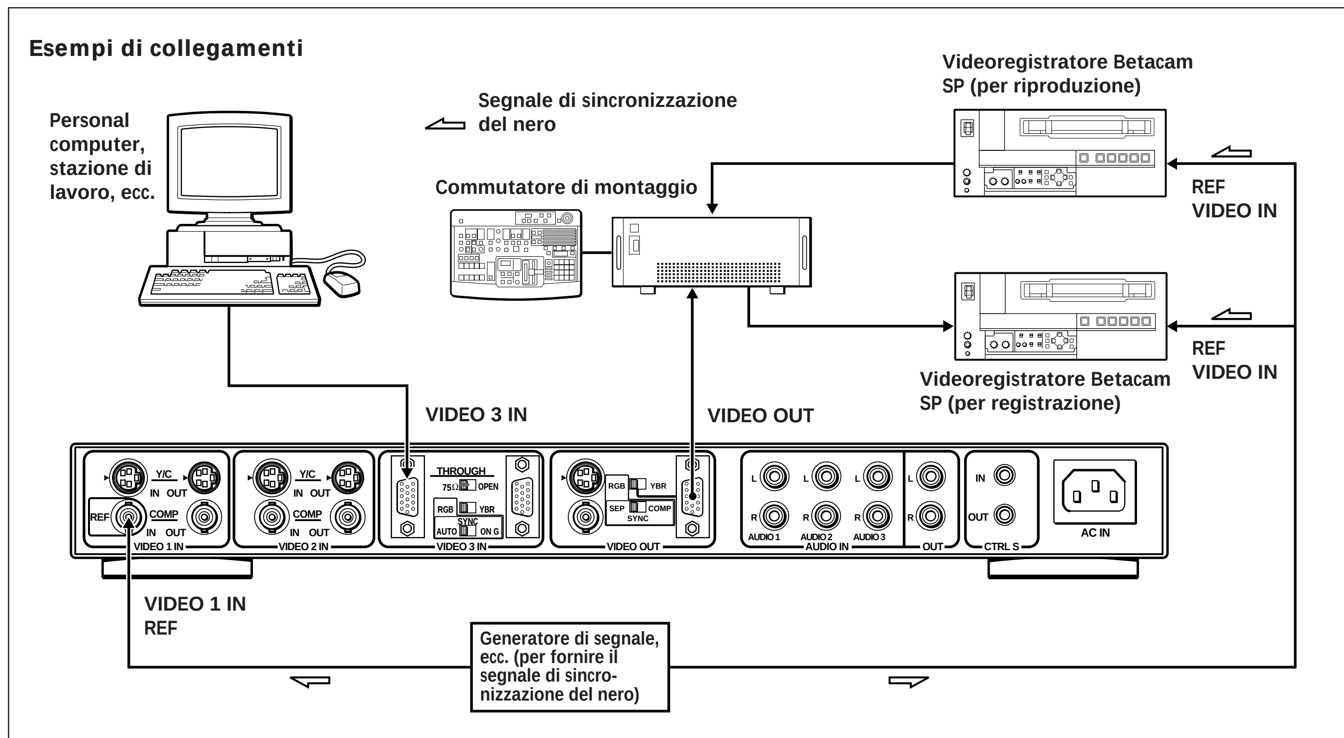


In questo modo sarà possibile inviare i comandi solo a un determinato apparecchio (Tutte le operazioni disponibili in modo ID eccetto POWER ON / OFF).

Italiano

Uso del blocco del generatore (gen-lock)

Esempi di collegamenti

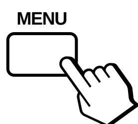


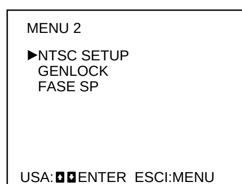
L'uscita del segnale NTSC o PAL può essere sincronizzata mediante l'ingresso del segnale di sincronizzazione del nero da un generatore di segnale, ecc. come segnale di riferimento (gen-lock).
Ciò consente un editing senza problemi e rumori di transizione quando vengono utilizzate più sorgenti video.

Attivazione del blocco del generatore

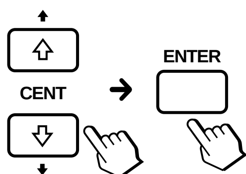
1 Immettere il segnale di riferimento che corrisponde al formato del segnale di uscita (NTSC o PAL) da un generatore o un dispositivo di modifica del segnale al connettore VIDEO 1 IN REF.

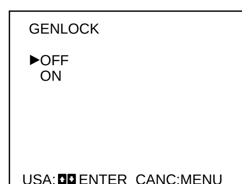
2 Premere il tasto MENU due volte.
Sulla schermata appare MENU 2.





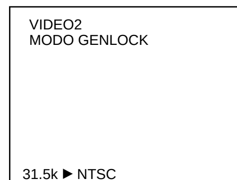
3 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su GENLOCK e premere il tasto ENTER.
Sulla schermata appare GENLOCK.





4 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su ON e premere il tasto ENTER.
Il blocco del generatore è attivato per il segnale di uscita da questo apparecchio e l'indicatore GENLOCK sul pannello anteriore si accende.

Quando il convertitore è attivato o il modo di ingresso è stato modificato, sulla schermata appare MODO GENLOCK.



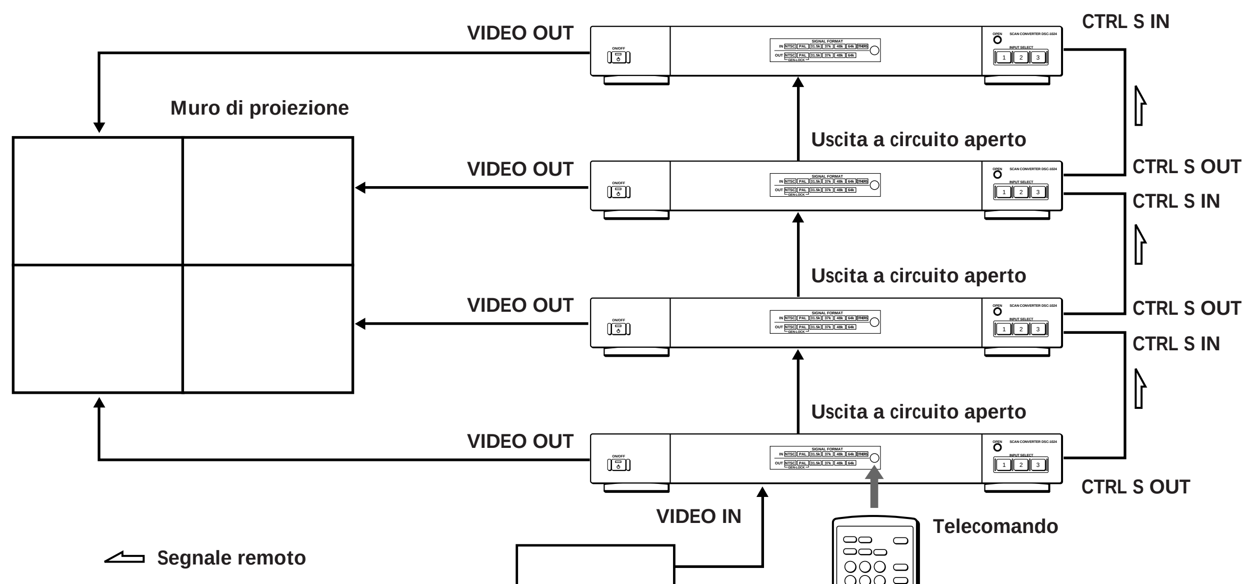
Per disattivare il blocco del generatore

Ripetere i punti da 1 a 3 riportati sopra, quindi impostare GENLOCK su OFF al punto 4. L'indicatore GEN-LOCK sul pannello anteriore si disattiva.

Note

- Se si seleziona GENLOCK sulla schermata MENU 2 senza ingresso del segnale di riferimento, sulla schermata appare "NESSUN RIFERIMENTO".
- Appare "RIFERIMENTO ERRATO" se il segnale di riferimento non corrisponde al formato del segnale di ingresso.
- Per l'editing si consiglia l'uscita RGB / componente. Se si utilizza l'uscita video composita, potrebbe essere necessario un sincronizzatore di quadro per regolare la fase sul segnale di riferimento.
  Per la regolazione della FASE SP, vedere pagina 132.

Costruzione di un muro di proiezione



Quando si costruisce un muro di proiezione per visualizzare un'immagine più grande proveniente da più proiettori, utilizzare i convertitori come nell'esempio del collegamento sopra. Prepare un convertitore per ogni proiettore. Regolare l'immagine di ogni proiettore in modo che l'immagine del muro di proiezione venga visualizzata chiaramente e memorizzare i dati di regolazione su ogni convertitore sotto lo stesso numero di memoria. Ciò consente di passare velocemente tra le cinque immagini del muro di proiezione.

Memorizzazione dei dati di regolazione dell'immagine

1 Regolare i proiettori.
Utilizzare i test (RETICOLO, BARRA DEI COLORI e SCALA GRIGI) incorporati nel convertitore. Per i test, vedere pagina 127.

2 Regolare parti dell'immagine con il convertitore.
Impostare l'ingrandimento a seconda del numero delle parti dell'immagin. Quindi regolare ogni parte dell'immagine utilizzando i tasti H / V SIZE e CENT in modo che si possano collegare senza problemi come una grande immagine.

Numero di parti dell'immagine	Ingrandimento
4	× 2
9	× 3
16	× 4

Per l'ingrandimento e il ridimensionamento dell'immagine, vedere pagina 125.

3 Memorizzare i dati di regolazione nella memoria del convertitore.
Memorizzare i dati sotto lo stesso numero di memoria su ogni convertitore. Per informazioni dettagliate, vedere la sezione sulla memorizzazione dello stato corrente a pagina 126.

4 Ripetere i punti da 1 a 3 per la memorizzazione di altri modelli di immagini.
E possibile memorizzare i dati di regolazione per cinque modelli di immagini sotto i numeri di memoria da 1 a 5.

Visualizzazione dell'immagine sul muro di proiezione

I nomi dei tasti del telecomando sono diversi a seconda del modello di telecomando. Fare riferimento alla tabella a pagina 128.

1 Premere i tasti 7, 7, 7 e ENTER sul telecomando a intervalli di un secondo.
"CARICAM. MEM PRONTO" appare sugli schermi dei proiettori.

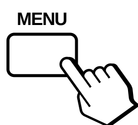
2 Selezionare il numero di memoria sotto il quale sono memorizzati i dati di regolazione del motivo di immagine desiderato premendo il tasto del numero.
Tutte le parti dell'immagine vengono visualizzate adeguatamente in modo che si possano collegare senza problemi come una grande immagine.

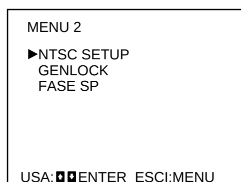
3 Per passare ad un altro modello di immagine, premere il tasto del numero corrispondente al numero di memoria.

Selezione del livello di impostazione

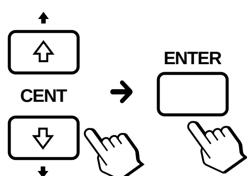
E possibile selezionare il livello del nero (livello di impostazione) per il segnale NTSC di uscita.
Il livello del nero è impostato su “0”(IRE). Se l’immagine in uscita è troppo scura, cambiare l’impostazione su “7.5”(IRE).

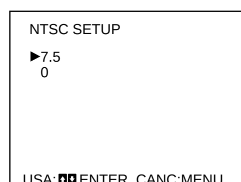
1 Premere il tasto MENU due volte.
Appare la schermata MENU 2.





2 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su NTSC SETUP e premere il tasto ENTER.
Appare la schermata NTSC SETUP.





3 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per selezionare “7.5” o “0” e premere il tasto ENTER.

4 Per uscire dal menu, premere il tasto MENU due volte.

Selezione della lingua

E possibile scegliere la lingua delle indicazioni a schermo tra le cinque proposte.

1 Premere il tasto MENU una volta.
Verrà visualizzato il MENU 1 sullo schermo.

2 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su LANGUAGE e premere il tasto ENTER.
Verrà visualizzato il menu LANGUAGE.



3 Premere più volte il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) sulla lingua desiderata e premere il tasto ENTER.

4 Per uscire dal menu, premere tre volte il tasto MENU.

Regolazione della FASE SP

Quando si modifica o registra il segnale di uscita composito con un videoregistratore, occorre regolare la fase di sottoportante in orizzontale (FASE SP).
Preparare un apparecchio di misurazione speciale per la regolazione.

1 Premere due volte il tasto MENU.
Appare la schermata MENU 2.

2 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per spostare il cursore (▶) su FASE SP e premere il tasto ENTER.
Il valore di regolazione viene visualizzato sullo schermo.



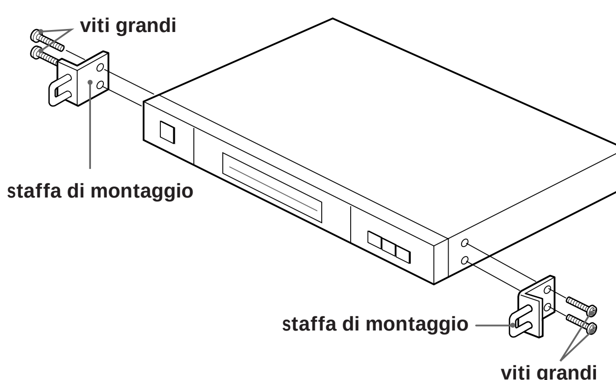
3 Premere il tasto CENT ⇧/⇩ per regolare la F/SP.

4 Per uscire dal menu, premere due volte il tasto MENU.

Struttura di supporto

L’apparecchio può essere montato su una struttura di supporto EIA di circa 50 cm utilizzando il kit di montaggio opzionale MB-510.

1 Montare le staffe di montaggio con le quattro viti più grandi del kit.



2 Togliere i quattro supporti da sotto l’apparecchio.

3 Montare l’apparecchio su una struttura di supporto standard di 50 cm circa.

Attenzione
Non trasportare l’apparecchio tenendolo per le staffe di montaggio onde evitare che queste si stacchino.

Ricerca e soluzione dei problemi

In caso di problemi, consultare le soluzioni proposte per ogni sintomo nella tabella sotto riportata.
Se il problema permane, contattare il più vicino servizio di assistenza.

Sintomo	Intervento
Non c'è l'immagine.	• Accertarsi che l'indicatore dell'interruttore ON / OFF sia acceso. Se non lo fosse, accertarsi che il cavo di alimentazione sia collegato e premere l'interruttore ON / OFF. • Accertarsi che il monitor / proiettore sia acceso. • Accertarsi che l'indicatore OUT corrispondente al monitor / proiettore sia acceso (vedere a pagina 135). • Controllare se il monitor / proiettore è collegato adeguatamente utilizzando i motivi incorporati. • Accertarsi di aver premuto il tasto corretto INPUT SELECT. • Accertarsi che l'apparecchio fonte dell'ingresso sia acceso e che la fonte dell'ingresso sia in corso di riproduzione. • Controllare se uno degli indicatori IN è acceso. Se non è acceso, assicurarsi che un apparecchio di fonte di ingresso sia collegato adeguatamente. Se l'apparecchio è collegato alla presa VIDEO 3 IN, impostare il selettore SYNC AUTO / ON G su AUTO.
Il segnale di sincronizzazione causa strisce sullo schermo (non si stabilizza).	• Se si utilizza il connettore D-sub VIDEO OUT, controllare per vedere che i selettori RGB / YBR e SYNC SEP / COMP della sezione VIDEO OUT siano corretti.
L'immagine è verdognola.	• Se l'apparecchio fonte dell'ingresso è un computer collegato alla presa VIDEO 3 IN, impostare il selettore SYNC AUTO / ON G su ON G.
L'immagine è violacea.	• Se l'apparecchio fonte dell'ingresso è un computer collegato alla presa VIDEO 3 IN, impostare il selettore RGB / YBR su RGB.
L'immagine è troppo grande.	• Regolare le dimensioni dell'immagine utilizzando i tasti SIZE. • Premere il tasto ZOOM – per impostare lo zoom su × 1.
Il telecomando non funziona.	• Verificare il tipo di telecomando ed impostare il selettore COMMAND MODE correttamente (vedere a pagina 128). • Questo apparecchio funziona solo con i telecomandi dei televisori e dei proiettori Sony. • Togliere la spina dalla presa CTRL S IN.
Il telecomando non funziona bene.	• Impostare il selettore COMMAND MODE su OFF.
L'indicatore POWER lampeggia.	• Forse è scattato il dispositivo integrato di protezione. Controllare se la temperatura dell'ambiente è troppo alta. • Premere l'interruttore POWER per spegnere l'apparecchio quindi premerlo di nuovo e controllare l'indicatore POWER. Se l'indicatore POWER continua a lampeggiare, contattare il rivenditore. • Premere l'interruttore POWER per spegnere l'apparecchio quindi premerlo di nuovo per controllare il ventilatore. Se il ventilatore non funziona, contattare il rivenditore.
Appare NON DISPONIBILE sullo schermo.	• Si è premuto un tasto che non funziona nel corrente modo operativo.
Sulla schermata viene visualizzato "NESSUN RIFERIMENTO" e l'indicatore GEN-LOCK sul pannello anteriore lampeggia.	• Il segnale di sincronizzazione del nero non è emesso sul connettore VIDEO 1 IN quando GENLOCK è impostato su ON sulla schermata MENU 2.
Sulla schermata viene visualizzato "RIFERIMENTO ERRATO" e l'indicatore GEN-LOCK sul pannello anteriore lampeggia.	• Il formato dell'ingresso del segnale di sincronizzazione del nero dal generatore del segnale non corrisponde al formato del segnale di uscita (NTSC o PAL) del convertitore.

Caratteristiche tecniche

Ingresso del segnale

VIDEO 1 IN — Ingresso video composito / riferimento
- Connettore BNC × 2 (a ciclo aperto), 75 ohm (terminazione automatica)
- NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p in media
- Segnale di sincronizzazione del nero per la funzione del blocco del generatore*

S video (Y / C)
- Connettore mini DIN a 4 piedini × 2 (a ciclo aperto), 75 ohm (terminazione automatica)
- Y: 1 Vp-p in media, sincrono negativo
- C: 0,286 Vp-p (NTSC) / 0,3 Vp-p (PAL) in media

VIDEO 2 IN — Video composito
- Connettore BNC × 2 (a ciclo aperto), 75 ohm (terminazione automatica)
- NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p in media

S video (Y / C)
- Connettore mini DIN a 4 piedini × 2 (a ciclo aperto), 75 ohm (terminazione automatica)
- Y: 1 Vp-p in media, sincrono negativo
- C: 0,286 Vp-p (NTSC) / 0,3 Vp-p (PAL) in media

VIDEO 3 IN — RGB / componente
- Connettore D-sub 15 piedini, a 3 file × 2 (a ciclo aperto), 75 ohm / impedenza alta
- R / G / B: 0,714 Vp-p (sinc. su verde accettabile)
- Sinc. H / V o composita: da 1 a 5 Vp-p
- Y / R-Y / B-Y: 0,7 Vp-p in media (NTSC / PAL, sincrono su Y)

AUDIO IN 1, 2, 3 (L / R) — Presa a piedino RCA, più di 10 kilohm 0 dBs (1 Vrms) max.

Uscita del segnale

VIDEO OUT — Video composto
- Connettore BNC, 75 ohm in media
- NTSC$_{3,58}$ / PAL$_{4,43}$, 1 Vp-p in media

S video (Y / C)
- Connettore mini DIN a 4 piedini, 75 ohm in media
- Y: 1 Vp-p in media, sincrono negativo
- C: 0,286 Vp-p NTSC / 0,3 Vp-p (PAL) in media

RGB / componente
- Connettore D-sub 15 piedini, a 3 file, 75 ohm in media
- R / G / B: 0,714 Vp-p con sincrono esterno
- Sinc. H / V o composita: Sinc. TTL negativa
- Y / B-Y / R-Y: 0,7 Vp-p in media (sincrono su Y)

AUDIO OUT (L / R) — Presa a piedino RCA
- Guadagno audio: ± 1,0 dB in media
- Distorsione armonica totale: meno dell'1 %, 1 Vrms

Video

Capture range	Ampiezza di banda di cattura: Cattura orizzontale: da 15,6 a 70 kHz Cattura verticale: da 50 a 120 Hz
Segnale preimpostato	Ingresso: 10 formati Uscita: 6 formati Uscita del blocco del generatore: NTSC o PAL (Vedere a pagina 135.)
Memoria video	1.152 × 1.152 × 24 bit (RGB totale)
Tasso di campionatura	da 14,3 a Fase 40 MHz max. (equivale alla campionatura a 80 MHz)
Pixel clock di uscita	da 14,3 a 50 MHz max.

Generale

Requisiti di alimentazione	da 100 a 120 V CA, 50 / 60 Hz, 0,4 A da 200 a 240 V CA, 50 - 60 Hz, 0,25 A
Assorbimento	30 W (funzionamento al massimo) 3 W (spento)
Temperatura di esercizio	da 0 a 35°C
Dimensioni	424 × 44 × 354 mm (l / a / p) senza la staffa di montaggio e supporti
Peso	Circa 4,1 kg.
Accessori in dotazione	Cavo di alimentazione (1) Cavo di segnale (1)

Accessori opzionali

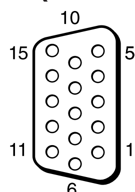
Staffa di montaggio MB-510
SMF-400: D-sub a 15 piedini (maschio) verso un cavo 5 BNC
SMF-401: D-sub a 15 piedini (maschio) verso un cavo D-sub a 15 piedini (maschio)
Telecomando RM-854, RM-1271, RM-PJ1292, RM-PJ350

*** Nota sulla funzione del blocco del generatore**

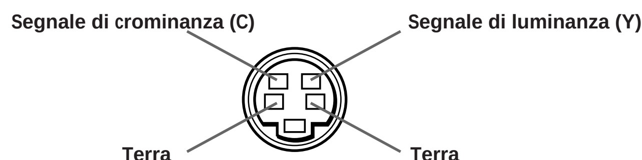
Il segnale di riferimento deve essere conforme a SMPTE 170M (NTSC) o ITU-R624 (PAL).

Piedinatura

Connettore VIDEO 3 IN (D-sub 15 piedini, a 3 file)
Connettore VIDEO OUT (D-sub 15 piedini, a 3 file)



Connettore Y/C IN/OUT (mini DIN a 4 piedini)



Piedino No.	Segnale
1	Rosso video o R-Y
2	Verde video o Y
3	Blu video o B-Y
4	Terra
5	Terra
6	Rosso terra
7	Verde terra
8	Blu terra
9	Non utilizzato
10	Terra
11	Terra
12	Non utilizzato
13	Sincrono orizzontale o composito
14	Sincrono verticale
15	Non utilizzato

Segnali preimpostati

Indicatore		Standard di segnale		
INPUT	OUTPUT	Nome	Scansione linee	Frequenza di linea e di campo
NTSC	NTSC	NTSC	525 linee complessive (interlacciate)	15,73 kHz / 59,94 Hz
PAL	PAL	PAL	625 linee complessive (interlacciate)	15,63 kHz / 50,00 Hz
OTHERS	—	HDTV (Giappone)	1125 linee complessive (interlacciate)	33,75 kHz / 59,94 Hz
31.5k	—	VGA Text	400 linee attive (non interlacciate)	31,47 kHz / 70,11 Hz
31.5k	31.5k	VGA 640 × 480	480 linee attive (non interlacciate)	31,47 kHz / 59,94 Hz
OTHERS	—	Modo Mac 13”	480 linee attive (non interlacciate)	35,00 kHz / 66,67 Hz
37k	37k	VESA 800 × 600	600 linee attive (non interlacciate)	37,88 kHz / 60,32 Hz
OTHERS	—	Modo Mac 16”	624 linee attive (non interlacciate)	49,73 kHz / 74,55 Hz
48k	48k	VESA 1024 × 768	768 linee attive (non interlacciate)	48,36 kHz / 60,00 Hz
64k	64k	VESA 1280 × 1024	1024 linee attive (non interlacciate)	63,95 kHz / 59,94 Hz

- H. SYNC e V. SYNC di tutti i segnali di uscita sono negativi.

VESA è un marchio registrato della Video Electronics Standards Association.
VGA e SVGA sono marchi registrati della International Business Machines Corporation.
Mac (Macintosh) è un marchio registrato della Apple Computer, Inc.

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Italiano

Sony Corporation Printed in Japan